

# 秋葉 隆教授 退任記念集

2016年3月

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター  
血液浄化療法科



秋葉 隆教授 近影

# 目 次

退任のご挨拶	1
秋葉 隆教授 略歴	3
秋葉 隆教授 退任によせて	
浅野 泰 日本腎臓財団理事長/自治医科大学名誉教授/古河赤十字病院名誉院長	7
阿岸鉄三 東京女子医科大学名誉教授	8
酒井清孝 早稲田大学名誉教授	9
秋澤忠男 公益社団法人日本透析医会会長	10
松田兼一 山梨大学医学部救急集中治療医学講座教授	11
新田孝作 東京女子医科大学第四内科教授・講座主任	12
田邊一成 東京女子医科大学泌尿器科教授	13
測之上昌平 東京女子医科大学腎臓外科	14
峰島三千男 東京女子医科大学臨床工学科教授	15
服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科	16
土谷 健 東京女子医科大学第四内科・血液浄化療法科	17
大橋信子 東京女子医科大学男女共同参画推進局看護職キャリア開発支援センター	18
金子岩和 東京女子医科大学臨床工学部	19
本田一穂 昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門	20
徳本直彦 湘南鎌倉総合病院腎移植外科	21
池辺宗三人 高知高須病院	22
菊地 勘 医療法人社団豊済会	23
思い出のアルバム	25
業績	
原著	35
総説	75
著書	93
国際学会発表	101
国内学会発表（筆頭演者）	115
国内学会発表（共同演者）	123
講演	189
その他	195
ガイドライン	201

## 退任のご挨拶

2016年3月31日をもって永くお世話になった東京女子医科大学を退任することになりました。

私の42年間の医師としての経歴を振り返ると、前半の26年は東京医科歯科大学第2内科学教室（現腎臓内科）とその関連施設で、後半の16年間は東京女子医科大学で過ごさせていただきました。東京医科歯科大学第2内科学教室時代は、いわゆるローテーションで始終移動していましたので、東京女子医科大学での16年間は、落ち着いて仕事に向かえあえた、もっとも実り多い期間でした。今回退任に当たり、退任記念誌を刊行していただけるとの暖かな提案をいただきました。本来であれば、東京女子医科大学在任中の業績に限るべきかとおもいましたが、私が透析の世界に入ったのが透析医療に健康保険適応がはじまった直後で、すなわち透析医としては、故太田和夫名誉教授を第一世代とすれば、第二世代の透析医としての歩みを記録したいとの思いがあったからです。

1975年4月東京医科歯科大学を卒業して、第2内科に入局しました。当時第2内科は、呼吸器（故大淵名誉教授）、循環器（故谷口興一講師）、腎臓（故越川昭三講師、昭和大学名誉教授）の体制で、私は学生時代越川先生の体液に関する鋭い講義を聞いて感銘を受けて腎臓を選択しました。入局してみると、大淵先生は退任され、金沢大学から武内重五郎教授（故名誉教授）が着任されていました。武内先生からは内科医としての姿勢を徹底的に仕込まれました。3年目に入った腎臓研究室では透析グループで故中川成之輔先生の指導を受けました。私の透析医としてのスタートでした。弁当型の中空糸透析器の開発、血液ろ過装置の開発、そしてCAPDの輸入承認とその普及等、時代の流れに乗った形で、全力を傾けました。

一方、基礎の仕事で臨床の壁を突破できるのではとの気持ちで、東京大学薬理学教室に国内留学させていただきました。酒井文徳教授（故東京大学名誉教授）、遠藤仁講師（杏林大学名誉教授）のもとで、尿細管のmicrodissectionを学び、昭和大学の須田立雄教授（埼玉大学客員教授）との共同研究で、近位尿細管でのビタミンD活性化酵素の局在を初めての基礎論文にまとめることができました。その後1学年先輩の佐々木成先生（現東京医科歯科大学名誉教授）の紹介で、カリフォルニア大学のサンフランシスコ校へ留学することもできました。David Warnock先生（現アラバマ大学教授）Robert Alpern先生（現エール大学学長）の指導のもと尿細管基底膜小胞の実験を重ね、Journal of Clinical Investigationに2報出版することができました。2年の予定でしたがWarnock先生がアラバマへ栄転されることになり、また助手のポストがたまたま空いたので帰国せよとのご連絡をいただき14カ月で帰国しました。

日本に戻ると中外と麒麟が競ってESAの治験を行っており、患者さんからは腎性貧血の治療効果に強い期待がもたれていました。同期の循環器、伊東春樹先生と一緒にESA投与に伴う血行動態の変化や高血圧の研究に取り組みました。また、活性型ビタミンDの大量経口投与方法の副甲状腺腫への効果やcinacalcetの影響について検討しました。東京医科歯科大学病院の腎センター講師を拝命し、ま

た丸茂文昭教授（現名誉教授）より第2内科病院掛主任・医局長を任され、病院における血液浄化療法と第二内科教室運営に携わる機会を経験しました。

このような自分に声をかけていただいたのは、東京女子医科大学第四内科の主任教授二瓶宏先生でした。新設された血液浄化療法部門に教室員を挙げて支援していただいた御恩は着任以来16年間、常に反芻しています。跡を継がれた新田孝作教授にも継続的に教室員を派遣いただいていること感謝しています。すでに退任されていらっしゃいましたが、腎センターを創られた故太田和夫名誉教授、第四内科初代教授杉野信博名誉教授には着任前に暖かなお言葉をいただきました。腎臓外科の寺岡慧教授、泌尿器科東間紘教授、腎小児科伊藤克己教授、臨床工学科の峰島三千男教授をはじめとする腎センターの先輩、同僚、スタッフには、腎センターのお仲間に入れていただき、皆様のご協力により1,400床の透析の臨床と教育研究を担当させていただけたこと感謝しています。

これまで何とか無事に活動してこられたのも学内、企業を含む学外多くの皆様の絶大なご援助とご協力の賜物です。とりわけ温かく支えてくださった大学・病院職員の皆様、とくに第四内科兼担の土谷健臨床教授、教室の木全直樹講師、医局長の三和奈穂子先生を始めとする教室員の皆様には大変お世話になりました。皆様方に心よりお礼を申し上げ、また東京女子医科大学の益々のご発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

(2016年1月10日現在)

昭和25年8月19日生 (65歳)

- 1975年3月 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
- 1975年4月 東京医科歯科大学医学部付属病院第2内科医員 (武内重五郎教授、故名誉教授)
- 1975年6月 医師免許取得 (医籍227945号)
- 1976年4月 横須賀共済病院内科医員 (金山正明内科部長、現平塚共済病院院長)
- 1976年10月 東京医科歯科大学医学部付属病院第2内科医員
- 1977年4月 取手協同病院 (現JAとりで総合医療センター) 内科医員 (島田良典院長、故名誉院長)
- 1977年10月 東京医科歯科大学医学部付属病院第2内科医員
- 1978年4月 土浦協同病院内科医員 (藤原秀臣内科部長、現名誉院長)
- 1979年4月 東京大学医学部薬理学教室研究生 (酒井文徳教授、故名誉教授、遠藤仁助教授、現杏林大名誉教授)
- 1980年4月 東京医科歯科大学第2内科腎臓研究室医員
- 1981年6月 武蔵野赤十字病院内科副部長 (三宅祥三内科部長、故院長)
- 1985年7月 カリフォルニア大サンフランシスコ校心血管研究施設研究員 (故Rector教授、Warnock助教授 現アラバマ大教授)
- 1985年9月 医学博士号取得 (東京医科歯科大学 第848号)
- 1986年9月 東京医科歯科大学霞ヶ浦分院内科助手 (谷合哲分院長、助教授、前青梅市立病院長)
- 1988年4月 東京医科歯科大学第2内科腎臓研究室助手 (丸茂文昭教授、現名誉教授)
- 1988年6月 東京医科歯科大学第2内科病院掛主任・医局長
- 1990年5月 東京医科歯科大学第2内科・腎センター講師 (大島弘幸センター長・泌尿器科教授、現名誉教授)
- 1993年11月 厚生省中央薬事審議会医療用具第四調査会委員
- 1995年4月 東京医科歯科大学医学部附属病院腎センター副長
- 1995年1月 東京都腎不全対策協議会 災害時透析医療システム検討部会委員
- 1998年4月 東京医科歯科大学医学部附属病院血液浄化療法部副部長
- 2000年4月 東京医科歯科大学医学部附属病院血液浄化療法部助教授
- 2001年4月 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化部門教授 (腎臓病総合医療センター長 東間紘教授 現戸田中央病院名誉院長)
- 2001年4月 厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員
- 2001年10月 東京女子医科大学第四内科教授 (兼担、二瓶宏主任教授、現名誉教授)
- 2003年1月 日本学術振興会専門委員
- 2003年1月 厚生労働省薬事衛生審議会専門委員

- 2003年 4月 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科教授  
2004年 1月 厚生労働省胸腹部の障害認定に関わる専門検討会副会長  
2004年 4月 行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員  
2004年 4月 東京女子医科大学血液浄化療法科診療部長  
2005年 4月 東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人  
2011年 2月 中華人民解放軍第三軍医大学大坪医院腎内科客員教授

#### 学会大会主催

- 1996年 9月 第2回日本腹膜透析研究会（現日本腹膜透析医学会）当番幹事  
2001年 9月 第19回国際血液浄化学会（ISBP）大会会長  
2005年 5月 第21回日本医工学治療学会大会長  
2011年 9月 第32回日本アフェシス学会大会長  
2011年 11月 第49回日本人工臓器学会大会長  
2015年 10月 第25回日本急性血液浄化学会大会長

ご退任によせて



## 秋葉隆教授退任にあたって

日本腎臓財団 理事長  
自治医科大学 名誉教授  
古河赤十字病院 名誉院長  
浅野 泰

この度、東京女子医科大学で定年退職を迎えられることとなったとお聞きしました。まずは無事に職責を全うされたこと、誠におめでとうございます。

先生とは東京医科歯科大学第二内科腎臓班の同門という事で、故越川昭三先生を共に恩師と仰ぐ身に変わりはありませんが、先生が入局されたころには既に私は在籍しておらず、共に学んだり、共に研究したりとの経験は残念ながらありません。

一つ思い出したことは、改組された現在の日本透析医学会の初代理事長に越川先生が就任された時には、同じ同門の丸茂文昭東京医科歯科大学教授と私も役員（理事）になっており、委員会の委員長など若干のお手伝いはさせていただいたと記憶しております。そして、越川先生が定年退職されたのち、しばらくして秋澤忠男先生と秋葉先生がやはり役員として参画されてきました。2人とも透析医療方面では既に立派な業績を挙げておられ、若いのにと感心したものでした。

秋葉先生は丸茂先生が東京医科歯科大学教授に就任されてからは、透析部門では丸茂先生の右腕として手腕を発揮されていたように記憶しております。丸茂先生は私が入局したときには実験の手ほどきをして下さり、留学先の紹介のこともあり、さらには留学から帰国時にはお礼奉公のつもりで、開学間もない北里大学内科の腎臓グループに就職して3年近くを一緒に過ごしました。そんなわけで丸茂先生の方針、考え方、性格などはすっかり判ってしまいました。

その後、先生は東京女子医科大学教授として栄転され、リーダーとして透析方面で活躍されました。その間、いろいろと見たり聞いたりしている中で、先生の方針や進め方が実に丸茂先生にそっくりであることが時々あることに気づき、よく似たものだ、血は争えないものだ、と感じ入りました。

他に何か接点がないものかと探したら、雑誌「臨牀透析」が思い当たりました。

「臨牀透析」は、今では既に創刊より31年を経過しておりますが、この雑誌の発足には、我々の共通の先輩である故中川成之輔先生が大変尽力されたと聞いております。第1巻第1号に「透析患者の心不全」という総説を書かせていただいたのも記念すべきことと鮮明に覚えております。発刊後5年ほどして、私も東京慈恵会医科大学の川口先生と共に新たに編集委員の仲間に加えていただきました（中川先生の推薦）。いつの日か、中川先生は闘病生活に入っておられ、編集委員会後の雑談でも自らの病状をよく話されており、明るく振舞われているお姿が痛々しく感じたものでした。私を加えてくださったのも、同門のよしみで、後を頼むと言われたように感じました。

平成6年に残念ながら中川先生は他界されました。その後、何年かして編集委員の若返りを図って、あらたな編集委員が加わりましたが、その中には是非とも中川先生の指導を受けた人からと、秋葉先生が良いと推薦させていただいたものです。

この編集委員会も私は引退したつもりで、出席しなくなり、またまた先生と一緒に仕事をする機会は失ってしまったわけですが、いろいろな分野で、特に透析など血液浄化療法部門での先生の活躍ぶりは見聞することが出来ました。

さて、この度、定年退職とのことですが、まだまだ体力、活力、知識欲など十分に備えられており、何れかで活躍されるものと思っております。益々のご活躍を期待しております。

弥栄

## 秋葉隆先生の退任によせて

東京女子医科大学 名誉教授

阿岸 鉄三



秋葉隆先生 大過なく、任をまっとうできそうで、おめでとうございます。任をまっとうすることは、おめでたいことに間違いはないのですが、自分の体験からすると、ちょっと妙な気分であった記憶があります。不本意ながら、トコロテンみたいに押し出されるような。。。でも、その後の70歳時代は健康でさえあれば、まことに楽しいものです。楽しい日々を送れるようになることにおめでとうございます。いい気持ちです。

わたしは、2000年に東京女子医科大学を定年退職したので、秋葉先生とは、一緒に仕事をしたことはないのですが、勿論、それ以前に学会などで面識はありました。

この機会に、東京女子医科大学の血液浄化科の誕生までの経緯を書きとどめて責を果たしたいと思います。わたしの記憶に頼りますので、記憶違いがあったら、お許してください。

腎臓病総合医療センターは、亡くなられた太田和夫先生が、心研の故榊原任先生と計らって心研の中に人工腎臓センターを設立したことに始まります。1970年と記憶しています。米国クリーブランドにいたわたしが、太田先生に誘われて人工腎臓センターに入ったのが、1974年ですが、4年前の開設と聞いていました。初めのころは大変なご苦労があったようで、心研の外科の定時手術が終わってから個人用人工腎臓装置を引き出して手術場で透析をするような状況であったようです。おそらく日本最初の血液透析を専門的に行う医療グループの誕生であったでしょう。

このころ、日本の経済は右肩上がりといわれていた時代に差し掛かっていましたから、医療費も潤沢にあり、血液透析が医療保険に収載されるようになると、いまでは、とても信じられないような高額な支払いが行われるようになりました。太田先生は、それを推進エンジンに腎センターを作ろうと口癖のように言っていました。東京女子医科大学は収益のあがる部門は成長させる方針がはっきりしていましたから、その後、めでたく腎臓病総合医療センターの新設が達成されました。透析は、その中の「透析室」で集中的に行われることになりました。

しかし、1990年代になると、血液透析自体も多様化し、また、周辺に関連技術も新たに開発されて、日本中で「透析」ではない医療が「透析室」で行われるようになり、一方で、より広い概念の血液浄化の呼び名が次第に一般的になってきました。正直な話、わたし自身、東京女子医科大学の透析室は設立の頃は、日本はおろか、世界中をリードするほどの学問的・技術的な能力をもっていたと自負していたのですが、この時期には、相対的に地盤沈下が感じられるようになっていました。

20世紀末には、日本の経済は凋落傾向が明らかで、透析医療にも医療費が回って来ず、「透析室」の透析液供給システムは汚れていても新規購入がならず、新しい治験委託も受けられない有様でした。

ちょうど、1997年に、わたしは腎臓病総合医療センターの所長になりましたから、それを機会に、「透析室」を「血液浄化部門」にすることができました。自分で、その責任者になりました。同時に、独立の部門・科にしようとしたのですが、内部からの、時期尚早の意見があり不調に終わりました。見解の相違というか、見識の相違というか。。。その後、わたしの退職後に、2002年に「血液浄化療法科」が独立し、秋葉先生が東京医科歯科大学から教授として着任されたのです。

秋葉先生は、厳しい医療経済のなかで、なかなか思うような仕事ができなかったのではないかと思います。

これからの生活を楽しんでください。

## 秋葉隆教授退任記念に寄せての祝辞

早稲田大学 名誉教授

酒井 清孝



長年に亘って血液浄化療法に従事されてこられた秋葉隆先生が今年度末でご定年を迎えることになりました。東京女子医科大学の血液浄化部門は、これまで長年に亘っての輝かしい歴史と伝統がございます。太田和夫先生、杉野信博先生、阿岸鉄三先生、佐中孜先生が始められ、日本の血液浄化療法の先頭を切ってこられました。この伝統を秋葉隆先生が引き継がれ、新田孝作先生、峰島三千男先生とともに東京女子医科大学の血液浄化療法の伝統を守り、さらに発展させてこられました。このご苦勞を称えさせていただくとともに、秋葉隆先生の長年のご功績に対しまして、ここに敬意を表したいと思えます。

越川昭三先生門下生は多士済々でいらっしやいまして、中川成之輔先生を始めとして、秋澤忠男先生、秋葉隆先生、篠田俊雄先生、安藤亮一先生……とは長年に亘ってお付き合いをさせていただきました。秋葉隆先生がお若い時には、学会でいつもフロアマイクの前に立たれて、厳しい質問を発表者に浴びせておられた姿を今でも鮮明に記憶しております。私の講演に対しても同じでしたが、研究室の若者に対しても厳しいご質問、ご指摘をされて、そのあとの私共の研究に多くの示唆を与えてくださいました。ご指導をいただき、今でも感謝しております。今ではすっかり温厚な大先生になりました。

世界の研究者の論文評価に最近Research Gateが盛んに用いられており、好評を博しています。ここでは世界の研究者の研究成果が世界の研究者から評価されています。ここで上位2.5%に入る高スコアをあげておられるのが秋葉隆先生です。血液浄化療法の分野では、東京医科歯科大学でご同門の秋澤忠男先生とともに、先頭を切っておられます。これは素晴らしいことで、血液浄化療法の分野で誇るべきことだと思っています。

第26回日本急性血液浄化学会学会集会在、秋葉隆先生を会長として2015年10月8、9、10日に京王プラザホテル新宿で開催されました。秋葉隆先生の現役最後の学会として、周りの先生方のサポートを得ながら、見事な学会集會を演出されました。心からお祝いを申し上げます。盛会裏の内にすでに終了しましたが、秋葉隆先生の大会趣旨を拝見し、また大会終了時のご挨拶を拝聴して感動致しました。足踏みしていた急性血液浄化療法にこの学会集會である程度の突破口が開かれたのではないのでしょうか？というお言葉でした。副題が明日の治療につながる急性血液浄化療法の突破口でした。このことはシンポジウムのタイトルからも読み取れます。千葉大学織田成人理事長が進めてこられた学会認定指導者および認定施設制度が動き出したことから、これらの現況と展望がシンポジウムでも取り上げられ、医師のみならず、看護師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師、工学者の総力を結集して、この分野の活性化に繋げてこられました。さらにハンズオンセミナーという初学者対象の教育の場を提供され、参加して役に立った、次回も来たい、と言えるような全員参加型の学会集會に確かになりました。記憶に残る素晴らしい学会集會であったと思えます。心からお祝いを申し上げます。

東京女子医科大学を退任されて名誉教授になられても、是非とも学会、研究会に参加され、発表者の間違いを指摘されると同時に、研究の方向を正していただければと存じます。工学会と異なりまして、医学会は長老、先輩の意見に耳を傾けるという良い慣習がございます。是非とも宜しく願い申し上げます。

これからも学会でご活躍されて、会場でお会いできることを楽しみにしております。

## 秋葉隆先生のご退任に寄せて

公益社団法人日本透析医会 会長

秋澤 忠男



秋葉隆先生の教授ご退任に際し、日本透析医会を代表して、先生のこれまでの本会に対する多大なご貢献に深く謝意を表し、今後の先生のますますのご発展をお祈りするとともに、本会への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

秋葉隆先生は本会約三十数年の歴史の中で、早くも平成7年6月から理事にご就任され、現在も理事としてご活躍いただいています。理事在任期間は20年を超え、平成11年6月から13年5月には常務理事として、医会を運営する職責を果たされました。

先生は本会に多くの業績を残されましたが、とくに医療安全対策委員会の感染対策部会長には平成11年6月から現在までご留任され、厚生省（当時）や厚労省の補助金を得て「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル」（平成12年3月）、「同改訂版」（平成16年5月）、「同三訂版」（平成20年3月）、「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン 四訂版」（平成27年3月）を策定・発刊されました。これらマニュアルとガイドラインは、全国透析施設の感染対策のバイブルとして広く活用されています。

また、平成21年には「透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドライン」をまとめられ、来るべき新型インフルエンザ襲来時の透析医療についての対応策を示されました。さらにHIV感染透析患者については、「HIV感染患者透析医療ガイドライン」（平成22年11月）を策定され、HIV感染患者の透析医療に関する唯一のガイドラインとして活用されています。

このように先生は日本透析医学会の「透析患者のC型肝炎治療ガイドライン」（平成23年6月）を含む、多くの透析患者の感染症と感染予防のマニュアル、ガイドラインの策定に中心的役割を担われ、透析患者の感染対策に関しては、日本を代表する世界的研究者として活躍してこられました。

先生は感染対策のみならず、医会では適正透析普及推進委員会、研修委員会など多くの委員会でご活躍いただき、医会の主催する研修セミナーでも数多くのご講演、座長、司会をお引き受けいただきました。

このように、秋葉先生は日本透析医会の学術活動を主導され、今日の日本透析医会の発展に大変な寄与を果たしてこられた恩人であります。

個人的な話題で恐縮ですが、先生は昭和50年に東京医科歯科大学医学部をご卒業になりましたが、先生が入学された昭和44年には、全国学園紛争の余波のため東京大学の入試が中止されるという事件が起こりました。先生は当然東大を受験されるご予定で準備を進められ、しかも理科1類から工学部への進学を目指しておいでであった、と聞きます。しかし不幸にして東大入試が中止となり、やむを得ず医科歯科大学の医学部を受験され、見事合格されました。医科歯科大学では、この年の入学生の成績はすばらしく、本来東大に行くべき優秀な学生が入学したと、大喜びをしたそうです。先生が目指した東大の入試を中止に追い込んだ学園紛争の発端は、実は医科歯科大学にあったことを思えば、まさに人生の皮肉ともいえるでしょう。

先生が医学の道を選ばれたことで、日本の透析医学も、日本透析医会も大きな発展を遂げることができました。大学は退任されても、引き続き日本透析医会での責務は続きます。先生のますますのご発展をお祈りするとともに、今後とも日本透析医会へのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 秋葉隆先生のご退官に寄せて

山梨大学医学部救急集中治療医学講座 教授

松田 兼一



秋葉隆先生、御退官おめでとうございます。

秋葉先生との思い出は何と言っても、「医療機器の取違い事故に対する対応を検討する会」で一緒したことです。

2011年の秋に発生した京都大学での医療機器取間違い事故を受け、日本急性血液浄化学会安全管理・倫理委員会委員長であられた秋葉隆先生が中心となって、事故防止改善策について医療関係者・製造業者へ呼びかけ、「製品の安全性向上」についての要望書を、日本医療機器関係団体協議会へ提出されました。この要望書を受けて2013年4月から本件について対策委員会を発足し、「医療機器の取違い事故に対する対応を検討する会」として議論を重ねることになりました。秋葉先生は日本急性血液浄化学会安全管理・倫理委員会委員長のお立場で、私は日本人工臓器学会 理事長の立場で本会に参加しました。医療サイドの委員としては他に日本急性血液浄化学会 安全管理・倫理委員会副委員長 山下芳久先生、日本透析医会医療安全委員会担当理事 篠田俊雄先生、日本血液浄化技術学会理事長、医療安全委員会委員長 山家敏彦先生、日本アフレスシス学会技術委員長 松金隆夫先生、日本腎不全看護学会リスクマネジメント委員会委員長 佐藤久光先生、日本臨床工学技士会副会長 本間崇先生達がいらっしゃいました。計7回、夜19時頃から集まり、製造業界サイドの方々と夜遅くまで熱い議論を交わしました。幾つかの対応策があがりましたが、医療サイドの主張はカラムノズルのロック化に絞られました。しかし、業界サイドは教育の再徹底がもっとも重要で、梱包箱の色分けを即刻実施し、将来的にバーコード読取り機器を開発するという実行計画案が出され、カラムノズルのロック化の提案は最終的に却下されました。しかし、バーコード読取り機器の開発・普及までの時間がかかることから医療サイドは納得しませんでした。議論は平行線をたどり、医療サイドにも諦めムードが漂い始めたその時です。日頃温厚で物静かにお話し下さる秋葉先生が、机を叩かんばかりの勢いで、「人の命を救うべき医療機器によって人が亡くなることは絶対に許されない!! 僕には耐えられないことなんだ!! あなた方はそれでも平気なのか!!」と、言われました。本当はもう少し過激なお言葉を使われたのですが、ここに記載できないので、皆様のご想像にお任せ致します。秋葉先生のそのお言葉で我々医療サイドはカラムノズルのロック化で一致団結しました。平行線が続きましたので、2014年3月14日PMDAに相談に行きました。医療サイドの必死の主張にもかかわらず、PMDAの見解は業界サイドと大方同じ意見で、カラムノズルのロック化への道は完全に閉ざされました。それでもなお数度の対策会議を開催し、最後の手段として厚生労働省に直接陳情する事になりました。PMDAに受け入れて貰えなかった主張を厚生労働省に陳情してもどうにもならない事は解っていましたが、背水の陣で2014年10月9日厚生労働省のゲートを潜ったのを今でもよく覚えています。これが最後のチャンスと、昔なら切腹覚悟の気持ちで必死に説明しました。その結果何と医療サイドの要望を重く見て業界側へ「カラムノズルロック化の検討指導」が行われ、業界サイドは前向きに自主的に取り組むこととなりました。2015年5月12日厚生労働省医薬品・医療機器等対策部会で、「医療サイドと業界サイドの十分な検討で決定された模範的安全対策」として取り上げられました。秋葉先生が、いつものように温厚で物静かに、そして誇らしげにご発表された姿を思い出します。秋葉先生本当にご苦労様でした。約2年間にわたり先生と一緒に業界サイドと粘り強く議論を重ねたことは私にとってかけがえのない財産です。先生のご指導に心から感謝申し上げます。熱い思いで勝ち取った安全対策ですが、実現されるまで、秋葉先生にはもう少し目を光らせていて下さい。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 秋葉教授退任

東京女子医科大学第四内科 教授・講座主任

新田 孝作



平成13年に血液浄化療法科の教授に就任された秋葉隆先生が、この3月末で16年間の教授職を終えられて定年退任を迎えられます。秋葉先生は昭和50年に東京医科歯科大学医学部を卒業後、直ちに武内重五郎先生が主宰する第二内科に入局されました。当時の第二内科は腎臓内科のメッカで、全医局員が気概に燃え、一丸となって教育、研究および診療に励んでおられたと聞いています。その中で新人ホープとして入局された秋葉先生は、腎臓の研究者としての道をスタートされました。カリフォルニア大学サンフランシスコ校へ留学され、副甲状腺ホルモンの腎生理作用に打ち込まれました。米国で業績をあげられて帰国されてからは、さまざまなプロジェクトを主導され、さらに医局長として医局の運営も担当されました。

そして、東京医科歯科大学出身の教授として、平成13年から東京女子医科大学血液浄化療法部門教授として就任され、太田和夫先生が開設され阿岸鉄三先生が育てられた腎臓病総合医療センター透析室を平成15年には診療科として大きく発展させられました。血液浄化療法科の診療部長として、急性および慢性血液浄化療法が必要な多くの患者さんと信頼関係を築かれ、他科との連携にも尽力されました。腎臓内科にとって、必要不可欠な診療科であり、これまでの協力関係に深く感謝申し上げます。秋葉先生は副甲状腺機能とカルシウム代謝に関する研究をされていたことから、腎性骨症の病態と治療の研究に取り組みました。秋葉先生は、おそらく透析療法の世界で現在のCKD-MBDに取り組みされた数少ない腎疾患専門家ではないかと思います。日本透析医学会や日本アフェレシス学会の役員を務められ、第2回腹膜透析学会、第19回国際血液浄化学会、第21回医工学治療学会、第32回アフェレシス学会、第49回人工臓器学会、および第26回急性血液浄化学会の大会長を主宰されました。

秋葉先生は腎臓内科を兼務され、第四内科の同門会にも積極的に参加していただき、同門会活動では熱心にご指導いただき有難うございました。関連病院で活躍されている同門の諸先生方と親しく交流をされています。このような地道な活動が毎年安定した第四内科入局者数に反映していると思います。そしてこれらの優秀な人材の中から多くの専門医が輩出しており、同門会としてとても誇りに思うところでもあります。今後もその集大成として、さらに関連病院が関東地方の透析医療の中心になるとともに、医療連携を推進することで発展してゆくものと思われま。引き続き第四内科および同門会に対してご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。

## 秋葉隆先生の退任に寄せて

東京女子医科大学泌尿器科 教授

田邊 一成



秋葉先生お疲れ様でした。

長年にわたり東京女子医科大学腎センターの透析室を支えてくださりありがとうございました。

女子医大透析室はわたくしが女子医大に移籍した1984年当時、今の腎センター医局のある場所にありました。透析室にたくさんの透析患者さんとスタッフが忙しく立ち働いていてとても活気のある場所でした。

現在、腎センター透析室は第1病棟に移動しましたが、多くの治療困難な透析患者さんの治療が続いています。第1病棟に移動すると同時に透析室が中央化し全診療科のじん不全患者に対応できるようになったのは秋葉先生のご努力が大きかったと思っております。現在は院内各部署で発生するじん不全患者に対し臨機応変に対応し透析、ECUM、CAPD、CHDFなど様々な手法を用いた透析療法を症例に合わせて随時提供できるようになっています。

透析患者さんは今後とも増加することが予想されていますが、高齢化、さらに30年を超える超長期透析の患者さんも増えつつあり透析療法自体が困難な患者さんも増えています。また、わたくしたち泌尿器科では血液型不適合などのハイリスク腎移植を行っており血液浄化部なしではこのような腎移植はまったく困難です。いろいろな難しい状況に臨機応変に対応していただき多くの重症患者さんの救命に寄与していただき本当に助かりました。

このような中で常に最先端の血液浄化療法を進めてこられたのは秋葉先生のおかげと感謝しております。

このような困難な状況の中で女子医大透析室をしっかりと運営してきてくださいました秋葉先生に改めて感謝したいと思います。

## 秋葉隆教授のご退官を祝って

東京女子医科大学腎臓外科

瀧之上 昌平

秋葉先生ご退官おめでとうございます。これまでのご功勞に敬意を表し、感謝申し上げます。

先生とは東京女子医科大学で約13年間の付き合いになりますが、その間私個人だけではなく、腎臓外科に対してとても親身になり、温かく接してもらったことは忘れられません。思い起こせば、先生が赴任される時私は腎臓外科の医局長をしていましたが、太田和夫先生から部屋に呼ばれ次の透析室の教授は秋葉君にするからと言われ、正直意外に思いました。秋葉先生はその当時はすでに腎臓内科医としては有名でしたが、女子医大の腎センターというある意味特殊な環境のなかで先生が実力を発揮できるかは多少不安がありました。しかし赴任後はその実力を遺憾なく発揮され、透析室の益々の発展に貢献されました。

やはりさすが太田先生の目に狂いはなかったのです。透析だけではなく移植患者の適応についても厳しく質問されたこともたびたびありました。その都度ご自分でも文献を探し出して教えていただいたことも数多くあり、勉強させられました。これまで数多くの移植を無事に行ってこられたのも先生からの教えのおかげと改めて感謝する次第であります。

数多くの先輩たちが退職していくと何か寂しい気持ちになりますが、最近私は高橋公太先生の主催される「棘ぬき地蔵の会」や「京都免疫研究会」に参加させてもらっています。この会は主に女子医大の腎センターに以前所属していた先生方が集い情報交換する場（飲み会）です。歳のせいでしょうか昔の仲間が集まると何か楽しいものです。その会で高橋先生はよく「俺たちはもうあと10年ぐらいしか自分で動けなくなるのだから今のうちに楽しまないとなあ～」と言われます。確かにその通りと私も思い、余暇も大事にするように心がけるようになりました。ぜひ先生も退官後この会に参加してもらいたいと思っています。

これからも益々ご健康で新たな生活を過ごしていただき、腎代替療法への御貢献を続けていただきたいことを心から祈念し祝いの言葉といたします。



## 秋葉先生、永い間ご苦勞様でした。

東京女子医科大学臨床工学科 教授

峰島 三千男



血液浄化療法科教授ご退任、本当にお疲れ様でした。

秋葉先生に最初にお会いしたのは、私がまだ工学部の学生の時のことでした。

正確には覚えていませんが、学会発表の時、ご質問をいただきその後にご挨拶をさせていただいたと記憶しております。当時（1980年代）の透析療法は、新しい治療法・デバイスや技術がどんどん開発され、活気にあふれておりました。

東京女子医科大学も太田和夫先生、阿岸鉄三先生を中心に、臨床や研究にさまざまな報告がなされていましたが、秋葉先生が所属されていた東京医科歯科大学では、武内重五郎先生、越川昭三先生、丸茂文昭先生、中川成之輔先生、秋澤忠男先生など著名な先生方が多数おられ、日本の透析療法をリードされておりました。

秋葉先生の質問は、時に答えに詰まるほど厳しい内容もありましたが、学問の進歩には必要な議論であり、我々工学研究者にとってもいろいろ示唆に富んだご指摘をいただいたことを覚えております。

その秋葉先生が東京医科歯科大学から東京女子医科大学の教授として移られると聞き、これからの透析室の発展に希望が拡がるとともに、先生のご期待に少しでも応えるようにと襟を正した思いがしたことを今でも思い出します。丁度その年（2001年）の2月に私もそれまでずっとお世話になっていた第3外科（腎臓外科）教室から腎臓病総合医療センター血液浄化部門助教授として異動した時でした。その後の2004年5月に新たに開設された臨床工学科教授へ赴任した後も、今日まで血液浄化療法科を兼任させていただきました。私自身も血液浄化に関する研究に従事してきましたので、先生のご配慮は大変ありがたいものでした。

秋葉先生が赴任された2001年の9月7日～9日に、先生大会長の下、ISBP（国際血液浄化学会）が東京で開催することがすでに決まっておりました。私は早速、同大会の事務局長を仰せつかることになり、不慣れな国際学会のお手伝いをさせていただくことになりました。多々不手際もあったと思います。大会が無事終了した時に先生がとても喜ばれたことに安堵した記憶がございます。

ただ、大会が終わったばかりの9月11日に米国で同時多発テロ事件が起こり世界を震撼したのはいまでも忘れられない出来事でした。実はISBPが行われた京王プラザホテルで次の週も別の国内学会があり、私も参加していました。その時、米国からISBPに参加されたKaplan先生ご夫妻がまだホテル内におられ、「明日、ようやく米国へ帰ることができます」と言っておられました。私も「どうぞ日本の最後の夜を満喫してください」とお答えしましたが、ISBPがテロ事件の前に開催されたことは本当に運がよかったと思いました。これも秋葉先生の日頃の行いがよかったものと確信しております。

さて、その後秋葉先生は血液浄化療法科の教授として、当院透析室をまとめられ、予想通りのご活躍をされました。

私は、2002年4月に永年の夢であった「臨床工学部」を東京女子医科大学病院内に開設し運営部長に就任しました。臨床工学技士法は1987年に制定され、すでに国家資格が誕生して10年以上の月日が経っていましたが、当院臨床工学技士はそれぞれのセンターに所属していたこともあり、一つの組織として認めてもらうのに時間を要したことになります。すなわち各部署で働く技士や関連診療科の先生方の理解を得ることは容易ではありませんでした。当時透析室には30名を超える技士がおりましたが、秋葉先生のご支援が強力な後ろ盾となって改革を推進してくれました。この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。

その後も、技士の業務のみならず研究活動にもご理解いただき、出張旅費等を工面していただきました。これは他部署の技士がうらやむほどであり、透析室技士のモチベーションを高く維持できる原動力となっております。

また、臨床工学部の改革のため、透析室技士の定員削減、他部署異動など、多大なご迷惑をおかけしましたが、嫌な顔ひとつせず、ご理解をいただきました。

以上、私にとって先生には感謝すべきことばかりであり、何も恩返しができている気が致します。先生ご退任後も陰ながら血液浄化療法科の発展に貢献することで、その責務を果たしていきたいと考えております。

東京女子医科大学を去られても、まだ学会等でお目にかかることも多いと思います。お体に注意され、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

お疲れ様でした。

## 秋葉隆先生と腎性貧血ガイドライン

東京女子医科大学腎臓小児科

服部 元史



秋葉隆教授が2016年3月末に無事にご退任されますこと、心よりお慶び申し上げます。

秋葉隆先生にはいつも温かく小児血液浄化療法を見守っていただいたこと、この場をお借りしてあらためて心より感謝申し上げます。有難うございました。

秋葉隆先生と小児腎不全医療に関するエピソードを一つご紹介させていただきます。

小児医療現場では、未承認の薬剤を使用せざるを得ない状況が続いており、従来から大きな問題となっています。腎不全治療の領域でも全く同様な状況です。そのような状況下で、2013年9月にダルベポエチンアルファの小児への追加適応承認を得ることができました。実は、秋葉隆先生から当方へのお声がけが、この追加適応承認プロセスの第一歩でした。以下、概略を述べさせていただきます。

2004年版日本透析医学会「慢性血液透析患者における腎性貧血治療ガイドライン」の改訂に際して、2005年11月に小児領域の担当者として当方をご推薦いただいたのが秋葉隆先生でした。そのお蔭で、2008年版日本透析医学会「慢性腎臓病患者における腎性貧血治療のガイドライン」では小児のパートを独立した章として担当させていただき、このガイドラインの解説文のなかで、ダルベポエチンアルファの小児への適応承認の必要性を記述いたしました。その結果、その後の多施設共同研究 (Clin Exp Nephrol 17: 582-588, 2013)、そして治験 (Clin Exp Nephrol 18: 634-641, 2014, Clin Exp Nephrol 18: 932-938, 2014) へと繋がり、小児への追加適応が承認されました。今回の事例を通して痛感したのは、小児腎不全医療を進めていくためには、腎不全医療全般に影響力があり、かつ小児医療へ理解のある先生方からのサポートが必須である点です。その意味で、秋葉隆先生には小児腎不全医療に大きく貢献していただきました。今あらためて、秋葉隆先生から賜った数々の温かいご配慮に心より感謝申し上げます。

最後に、秋葉隆先生の血液浄化療法学に対する真摯でひたむきな姿勢に心より敬意を表するとともに、先生のご厚情に対してあらためてお礼を申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 秋葉先生との思い出

東京女子医科大学第四内科・血液浄化療法科

土谷 健



私が秋葉教授と出会わせていただきましたのは、実は今を去ること25年近くも前のことです（教授はもちろん出会ったとは認識しておられないと思いますが）。当時、私は米国留学を目指す8年目の医者でした。そのとき、先生がおられた東京医科歯科大学の第二内科の佐々木誠教授に師事して腎生理学の実験を習いに伺っていたときです。米国のエール大学の生理学教室で電気生理の実験をするため、その手法を教えていただくために恐る恐る教室を訪ねましたが、佐々木先生から段取りを伺い、事務的な手続きなどを確認するように医局長と相談するようにとのことでした。その際においでになったのが若かりし頃の秋葉先生でした。「君も変わっているね……」が初めのお言葉でした。それでもいろいろ算段をしていただき、約半年お世話になることができました。

その後米国に留学、数年後帰国することになりましたが、その間秋葉先生は昇る太陽のごとく透析学会の指導的役割を演じられて、組織としての形態の形成とご自身の幅広い教養と学問的知識をもって指導をされることとなります。この間私などは近寄ることも困難な状況でしたが、数年後先生は私どもの東京女子医科大学においでになることになりました。その後約10年にわたって、先生のご指導を賜ることができました。

私なりに先生の特質を分析しますと、最も優れた点は、その明晰な頭脳による論理的な統合性のあるシステム作りにあるのではないかと考えております。それは鋭い分析、状況把握、発展性などを統合して考えることのできるご自身の性格と頭脳によっているものなのでしょう。具体的には、透析学会での感染症や災害時のガイドラインとして、大きな足跡を残されています。ああした、多くの因子を複合的に内蔵する、むしろ茫漠としたテーマに科学性と学問、論理性を持ち込むことができることこそ、先生の最も特筆すべき資質であると考えます。

先生が去られた後の透析医療を私どもは担っていくこととなります。とてもとても、という思いが強いですが致し方のないことかもしれません。先生の教えを踏襲して、新しい腎疾患、腎不全の医療に努めてまいりたいと思います。それでも、今後も学会、研究会で、先生の鋭いご質問に晒されることはあるでしょうから、それも暇しいながら楽しみにしてまいりたいと思います。先生の今後のますますのご発展を祈念してやみません。

## 「ありがとうございました」

東京女子医科大学 男女共同参画推進局

看護職キャリア開発支援センター

大橋 信子

秋葉先生がこの度、東京女子医科大学を定年退職されることを聞き一抹のさみしさを感じております。

先生は東京医科歯科大学に勤務しておられた頃より、透析医療の分野において、臨床はもちろんのこと学会等においても精力的にお仕事をされ、そのご活躍ぶりは周知の事実です。そのご活躍ぶりは日本の透析医療の向上のために、中心的な役割を担ってこられたリーダーのおひとりと誰もが認めるどころです。そのような御高名な、秋葉先生が平成12年1月東京女子医科大学に移られるということを知ったときには大変驚きました。

秋葉先生が東京女子医科大学血液浄化療法科に就任し、わずか1～2か月で私は循環器に配転となり、一緒に勤務することは夢として消えてしまいました。就任当初は国立と私立の違いにご苦労なされたこともおありだったのではと拝察いたします。月日は過ぎ、十数年ぶりに私は再度、透析室に配転となり、そこで先生と一緒に仕事をする機会を得ることができました。一言では言い表せませんが、優しく親しみやすいお人柄にも触れさせていただきました。先生は毎日、透析室に顔を出され、「ご苦労さま」「何か困ったことはありませんか」と、常に現場で働いている人たちの労をねぎらうと同時に問題や不安を最小限にとどめ、それぞれがよい仕事ができるような環境を創ろうとされる姿がとても印象的でした。さらに、先生は医師のみならず臨床工学技士や看護師がこういうことをしてみたいという事柄には的確な助言はするものの、反対することはほとんどありませんでした。これは、ずーっと同じ仕事をする環境下では、なかなか仕事を通した成長感を感じ続けることは難しいことを理解されておられるから、同じ仕事を繰り返すような透析医療に従事する医師・臨床工学技士、看護師の仕事に対する意欲をいかに向上させていくか、働く人たちのモチベーションを高めて下さっていたのではないかと感謝せざるを得ませんでした。透析療法従事職員研修や透析看護認定看護師の実習生に対してもスタッフ同様に笑顔で気楽に声をかけられることから、研修生からも「優しい先生ですね」という評判でした。このように立場を超え広く多くの方々より敬愛される優れた先生であったと思います。

また、毎週木曜日に「木曜会」と称して透析室の運営に関する話し合いがありました。そこには、医師・臨床工学技士、看護師、時には医事課、栄養士、検査技師等が参加します。議題によっては互い専門職として白熱し声を荒立てるくらいの議論をする時もあり、その緊張した場においても、冷静に判断される先生の姿には頭が下がる思いをしたことも数回ありました。そのような先生がおられるから、みな忌憚のない意見が言え、透析室がまとまっていたのではないかと思います。また、患者さんとの対応においても参考になることばかりでした。透析医療を長く受けている患者さんの中には、俗にいうトラブルメーカー的な方もおり、透析室のスタッフや担当医の対応が徒労に終わる場面もあります。担当医もが、お手上げ状態の時には「じゃ僕があつて診るよ」とベッドサイドあるいは診察室で、患者さんの話をよく聴いておられました。そこには、患者さんを思うひたむきな医師（人として）としての情熱と医療者としての信念のぶれなさが患者の自省を促せるものと、私たちを啓発して下さった場面も多々ありました。

秋葉先生のご指導のもと、わずか3年でしたが、先生から直接・間接的に多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。ご定年後の人生設計・青写真は悠々自適な生活、はたまた、臨床医の生活をなさるのでしょうか。是非、後者を選ばれ、今後とも、透析医療についての幅広い知識を伝授されますことを願っております。

「秋葉先生 お疲れ様でした。そして、これからもよろしくお願いします。」

東京女子医科大学臨床工学部

金子 岩和

秋葉隆教授が東京女子医科大学の血液浄化療法科教授として赴任され、早いもので16年目となり、この3月に退官の日を迎えることとなりました。先生と立場は違いますが同じ時代を過ごしてきた私としても、先生が女子医大に赴任して「もうそんなに経ってしまったのか」、「もうそんな年になったのか」と驚いている次第です。

先生は大学教授として学生の教育、日常の患者診療、そして研究と多忙の中、対外的にも学会活動を活発にされ、これまでに国際血液浄化学会、日本人工臓器学会、日本アフレスシス学会、日本医工学治療学会、日本急性血液浄化学会、日本腹膜透析学会などの多くの学会の大会長を務めるなど、腎不全・血液浄化に関連した領域において大きな業績を残されております。また、先生は腎不全治療の第一人者として名を馳せられ、特に骨代謝、貧血治療領域に関する多くの研究や業績は有形、無形に偉大なものがあり、研究者の中で知らない方はおりません。あらためて私たちはこのご功勞に敬意を表するとともに感謝しております。

ちょうど先生が女子医大に赴任された2001年1月は、「臨床工学部」の発足を翌年にひかえ院内の臨床工学技士と中央化の準備を進めている最中でした。

臨床工学部も発足して十余年となりましたが、業務連携の充実、集中治療領域におけるスタッフの育成、業務支援体制の整備など課題はたくさんあります。これまで先生からは多くの助言をいただいておりますが、向後も変わらぬご指導をいただければと願っております。

秋葉先生には、まだまだお力をお借りしなければならないこともあります。ご迷惑にならないようにいたしますのでどうかよろしくお願いします。

## 大江戸線と中性液と秋葉先生

昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門

本田 一穂



大江戸線が開通して間もない2001年の初春、東京医科歯科大学腎臓内科の准教授であった秋葉隆先生が、東京女子医科大学透析室に教授として赴任されました。当時私は第四内科に在籍し医局長を務めていました。学会や研究会での秋葉先生の活発なお仕事ぶりは知っていたのですが、どんなお人柄だろうか、透析室はどうなるのだろうかと期待と不安の入り混じった気持ちでしたが、秋葉先生は、赴任直後より二瓶先生率いる第四内科と一緒に仕事をしていきたいとの意思表示をされ、回診や医局会などの行事に積極的に参加されました。

赴任早々のある日、秋葉先生が当時透析室にいたメンバーと私を飲みに誘ってくれたことがありました。その時、通勤経路のことが話題になり、高島平がお住いの秋葉先生は「大江戸線は私が女子医大に通勤するために開通したようなものだ。」と豪語されるのを聞いて、我々は早々に秋葉先生の“覇者の風格”を印象付けられたものでした。

この頃、腹膜透析（PD）の世界では、重篤な合併症である被嚢性腹膜硬化症（EPS）の症例が増加しつつある時期で、多くの透析医にPDに対して否定的な印象が拡がり、PDの氷河期、いわゆるEPSショックに陥っていました。PD合併症の腹膜病理を専門としていた私に、秋葉先生はよく、「PDはこれからどうなるのだ。このまま続けていいのか？」という厳しい問いかけをされ、返答に窮したこともありました。しかし、秋葉先生の女子医大赴任と時を同じくして、女子医大でも中性腹膜透析液が臨床の現場に導入され、PDの腹膜傷害は劇的に改善し、EPSも徐々に減少し始めました。現在、PDとHD療法の併用が保険適応となり、PDとHDを併用して継続することができるようになって、PDはHDを補いながら患者のQOLを高める補完治療としての地位を築いたといえます。

私にとって、大江戸線と中性液と秋葉先生は、いずれも21世紀の東京とPDと女子医大透析室の新たな幕開けを象徴しています。その後15年間の長きにわたって、伝統ある女子医大透析室を支えてこられた秋葉先生のご苦勞に改めて感謝と敬意を表するとともに、これからもどうか「強気でやんちゃで頼れる兄貴」として我々後輩を指導して下さるようお願いいたします。「PDは続けていいのか？」という秋葉先生からの問いかけに、「PDはHDと共生して患者さんを守る治療である」と胸を張って答えられるよう、これからも努力していきます。ありがとうございました。

## 秋葉隆教授の退任に寄せて

湘南鎌倉総合病院腎移植外科

徳本 直彦



秋葉隆先生がこのたび東京女子医科大学血液浄化療法科での教育・研究を立派に果たされ、ご健康で定年退任を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

思い起こせば秋葉先生との出会いがまるで昨日のこのように思い出されます。それは私が平成14年東京女子医科大学泌尿器科腎移植血管外科部門助手時代に当時の東間紘泌尿器科主任教授と二瓶宏第四内科主任教授から血液透析部門助手兼務を仰せつかったのが最初の始まり、出会いでした。秋葉先生ご本人と最初にお会いしたのは旧透析室隣のカンファ室で、“秋葉です。どうぞよろしく”のさわやかなお言葉からでした。血液浄化療法科は秋葉先生が初代教授でしたので、当時はこれで透析・血液浄化関連のことは秋葉先生に聞けば何でもすぐに解決可能と腎センター内で評判となっていました。体格は大変恰幅がよくその眼差しは大変優しくも、時に鋭い眼光には注意が必要でした。当時木全先生が、秋葉先生のことを“ば～ば”と呼称していたため、自然と皆も私も“ば～ば（秋葉先生）がさ、……”と親しみを込めて愛称にて呼ばせていただいております。秋葉先生、どうもすみません。

当時、丁度その頃にエコーメーカーの株式会社アロカ（当時）と木全先生と一緒に透析シャント血管の3次元（3D）エコーシステム・装置の開発を行っていました。Volモードで計測すると通常のエコーでの2次元画像が3D画像構築できるという夢の様な装置の開発でした。幸いこの装置は発売にまでこぎ着けましたが、この間秋葉先生には貴重なアドバイスやご意見をいただきまして大変感謝致しております。

また、2001年東京にて国際学会ISBP（International Society of Blood Purification）を秋葉先生が大会長で開催されました。私もスタッフの一員として参加させていただき、その懇親会での英語でのご挨拶は時間が止まったかのようにゆったりとした話の中にありながら、おもてなしと中身の濃い心こもった秋葉先生らしいスピーチでした。世界中の多くの友人に囲まれて談笑されている姿には大変誇りを感じました。ISBPには幾度か発表がてら学会参加させていただいたのですが、中でもドイツ連邦共和国のニーダーザクセン州に属する都市ツェレで開催されたISBP2002はなぜか記憶に深く残っています。それは学会の合間の夜にこぢんまりした綺麗な町並みに繰り出し町の小さなバーで秋葉先生を皆で囲んでの様々大いに語りあったこと、そして時のビールとつまみが最高に引き立て役であったことでしょうか。多分学会そのものが良かったというよりこの時間の流れがとても楽しかったためだろうと思います。

新都心腎疾患セミナー（旧称：河田町腎疾患セミナー）にも会の発足当初より世話人の一人として参加させていただきました。決してその参加自体も含め優秀な世話人ではありませんでしたが、とても良い機会を与えて下さり感謝致しております。私は現在移植外科医として腎移植をライフワークとした医療を中心に行っていますが、腎不全医療を考える際、血液浄化療法だけや腎移植だけではダメで、両者をうまく組み合わせることこそが透析の良さと移植の良さを引き出せるのでいいのではと常に考えています。そしてそのように悩んだ際には秋葉先生ならどうするだろうか？ どう考えるだろうか？と自問することになっています。

最後になりましたが、あらためてこの度はご退官おめでとうございます。長きに亘り、ご指導をいただき本当にありがとうございました。これからもお元気で、またご指導いただく機会を頂戴できましたなら幸甚です。

## 秋葉隆教授退任記念に寄せて

高知高須病院  
池辺 宗三人



秋葉先生がこのたび東京女子医科大学での臨床・教育・研究を立派に果たされ、ご健康で定年退任を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

2003年の秋に初めて秋葉教室の門を叩いて以来、今日まで秋葉先生には本当にお世話になっております。これといった業績もありませんので、当時の思い出などを記したいと思います。2004年の4月に入局をさせていただき、まずは2か月間の腎臓内科研修を経て血液浄化療法科に勤務致しました。どこの馬の骨やらわからぬ四十のおっさんを受け入れていただいたことを有難く思います。それまで13年間外科医として働いてきましたので、腎臓内科医の診療や研究に対する粘り強い姿勢に衝撃を受けたことを思い出します。私は図体が大きいので、二瓶教授の回診のプレゼンでは近づきすぎて圧迫感があると注意を受けたものです。

血液浄化療法科の診療では、透析患者さん独特の雰囲気慣れるのにしばらくかかりました。特にシャントの穿刺では多くの汗をかかせていただきました。穿刺の達人達にもずいぶん助けられました。一日中透析室に張り付いているときの出張透析は、外の空気を味わう唯一の楽しみでもありました。多くの学会・研究会にも参加させていただきました。2006年秋のERA-EDTAグラスゴーに秋葉先生のお供として参加できたことも良き思い出の一つです。その頃、中村俊介がセルテックに在籍していたこともあり、幼い息子にユニフォームを買って帰ったことを覚えています。デザインがダサかったのか、ほとんど着てくれませんでした。その学会の展示場で、あるメーカーが来場者にサッカーボールを配っていたのを必死にゲットして持ち帰りました。

もともと外科医なのでアクセスの勉強を希望しましたところ、秋葉先生が寺岡教授のところをお願いに連れて行って下さり、腎臓外科の先生方にもアクセス関連の御指導を賜ることができました。アルバイト先でもアクセスの勉強ができる場所を探して下さって、代々木山下や日高病院へお世話になることができました。

四内の先生方をはじめ、多くの先生方や技師さん、看護師さんともめぐり合うことができました。皆さんに御教示を受けながら学んだことが、今の私の診療の礎となっていることは確かです。3年という短い期間ではありましたが、秋葉先生に師事できたことを幸せに思っております。遠く四国に居りますため何ら恩返しもできませんでしたが、また是非こちらへもお越しいただけたらと思う次第です。



## 退任に寄せて～秋葉教授との思いで～

医療法人社団豊済会

菊地 勘



秋葉先生との出会いのきっかけは「C型肝炎」です。私が医師になって最初に入局したのは杏林大学医学部第3内科（肝臓内科斎藤教授）でした。学生時代に、当時始まったばかりのC型肝炎に対するインターフェロン治療とHCVの遺伝子解析に興味をもったことがきっかけでした。その後、義父の紹介で第四内科（腎臓内科二瓶教授）に入局、当時は第四内科の血液浄化部門（秋葉隆教授）という呼び名であった透析室に配属されて、その後に秋葉隆先生と子弟関係を結ぶこととなります。この際に透析患者でのC型肝炎の有病率の高さに驚かされました（当時は約15%）。当時から秋葉先生は、透析領域の肝炎を含む感染症分野のエキスパートであり、秋葉先生の指導の下に、透析患者におけるC型肝炎の疫学や予後、治療方法、そして院内感染予防の研究を開始、現在にいたるまで継続しています。この間に秋葉教授から教わったこと数多くありますが、その中の一部を紹介したいと思います。

いまでこそ臨床研究を主体とする医師が多くいますが、秋葉先生の世代では少なかったはずですが、しかし、秋葉教授は当時から臨床研究のデザイン、論文の読み方や論文の批判的吟味、EBMについてなどにとっても詳しい先生であり、そのいろはからご指導いただきました。特に、研究計画や論文の問題点などの指摘は、専門分野以外でも鋭く問題点とその改善点を指摘していました。また、臨床研究にはとても大事となる論文検索、統計解析、研究発表スライドの作り方、研究発表の仕方、論文の書き方など、臨床研究のすべてを基礎から教えていただきました。

そして臨床での診療についても、研究についても、時には厳しく、時にはやさしく、指導をしていただきました。その際の言葉で特に記憶しているものを紹介したいと思います。

「他人から常に評価されていることを忘れてはいけない。」「中途半端でやるなら発表はやめなさい、常に最善の状態でプレゼンテーションするように。」「先生が自らの手で一生涯に良くすることが出来る患者の数には限界がある。何千人、何万人のためになるすぐれた臨床研究を行い多くの患者に還元するべきだ。」これらの言葉から、秋葉先生の臨床と研究にかける情熱が感じられました。

また、同じ場所に一緒に講演に出かけたことも何回かありました。毎月、土・日にいつも講演をずっと続けるのは無理だといった私に、「人生なんてずっと忙しいよ、もし先生が暇になったら終わりだと思いなさい。」「どうせそのうち子供が大きくなったら日曜日に家にいても邪魔にされるだけ。」「仕事の依頼を絶対に断ってはいけない（自分の分野をせばめない）」「楽な道を選択してはいけない」これらの言葉から仕事のモチベーションを学びました。

そして、よく依頼された仕事が遅れる私に「先生昨日寝たでしょ、寝たらだめだよ、仕事が終わらないのに」「原稿などの締め切りを守りなさい、信用を失い仕事に来なくなるよ（師匠ゆずりで僕も締め切りが守れない）」

現在はこのような師匠の様々な教えを守りがんばっています。

秋葉先生お疲れ様でした。これからもご指導をよろしくお願いいたします。



▲2001年PD学会

# 思い出の アルバム



▲2002年ASN



▲2002年忘年会



▲2004年ASN

## 2001～2006年



▲2006年歓送会

▼2005年歓送会





▲2008年旧透析室資料室にて



▲2008年抄読会



▲2008年旧透析室資料室にて



## 2008年



▲2008年ダブローズ（代官山）にて

▼2008年DOPPS会議（品川プリンス）





▲2009年資料室にて

2009年



▲2009年ステファノ（神楽坂）にて



▲2009年医工学治療学会



▲2009年納涼会

▼2009年腎内科医局旅行（陣屋）にて





▲2010年還暦祝い (サンシャイン水族館)

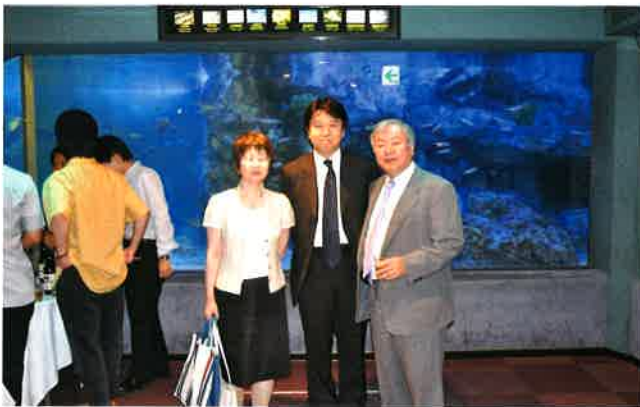


▲2010年還暦祝い (サンシャイン水族館)



2010年新病棟にて▶

2010年



▲2010年還暦祝い (サンシャイン水族館)



▲2010年還暦祝い (サンシャイン水族館)



◀2010年還暦祝い (サンシャイン水族館)

客座教授秋叶隆先生授聘



▲2011年2月中華人民解放軍第三軍医大学大坪医院腎内科客員教授



▲2011年日本人工臓器学会



▲2011年日本アフェリシス学会



▲2011年忘年会



▲2011年第49回日本人工臓器学会大会（東京）



▲2011年第32回日本アフェリシス学会学術大会（東京）



▲2011年東日本大震災いわき避難



▲2011年東日本大震災時（透析室事務局）

2011年



▲2012年日本透析医学会（札幌）



▲2012年透析室回診



▲2012年忘年会



▲2012年忘年会



▲2013年透析室看護ミーティング



▲2013年看護師一覧

2012～2013年



▲2013年透析室

2013 ~ 2014年



▲2013年内田先生就任祝い



▲2013年日本透析医学会（櫛田神社）



▲2014年日本透析医学会



▲2014年学生講義







2015年

▲2015年日本急性血液浄化学会



▲2015年日本急性血液浄化学会



▲2015年日本急性血液浄化学会



▲2015年日本急性血液浄化学会



▲2015年クリスマスィブ (透析室)



▲2015年日本急性血液浄化学会

# 業 績

---

## 原 著【欧文】

---

- Akiba T, Nakagawa S, Takeuchi J: Efficient extraction of small molecules substances by hemofiltration therapy. *Artificial Organs* 3 (Suppl): 123-127, 1979.
- Shinoda T, Akiba T, Suenaga M, Yoshiyama N, Nakagawa S: A trial of a filtration and reabsorption artificial kidney. *Artificial Organs* 3 (Suppl): 132-135, 1979.
- Sasaki S, Akiba T, Suenaga M, Tomura S, Yoshiyama N, Nakagawa S, Shouji T, Sasaoka T, and Takeuchi J: Ten years' survey of dialysis-associated tuberculosis. *Nephron* 24(3): 141-145, 1979.
- Yoshiyama N, Akiba T, Matsui N, Iwamoto H, Ogura M, Nakagawa S, and Takeuchi J: Deterioration of renal function in non-dialytic uraemics caused by  $1\alpha$ -OH-D<sub>3</sub> which was not attributable to hypercalcaemia. *Proc Europ Dial Transpl Assoc*. 17: 569-574, 1980.
- Yoshiyama N, Akiba T, Suenaga M, Nakagawa S, Takeuchi J, Okamoto R, Teraoka G, Tachibana F: A case of male uremic patient with galactorrhea (author's trans). *Nippon Jinzo Gakkai Shi* 22(6): 689-695, 1980.
- Akiba T, Endou H, Koseki C, Sakai F, Horiuchi N, and Suda T: Localization of 25-hydroxyvitamin D<sub>3</sub> 1alpha-hydroxylase activity in the mammalian kidney. *Biochem Biophys Res Commun* 94: 313-318, 1980.
- Nakamura Y, Ozawa K, Akiba T, Matsui N, Yoshiyama N, Nakagawa S and Takeuchi J: Modified leukopenic response and complement activation during dialyzer reuse. *Proceedings of the Clinical Dialysis & Transplant Forum (CDTF)* 10: 237-239, 1980.
- Nakagawa S, Matsui N, Akiba T, Shinoda T, Fukudome Y, Baba M, Nakanishi T, Takeuchi J: Evaluation of prostaglandin D<sub>2</sub> (PGD<sub>2</sub>) as an anticoagulative agent for hemodialysis in comparison with prostaglandin E<sub>1</sub> (PGE<sub>1</sub>). *Proc Eur Dial Transplant Assoc* 18: 117-121, 1981.
- Tomita K, Akiba T, Shinohara S, Mito Y, Tomura S, Matsuda O, Ideura T, Shiigai T, Takeuchi J: Primary normokalemic aldosteronism. *Nippon Rinsho* 39(11): 3602-3607, 1981.
- Matsui N, Shinoda T, Akiba T, Yoshiyama N, Nakagawa S, Takeuchi J, Teraoka J: Long-term effect of hemodialysis without heparin on abnormal lipid metabolism in patients on regular dialysis treatment (author's trans). *Nippon Jinzo Gakkai Shi* 23(9): 1225-1232, 1981.
- Miyazaki H, Baba M, Akiba T, Suenaga M, Hazama S, and Miyake S: Clinical Trial of Plasmapheresis for Hepatitis-associated anemia syndrome. *Therapeutic Plasmapheresis (III)* edit. by Oda T, pp.507-510, F.K. Schattauer Verlag, Stuttgart, 1983.
- Ohnishi K, Akiba T, Miyake S, Ajisaka R: case of disopyramide-induced hypoglycemia. *Nippon Naika Gakkai Zasshi* 72(9): 1177-1180, 1983.
- Nakagawa S, Ogura M, Akiba T, Iwamoto H, Shibamoto T: Development of nonaluminum phosphate binder hydrous cerium oxide ( $Ce(OH)_{4-2a}/nH_2O$ ). *Trans Am Soc Artif Intern Organs* 31: 155-158, 1985.
- Yoshiyama N, Aoki H, Chida Y, Akiba T, Tomita K: Animal Experiment and Clinical Application for CAPD using hydroxyapatite Percutaneous access device. *Advance in biomaterials* 7: 1-4, 1985.
- Yokota Y, Baba M, Maekawa K, Ishida U, Akiba T, Miyake S, Nakagawa S, and Nagasawa N: Beneficial effect of plasma exchange on severe renal failure in Goodpasture's Syndrome. *Therapeutic Plasmapheresis (IV)* Proceedings of the 5th symposium on therapeutic plasmapheresis. ed. by Oda T pp. 427-431, Schattauer, Stuttgart New York 1986.
- Ozawa K, Goto K, Kijima Y, Nakayama I, Shoji T, Sasaoka T, Akiba T, and Nakagawa S: The effect of CAPD on lipid abnormalities detected by apoproteins and ultracentrifugal lipid subfractions. *Frontiers in Peritoneal dialysis*. Field, Rich and Associates, Inc. New York 1986.
- Ujiiie K, Kanemitsu H, Suenaga M, Shibamoto T, Maeda Y, Akiba T, Tomita K, Oshima H, Marumo F: Efficacy of immunoadsorption plasmapheresis in Guillain-Barre syndrome. *Therapeutic Plasmapheresis (\*\*)* Proceedings of the

- 5th symposium on therapeutic plasmapheresis. ed. by Oda T, pp.\*\*\*\*\*, Schattauer, Stuttgart New York 19\*\*.
- Akiba T, Alpern RJ, Eveloff J, Calamina J, Warnock DG: Electrogenic sodium/bicarbonate cotransport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicles. *J Clin Invest* 78(12): 1472-1478,1986.
  - Akiba T, Rocco VK, Warnock DG: Parallel adaptation of the rabbit renal cortical sodium/proton antiporter and sodium/bicarbonate cotransporter in metabolic acidosis and alkalosis. *J Clin Invest* 80: 308-315, 1987.
  - Akiba T, Warnock DG: Electrogenic sodium carbonate/bicarbonate cotransport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicles. (printed in abstract form in *Clin. Res.* 35: and submitted to *Pflüger Archives*.)
  - Akiba T et al: Independent effect of metabolic acidosis and glucocorticoids on the Na/H antiporter of rabbit renal cortex. (printed in abstract form in *Kidney Int.* 33(1): 397a,1988. and in preparation for submission to *Am J Physiol*)
  - Akiba T, Taniguchi K, Marumo F, Matsuda O: Clinical significance of renal hemodynamics in severe congestive heart failure: Responsiveness to ultrafiltration therapy. *Jap Cir J* 53: 191-196, 1989.
  - Yoshiyama N, Aoki H, Chida Y, Akiba T, Akao M, Yoshizawa K, Shin Y: Clinical application of hydroxyapatite for CAPD therapy MRS Int'l. Mtg. on Adv. Mats. 1: 397-402, 1989.
  - Yoshiyama N, Aoki H, Yoshizawa K, Chida Y, Akiba T, Kawajiri K, Shin Y, Akao M: Clinical application of hydroxyapatite percutaneous access device to peritoneal dialysis treatment. *Bioceramics* 2: 375-382, 1990.
  - Kanemitsu H, Sasaki S, Akiba T, Marumo F: Ureteral obstruction decreases ATP dependent H<sup>+</sup>pump activity of rabbit renal outer medulla. *Tohoku J Exp Med* 160: 223-229, 1990.
  - Otsuka M, Akiba T, Okita Y, Tomita K, Yoshiyama N, Sasaoka T, Kanayama M, Marumo M: Lactic acidosis with hypoglycemia and hyperammonemia observed in two uremic patients during calcium hopatenate treatment. *Jpn J Med* 29(3): 324-328, 1990.
  - Shibamoto T, Akiba T, Yamada T, Iino Y, and Oshima Y: In vivo estimation of highly permeable membrane dialyzer by dextran clearance. *Artificial Organ.* in press.
  - Uchida S, Akiba T, Sasaki S, Tomita K, and Marumo F: Unilateral kidney associated with various metabolic disorders in three siblings. *Nephron* 54(1): 86-88, 1990.
  - Marumo F, Akiba T: Disturbance of trace elements in diabetic patients. *Nippon Rinsho* 48 (Suppl): 722-730, 1990.
  - Akiba T, Ando R, Shioyama K, Kuriyama R, Chida R, Ono J, Kurihara S, Hoshino M, Togashi K, Marumo F: Intermittent high dose oral 1,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub> for secondary hyperparathyroidism in hemodialysis patients. *J Bone Mineral Metab* 9: 287-293, 1991.
  - Shibamoto T, Akiba T, Maeda M, Sakamoto H, Oshima H, Marumo F, Ujiie K, Suenaga M: Study of immunoadsorbent therapy in five severe cases of myasthenia gravis. *Therapeutic Plasmapheresis (IX) Proceedings of the 9th symposium on therapeutic plasmapheresis.* ed. by T. Oda, pp. 209-213, Schattauer, Stuttgart New York 1991. (*Jap J Aheresis* 9: 209-213, 1991)
  - Marumo F, Tomita K, Sasaki S, Akiba T, Hirata Y: Endothelin and renal failure. *Int J Artif Organs* 14(5): 259-261, 1991.
  - Akiba T: Vitamin D "pulse" therapy for secondary hyperparathyroidism due to long-term hemodialysis in patients with chronic kidney failure, *Nippon Rinsho* 49 (Suppl): 720-724, 1991.
  - Shibamoto T, Akiba T: Anticoagulant, *Nippon Rinsho* 49 (Suppl): 175-183, 1991.
  - Akiba T, Tachibana K, Ozawa K, Chida Y, Ogasawara H, Yoshiyama N, Hoshino M, Inada T, Marumo F: Long term use of low molecular weight heparin ameliorates hyperlipidemia in patients on hemodialysis. *ASAIO Transactions* 38: 326-330, 1992.
  - Tachibana K, Akiba T, Tomita K, Marumo F, Toyoura T, Morio T, Yata J, Shibamoto T, Oshima H: Effect of plasma exchange on familial hemophagocytic lymphohistiocytosis. *Therapeutic Plasmapheresis (XI)*: 383-386, 1992.
  - Eguchi S, Hirata Y, Imai T, Kanno K, Akiba T, Sakamoto A, Yanagisawa M, Masaki T, Marumo F: Endothelin receptors in human parathyroid gland. *Biochem Biophys Res Comm* 183: 1448-1455, 1992.
  - Ishibashi K, Sasaki S, Akiba T, Marumo F: Expression of bone morphogenic protein 7 mRNA in MDCK cells.

- Biochem Biophys Res Comm 193: 235-239, 1993.
- Shibamoto T, Akiba T, Oshima H, Marumo F, Naruse M, Nakajima K, Ohba H, Matsuda O: Hemolysis and platelet loss in plasma separation with membrane-separator and centrifugation methods. Therapeutic Plasmapheresis (XII): 767-765, 1993.
- Owada A, Tomita K, Ujiie K, Akiba T, Marumo F: Decreased lithium clearance in patients with hyperthyroidism. Nephron 64: 37-41, 1993.
- Held PJ, Akiba T, Stearns NS, Marumo F, Turrenne MN, Maeda K, Port FK: Survival of middleaged dialysis patients in Japan and the US, 1988-89. Developments in Nephrology Volume 35 Death on dialysis p.1323, ed. by Friedman EA Kluwer Academic Publishers 1994.
- Akiba T, Ando K, Marumo F: Changes in molecular pattern of atrial natriuretic peptide in hemodialysis patients: Int J Artificial Organs 17(11): 585-590, 1994.
- Sano N, Shibamoto T, Akiba T, Oshima H: Effects of replacement fluid (Freshfrozen plasma or albumin) on dose of nafamostat mesilate in single membrane type plasma exchange. Jap J Apheresis 13(2): 189-190, 1994.
- Katayama I, Sawada Y, Yokozeki H, Nishioka K, Akiba T: Successful treatment of Systemic amyloidosis by combination chemotherapy and plasmapheresis. Effect of plasma IL6 and serum amyloid protein A. Int J Dermatol 33(9): 672-673, 1994.
- Akiba T, Tachibana K, Togashi K, Hiroe M, and Marumo F: Plasma human brain natriuretic peptide in chronic renal failure. Clin Nephrol 44 (Suppl 1): s59-s62, 1995.
- Akiba T, Kurihara S, Yamada T, Ogasawara M, Yoneshima H, and Marumo F: Intravenous calcitriol can increase bone mass in hemodialysis patients with osteitis fibrosa. Bone Mineral Metab 21: 109-113, 1995.
- Akiba T, Matsui N, Shinohara S, Fujiwara H, Nomura T, Marumo F: Effects of Recombinant human erythropoietin and exercise training on exercise capacity in hemodialysis patients. Artificial Organs 19(12): 1262-1268, 1995.
- Kurihara S, Akiba T, Takeuchi M, Nakajima K, Inoue H, Yoneshima H: Laparoscopic mesenterioadhesiotomy and Tenchoff catheter placement in patients with predisposing abdominal surgery. Artificial Organs 19(12): 1248-1250, 1995.
- Kamiyama T, Miyakawa H, Li JP, Akiba T, Lie J, Liu J, Marumo F, Sato C: Effect of one-year cadmium exposure on livers and kidneys and their relation to glutathione levels. Research Communications in molecular Pathology and Pharmacology 88(2): 177-186, 1995.
- Akiba T, Tamura T, Tamura H, Sakamoto N, Takamoto T, Hoshino M, Shimoda K, Suenaga M, Sekiya T, Marumo F: Non-invasive detection of coronary heart disease in end-stage renal disease patients. Clinical Nephrology (submitted) 1995.
- Sakurai Y, Kurihara R, Takeuchi M, Suga S, Owada K, Yoneshima H, Osono H, Matsunobu S, Hayama S, Akiba T: A case of SLE-like syndrome and severe hemodialysis anemia caused by methyldopa. Nipponn naika gakkai zasshi 84(12): 2069-2071, 1995.
- Nakayama N, Liu JP, Akiba T, Marumo F, Sato C: Low prevalence of antihepatitis C virus antibodies in female hemodialysis patients without blood transfusion: A multicenter analysis. J Medical Virology 48(3): 284-288, 1996.
- Yamada T, Akiba T, Marumo F: One-compartment urea kinetic modeling is not acceptable for quantifying the adequacy of hemodialysis: Comparison of a one-compartment model with two-compartment model. Blood Purif 14(2): 128-135, 1996.
- Sakai Y, Izumi N, Tazawa J, Uchihara M, Akiba T, Marumo F, Sato C: Characteristics of anti-HCV antibodypositive patients with hepatocellular carcinoma on chronic hemodialysis: Recommendation of periodic ultrasonography for early detection. Nephron 74(2): 386-389, 1996.
- Yokota K, Sano N, Shibamoto T, Akiba T: Clinical effects of lymphocytapheresis therapy in multiple sclerosis and influence on blood corpuscles. Jap J Apheresis 158(1): 114-115, 1996.

- Sano N, Shibamoto T, Tamura H, Tamura T, Akiba T: Effect of residual free sodium citrate in fresh frozen plasma on plasma ionized calcium concentration and activated coagulation time in plasma exchange therapy. *Jap J Apheresis* 15(1): 128-129, 1996.
- Yumita S, Suzuki M, Akiba T, Akizawa T, Seino Y, Kurokawa K: Levels of serum 1,25(OH)<sub>2</sub> D in patients with pre-dialysis chronic renal failure. *Tohoku J Exp Med* 180: 45-56, 1996.
- Kurokawa K, Akizawa T, Suzuki M, Akiba T, Ogata E, Slatopolsky E: Effect of 22-oxacalcitriol on hyperparathyroidism of dialysis patients: results of a preliminary study. *Nephrol Dial Transplant* 11 (Suppl 3): 121-124, 1996.
- Shinzato T, Nakai S, Akiba T, Yamazaki C, Sasaki T, Kitaoka T, Kubo K, Shinoda T, Kurokawa K, Marumo F, Maeda K: Survival in longterm hemodialysis patients: results from the annual survey of the Japanese Society for dialysis Therapy. *Nephrol Dial Transplant* 11: 2139-2142, 1996.
- Shinzato T, Nakai S, Akiba T, Yamazaki C, Sasaki T, Kitaoka T, Kubo K, Shinoda T, Kurokawa K, Marumo F, Maeda K: Current status of renal replacement therapy in Japan: results of the annual survey of the Japanese Society for dialysis Therapy. *Nephrol Dial Transplant* 11(11): 2143-2150, 1996.
- Niwa T, Katsuzaki T, Miyazaki S, Momoi T, Akiba T, Miyazaki T, Nokura K, Hayase F, Tatemichi N, Takei Y: Amyloid  $\beta_2$ -microglobulin is modified with imidazolone, a novel advanced glycation end product, in dialysis-related amyloidosis. *Kidney Int* 51(1): 187-194, 1997.
- Li JP, Akiba T, Marumo F: Long-term low-dose cadmium-induced nephropathy with renal osteodystrophy in ovariectomized rats. *J Toxicological Sciences* 22(3): 185-198, 1997.
- Akiba T, Ota T, Fushimi K, Tamura H, Hata T, Sasaki T, Marumo F: Water Channel AQP 1, 3, and 4 in the human peritoneum and peritoneal dialysate. *Advances in Peritoneal Dialysis* 13: 1-4, 1997.
- Akiba T, Ando R, Kurihara S, Heishi M, Tazawa H, Marumo F: Is the bone mass of hemodialysis patients genetically determined? *Kidney Int* 62 (Suppl): s69-s71, 1997.
- Akizawa T, Kinugasa E, Akiba T, Tsukamoto Y, Kurokawa K: Incidence and clinical characteristics of hypoparathyroidism in hemodialysis patients. *Kidney Int* 52 (Suppl): s72-S74, 1997.
- Hiratsuka H, Katsuta O, Toyota N, Tsuchitani M, Akiba T, Marumo F, Umemura T: Iron deposition at mineralization fronts and osteoid formation following chronic cadmium exposure in ovariectomized rats. *Toxicology and applied pharmacology* 143(2): 348-356, 1997.
- Marumo F, Akiba T: Trace elements in diabetes mellitus. *Nippon Rinsho* 55 (Suppl): 660-666, 1997.
- Shinzato T, Nakai S, Akiba T, Yamazaki C, Sasaki R, Kitaoka T, Kubo K, Shinoda T, Kurokawa K, Marumo F, Sato T, Maeda K: Current status of renal replacement therapy in Japan: results of the annual survey of the Japanese society for dialysis therapy. *Nephrol Dial Transplant* 12(5): 889-898, 1997.
- Shinzato T, Nakai S, Akiba T, Yamazaki C, Sasaki R, Kitaoka T, Kubo K, Shinoda T, Kurokawa K, Marumo F, Sato T, Maeda K: Survival long-term haemodialysis patients: results from the annual survey of the Japanese survival in long-term haemodialysis patients: results from the annual survey of the Japanese society for dialysis therapy. *Nephrol Dial Transplant* 12(5): 884-888, 1997
- Hata T, Akiba T, Matsuda O, Haneda M, Noda Y, Adachi M, Matsumura Y, Shiba S, Tachibana K, Marumo F: Closed-system, automated continuous peritoneal dialysis in severe acute pancreatitis. *Clin Exper Nephrol* 2: 151-154, 1998.
- Akiba T, Marumo F, Owada A, Kurihara S, Inoue A, Chida Y, Ando R, Shinoda T, Ishida Y, Ohashi Y: Controlled trial of falecalcitriol versus alfacalcidol in suppression of parathyroid hormone in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Am J Kidney Dis* 132(2): 238-246, 1998.
- Uchihara M, Izumi N, Sakai Y, Yauchi T, Miyake S, Akiba T, Marumo F, Sato C: Interferon therapy for chronic hepatitis C in hemodialysis patients: Increased serum levels of interferon. *Nephron* 80(1): 51-56, 1998.
- Akiba T, Lee Ping, Oshima H: Oral fluid removal by water-adsorbent polymer for end-stage renal disease. *J Artif*

- Organs 1: 80-82, 1998.
- Uchihara M, Izumi N, Sakai Y, Yauchi T, Miyake S, Sakai T, Akiba T, Marumo F, Sato C: Interferon therapy for chronic hepatitis C in hemodialysis patients: increased serum levels of interferon. *Nephron* 80(1): 51-58, 1998.
  - Shimoda K, Akiba T, Matsushima T, Rai T, Abe K, Hoshino M: Niceritol decreases serum phosphate levels in chronic hemodialysis patients. *Nippon Jinzo Gakkai Kaishi* 40(1): 1-7, 1998.
  - Shinzato T, Nakai S, Akiba T, Yamagami S, Yamazaki C, Kitaoka T, Kubo K, Kenji M, Morii H: Report on the annual statistical survey of the Japanese Society for Dialysis Therapy 1996. *Kidney Int* 55(2): 700-712, 1999.
  - Kuboyama N, Watanabe Y, Yamaguchi M, Sato K, Suzuki T, Akiba T: Effects of niceritol on faecal and urinary excretion in normal rats. *Nephrol Dial Transplant* 14(3): 610-614, 1999.
  - Katai K, Tanaka H, Tatsumi S, Fukunaga Y, Genjida K, Morita K, Kuboyama N, Suzuki T, Akiba T, Miyamoto K, Takeda E: Nicotinamide inhibits sodium-dependent phosphate cotransport activity in rat small intestine. *Nephrol Dial Transplant* 14: 1195-1201, 1999.
  - Akiba T, Ota T, Fushimi K, Shimamura H, Tamura H, Sasaki S, Marumo F: Water channel AQP-1 in the primary cell culture of rat peritoneum. *Advances in Peritoneal Dialysis* 15: 3-6, 1999.
  - Yamada T, Hiraga S, Akiba T, Marumo F: Analysis of Urea Nitrogen and Creatinine Kinetics in Hemodialysis: Comparison of a Variable-Volume Two-Compartment Model with a Regional Blood Flow Model and Investigation of an Appropriate Solute Kinetics Model for Clinical Application. *Blood Purif* 18(1): 18-29, 2000.
  - Akiba T, Nakai S, Shinzato T, Yamazaki C, Kitaoka T, Kubo K, Maeda K: Why has the gross mortality of dialysis patients increased in Japan? *Kidney Int* 57 (Suppl 7): S60-S65, 2000.
  - Nakayama E, Akiba T, Marumo F, Sato C: Prognosis of anti-hepatitis C virus antibody-positive patients on regular hemodialysis therapy. *J Am Soc Nephrol* 11(10): 1896-1902, 2000.
  - Tao Wang, Georgi Abraham, Akiba T, Peter Blake, Ram Gokai, Myung Jae Kim, Hi Bahl Lee, Wai kei Lo, Wai Choong Lye, Milly Mathew, Dhavvee Sirivongs, Si-yen Tan, Kriang Tungsanga, Wu-chang Yang, Bengt Lindholm: Peritoneal dialysis in Asia in the 21st century: perspectives on and obstacles to peritoneal dialysis therapy in Asian countries. *Perit Dial Int* 22: 243-248, 2000.
  - Akiba T: Problems of aged dialysis patients. *Nippon Naika Gakkai Zasshi* 89(7): 1379-1384, 2000.
  - Yamada T, Akiba T, Sasaki S: Analysis of  $\beta_2$ -microglobulin kinetics in hemodialysis by a modified variable-volume one-compartment model. *Blood Purif* 19(4): 388-394, 2001.
  - Terada Y, Tanaka H, Okado T, Inoshita S, Kuwahara M, Akiba T, Sasaki S, Marumo F: Efficient and ligand-dependent regulated erythropoietin production by naked DNA injection and in vivo electroporation. *Am J Kidney Dis* 38(4), Suppl 1: S50-S53, 2001.
  - Akizawa T, Suzuki M, Akiba T, Nishizawa Y, Kurokawa K: Clinical effects of maxacalcitol on secondary hyperparathyroidism of uremic patients. *Am J Kidney Dis*, 38(4), Suppl 1: S147-S151, 2001.
  - Nakai S, Iseki K, Tabei K, Kubo K, Masakane I, Fushimi K, Kikuchi K, Shinzato T, Sanaka T, Akiba T: Outcomes of hemodiafiltration based on Japanese dialysis patient registry Hemodialysis modalities. *Am J Kidney Dis* 38(4), Suppl: S212-S216, 2001.
  - Nakai S, Shinzato T, Sanaka T, Kikuchi K, Kitaoka T, Shinoda T, Yamazaki C, Sakai R, Omori H, Morita O, Iseki K, Kubo K, Tabei K, Masakane I, Fushimi K, Akiba T: An overview of dialysis treatment in Japan (as of Dec.31, 1999) *J Jpn Soc Dial Ther* 34(7): 1121-1147, 2001.
  - Nitta K, Ishizuka T, Horita S, Hayashi T, Ajiro A, Uchida K, Honda K, Oba T, Kawashima A, Yumura W, Akiba T, Nihei H: Soluble osteopontin and vascular calcification in hemodialysis patients. *Nephron* 89(4): 455-458, 2001.
  - Asai T, Kuwahara M, Sato K, Terada Y, Kurihara S, Yoneshima H, Akiba T, Marumo F: Collagen type 1 $\alpha$ 1 gene polymorphism may be associated with the rate of bone mineral density decrease in female hemodialyzed patients. *Clin Exp Nephrol* 5: 234-239, 2001.
  - Nitta K, Akiba T, Kawashima A, Kimata N, Miwa N, Uchida K, Honda K, Takei T, Otsubo S, Yumura W, Kabaya

- T, Nihei H: Serum levels of macrophage colony-stimulating factor and aortic calcification in hemodialysis patients. *Am J Nephrol* 21(6): 465-470, 2001.
- Mineshima M, Yokoi R, Horibe K, Eguchi K, Kaneko I, Agishi T, Akiba T: Effects of operating conditions on selectivity of a plasma fractionator in double filtration plasmapheresis. *Ther Apher* 5(6): 444-448, 2001.
- Yamashita Y, Tanase T, Terada Y, Tamura H, Akiba T, Inoue H, Ida T, Sasaki S, Marumo F, Nakamoto Y: Glomerulonephritis after methicillin — resistant staphylococcus aureus infection resulting in end-stage renal failure. *Intern Med* 40(5): 424-427, 2001.
- Kanda E, Shimamura H, Tamura H, Uchida S, Terada Y, Sakamoto H, Kuwabara M, Akiba T, Ida T, Sasaki S, Marumo F: IgA nephropathy with complement deficiency. *Intern Med* 40(1): 52-55, 2001.
- Mineshima M, Sato Y, Ishimori I, Ishida K, Kaneko I, Akiba T, Nihei H, Sunohara T, Hattori H: Measurement of internal filtration (if) flow rate in high flux dialyzers by doppler ultrasonography. *ASAIO J* 47(2): 156, 2001.
- Akizawa T, Koshikawa S, Iida N, Marumo F, Akiba T, Kawaguchi Y, Imada A, Yamazaki C, Suzuki M, Tsubakihara Y: Clinical effects of L-threo-3, 4-dihydroxyphenylserine on orthostatic hypotension in hemodialysis patients. *Nephron* 90(4): 384-390, 2002.
- Akizawa T, Suzuki M, Akiba T, Nishizawa Y, Ohashi Y, Ogata E, Satopolsky E, Kurokawa K: Long-term effect of 1,25-dihydroxy-22-oxavitamin D<sub>3</sub> on secondary hyperparathyroidism in haemodialysis patients. One-year administration study. *Nephrol Dial Transplant* 17 (Suppl 10): 28-36, 2002.
- Ishizuka T, Nitta K, Yokoyama T, Hayashi T, Futatsuyama K, Kimata N, Miwa N, Nishida E, Kawashima A, Akiba T, Nihei H: Increased serum levels of interleukin-12 may be associated with Th 1 differentiation in hemodialysis patients. *Nephron* 90(4): 503-504, 2002.
- Yoshimoto Y, Shibamoto T, Sano N, Kuwahara M, Akiba T, Marumo F: Kinetics of anticoagulant binding to continuous hemofilter membranes. *J Artif Organs* 5: 136-140, 2002.
- Koshikawa S, Akizawa T, Kurokawa K, Marumo F, Sakai O, Arakawa M, Morii H, Seino Y, Ogata E, Ohashi Y, Akiba T, Tsukamoto Y, Suzuki M: Clinical effect of intravenous calcitriol administration on secondary hyperparathyroidism. *Nephron* 90(4): 413-423, 2002.
- Nitta K, Akiba T, Kawashima A, Kimata N, Miwa N, Nishida E, Uchida K, Honda K, Yumura W, Nihei H: Characterization of Th1/Th2 profile in uremic patients. *Nephron* 91(3): 492-495, 2002.
- Kuwahara M, Ota T, Yong G, Asai T, Terada Y, Akiba T, Marumo F: Renal expression of metallothionein in rats treated with cadmium. *Clin Exp Nephrol* 6: 79-84, 2002.
- Nakai S, Shinzato T, Sanaka T, Kikuchi K, Kitaoka T, Shinoda T, Yamazaki C, Sakai R, Omori H, Morita O, Iseki K, Kubo K, Tabei K, Masakane I, Fushimi K, Wada A, Miwa N, Akiba T: The current state of chronic dialysis treatment in Japan (as of December. 31, 2000) *J Jpn Soc Dial Ther* 35(7): 1155-1184, 2002.
- Iida N, Koshikawa S, Akizawa T, Tsubakihara Y, Marumo F, Akiba T, Kawaguchi Y, Imada A, Yamazaki C, Suzuki M: Effects of L-threo-3, 4-dihydroxyphenylserine on orthostatic hypotension in hemodialysis patients. *Am J Nephrol* 22(4): 338-346, 2002.
- Kimata N, Nitta K, Akiba T, Tominaga K, Suzuki K, Watanabe Y, Haga T, Kawashima A, Miwa N, Nishida E, Aoki T, Nihei H: Catheter dysfunction and thrombosis of double-lumen hemodialysis catheters placed in the femoral vein. *Clin Nephrol* 58(3): 215-219, 2002.
- Nitta K, Akiba T, Takei T, Kimata N, Watanabe Y, Oba T, Uchida K, Kawashima A, Yumura W, Kabaya T, Nihei H: Inflammation and resistance to erythropoietin in hemodialysis patients. *Acta Haematol* 108(3): 168-170, 2002.
- Terada Y, Tanaka H, Okado T, Shimamura H, Inoshita S, Kuwahara M, Akiba T, Sasaki S: Ligand-regulatable erythropoietin production by plasmid injection and in vivo electroporation. *Kidney Int* 62(6): 1966-1976, 2002.
- Ando M, Iwata A, Ozeki Y, Tsuchiya K, Akiba T, Nihei H: Circulating platelet-derived microparticles with procoagulant activity may be a potential cause of thrombosis in uremic patients. *Kidney Int* 62(5): 1757-1763, 2002.
- Ota T, Kuwahara M, Sculing F, Terada Y, Akiba T, Sasaki S, Marumo F: Expression of aquaporin-1 (AQPI) in the



- peritoneal tissues: localization and regulation by hyperosmolality. *Perit Dial Int* 22(3): 307-315, 2002.
- Wang T, Abraham G, Akiba T, Blake P, Gokal R, Kim MJ, Lee HB, Lo WK, Lye WC, Mathew M, Sirivongs D, Tan SY, Tungsanga K, Yang WC, Lindholm B: Peritoneal dialysis in Asia in the 21st century: perspectives on and obstacles to peritoneal dialysis therapy in Asian countries. *Perit Dial Int* 22(2): 243-248, 2002.
- Mineshima M, Akiba T: Double filtration plasmapheresis in critical care. *Ther Apher* 6(3): 180-183, 2002.
- Moriyama T, Honda K, Watanabe Y, Itabashi M, Tsukada M, Koike M, Onuki T, Uchida K, Kawashima A, Nitta K, Yumura W, Akiba T, Nihei H: The effectiveness of steroid therapy for advanced IgA nephropathy with renal dysfunction. *Nephrology* 7(S4): A111-a112, 2002.
- Rayner HC, Pisoni RL, Gillespie BW, Goodkin DA, Akiba T, Akizawa T, Saito A, Eric W Y, Friendrich K, Port FK: Creation, cannulation and survival of arteriovenous fistulae: data from the dialysis outcomes and practice patterns study. *Kidney Int* 63: 323-330, 2003.
- Yasuda M, Akiba T, Nihei H: Multicenter clinical trial of 22-oxa-1, 25-dihydroxyvitamin D3 for chronic dialysis patients. *Am J Kidney Dis* 41(3): Suppl 1: S108-111, 2003.
- Nakai S, Shinzato T, Sanaka T, Kikuchi K, Kitaoka T, Shinoda T, Yamazaki C, Sakai R, Omori H, Morita O, Iseki K, Kubo K, Tabei K, Masakane I, Fushimi K, Wada A, Miwa N, Akiba T: for Patient Registration Committee, Japanese Society for Dialysis Therapy: The current state of chronic dialysis treatment in Japan (as of December 31, 2000). *Ther Apher* 7(1): 3-35, 2003.
- Miwa N, Nitta K, Kimata N, Watanabe Y, Suzuki K, Kawashima A, Hoga M, Watanabe R, Aoki T, Akiba T, Nihei H: An Evaluation of 1-84 PTH measurement in relation to bone alkaline phosphatase and bone gla protein in hemodialysis patients. *Nephron Clin Pract* 94(2): C29-C32, 2003.
- Nitta K, Akiba T, Uchida K, Kawashima A, Yumura W, Kabaya T, Nihei H: The progression of vascular calcification and serum osteoprotegerin levels in patients on long-term hemodialysis. *Am J Kidney Dis* 42(2): 303-309, 2003.
- Nitta K, Akiba T, Nihei H: Aldosterone blockade and vascular calcification in hemodialysis patients. *Am J Med* 115(3): 250, 2003.
- Honda K, Nitta K, Horita S, Tsukada M, Itabashi M, Nihei H, Akiba T, Oda H: Histologic criteria for diagnosing encapsulating peritoneal sclerosis in continuous ambulatory peritoneal dialysis patients. *Adv Perit Dial* 19: 169-175, 2003.
- Ishida H, Tanabe K, Toma H, Akiba T: Therapeutic apheresis therapy for ABO-incompatible renal transplantation. *Ther Apher Dial* 7(6): 520-528, 2003.
- Nakamoto H, Kawamoto A, Tanabe Y, Nakagawa Y, Nishida E, Akiba T, Suzuki H: Telemedicine system using a cellular telephone for continuous ambulatory peritoneal dialysis patients. *Adv Perit Dial* 19: 124-129, 2003.
- Nishimura M, Wada M, Akiba T, Yamada M: Scanning electron microscopy of food-poisoning *Bacterium Bacillus cereus* using a variable-pressure SEM. *Journal of Electron Microscopy* 52(2): 153-159, 2003.
- Goodkin DA, Bragg-Gresham JL, Koenig KG, Wolfe RA, Akiba T, Andreucci VE, Saito A, Rayner HC, Kurokawa K, Port FK, Held PJ, Young EW: Association of comorbid conditions and mortality in hemodialysis patients in Europe, Japan, and the United States: the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *J Am Soc Nephrol* 14(12): 3270-3277, 2003.
- Kanai M, Tanabe S, Okada M, Suzuki H, Niki T, Katsuura M, Akiba T, Hayadaka K: Polymorphisms of heme oxygenase-1 and bilirubin UDP-glucuronosyltransferase genes are not associated with Kawasaki disease susceptibility. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 200(3): 155-159, 2003.
- Ota K, Akiba T, Nakao T, Nakayama M, Maeba T, Park MS, Tranaeus A, Yorioka N. Icodextrin Study Group.: Peritoneal ultrafiltration and serum icodextrin concentration during dialysis with 7.5% icodextrin solution in Japanese patients. *Perit Dial Int* 23(4): 356-361, 2003.
- Naito M, Kawashima A, Akiba T, Takanashi M, Nihei H: Effects of an angiotensin II receptor antagonist and

- angiotensin-converting enzyme inhibitors on burst forming units-erythroid in chronic hemodialysis patients. *Am J Nephrol* 23(5): 287-293, 2003.
- Tsuchiya K, Okano H, Teramura M, Iwamoto Y, Yamashita N, Suda A, Shimada K, Nihei H, Ando M: Content of reticulocyte hemoglobin is a reliable tool for determining iron deficiency in dialysis patients. *Clin Nephrol* 59(2): 115-123, 2003.
- Patient Registration Committee, Japanese society for dialysis therapy, Tokyo, Japan (Nakai S, Shinzato T, Nagura Y, Masakane I, Kitaoka T, Shinoda T, Yamazaki C, Sakai R, Ohmori H, Morita O, Iseki K, Kikuchi K, Kubo K, Tabei K, Fushimi K, Miwa N, Wada A, Yanai M, Akiba T): An overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2001). *Ther Apher Dial* 8(1): 3-32, 2004.
- Nitta K, Akiba T, Uchida K, Otsubo S, Otsubo Y, Takei T, Ogawa T, Yumura W, Kabaya T, Nihei H: Left ventricular hypertrophy is associated with arterial stiffness and vascular calcification in hemodialysis patients. *Hypertens Res* 27(1): 47-52, 2004.
- Akiba T: Observation Survey and Invasive Trial of Chronic Dialysis Patients. *Ther Apher Dial* 8(1): 1-2, 2004.
- Nitta K, Akiba T, Uchida K, Otsubo S, Takei T, Yumura W, Kabaya T, Nihei H: Serum osteoprotegerin levels and the extent of vascular calcification in haemodialysis patients. *Nephrol Dial Transplant* 19(7): 1886-1889, 2004.
- Nitta K, Akiba T, Nihei H: Colestimide co-administered with atorvastatin attenuates the progression of vascular calcification in haemodialysis patients. *Nephrol Dial Transplant* 19: 2156, 2004.
- Saran R, Dykstra DM, Pisoni RI, Akiba T, Akizawa T, Canaud B, Chen K, Piera L, Saito A, Young EW: Timing of first cannulation and vascular access failure in haemodialysis: An analysis of practice patterns at dialysis facilities in the DOPPS. *Nephrol Dial Transplant* 19(9): 2334-2340, 2004.
- Tojimbara T, Sato S, Nakajima I, Fuchinoue S, Akiba T, Terada S: Polymyxin B-immobilized Fiber Hemoperfusion after Emergency Surgery in Patients with Chronic Renal Failure. *Ther Apher Dial* 8(4): 286-292, 2004.
- Otsubo S, Tanabe K, Shinmura H, Ishikawa N, Tokumoto T, Hattori M, Ito K, Nitta K, Akiba T, Nihei H, Toma H: Effect of Post-transplant Double Filtration Plasmapheresis on Recurrent Focal and Segmental Glomerulosclerosis Renal Transplant Recipients. *Ther Apher Dial* 8(4): 299-304, 2004.
- Wakai K, Nakai S, Kikuchi K, Iseki K, Miwa N, Masakane I, Wada A, Shinzato T, Nagura Y, Akiba T: Trends in incidence of end-stage renal disease in Japan, 1983-2000: age-adjusted and age-specific rates by gender and cause. *Nephrol Dial Transplant* 19(8): 2044-2052, 2004.
- Yoshida T, Muller E, Stears R, Shirota S, Tsuchiya K, Akiba T, Gullans SR: Osmoadaptation-related genes in inner medulla of mouse kidney using microarray. *Biochemical & Biophysical Research Communications* 322(1): 250-257, 2004.
- Fissell RB, Gragg-Gresham JL, Gillespie BW, Goodkin DA, Bommer J, Saito A, Akiba T, Port FK, Young EW: International variation in vitamin prescription and association with mortality in Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 44(2): 293-299, 2004.
- Naito M, Akiba T: The view of guideline with renal anemia therapy in Japan. *Nippon Rinsho-Japanese Journal of Clinical Medicine* 62 (Suppl 6): 62-565, 2004.
- Fissell RB, Bragg-Gresham JL, Woods JD, Jadoul M, Gillespie B, Hedderwick SA, Rayner HC, Greenwood RN, Akiba T, Young EW: Patterns of hepatitis C prevalence and seroconversion in hemodialysis units from three continents: the DOPPS. *Kidney Int* 65(6): 2335-2342, 2004.
- Nitta K, Akiba T, Suzuki K, Uchida K, Ogawa T, Majima K, Watanabe R, Aoki T, Nihei H: Assessment of Coronary Artery Calcification in Hemodialysis Patients Using Multi-Detector Spiral CT Scan. *Hypertens Res* 27(8): 527-533, 2004.
- Bommer J, Locatelli F, Satayathum S, Keen ML, Goodkin DA, Saito A, Akiba T, Port FK, Young EW: Association of Predialysis Serum Bicarbonate Levels With Risk of Mortality and Hospitalization in the Dialysis Outcomes and

- Practice Patterns Study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 44(4): 661-671, 2004.
- Nitta K, Akiba T, Suzuki K, Uchida K, Watanabe R, Majima K, Aoki T, Nihei H: Effects of Cyclic Intermittent Etidronate Therapy on Coronary Artery Calcification in Patients Receiving Long-Term Hemodialysis. *Am J Kidney Dis* 44(4): 680-688, 2004.
- Young EW, Akiba T, Albert JM, McCarth JT, Kerr PG, Mendelssohn DC, Jadoul MJ: Magnitude and Impact of Abnormal Mineral Metabolism in Hemodialysis Patients in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 44(5)Suppl 2: S34-S38, 2004.
- Suzuki K, Nitta K, Uchida K, Akiba T, Nihei H: Serum osteoprotegerin concentration and bone mineral density in hemodialysis patients with diabetes mellitus. *J Tokyo Wom Med Univ* 74(11): 625-631, 2004.
- Gejyo F, Saito A, Akizawa T, Akiba T, Sakai T, Suzuki M, Nishi S, Tsubakihara Y, Hirakata H, Bessho M: 2004 Japanese society for dialysis therapy guidelines for renal anemia in chronic. *Ther Apher Dial* 8(6): 443-459, 2004.
- Iki M, Akiba T, Matsumoto T, Nishino H, Kagamimori S, Kagawa Y, Yoneshima H, JPOS Study Group: Reference database of biochemical markers of bone turnover for the Japanese female population. Japanese Population-based osteoporosis (JPOS) study. *Osteoporos Int* 15: 981-991, 2004.
- Akizawa T, Ohashi Y, Akiba T, Suzuki M, Nishizawa Y, Ogata E, Slatopolsky E, Kurokawa K: Dose-response study of 22-Oxacalcitriol in patients with secondary hyperparathyroidism. *Ther Apher Dial* 8(6): 480-491, 2004.
- Tokumoto T, Tanabe K, Ishida H, Shimamura H, Ishikawa N, Goya N, Akiba T, Toma H: Impact of fluvastatin on hyperlipidemia after renal transplantation. *Transplant Proceedings* 36: 2141-2144, 2004.
- Tsuchiya K, Saito M, Sugiyama H, Nihei H, Ando M, Teramura M, Iwamoto Y, Shimada K, Akiba T: Monitoring the content of reticulocyte hemoglobin (CHr) as the progression of anemia in nondialysis chronic renal failure (CRF) patients. *Renal Failure* 1: 59-65, 2005.
- Young EW, Albret JM, Satayathum S, Goodkin DA, Pisoni RL, Akiba T, Akizawa T, Kurokawa K, Bommer J, Piera L, Port FK: Predictors and consequences of altered mineral metabolism: The Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study. *Kidney Int* 67(3): 1179-1187, 2005.
- Kimata N, Akiba T, Pisoni RL, Albert JM, Satayathum S, Cruz JM, Akizawa T, Andreucci VE, Young EW, Port FK: Mineral metabolism and haemoglobin concentration among haemodialysis patients in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *Nephrol Dial Transplant* 20(5): 927-935, 2005.
- Ando M, Shibuya A, Yasuda M, Azuma N, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Impairment of innate cellular response to in vitro stimuli in patients on continuous ambulatory peritoneal dialysis. *Nephrol Dial Transplant* 20: 2497-2503, 2005.
- Sugiura H, Yoshida T, Tsuchiya K, Mitobe M, Nishimura S, Shirota S, Akiba T, Nihei H: Klotho reduces apoptosis in experimental ischemic acute renal failure. *Nephrol Dial Transplant* 20(12): 2636-2645, 2005.
- Mineshima M, Ishimori I, Akiba T, Sunohara T, Masuda T: Validity of a simple estimation for internal filtration/backfiltration flow rate in commercially available high flux dialyzers. *ASAIO J* 51(2): 57A, 2005.
- Iseki K, Nakai S, Shinzato T, Nagura Y, Akiba T: Increasing gender difference in the incidence of chronic dialysis therapy in Japan. *Ther Apher Dial* 9(5): 407-411, 2005.
- Mason NA, Bailie GR, Satayathum S, Bragg-Gresham JL, Akiba T, Akizawa T, Combe C, Rayner HC, Saito A, Gillespie BW, Young EW: HMG-Coenzyme A reductase inhibitor use is associated with mortality reduction in hemodialysis patients. *Am J Kidney Dis* 45(1): 119-126, 2005.
- Eguchi K, Mineshima M, Ikebe N, Akiba T: Validity of intermittent infusion hemodiafiltration. *ASAIO J* 52(2): 71A, 2006.
- Kikuchi K, Yoshida T, Kimata N, Sato C, Akiba T: Prevalence of hepatitis E virus infection in regular hemodialysis patients. *Ther Apher Dial* 10(2): 193-197, 2006.
- Iki M, Morita A, Ikeda Y, Sato Y, Akiba T, Matsumoto T, Nishino H, Kagamimori S, Kagawa Y, Yoneshima H; JPOS Study Group: Biochemical markers of bone turnover predict bone loss in perimenopausal women but not in

- postmenopausal women—the Japanese Population—based Osteoporosis (JPOS) Cohort Study. *Osteoporosis Int* 17(7): 1086-1095, 2006.
- Ando M, Shibuya A, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. *Kidney Int* 70(2): 358-362, 2006.
- Ando M, Shibuya A, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Reduced capacity of mononuclear cells to synthesize cytokines against an inflammatory stimulus in uremic patients. *Nephron Clin Pract* 104(3): c113-c119, 2006.
- Rajagopalan S, DelleGrottaglie S, Furniss A, Gillespie B, Satayathum S, Lameire N, Saito A, Akiba T, Jadoul M, Ginsberg N, Keen M, Port FK, Mukherjee D, Saran R: Peripheral arterial disease in patients with end-stage renal disease: Observations from the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). *Circulation* 114(18): 1914-1922, 2006.
- Nakai S, Wada A, Kitaoka T, Shinzato T, Nagura Y, Kikuchi K, Masakane I, Shinoda T, Yamazaki C, Sakai R, Marubayashi S, Morita O, Isaki K, Usami T, Kimata N, Suzuki K, Tabei K, Fushimi K, Miwa N, Yauchi M, Wakai K, Akiba T: An overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2004). *Ther Apher Dial* 10(6): 476-497, 2006.
- Saran R, Bragg-Gresham JL, Levin NW, Twardowski ZJ, Wizemann V, Saito A, Kimata N, Gillespie BW, Combe C, Bommer J, Akiba T, Mapes DL, Young EW, Port FK: Longertreatment time and slower ultrafiltration in hemodialysis: Associations with reduced mortality in the DOPPS. *Kidney Int* 69(7): 1222-1228, 2006.
- Baillie GR, Mason NA, Elder SJ, Andreucci VE, Green Wood RN, Akiba T, Saito A, Bragg-gresham JL, Gillespie BW, Youg EW: Large variations in prescriptions of gastrointestinal medications in hemodialysis patients on three continents: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). *Hemodial Int* 10(2): 180-188, 2006.
- Jadoul M, Albert JM, Akiba T, Akizawa T, Arab L, Bragg-Gresham JL, Mason N, Prutz K-G, Young EW, Pisoni RL: Incidence and risk factors for hip or other bone fractures among hemodialysis patients in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study. *Kidney Int* 70(7): 1358-1366, 2006.
- Fukuhara S, Gree J, Albert J, Mihara H, Pisoni R, Yamazaki S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, Port F, Held P, Kurokawa K: Symptoms of depression, prescription of benzodiazepines in hemodialysis patients in Japan. *Kidney Int* 70(10): 1866-1872, 2006
- Mochizuki T, Naganuma S, Tanaka Y, Iwamoto Y, Ishiguro C, Kawashima Y, Maekawa K, Suda A, Akiba T: Prospective comparison of the effects of maxacalcitol and calcitriol in chronic hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism : a multicenter, randomized crossover study. *Clin Nephrol* 67(1): 12-19, 2007.
- Fukuhara S, Yamazaki S, Marumo F, Akiba T, Akizawa T, Fujimi S, Haruki S, Kawaguchi Y, Nihei H, Shoji T, Maeda T: The predialysis CRF study group in Japan. Health-related quality of life of predialysis patients with chronic renal failure. *Nephron Clin Pract* 2007; 105: c1-c8.
- McKevitt PM, Bommer J, Bragg-Gresham JL, Pisoni RL, Keen ML, Lopez AA, Andreucci VE, Marumo F, Akiba T, Akizawa T, Port FK: DOPPS and the Elderly: Implications for Nephrology Social Work Practice. *The Journal of Nephrology Social Work* 26, May 2007.
- Takahashi M, Otsubo S, Takei T, Sugiura H, Yoshida K, Tamei N, Koike M, Uchida K, Yumura W, Kawamura S, Horita S, Akiba T, Nitta K: Anti-glomerular basement membrane antibody disease with granulomatous lesions on renal biopsy. *Int Med* 46(6): 295-301, 2007.
- Shiohira S, Kikuchi K, Yoshida T, Tsukada M, Nitta K, Akiba T: A case report of the effect of acetate-free biofiltration on arrhythmia in a hemodialysis patient. *Ther Apher Dial* 11(2): 155-158, 2007.
- Iseki K, Nakai S, Shinzato T, Morita O, Shinoda T, Kikuchi K, Wada A, Kimata N, Akiba T: Prevalence and determinants of hypertension in chronic hemodialysis patients in Japan. *Ther Apher Dial* 11(3): 183-188, 2007.
- Tanaka M, Yamazaki S, Hayashino Y, Fukuhara S, Akiba T, Saito A, Asano Y, Port FK, Kurokawa K, Akizawa T: Hypercalcaemia is associated with poor mental health in haemodialysis patients: results form Japan DOPPS. *Nephrol Dial Transplant* 22(6): 1658-1664, 2007.

- Otsubo S, Otsubo K, Sugimoto H, Ueda S, Otsubo Y, Otsubo O, Yajima A, Yagi S, Kataoka H, Iwasaki T, Iwasa Y, Takahashi M, Aoki A, Ino J, Uchida K, Yumura W, Akiba T, Nitta K: Characteristics of patients on hemodialysis therapy for more than 30 years. *Ther Apher Dial* 11(4): 274-279, 2007.
- Kimata N, Albert JM, Akiba T, Yamazaki S, Kawaguchi Y, Fukuhara S, Akizawa T, Saito A, Asano Y, Kurokawa K, Pisoni RL, Port FK: Association of mineral metabolism factors with all-cause and cardiovascular mortality in hemodialysis patients: The Japan dialysis outcomes and practice patterns study. *Hemodial Int* 11(3): 340-348, 2007.
- Bragg-Gresham JL, Fissell RB, Mason NA, Bailie GR, Gillespie BW, Wizemann V, Cruz JM, Akiba T, Kurokawa K, Ramirez S, Young EW: Diuretic use, residual renal function, and mortality among hemodialysis patients in the dialysis outcomes and practice pattern study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 49(3): 426-431, 2007.
- Yamazaki M, Takei T, Otsubo S, Iwasa Y, Yabuki Y, Suzuki K, Koike M, Uchida K, Tsuchiya K, Yumura W, Horita S, Honda K, Akiba T, Nitta K: Wegener's granulomatosis complicated by intestinal ulcer due to cytomegalovirus infection and by thrombotic thrombocytopenic purpura. *Int Med* 46(17): 1435-1440, 2007.
- Kimata N, Miwa N, Otsubo S, Iwasaki T, Yabuki Y, Miyabe K, Asamiya Y, Sato K, Sugi O, Ikebe N, Kikuchi K, Mineshima M, Akiba T: Achievement of the Japanese society for dialysis therapy guideline targets for mineral metabolism measures: one Japanese university center result. *Ther Apher Dial* 11 (Suppl 1): S62-S66, 2007.
- Nakai S, Masakane I, Akiba T, Iseki K, Watanabe Y, Itami N, Kimata N, Shigematsu T, Shinoda T, Syoji T, Syoji T, Suzuki K, Tsuchida K, Nakamoto H, Hamano T, Marubayashi S, Morita O, Morozumi K, Yamagata K, Yamashita A, Wakai K, Wada A, Tsubakihara Y: Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2005). *Ther Apher Dial* 11(6): 411-441, 2007.
- Hayashino Y, Fukuhara S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, Bragg-Gresham JL, Ramirez SPB, Port K, Kurokawa K: Diabetes, glycaemic control and mortality risk in patients on haemodialysis: the Japan dialysis outcomes and practice pattern study. *Diabetologia* 50(6): 1170-1177, 2007.
- Fukuhara S, Yamazaki C, Hayashino Y, Higashi T, Eichleay MA, Akiba T, Akizawa T, Saito A, Port FK, Kurokawa K: The organization and financing of end-stage renal disease treatment in Japan. *International Journal of Health Care Finance & Economics* 7(2-3): 217-231, 2007.
- Lopes AA, Bragg-Gresham JL, Goodkin DA, Fukuhara S, Mapes DL, Young EW, Gillespie BW, Akizawa T, Greenwood RN, Andreucci VE, Akiba T, Held PJ, Port FK: Factors associated with health-related quality of life among hemodialysis patients in the DOPPS. *Quality of Life Research* 16: 545-557, 2007.
- Yoshida T, Sugiura H, Mitobe M, Tsuchiya K, Shiota S, Nishimura S, Shiohira S, Ito H, Nobori K, Gullans SR, Akiba T, Nitta K: ATF3 protects against renal ischemia-reperfusion injury. *J Am Soc Nephrol* 19(2): 217-224, 2008.
- Iwasa Y, Otsubo S, Sugi O, Sato K, Asamiya Y, Eguchi A, Iwasaki T, Matsuda N, Kikuchi K, Ikebe N, Miwa N, Kimata N, Uchida K, Uchida S, Nitta K, Akiba T: Patterns in the prevalence of hepatitis C virus infection at the start of hemodialysis in Japan. *Clin Exp Nephrol* 12(1): 53-57, 2008.
- Moist LM, Bragg-Gresham JL, Pisoni RL, Saran R, Akiba T, Jacobson SH, Fukuhara S, Mapes DL, Rayner HC, Saito A, Port FK: Travel time to dialysis as a predictor of health-related quality of life, adherence, and mortality: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 51(4): 641-650, 2008.
- Akiba T, Akizawa T, Tsukamoto Y, Uchida E, Iwasaki M, Koshikawa S, and the KRN1493 Study Group: Dose determination of cinacalcet hydrochloride in Japanese hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Ther Apher Dial* 12(2): 117-125, 2008.
- Nakai S, Akiba T, Kazama J, Yokoyama K, Fukagawa M, Tominaga Y, Iseki K, Tsubakihara Y: Effects of serum calcium, phosphorous, and intact parathyroid hormone levels on survival in chronic hemodialysis patients in Japan. *Ther Apher Dial* 12(1): 49-54, 2008.
- Blayney MJ, Pisoni RL, Bragg-Gresham JL, Bommer J, Piera L, Saito A, Akiba T, Keen ML, Young EW, Port FK: High alkaline phosphatase levels in hemodialysis patients are associated with higher risk of hospitalization and death. *Kidney Int* 74: 655-663, 2008.

- Masakane I, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, Iseki K: The most recent trends of peritoneal dialysis in Japan. *Perit Dial Int* 28(Suppl 3): S27-S31, 2008.
- Yokoyama H, Kawaguchi T, Wada T, Takahashi Y, Higashi T, Yamazaki S, Fukuhara S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Kurokawa K, Saito A, for the J-DOPPS Research Group: Biocompatibility and permeability of dialyzer membranes do not affect anemia, erythropoietin dosage or mortality in Japanese patients on chronic non-reuse hemodialysis: a prospective cohort study from the J-DOPPS II study. *Nephron Clin Pract* 109: C100-C108, 2008.
- Ethier J, Mendelssohn DC, Elder SJ, Hasegawa T, Akizawa T, Akiba T, Canaud BJ, Pisoni RL: Vascular access use and outcomes: an international perspective from the dialysis outcomes and practice patterns study. *Nephrol Dial Transplant* 23(10): 3219-3226, 2008.
- Akizawa T, Pisoni RL, Akiba T, Saito A, Fukuhara S, Asano Y, Hasegawa T, Port FK, Kurokawa K: Japanese haemodialysis anaemia management practices and outcomes (1999-2006): results from the DOPPS. *Nephrol Dial Transplant* 23(11): 3643-3653, 2008.
- Mendelssohn DC, Pisoni RL, Arrington CJ, Yeates KE, Leblanc M, Deziel C, Akiba T, Krishnan M, Fukuhara S, Lameire N, Port FK, Wolfe RA: A practice-related risk score (PRS): a DOPPS-derived aggregate quality index for haemodialysis facilities. *Nephrol Dial Transplant* 23(10): 3227-3233, 2008.
- Tentori F, Blayney MJ, Albert JM, Gillespie BW, Kerr PG, Bommer J, Young EW, Akizawa T, Akiba T, Pisoni RL, Robinson BM, Port FK: Mortality risk for dialysis patients with different levels of serum calcium, phosphorus, and PTH: the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *Am J Kidney Dis* 52(3): 519-530, 2008.
- Saran R, Elder SJ, Goodkin DA, Akiba T, Ethier J, Rayner HC, Saito A, Young EW, Gillespie BW, Merion RM, Pisoni RL: Enhanced training in vascular access creation predicts arteriovenous fistula placement and patency in hemodialysis patients: Results from the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study. *Ann Surg* 247(5): 885-891, 2008.
- Saito A, Akiba T, Akizawa T, Fukuhara S, Asano Y, Kurokawa K, Bragg-Gresham JL, Eichleay MA, Pisoni RL, Port FK: The DOPPS estimate of patient life years attributable to modifiable hemodialysis practices in Japan. *J Jpn Soc Dial Ther* 41 (8): 473-482, 2008.
- Aoki A, Kikuchi K, Tsukada M, Akiba T, Nitta K, Adiponectin and atherosclerosis in chronic hemodialysis patients. *J Tokyo Wom Med Univ* 78(10-11): 461-467, 2008.
- Nakai S, Masakane I, Akiba T, Shigematsu T, Yamagata K, Watanabe Y, Iseki K, Itami N, Shinoda T, Morozumi K, Shoji T, Marubayashi S, Morita O, Kimata N, Shoji T, Suzuki K, Tsuchida K, Nakamoto H, Hamano T, Yamashita A, Wakai K, Wada A, and Tsubakihara Y: Overview of regular dialysis treatment in Japan as of 31 December 2006. *Ther Apher Dial* 12(6): 428-456, 2008.
- Masakane I, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, and Iseki K: Bacteriological qualities of dialysis fluid in Japan as of 31 December 2006. *Ther Apher Dial* 12(6): 457-463, 2008.
- Hasebe N, Moroi M, Nishimura M, Hara K, Hase H, Hashimoto A, Kumita S, Haze K, Momose M, Nagai Y, Sugimoto T, Kusano E, Akiba T, Nakata T, Nishimura T, Tamaki N, and Kikuchi K: Prognostic study of cardiac events in Japanese high risk hemodialysis patients using <sup>123</sup>I-BMIPP-SPECT:B-SAFE study design. *Ther Apher Dial* 12(6): 526-530, 2008.
- Takei T, Otsubo S, Uchida K, Matsugami K, Mimuro T, Kabaya T, Akiba T, Nitta K: Effects of sevelamer on the progression of vascular calcification in patients on chronic haemodialysis. *Nephron Clin Pract* 108: c278-283, 2008.
- Fukagawa M, Akizawa T, Hirakata H, Akiba T, Ishimura E, Kakuta T, Kazama J, Kinugasa E, Tominaga Y, Tsukamoto Y, Yokoyama K, Yumita S, Kimata N, Nakai S: Clinical practice guideline for the management of secondary hyperparathyroidism in chronic dialysis patients. *Ther Apher Dial* 12(6): 514-525, 2008.
- Yamamoto Y, Hayashino Y, Yamazaki S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, and Kurokawa K, Miyachi Y, Fukuhara S, for the J-DOPPS Research Group: Depressive symptoms predict the future risk of severe pruritus in haemodialysis patient: Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study. *Br J Dermatol* 161(2): 384-389, 2009.

- Kawanishi H, Akiba T, Masakane I, Tomo T, Mineshima M, Kawasaki T, Hirakata H, Akizawa T: Standard on microbiological management of fluids for hemodialysis and related therapies by the Japanese society for dialysis therapy 2008. *Ther Apher Dial* 13(2): 161-166, 2009.
- Otsubo S, Kimata N, Okutsu I, Oshikawa K, Ueda S, Sugimoto H, Mitobe M, Uchida K, Otsubo K, Nitta K, Akiba T: Characteristics of dialysis-related amyloidosis in patients on haemodialysis therapy for more than 30 years. *Nephrol Dial Transplant* 24(5): 1593-1598, 2009.
- Tentori F, Albert JM, Young EW, Blayney MJ, Robinson BM, Pisoni RL, Akiba T, Greenwood RN, Kimata N, Levin NW, Piera LM, Saran R, Wolfe RA, Port FK: The survival advantage for haemodialysis patients taking vitamin D is questioned: findings from the dialysis outcomes and practice patterns study. *Nephrol Dial Transplant* 24(3): 963-972, 2009.
- Asamiya Y, Otsubo S, Matsuda Y, Kimata N, Kikuchi K, Miwa N, Uchida K, Mineshima M, Mitani M, Ohta H, Nitta K, Akiba T: The importance of low blood urea nitrogen levels in pregnant patients undergoing hemodialysis to optimize birth weight and gestational age. *Kidney Int* 75(11): 1217-1222, 2009.
- Ishihara M, Otsubo S, Kimata N, Iwasaki T, Uchida K, Nitta K, Akiba T: Hemoglobin variability in patients on hemodialysis: Comparison between epoetin beta and darbepoetin alfa therapy. *J Tokyo Wom Med Univ* 79(5-6): 220-223, 2009.
- Masakane I, Takemoto Y, Nakai S, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, Iseki K: Bacteriological water quality in the central dialysis fluid delivery system from the survey of the Japanese society for dialysis therapy. *Blood Purification* 27 (Suppl 1): 11-16, 2009.
- Lopes AA, Bragg-Gresham JL, Ramirez SPB, Andreucci VE, Akiba T, Saito A, Jacobson SH, Robinson BM, Port FK, Mason NA, Young EW: Prescription of antihypertensive agents to haemodialysis patients: time trends and associations with patient characteristics, country and survival in the DOPPS. *Nephrol Dial Transplant* 24(9): 2809-2816, 2009.
- Ishihara M, Otsubo S, Kimata N, Uchida K, Akiba T, Nitta K: Effect of improvement of secondary hyperparathyroidism using cinacalcet on renal anemia. *J Tokyo Wom Med Univ* 79(8): 355-359, 2009.
- Nakao K, Makino H, Morita S, Takahashi Y, Akizawa T, Saito A, Asano Y, Kurokawa K, Fukuhara S, Akiba T:  $\beta$ -blocker prescription and outcomes in hemodialysis patients from the Japan dialysis outcomes and practice patterns study. *Nephron Clin Pract* 113: c132-c139, 2009.
- Iseki K, Shoji T, Nakai S, Watanabe Y, Akiba T, Tsubakihara Y: Higher survival rates of chronic hemodialysis patients on anti-hypertensive drugs. *Nephron Clin Pract* 113: c183-c190, 2009.
- Yokoyama Y, Yamazaki S, Hasegawa T, Wakita T, Hayashino Y, Takegami M, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, Kurokawa K, Fukuhara S: Impact of early referral to nephrologist on mental health among hemodialysis patients: a dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). *Nephron Clin Pract* 113: c191-c197, 2009.
- Yamamoto Y, Hayashino Y, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, Kurokawa K, Fukuhara S: Depressive symptoms predict the subsequent risk of bodily pain in dialysis patients: Japan dialysis outcomes and practice patterns study. *Pain Medicine* 10(5): 883-889, 2009.
- Hayashino Y, Fukuhara S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, Kurokawa K: Low health-related quality of life is associated with all-cause mortality in patients with diabetes on haemodialysis: the Japan dialysis outcomes and practice pattern study. *Diabetes Medicine* 26: 921-927, 2009.
- Ohsawa M, Kato K, Itai K, Tanno K, Fujishima Y, Konda R, Okayama A, Abe K, Suzuki K, Nakamura M, Onoda T, Kawamura K, Sakata K, Akiba T, Fujioka T: Standardized prevalence ratios for chronic hepatitis C virus infection among adult Japanese hemodialysis patients. *J Epidemiol* 20(1): 30-39, 2010.
- Hirakata H, Tsubakihara Y, Gejo F, Nishi S, Iino Y, Watanabe Y, Suzuki M, Saito A, Akiba T, Inaguma D, Fukuhara S, Morita S, Hiroe M, Hada Y, Suzuki M, Akaishi M, Aonuma K, Akizawa T: Maintaining high hemoglobin levels improved the left ventricular mass index and quality of life scores in pre-dialysis Japanese

- chronic kidney disease patients. *Clin Exp Nephrol* 14: 28-35, 2010.
- Sugi O, Kimata N, Miwa N, Otsubo S, Nitta K, Akiba T: Successful cinacalcet treatment of refractory secondary hyperparathyroidism due to multiple lung parathyroid adenomas. *NDT Plus* 3: 60-63, 2010.
- Wizemann V, Tong L, Satayathum S, Disney A, Akiba T, Fissell RB, Kerr PG, Young EW, Robinson BM: Atrial fibrillation in hemodialysis patients: clinical features and associations with anticoagulant therapy. *Kidney Int* 77(22): 1098-1106, 2010.
- Iki M, DongMei N, Tamaki J, Sato Y, Kagamimori S, Kagawa Y, Yoneshima H: Japanese Population-based Osteoporosis Study Group Age-specific reference values of hip geometric indices from a representative sample of the Japanese female population: Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Study. *Osteoporos Int* 22(6): 1987-1996, 2010.
- Ishihara M, Otsubo S, Kimata N, Akiba T, Nitta K: Characteristics of body composition and nutritional status in patients receiving hemodialysis therapy for more than 30 years. *Blood Purif* 30(3): 161-165, 2010.
- Iseki K, Nakai S, Yamagata K, Tsubakihara Y: Committee of Renal Data Registry of the Japanese Society for Dialysis Therapy Tachycardia as a predictor of poor survival in chronic haemodialysis patient. *Nephrol Dial Transplant* 26(3): 963-969, 2010
- Tsubakihara Y, Nishi S, Akiba T, Hirakata H, Iseki K, Kubota M, Kuriyama S, Komatsu Y, Suzuki M, Nakai S, Hattori M, Babazono T, Hiramatsu M, Yamamoto H, Bessho M, Akizawa T: 2008 Japanese Society for Dialysis Therapy: guidelines for renal anemia in chronic kidney disease. *Ther Apher Dial* 14(3): 240-275, 2010.
- Hasegawa T, Bragg-Gresham JL, Pisoni RL, Robinson BM, Fukuhara S Akiba T, Saito A, Kurokawa K, Akizawa T: Changes in anemia management and hemoglobin levels following revision of a bundling policy to incorporate recombinant human erythropoietin. *Kidney Int* 79(3): 340-346, 2010.
- Okano K, Sugimoto H, Jinnai H, Iwasaki T, Takano M, Tsukada M, Miwa N, Kimata N, Nitta K, Akiba T: Flowcytometric Analysis of Lymphocytapheresis in a Patient with Recurrent FSGS after Renal Transplant. *Intern Med* 50(24): 3009-3012, 2010.
- Miwa N, Akiba T, Kimata N, Hamaguchi Y, Arakawa Y, Tamura T, Nitta K, Tsuchiya K: Usefulness of measuring reticulocyte hemoglobin equivalent in the management of haemodialysis patients with iron deficiency. *Int J Lab Hematol* 32(2): 248-255, 2010.
- Akiba T: Erythrocyte stimulating agents. *Nihon Rinsho* 68 (Suppl 9): 472-475, 2010.
- Fukagawa M, Komaba H, Onishi Y, Fukuhara S, Akizawa T, Kurokawa K, MBD-5D Study Group: Mineral metabolism management in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism in Japan: baseline data from the MBD-5D. *Am J Nephrol* 33(5): 427-437, 2011.
- Tamakoshi M, Murakami A, Sugisawa M, Tsuneizumi K, Takeda S, Saheki T, Izumi T, Akiba T, Mitsuoka K, Toh H, Yamashita A, Arisaka F, Hattori M, Oshima T, Yamagishi A: Genomic and proteomic characterization of the large Myoviridae bacteriophage  $\phi$ TMA of the extreme thermophile. *Thermus Thermophilus Bacteriophage* 1(3): 152-164, 2011.
- Akizawa T, Gejyo F, Nishi S, Iino Y, Watanabe Y, Suzuki M, Saito A, Akiba T, Hirakata H, Fukuhara S, Morita S, Hiroe M, Ada Y, Suzuki M, Akaishi M, Iwasaki M, Tsubakihara Y, KRN321 STUDY Group: Positive outcomes of high hemoglobin target in patients with chronic kidney disease not on dialysis: a randomized controlled study. *Ther Apher Dial* 15(5): 431-440, 2011.
- Akiba T, Tabei I, Kinoshita S, Yanagisawa S, Kobayashi S, Odaka M, Takeyama H, Morikawa T: Three-dimensional computed tomography for lung cancer in a patient with three right vein ostia. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 59(5): 376-379, 2011.
- Akiba T, Marushima H, Kamiya N, Odaka M, Kinoshita S, Takeyama H, Morikawa T: Thoracoscopic surgery for pulmonary metastases after chemotherapy using a tailor-made virtual lung. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 59(6): 413-417, 2011.



- Akiba T, Marushima H, Kamiya N, Odaka M, Kinoshita S, Takeyama H, Kobayashi S, Morikawa T: Thoracoscopic lobectomy for treating cancer in a patient with an unusual vein anomaly. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 17(5): 501-503, 2011.
- Akiba T, Takeishi M, Kinoshita S, Morikawa T: Vascularized rib support for chest wall reconstruction using Gore-Tex dual mesh after wide sternochondral resection. *Interact Cardiovasc Thorac Surg* 13(5): 536-538, 2011.
- Ohsawa M, Kato K, Tanno K, Itai K, Fujishima Y, Okayama A, Turin TC, Onoda T, Suzuki K, Nakamura M, Kawamura K, Akiba T, Sakata K, Fujioka T: Seropositivity for anti-HCV core antigen is independently associated with increased all-cause, cardiovascular, and liver disease-related mortality in hemodialysis patients. *J Epidemiol* 21(6): 491-499, 2011.
- Takano M, Okano K, Tsuruta Y, Yamashita T, Echida Y, Miwa N, Kimata N, Akiba T, Nitta K: Correlation of new bone metabolic markers with conventional biomarkers in hemodialysis patients. *Clin Invest Med* 34(5): E267, 2011.
- Sadahiro S, Suzuki T, Tanaka A, Okada K, Kamijo A, Murayama C, Akiba T, Nakayama Y: Phase I/II study of preoperative concurrent chemoradiotherapy with S-1 for locally advanced, resectable rectal adenocarcinoma. *Oncology* 81(5-6): 306-311, 2011.
- Chen JB, Chiang SS, Chen HC, Obayashi S, Nagasawa M, Hexham JM, Balfour A, Junge G, Akiba T, Fukagawa M: Efficacy and safety of SBR759, a novel calcium-free, iron (III)-based phosphate binder, in Asian patients undergoing hemodialysis: A 12-week, randomized, open-label, dose-titration study versus sevelamer hydrochloride. *Nephrology (Carlton)* 16(8): 743-750, 2011.
- Canaud B, Tong L, Tentori F, Akiba T, Karaboyas A, Gillespie B, Akizawa T, Pisoni RL, Bommer J, Port FK: Clinical practices and outcomes in elderly hemodialysis patients: results from the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS). *Clin J Am Soc Nephrol* 6(7): 1651-1662, 2011.
- Taniguchi M, Tanaka M, Hamano T, Nakanishi S, Fujii H, Kato H, Koiwa F, Ando R, Kimata N, Akiba T, Kono T, Yokoyama K, Shigematsu T, Kakuta T, Kazama JJ, Tominaga Y, Fukagawa M: Comparison between whole and intact parathyroid hormone assays. *Ther Apher Dial* 15 (Suppl 1): 42-49, 2011.
- Suzuki T, Akiba T, Hiramatsu M, Matsudaira H, Hirano J, Odaka M, Morikawa T: Percutaneous cardiopulmonary support of video-assisted metastasectomy for a patient with lung cancer following pneumonectomy. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 17(1): 45-47, 2011.
- Satoh M, Oguro R, Yamanaka C, Takada K, Matsuura Y, Akiba T, Aotsuka N, Tani Y, Wakita H: Clinical assessment of bortezomib for multiple myeloma in comparison with thalidomide. *J Pharm Pharm Sci* 14(1): 78-83, 2011.
- Otsubo S, Yabuki Y, Ishihara M, Kimata N, Uchida K, Akiba T, Nitta K: Characteristics of Bone Mineral Density and Tartrate-resistant Acid Phosphatase(TRACP)5b in Patients Receiving Hemodialysis Therapy for More-than 30-years. *Journal of Tokyo Women's Medical University* 81(6): 397-402, 2011.
- Otsubo S, Kawata T, Takasaki M, Ishihara M, Ueda S, Sugimoto H, Otsubo K, Akiba T, Nitta K, Hirano M: Treatment of a serotype-1 hepatitis C virus infection using interferon-beta in a patient with a high RNA titer who had been receiving long-term hemodialysis therapy. *Int Med* 50: 733-737, 2011.
- Kamei D, Kuno T, Sato S, Nitta K, Akiba T: Impact of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on Hemodialysis Facilities: An Evaluation of Radioactive Contaminants in Water Used for Hemodialysis Therapeutic. *Apher Dial* 16(1): 87-90, 2012.
- Tokumoto T, Akiba T, Matsuda A, Nozaki T, Setoguchi K, Mizoguchi S, Hayakawa N, Sato Y, Toma H, Tanabe K: Clinical Outcomes of Recipients With Aplastic Bone Disease After Renal Transplantation. *Transplantation Proceedings* 44: 680-683, 2012.
- Otsubo O, Kitamura M, Wakaume T, Yajima A, Ishihara M, Takasaki M, Ueda S, Sugimoto H, Otsubo K, Kimata N, Akiba T, Nitta K: Association of peripheral artery disease and long-term mortality in hemodialysis patients. *Int*

Urol Nephrol 44: 569-573, 2012.

- Iwasa Y, Otsubo S, Nomoto K, Yashiro N, Yajima A, Kimata N, Akiba T, Nitta K: Prevalence of intracranial artery calcification in hemodialysis patients—a case-control study. *Int Urol Nephrol* 44: 1223-1228, 2012.
- Sakiyama R, Ishimori I, Akiba T, Mineshima M: Effect of blood flow rate on internal filtration in a high-flux dialyzer with polysulfone membrane. *J Artif Organs* 15: 266-271, 2012.
- Yokoyama K, Hirakata H, Akiba T, Sawada K, Kumagai Y: Effect of Oral JTT-751 (Ferric Citrate) on Hyperphosphatemia in Hemodialysis Patients: Placebo-Controlled Trial. *Am J Nephrol* 36: 478-487, 2012.
- Akiba T: Japanese Society for Dialysis Therapy: Clinical Practice Guidelines for the Prevention, Diagnosis, Evaluation, and Treatment of Hepatitis C Therapeutic Apheresis and Dialysis. 16(4): 287-288, 2012.
- Tentori F, Zhang J, Li Y, Karaboyas A, Kerr P, Saran R, Bommer J, Port F, Akiba T, Pisoni RL, Robinson B: Longer dialysis session length is associated with better intermediate outcomes and survival among patients on in-center three times per week hemodialysis: results from the Dialysis Outcomes and Practice Pattern Study (DOPPS). *Nephrol Dial Transplant* 27: 4180-4188, 2012.
- Fujikawa T, Ikeda Y, Fukuhara S, Akiba T, Akizawa T, Kurokawa K, Saito A: Time-dependent resistance to Erythropoiesis-stimulating agent and Mortality in hemodialysis patients in the Japan dialysis outcomes and practice pattern study. *Nephron Clin Pract* 122: 24-32, 2012.
- Moroi M, Tamaki N, Nishimura M, Haze K, Nishimura T, Kusano E, Akiba T, Sugimoto T, Hase H, Hara K, Nakata T, Kumita S, Nagai Y, Hashimoto A, Momose M, Miyakoda K, Hasebe N, Kikuchi K: Association between abnormal myocardial fatty acid metabolism and cardiac-derived death among patients undergoing hemodialysis: results from a cohort study in Japan. *Am J Kidney Dis* 61(3): 466-475, 2013.
- Tsuruta Y, Okano K, Kikuchi K, Tsuruta Y, Akiba T, Nitta K: Effects of cinacalcet on bone mineral density and bone markers in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Clin Exp Nephrol* 17(1): 120-126, 2013.
- Yamamoto K, Eguchi K, Keneko I, Akiba T, Mineshima M: In vitro Study of Removal of Protein-Bound Toxins *Blood Purification* 35 (Suppl 1): 51-54, 2013.
- Yamashita T, Okano K, Tsuruta Y, Akiba T, Nitta K: Serum osteocalcin levels are useful as a predictor of cardiovascular events in maintenance hemodialysis patients. *Int Urol Nephrol* 45: 207-214, 2013.
- Tsuruta Y, Okano K, Kikuchi K, Tsuruta Y, Akiba T, Nitta K: Effect of cinacalcet on bone mineral density and bone markers in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Clin Exp Nephrol* 17(1): 120-126, 2013.
- Kimata N, Wakayama K, Okano K, Hibi A, Sawada A, Tajima Y, Makabe S, Tsuchiya K, Mineshima M, Nitta K, Akiba T: Study of discrepancies between recorded and actual blood flow in hemodialysis patients. *ASAIO J* 59(6): 617-621, 2013.
- Otani Y, Otsubo S, Kimata N, Takano M, Abe T, Okajima T, Miwa N, Tsuchiya K, Nitta K, Akiba T: Effects of the ankle-brachial blood pressure index and skin perfusion pressure on mortality in hemodialysis patients. *Intern Med* 52(21): 2417-2421, 2013.
- Fukagawa M, Kasuga H, Joseph D, Sawata H, Junge G, Moore A, Akiba T: Efficacy and safety of SBR759, a novel calcium-free, iron (III)-based phosphate binder, versus placebo in chronic kidney disease stage V Japanese patients on maintenance renal replacement therapy. *Clin Exp Nephrol* 18(1): 135-143, 2014.
- Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Bessho M, Udagawa Y, Aoki K, Uemura Y, Ohashi Y: Impacts of Recombinant Human Erythropoietin Treatment During Predialysis Periods on the Progression of Chronic Kidney Disease in a Large-Scale Cohort Study (Co-JET study). *Ther Apher Dial* 18(2): 140-148 2014.
- Inaba M, Karaboyas A, Akiba T, Akizawa T, Saito A, Fukuhara S, Combe C, Robinson BM: Association of blood pressure with all-cause mortality and stroke in Japanese hemodialysis patients: The Japan dialysis Outcomes

- and Practice Pattern Study. *Hemodial Int* 18(3): 607-615, 2014.
- Kimata N, Fuller DS, Saito A, Akizawa T, Fukuhara S, Pisoni RL, Robinson BM, Akiba T: Pruritus in hemodialysis patients: Results from the Japanese Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (JDOPPS). *Hemodial Int* 18(3): 657-667, 2014.
- Tsuruta Y, Nitta K, Akizawa T, Fukuhara S, Saito A, Karaboyas A, Li Y, Port KF, Robinson BM, Pisoni RL, Akiba T: Association between allopurinol and mortality among Japanese Hemodialysis patients: results from the DOPPS. *Int Urol Nephrol* 8: 1833-1841, 2014.
- Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Besso M, Udagawa Y, Aoki K, Uemura Y, Ohashi Y, the Co-JET Study Group: Impacts of Recombinant Human Erythropoietin Treatment During Predialysis Periods on the Progression of Chronic Kidney Disease in a Large-Scale Cohort Study (Co-JET study). *Ther Apher Dial* 18(2): 140-148, 2014.
- Kondo N, Nakamura F, Yamazaki S, Yamamoto Y, Akizawa T, Akiba T, Saito A, Kurokawa K, Fukuhara S: Prescription of potentially inappropriate medications to elderly hemodialysis patients: prevalence and prediction. *Nephrol Dial Transplant* 28: 1-8, 2014.
- Yokoyama K, Akiba T, Fukagawa M, Nakagawa M, Sawada K, Kumagai Y, Glenn M, Chertow Hirakata H: A randomized trial of JTT-751 versus sevelamer hydrochloride in patients on hemodialysis. *Nephrol Dial Transplant* 29(5):1053-1060, 2014.
- Kimata N, Karaboyas A, Bieber BA, Pisoni RL, Morgenstern H, Gillespie BW, Saito A, Akizawa T, Fukuhara S, Robinson BM, Port FK, Akiba T: Gender, low Kt/V, and mortality in Japanese hemodialysis patients: opportunities for improvement through modifiable practices. *Hemodial Int* 18(3): 596-606, 2014.
- Yokoyama K, Hirakata H, Akiba T, Fukagawa M, Nakayama M, Sawada K, Kumagai Y, Block GA: Ferric citrate hydrate for the treatment of hyperphosphatemia in nondialysis-dependent CKD. *Clin J Am Soc Nephrol* 9(3): 543-552, 2014.
- Kikuchi K, Akiba T, Nitta K, Masakane I, Ando R, Izumi N, Atsukawa M, Yamazaki C, Kato F, Hotta N, Tominaga Y, Orito E, Hora K, Nagasawa M, Kasahara H, Kawaguchi M, Kimura H, Ikebe N, Kawanishi H, Moriishi M, Shigemoto K, Harada T, Hirakata H, Watanabe H, Nosaki T, Tsubouchi H, Imawari M, Akizawa T: Multicenter study of pegylated interferon  $\alpha$ -2a monotherapy for hepatitis C virus-infected patients on hemodialysis: REACH study. *Ther Apher Dial* 18(6): 603-611, 2014.
- Yokoyama K, Akiba T, Fukagawa M, Nakayama M, Sawada K, Kumagai Y, Chertow GM, Hirakata H: Long-term safety and efficacy of a novel iron-containing phosphate binder, JTT-751, in patients receiving hemodialysis. *J Ren Nutr* 24(4): 261-267, 2014.
- Yokoyama K, Akiba T, Fukagawa M, Nakayama M, Hirakata H: JTT-751 for treatment of patients with hyperphosphatemia on peritoneal dialysis. *Nephron Clin Pract* 128(1-2): 135-140, 2014.
- Tsuruya K, Fukuma S, Wakita T, Ninomiya T, Nagata M, Yoshida H, Fujimi S, Kiyohara Y, Kitazono T, Uchida K, Shirota T, Akizawa T, Akiba T, Saito A, Fukuhara S: Dietary patterns and clinical outcomes in hemodialysis patients in Japan: a cohort study. *PLoS One* 10(1): e0116677, 2015.
- Yamagata K, Yagisawa T, Nakai S, Nakayama M, Imai E, Hattori M, Iseki K, Akiba T: Prevalence and incidence of chronic kidney disease stage G5 in Japan. *Clin Exp Nephrol* 19: 54-64, 2015.
- Watanabe Y, Yamagata K, Nishi S, Hirakata H, Hanafusa N, Saito C, Hattori M, Itami N, Komatsu Y, Kawaguchi Y, Tsuruya K, Tsubakihara Y, Suzuki K, Sakai K, Kawanishi H, Inaguma D, Yamamoto H, Takemoto Y, Mori N, Okada K, Hataya H, Akiba T, Iseki K, Tomo T, Masakane I, Akizawa T, Minakuchi J: "Hemodialysis Initiation for Maintenance Hemodialysis" Guideline Working Group, Japanese Society for Dialysis Therapy. Japanese society for dialysis therapy clinical guideline for "hemodialysis initiation for maintenance hemodialysis". *Ther Apher Dial* 19(Suppl 1): 93-107, 2015.
- Watanabe Y, Kawanishi H, Suzuki K, Nakai S, Tsuchida K, Tabei K, Akiba T, Masakane I, Takemoto Y, Tomo T,

- Itami N, Komatsu Y, Hattori M, Mineshima M, Yamashita A, Saito A, Naito H, Hirakata H, Minakuchi J: "Maintenance Hemodialysis: Hemodialysis Prescriptions" Guideline Working Group, Japanese Society for Dialysis Therapy. *Ther Apher Dial* 19(Suppl 1): 67-92, 2015.
- Kamei D, Akiba T: Coefficient of variation among ferritin measurement methods in hemodialysis and standard serum ferritin level. *Kidney Int* 88(1): 197, 2015.
- Iki M, Tamaki J, Sato Y, Morita A, Ikeda Y, Kajita E, Nishino H, Akiba T, Matsumoto T, Kagamimori S, Kagawa Y, Yoneshima H, Matsukura T, Yamagami T, Kitagawa J; JPOS Study Group. Cohort Profile: The Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Cohort Study. *Int J Epidemiol* 44(2): 405-414, 2015.
- Akizawa T, Akiba T, Hirakata H, Kinugasa E, Tominaga Y, Fukagawa M, Yokoyama K, Zhang W, Linde PG, Suzuki M: Comparison of paricalcitol with maxacalcitol injection in Japanese hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Ther Apher Dial* 19(3): 225-234, 2015.
- Okano K, Kimura K, Tanaka Y, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Direct measurement of reactive oxygen species in leukocytes during hemodialysis therapy. *Int J Clin Exp Med* 8(11):20959-20964, 2015.
- Inoue T, Okano K, Tsuruta Y, Tsuruta Y, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Eicosapentaenoic Acid (EPA) Decreases the All-Cause Mortality in Hemodialysis Patients. *Intern Med* 54(24):3133-3137, 2015.
- Kimata N, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Differences in the Characteristics of Dialysis Patients in Japan Compared with Those in Other Countries. *Blood Purif* 40(4): 275-279, 2015.
- Kimachi M, Fukuma S, Yamazaki S, Yamamoto Y, Akizawa T, Akiba T, Saito A, Fukuhara S: Minor Elevation in C-Reactive Protein Levels Predicts Incidence of Erythropoiesis-Stimulating Agent Hyporesponsiveness among Hemodialysis Patients. *Nephron* 131(2): 123-130, 2015.
- Saito O, Kusano E, Akimoto T, Asano Y, Kitagawa T, Suzuki K, Ishige N, Akiba T, Saito A, Ishimura E, Hattori M, Hishida A, Guili C, Maruyama H, Kobayashi M, Ohashi T, Matsuda I, Eto Y: Prevalence of Fabry disease in dialysis patients: Japan Fabry disease screening study (J-FAST). *Clin Exp Nephrol* 2015 Jul 22.
- Sakiyama R, Yamamoto K, Ishimori I, Yoshida S, Akiba T, Mineshima M: Performance evaluation of developed polysulfone membrane hemodiafilters, ABH-F and ABH-P, in post- and pre-dilution hemodiafiltration. *J Artif Organs* 18(4): 330-337, 2015.
- Fissell RB, Karaboyas A, Bieber BA, Sen A, Li Y, Lopes AA, Akiba T, Bommer J, Ethier J, Jadoul M, Pisoni RL, Robinson BM, Tentori F: Phosphate binder pill burden, patient-reported non-adherence, and mineral bone disorder markers: Findings from the DOPPS. *Hemodial Int* 20(1): 38-49, 2016.

## 原 著【和文】

- 秋葉隆, 杉浦克明, 加登康洋, 武内重五郎, 渋谷均, 鈴木宗治: 胃十二指腸動脈瘤・脾動脈瘤を伴った肝硬変症の1例. 内科 40(2):309-312, 1977.
- 秋葉隆, 佐々木成, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 竹下公夫, 工藤克悦, 井上篤: 長期透析患者にみられた大腿骨頭無腐性壊死の1例. 腎と透析 3(6):711-716, 1977.
- 秋葉隆, 岩本均, 佐々木成, 鯉坂隆一, 末永松彦, 家坂義人, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: 僧帽弁狭窄症(MS)の1症例の透析経験. 人工透析研究会誌 10(2):425-426, 1977.
- 末永松彦, 松井則明, 佐々木成, 秋葉隆, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 中林宣男, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 金山正明: 石油ピッチ活性炭によるDirect Hemoperfusion 12臨床例の検討. 人工臓器 6(6):442-445, 1977.
- 中川成之輔, 末永松彦, 秋葉隆, 藤崎三郎, 吉山直樹, 松井則明, 岩本均, 佐々木成, 武内重五郎, 中林宣男: Cuprophane-Carbon Hollow Fiber (CCHF) の基礎的研究. 人工臓器 6(6):486-489, 1977.
- 秋葉隆, 末永松彦, 松井則明, 中川成之輔, 武内重五郎, 中林宣男: C23各種濾過型人工腎用濾過膜の性能に関する研究. 人工臓器 7(5):902-905, 1978.
- 秋葉隆, 藤崎三郎, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 寺岡次郎, 岩本均, 井上篤, 笹岡拓雄: C32濾過型人工腎に関する研究(第3報). 人工臓器 7(6):947-949, 1978.
- 末永松彦, 一瀬邦弘, 松井則明, 秋葉隆, 佐々木成, 中川成之輔, 武内重五郎, 笹岡拓雄, 東海林隆男, 金山正明: 活性炭吸着療法の治療効果の評価—とくに肝不全の意識障害と脳波の臨床区分について. 人工臓器 7(6):1104-1107, 1978.
- 末永松彦, 中川成之輔, 吉山直樹, 岩本均, 佐々木成, 秋葉隆, 武内重五郎, 山田多啓男, 大塚博: 尿毒症性末梢神経障害における五炭糖代謝阻害と吸着療法併用効果について. 人工透析研究会誌 11(1):73-74, 1978.
- 佐々木成, 秋葉隆, 末永松彦, 戸村成男, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 東海林隆男, 笹岡拓雄: 透析患者における結核症の臨床的検討. 腎と透析 5(2):161-164, 1978.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 松井則明, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 岩本均, 井上篤, 馬場健一:  $1\alpha$ -OH-D<sub>3</sub>の血液透析患者に対する長期投与効果について. 骨代謝 12:111-120, 1979.
- 高木達春, 秋葉隆: うっ血型心筋症の病像を呈した心筋線維症を伴う右冠状動脈低形成の1剖検例. 心臓 11(11):1229-1234, 1979.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 岡本良平, 寺岡次郎, 橘文衛: 異常乳汁分泌を呈した男性腎不全患者の1例. 日腎誌 22(6):689-695, 1980.
- 井上篤, 稲田俊雄, 寺岡次郎, 篠田俊雄, 笹岡拓雄, 秋葉隆, 中川成之輔: Hemofiltrationの臨床的研究. 腎と透析 8(5):583-586, 1980.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 岩本均, 松井則明, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 小倉美津男, 東海林隆男: 保存期腎不全患者に対する $1\alpha$ -OH-D<sub>3</sub>の投与の腎機能に及ぼす影響について. 骨代謝 13:106-111, 1980.
- 芝本隆, 松井則明, 小沢潔, 中村義弘, 秋葉隆, 吉山直樹, 中川成之輔, 根本毅志, 北岡建樹: Dialyzerの生体適合性評価指標としてのbeta-thromboglobulinにかんする検討. 人工臓器 10(1):98-101, 1981.
- 松井則明, 篠田俊雄, 秋葉隆, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 寺岡次郎: 長期透析患者脂質代謝異常におけるヘパリンの影響について. 日腎誌 2(9):1225-1232, 1981.
- 富田公夫, 秋葉隆, 篠原紳介, 三戸康義, 戸村成夫, 松田治, 出浦照國, 椎貝達夫, 武内重五郎: 正K血性原発性アルドステロン症の1例. 日本臨牀 39(11):3602-3607, 1981.
- 松井則明, 小沢潔, 中村義弘, 秋葉隆, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: 無ヘパリン透析用抗凝固薬としてのプロスタグランジンE<sub>1</sub>およびD<sub>2</sub>の有用性について. 人工臓器 10(1):245-248, 1981.
- 中村義弘, 芝本隆, 小沢潔, 秋葉隆, 松井則明, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: Cuprophane Carbon Hollow Fiber (CCHF) における物質移動に関する検討. 人工臓器 10(1):341-344, 1981.
- 大西健児, 秋葉隆, 三宅祥三, 鯉坂隆一: Disopyramideによる低血糖の1例. 日内会誌 72(9):1177-1180, 1983.

- 太田和夫, 渡辺尚美, 川口良人, 中川成之輔, 秋葉隆, 東海林隆男, 末永松彦, 平沢由平, 酒井信治, 前田憲治, 斎藤明, 白井大祿, 岸本武利, 合屋忠信, 藤永隆, 藤見惺, 斧田大公望: ダイアニール2.5(腹膜透析液) 使用によるCAPDの除水効果を中心とした多施設臨床評価. 医学と臨床 11(3):921-931, 1984.
- 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三: 高カルシウム血症を呈した甲状腺機能低下症の1例. 臨床体液 11(1):34-39, 1984.
- 馬場操, 石田雄二, 秋葉隆, 中川成之輔: 慢性透析患者におけるヘパリンの血漿アルドステロンへの影響. 腎臓 7(3):135-138, 1984.
- 武内重五郎, 日ノ下文彦, 中村義弘, 秋葉隆, 栗山廉二郎, 富田公夫, 飯野靖彦, 松田治, 齋藤博, 井田隆, 戸村成男, 椎貝達夫: 2 進行性腎障害に関する研究(厚生省特定疾患進行性腎障害調査研究班). 昭和58年度研究業績 1984.
- 太田和夫, 中川成之輔, 秋葉隆, 藤見惺, 藤永隆, 末永松彦, 川口良人, 平沢由平, 東海林隆男, 白井大祿: CAPDの外來治療における安全性とその有効性についての考察. 腎と透析 16(3):377-384, 1984.
- 前川清, 馬場操, 石田雄二, 秋葉隆, 兵藤常一, 村上正博: 長距離走負荷前後における腎機能の検討. 臨床スポーツ医学 2(Suppl):12-15, 1985.
- 秋葉隆: CAPDの透析効率に対する透析液の腹腔内分布と残液の影響. お茶の水医学雑誌 33(3):243-251, 1985.
- 小倉三津雄, 秋葉隆, 岩本均, 芝本隆, 中川成之輔: 非アルミニウム・リン吸着薬 $CeO_2 \cdot nH_2O$ の性能について. 人工臓器 15(3):1205-1207, 1986.
- 松井則明, 門間弘道, 平沢由平, 武内重五郎, 大島博幸, 中村一路, 北島和一, 笹岡拓雄, 秋葉隆: 高度の出血性リスクを有する血液透析患者に対するFOYの局所抗凝固療法—多施設統一臨床試験—. 医学と薬学 15(1):313-322, 1986.
- 小倉三津雄, 秋葉隆, 岩本均, 芝本隆, 中川成之輔: 新しい吸着薬 $CeO_2 \cdot nH_2O$ の性能について. 日透析医学会誌 19(8):775-778, 1986.
- 中川成之輔, 秋葉隆, 岩本均, 篠田俊雄, 小倉三津雄, 岸清: 人工臓器としての生体膜(腹膜)の特徴. 人工臓器 16(3):1177-1178, 1987.
- 越川昭三, 小出桂三, 他 49名: 保存期慢性腎不全に対するAST-120の効果. 腎と透析 23(2):373-381, 1987.
- 小出桂三, 越川昭三, 山根至二, 日高三郎, 関野宏, 斉藤幹郎, 金田博, 秋葉隆, 他: 慢性腎不全の進行抑制に対するAST-120の臨床評価—Placeboを対照とした多施設二重盲検試験—. Clin E 15:527-564, 1987.
- 江森俊明, 秋葉隆, 吉山直樹, 秋山隆, 宮川透: 見せかけの副甲状腺機能亢進症を呈した1例. ホルモンと臨床 36:849-852, 1988.
- 栗原怜, 河辺満彦, 米島秀夫, 梅田貢一, 田中孝一, 秋葉隆, 日ノ下文彦, 福留裕一郎, 吉山直樹, 石崎正通: 血液透析患者にみられたEDTAおよびヘパリン依存性偽血小板減少症の一例. 腎と透析 25:767-771, 1988.
- 秋葉隆, 芝本隆, 江森俊明, 山田敏生, 後藤健, 飯野靖彦, 吉山直樹, 丸茂文昭, 名倉賢治: 高速液体クロマトグラフィーを用いたデキストランの分子量クリアランス曲線—血液透析器のin vivo評価法として. 人工臓器 18(3):1232-1235, 1989.
- 吉山直樹, 千田佳子, 秋葉隆, 飯野靖彦, 丸茂文昭, 青木秀希, 秦美治: ハイドロキシアパタイト経皮端子の臨床応用について. 人工臓器 18(3):1097-1100, 1989.
- 中野清美, 秋葉隆, 江森俊明, 山田敏生, 野々口博史, 桑原道雄, 佐々木成, 飯野靖彦, 富田公夫, 平田結喜緒, 丸茂文昭, 井田隆, 中野好: TypeII偽性副甲状腺低下症の1例. 臨床体液 16(1):31-37, 1989.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭, 栗原怜, 河辺満彦, 米島秀夫, 新木一義, 山本善規: PAN-CX2でのDeferoxamine, アルミニウムの動態. 腎と透析別冊:156-158, 1989.
- 平沢由平, 平嶋邦猛, 荒川正昭, 秋葉隆, 他 23名: 腎性貧血に対するrecombinant human erythropoietin (EPOCH)の臨床的研究. 腎と透析 27(2):367-380, 1989.
- 栗原怜, 加藤仁志, 河辺満彦, 森島明, 米島秀夫, 秋葉隆, 葉山修陽: 血液透析患者に対するrecombinant human erythropoietinの循環動態に及ぼす影響. 日透析医学会誌 22(7):733-736, 1989.
- 中野清美, 秋葉隆, 江森俊明, 山田敏生, 野々口博史, 桑原道雄, 佐々木成, 飯野靖彦, 富田公夫, 平田結喜緒,

- 丸茂文昭, 井田隆, 中野好: Type II 偽性副甲状腺機能低下症の1例. 臨床体液 16(1):31-37, 1998.
- 秋葉隆, 潮山健一, 安藤亮一, 栗山廉二郎, 千田佳子, 小野重五郎, 星野正信, 丸茂文昭: 活性型ビタミンD<sub>3</sub>大量間歇投与法は副甲状腺の縮小と骨症の改善をもたらすか. 腎と骨代謝 3(1):41-47, 1990.
- 吉沢和剛, 吉山直樹, 千田佳子, 秋葉隆, 青木秀希, 秦美治, 河尻克己: 慢性腎不全犬の腹膜透析治療による長期生存実験. 人工臓器 19(2):778-781, 1990.
- 熊谷誠, 新津義文, 阿部薫, 星野正信, 秋葉隆: 改良型Hemophan膜に関するHeparin吸着性と生体適合性についての検討. 人工臓器 19(2):736-739, 1990.
- 秋葉隆, 桑原道雄, 丸茂文昭, 栗原怜, 河辺満彦, 鈴木隆雄, 米島秀夫: 慢性腎不全患者の骨塩量の評価-dual x-ray absorptiometryによる測定. 腎と骨代謝 3(2):237-245, 1990.
- 高元俊彦, 秋葉隆, 広江道昭, 笹岡拓雄, 東海林隆男, 梅沢滋男, 足立博雅, 小笠原陽, 石田雄二, 丸茂文昭: 腎性貧血に対する組換え型ヒトエリスロポエチン (TYB-5220) 投与時の心循環機能に及ぼす影響. 薬理と治療 18 (Suppl 8): s2125-2135, 1990.
- 栗原怜, 竹内正至, 鳴海福星, 米島秀夫, 矢部啓夫, 中川智之, 大藪英一, 河辺満彦, 秋葉隆, 桑原道雄, 小川由英: 二次性副甲状腺機能亢進症類似の骨X線所見を呈したprimary oxalosisの1例. 腎と骨代謝 3:475-482, 1990.
- 栗原怜, 河辺満彦, 竹田篤, 鳴海福星, 米島秀夫, 矢部啓夫, 中川智之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 腎性骨異常栄養症における石灰化前線への鉄 (Fe) 沈着の役割. 腎と骨代謝 3(3):369-378, 1990.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 丸茂文昭, 栗原怜, 矢部啓夫, 河辺満彦, 竹内正至, 米島秀夫: PAN-CX2を用いたHDFによるアルミニウム,  $\beta$ 2-microglobulin ( $\beta$ 2MG) の除去と骨・関節症状について. 腎と透析 28(別冊):99-102, 1990.
- 高元俊彦, 秋葉隆, 広江道昭, 笹岡拓雄, 東海林隆男, 梅沢滋男, 足立博雅, 小笠原陽, 石田雄二, 丸茂文昭: 腎性貧血に対する組換え型ヒトエリスロポエチン (TYB-5200) 投与時の心循環機能に及ぼす影響. 薬理と治療 18: s2125-2135, 1990.
- ハイパフォーマンス・メンブレン研究会臨床評価グループ: 基調報告 膜の性能評価. 腎と透析 28(別冊):175-179, 1990.
- 安藤亮一, 秋葉隆, 丸茂文昭, 松田治, 松井則明: 血液透析患者におけるPTH分泌に及ぼす活性型ビタミンDの影響. 日透析医学会誌 24(3):289-294, 1991.
- 三宅祥三, 松田治, 浜田恭子, 浜口祐之, 安藤亮一, 金光寛承, 石田雄二, 秋葉隆, 丸茂文昭: CAPD療法中に慢性骨髄性白血病を併発しながら5年の長期生存を得た慢性腎不全の1例. 日透析医学会誌 24(4):585-588, 1991.
- 秋葉隆, 芝本隆, 立花健, 坂本尚登, 富田公夫, 大島博幸, 丸茂文昭: 新しい合成蛋白分解酵素阻害薬 4-sulfamoyl phenyl-4-guanidinobenzoate methansulfonateの血液透析の抗凝固薬としての有用性. 人工臓器 20:1341-1345, 1991.
- 秋葉隆, 李静平, 丸茂文昭: カドミウム腎症・骨症としての鉄骨症・腎症の研究. 環境保健レポート58:191-195, 1991.
- 前田貞亮, 他 20名: 非透析慢性腎不全患者の腎性貧血に対するエリスロポエチン製剤KRN5702の効果 多施設共同研究. 腎と透析 31:1137-1154, 1991.
- 秋葉隆, 李静平, 丸茂文昭: 塩化カドミウム12カ月腹腔内投与による腎症と骨症モデル. 環境保健レポート59:188-189, 1991.
- 栗原怜, 竹内正至, 鳴海福星, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭, 河辺満彦, 大藪英一: 鉄過剰状態を有する透析患者へのエリスロポエチン (rEPO) 投与一相対的鉄欠乏の出現. 日透析医学会誌 24(8):1125-1129, 1991.
- Akiba T: Proceedings of International Symposium on "Bio-Clinical Significance of Urinary  $\beta$ <sub>2</sub>-Microglobulin". 環境保健レポート59:19, 1992.
- 越川昭三, 他 57名: 慢性腎不全に対するAST-120の透析導入遅延効果について. 腎と透析 32:783-794, 1992.
- 秋葉隆, 立花健, 出口文佐栄, 坂本尚登, 安藤亮一, 桜井俊一, 千田佳子, 戸村成男, 吉山直樹, 星野正信, 丸茂文昭: エリスロポエチン投与時の貧血の改善と血管内皮障害. 人工臓器 21(3):850-854, 1992.
- 成瀬真, 中島健一, 大場博, 松田治, 芝本隆, 秋葉隆: 各種洗浄消毒剤の透析供給装置配管材料への影響とカルシウム塩溶解性について. 人工臓器 21:905-908, 1992.

- 野木雅仙, 芝本隆, 秋葉隆, 大島博幸, 丸茂文昭, 齊藤久生, 阿部薫, 小山年男, 星野正信: トリアセテート膜ダイライザー (FB-E) の臨床評価について. 腎と透析別冊:36-40, 1992.
- 芝本隆, 野木雅仙, 秋葉隆, 大島博幸, 丸茂文昭: ハイパーフォーマンス膜における抗凝固薬の吸着動態について. 腎と透析別冊:16-20, 1992.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 河辺満彦, 栗原怜, 米島秀夫, 丸茂文昭: 腎性骨栄養症に対する副甲状腺摘出術の長期効果. 日透析医学会誌 25:875-880, 1992.
- 栗原怜, 竹内正至, 桜井祐成, 米島秀夫, 秋葉隆, 桑原道雄, 坂本尚登, 久保田俊郎, 葉山修陽, 河辺満彦: 月経周期中間期 (midcycle) に血性排液を繰り返したCAPD患者の1例. 日透析医学会誌 25:1377-1381, 1992.
- 富樫和美, 秋葉隆, 藤田祥司, 川上正也, 丸茂文昭: 血液透析患者における血中brain natriuretic peptide (BNP) 動態. 日透析医学会誌 25:977-981, 1992.
- 前田憲志, 飯田喜俊, 尾辻義人, 小野利彦, 川口良人, 今忠正, 斎藤明, 佐藤威, 篠田晤, 秋葉隆, 他: わが国の慢性透析療法の現状 (1990年末現在). 日透析医学会誌 25(1):1-42, 1992.
- 栗原怜, 秋葉隆: 造血反応に影響を及ぼす因子について—In Vitro culture systemでの検討をふくめて—. 日透析医学会誌 25(2):132-134, 1992.
- 秋葉隆, 李静平, 劉健, 室賀一宏, 宮川八平, 佐藤千史, 丸茂文昭, 石田吏: 腎疾患における微量元素の動態. Biomed Res Trace Elements 3(2), 1992.
- 秋葉隆, 北岡建樹, 久保和雄, 佐々木隆一郎, 澤西謙二, 山上征二, 山崎親雄, 和田孝雄, 飯田喜俊, 尾辻義人, 小野俊彦, 川口良人, 今忠正, 斎藤明, 佐藤威, 篠田晤, 嶋田俊恒, 関野宏, 中川成之輔, 沼田明, 平沢由平, 前田憲志: 透析患者の高齢化に関する検討. 日透析医学会誌 25:445-450, 1992.
- 越川昭三, 他 57名: 慢性腎不全に対するAST-120の透析導入遅延効果について. 腎と透析 32(5):783-794, 1992.
- 杉野信博, 安藤明利, 秋葉隆, 76名: 保存期慢性腎不全患者の腎性貧血に対するrHuEPO (EPOCH) の薬効評価—二重盲検法による4用量比較試験—EPOCH臨床評価研究会. 腎と透析 5月号, 1992.
- 日本透析療法学会統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (1991年現在). 日透析医学会誌 26:17-30, 1993.
- 安藤亮一, 千田佳子, 戸村成男, 氏家一知, 中村佳子, 末永松彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: 不動によると思われる高Ca血症を呈した腎不全の3例. 腎と骨代謝 6:107-112, 1993.
- 秋葉隆, 立花健, 笹岡拓雄, 小沢潔, 戸村成男, 千田佳子, 小笠原陽, 吉山直樹, 桜井俊一郎, 星野正信, 稲田俊雄, 井田隆, 丸茂文昭: 血液透析患者の脂質代謝異常に及ぼす低分子量ヘパリン (LHN-1) の長期的影響. 基礎と臨床 27:869-887, 1993.
- 秋葉隆, 前川正信, 長沢俊彦, 篠田晤, 海老原昭夫, 丸茂文昭: 低分子量ヘパリン (LHN-1) の単回投与による血液透析時体外循環における抗凝固薬としての臨床評価—12カ月の長期臨床試験. 基礎と臨床 27(3):839-969, 1993.
- 秋葉隆, 長沢俊彦, 篠田晤, 前川正信, 海老原昭夫, 丸茂文昭: 血液透析時体外循環における抗凝固薬としての低分子量ヘパリン (LHN-1) の臨床評価. 腎と透析 35(4):581-600, 1993.
- 羽多野道信, 他 41名: 低カルシウムCAPD腹膜透析液 (CAPD-LCa) の臨床評価に関する検討. 薬理と治療 21:4721-4746, 1993.
- 秋葉隆, 桑原道雄, 山田敏生, 安藤亮一, 吉山直樹, 栗原怜, 小笠原陽, 星野正信, 下田研二: 二次性副甲状腺機能亢進症に関する研究—二次性副甲状腺機能亢進症の指標としての骨塩量測定の意義. 平成4年度厚生科学研究腎不全医療研究事業研究報告書, 116-120頁, 厚生省 1993.
- 李静平, 秋葉隆, 丸茂文昭: 塩化カドミウムの12ヵ月腹腔内投与によるラット腎症と骨症. 環境衛生レポート60:193-196, 1993.
- 前田貞亮, 三村信英, 越川昭三, 東徹, 中本安, 吉永馨, 荒川正昭, 丸茂文昭, 篠田晤, 柴田昌雄, 石川兵衛, 太田善介, 香川征, 小野山薫, 秋澤忠男, 東海林隆男, 秋葉隆: 非透析慢性腎不全の腎性貧血に対するrecombinant human erythropoietin (KRN5702) 皮下投与における至適用量の検討—多施設共同研究—. 腎と透析 34(6):971-988, 1993.
- 東海林隆男, 前田貞亮, 三村信英, 越川昭三, 東徹, 中本安, 吉永薫, 丸茂文昭, 荒川正昭, 柴田昌雄, 篠田晤, 石川兵衛, 香川征, 小野山薫, 秋澤忠男, 秋葉隆: 慢性腎不全非透析患者の腎性貧血に対するKR5702 (エポエチン



- アルファ)の長期投与成績. 腎と透析 35(2):269-286, 1993.
- 前田貞亮, 三村信英, 越川昭三, 東徹, 今井裕一, 吉永馨, 荒川正昭, 篠田晤, 丸茂文昭, 柴田昌雄, 石川兵衛, 太田善介, 香川征, 小野山薫, 秋澤忠男, 秋葉隆, 東海林隆男:慢性腎不全非透析患者の腎性貧血に対する recombinant human erythropoietin (KRN5702)皮下投与の効果—プラセボを対照とした二重盲検多施設共同研究一. 腎と透析 35(3):429-447, 1993.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 栗原怜, 米島秀夫, 丸茂文昭:糖尿病性腎症による透析患者の骨病変の検討. 日透析医学会誌 27(6):961-965, 1994.
- 栗原怜, 竹内正至, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭:改良型CAPD用無菌接合装置(TSCDSC-101)の無菌性保持能に関する評価. 腎と透析 37(6):1165-1470, 1994.
- 秋葉隆, 栗原怜:副甲状腺機能亢進症にたいする1,25水酸化ビタミンD<sub>3</sub>静注の効果. 平成5年度厚生科学研究腎不全医療研究事業研究報告書, 66-68頁, 厚生省, 1994.
- 秋葉隆, 川口良人, 黒田満彦, 二瓶宏, 日台英雄, 山川真, 山崎親雄, 丸茂文昭:日本の透析施設におけるHCV感染に関する実態調査. 日透析医学会誌 27(2):77-82, 1994.
- 栗原怜, 須賀優, 竹内正至, 桜井祐成, 米島秀夫, 葉山修陽, 飯野靖彦, 秋葉隆, 丸茂文昭:エリスロポエチン治療中患者における脳出血—自験9症例の検討. 第2回エリスロポエチン研究会報告集, 81-86頁, Life Science Publishing, 東京, 1994.
- 安藤亮一, 田村博之, 土肥まゆみ, 井田隆, 千田佳子, 戸村成男, 秋葉隆, 丸茂文昭:慢性糸球体疾患における1,25水酸化ビタミンD代謝に及ぼす近位尿細管障害の意義. 腎と透析 36:471-474, 1994.
- 安藤亮一, 秋葉隆, 戸村成男, 土肥まゆみ, 千田佳子, 井田隆, 丸茂文昭:血液透析患者における簡易カラム法による血清1,25-水酸化ビタミンD濃度の検討. 日透析医学会誌 27(11):1417-1421, 1994.
- 秋葉隆, 笹岡拓雄, 東海林隆男, 原一男, 飯野靖彦, 福田祐幹, 齋藤博, 末永末彦, 中村義弘, 戸村成男, 千田佳子, 松井則明, 栗原怜, 松田治, 篠田俊雄, 栗山廉二郎, 井田隆, 吉山直樹, 丸茂文昭:保存期慢性腎不全の腎性貧血に対するエリスロポエチン(EPOCH)の皮下投与の検討. 腎と透析 37(4):757-770, 1994.
- 篠田俊雄, 安藤亮一, 小沢潔, 中島健一, 信沢正美, 芝本隆, 秋葉隆, 丸茂文昭:血液濾過器FH66の持続血液濾過法(CHF)における有用性. 集中治療7(別冊):S31-32, 1995.
- 結城伸泰, 秋葉隆, 佐藤猛, 高島実, 宮武正:フェニルアラニンカラムによる抗ガングリオシド抗体除去能の検討. 神経内科 43:537-543, 1995.
- 杉野信博, 安藤明利, 秋葉隆, EPOCH臨床研究会:保存期慢性腎不全患者の腎性貧血に対するrHuEPO(EPOCH)皮下投与の薬効評価—二重盲検法によるプラセボとの群間比較試験一. 腎と透析 38(1):151-162, 1995.
- 太田和夫, 小出輝, 丸茂文昭, 高橋進, 平澤由平, 越川昭三, 前川正信, 合屋忠信, 佐中孜, 窪田実, 秋葉隆, 他22名:CAPD用腹膜透析液(SGK)の使用経験. 新薬と臨床 44(3):345-367, 1995.
- 太田和夫, 小出輝, 丸茂文昭, 高橋進, 平澤由平, 越川昭三, 前川正信, 合屋忠信, 佐中孜, 窪田実, 秋葉隆, 他22名:CAPD用腹膜透析液(SGK)の臨床評価—ダイアニールPD-2を対照薬とした2群間比較試験. 新薬と臨床 44(3):368-399, 1995.
- 丸茂文昭, 浅野泰, 平澤由平, 花岡一雄, 関野宏, 小笠原陽, 千田佳子, 中村義弘, 永田雅夫, 篠田晤, 田中寛, 椿原美治, 岡田倫之, 高光義博, 稲垣王子, 大森浩之, 沼田明, 福井博義, 飯野靖彦, 鈴木正司, 秋葉隆:粉末型透析液K-AF・2Dの臨床的検討—キングラー AF-2号を対照薬とした多施設共同比較試験. 薬理と治療 23(1):139-157, 1995.
- 丸茂文昭, 浅野泰, 平澤由平, 花岡一雄, 大平整爾, 田熊淑男, 小椋陽介, 原茂子, 千田佳子, 関口高, 永田雅夫, 小川洋史, 田中寛, 椿原美治, 岡田倫之, 大森浩之, 福井博義, 飯野靖彦, 鈴木正司, 秋葉隆:粉末型透析液K-AF・3Dの臨床的検討—キングラー AF-2号を対照薬とした多施設共同比較試験. 薬理と治療 23(1):159-178, 1995.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 栗原怜, 竹内正至, 桜井祐成, 須賀優, 米島秀夫, 丸茂文昭:女性血液透析患者の骨に対する閉経の影響. 日透析医学会誌 28(5):879-884, 1995.
- 山内和志, 田村博之, 伏見清秀, 田村禎一, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭:小

- 腸粘膜下腫瘍によるイレウスで急性腎不全に至った1症例. 臨床体液 22:27-29, 1995.
- 浅野泰, 秋葉隆, 日台英雄: 1透析施設における劇症肝炎炎症調査報告. 日透析医学会誌 25(5):843-845, 1995.
- 秋葉隆, 日台英雄, 川口良人, 田部井薫, 二瓶宏, 山崎親雄: 日本の慢性透析療法を行っている施設での院内感染防止の現況—院内感染防止に関する透析施設調査アンケートより. 日透析医学会誌 28(5):847-856, 1995.
- 山本浩靖, 川崎忠行, 芝本隆, 秋葉隆, 前田貞亮: 新たに開発されたポリスルホン膜の臨床評価 (従来のポリスルホン膜との比較). 人工臓器 24(3):680-684, 1995.
- 秋葉隆, 浅野泰, 田部井薫, 栗原怜, 飯野靖彦, 河辺満彦, 小笠原陽, 笹岡拓雄, 福留裕一郎, 塚本雄介, 野村幸範, 丸茂文昭: 慢性腎不全患者における透析液粉末製剤NAS-901Pの一般試験. 臨床透析 11(10):1615-1627, 1995.
- 秋葉隆, 浅野泰, 田部井薫, 栗原怜, 飯野靖彦, 河辺満彦, 小笠原陽, 笹岡拓雄, 福留裕一郎, 塚本雄介, 野村幸範, 丸茂文昭: 慢性腎不全患者における透析液粉末製剤NAS-901Pの長期試験. 臨床透析 11(11):1745-1756, 1995.
- 日本透析医学会統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (1993年12月31日現在). 日透析医学会誌 28(1):1-30, 1995.
- 秋葉隆, 井上隆, 鈴木満, 吉田豊彦, 山崎親雄, 土屋隆, 平澤由平: 「兵庫県南部地震の対応—日本透析医会須田町事務所での初動5日間の教訓」. 日透析医会誌 10(2):112-116, 1995.
- 秋葉隆, 井上隆, 鈴木満, 吉田豊彦, 山崎親雄, 土屋隆, 平澤由平: 「兵庫県南部地震—地震発生後10日目の歩み」. 日透析医会誌 10(2):117-120, 1995.
- 秋葉隆, 井上隆, 鈴木満, 吉田豊彦, 山崎親雄, 土屋隆, 平澤由平: 1. 兵庫県南部地震による阪神大震災の対応—日本透析医会須田町事務所での初動5日間の教訓—大阪透析研会誌 13(1):3-6, 1995.
- 篠田俊雄, 安藤亮一, 小沢潔, 中島健一, 信沢正美, 芝本隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液濾過器FH66の持続血液濾過法 (CHF) における有用性. 集中治療 7:31-32, 1995.
- 櫻井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 須賀優, 大和田一博, 米島秀夫, 大藪英一, 松信精一, 葉山修陽, 秋葉隆: メチルドーパによると考えられた高度の溶血性貧血を合併したSLE様症候群の1例. 日内会誌 84(12):107-109, 1995.
- 芝本隆, 秋葉隆, 佐野直人, 信沢正美, 安藤亮一, 丸茂文昭: 再生セルロース膜表面にコーティングされたビタミンEの有用性について. 人工臓器 25(1):121-126, 1996.
- 秋葉隆: 第8回日本透析医会シンポジウム透析医療におけるConsensus Conference'95 二次性副甲状腺機能亢進症に対する保存的治療の限界と手術適応 まとめ. 日透析医会誌 12(1):49-52, 1996.
- 佐藤威, 斎藤明, 内藤秀宗, 鈴木正司, 秋澤忠男, 篠田俊雄, 峰島三千男, 金成泰, 秋葉隆: 各種の血液浄化法の機能と適応—血液浄化器の性能評価法と機能分類. 日透析医学会誌 29(8):1231-1245, 1996.
- 安藤亮一, 土肥まゆみ, 竹田篤, 千田佳子, 井田隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者における血清1,25水酸化ビタミンD濃度の臨床的意義—血清Ca濃度, 骨塩量との関係. 日透析医学会誌 29:1123-1129, 1996.
- 日本透析医学会統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (1994年12月31日現在). 日透析医学会誌 29(1):1-22, 1996.
- 太田和夫, 荒井純子, 川口良人, 久保仁, 二瓶宏, 秋葉隆, 他21名: 1.1%アミノ酸含有腹膜透析液BLAを用いたcontinuous ambulatory peritoneal dialysis療法による臨床的有用性の検討—多施設における臨床成績—. 腎と透析 40(3):507-526, 1996.
- 秋葉隆, 他20名: 血液透析時体外循環における低分子ヘパリン (LHN-1) の臨床評価—出血性病変あるいは出血傾向を有する透析患者を対象とした多施設共同第Ⅱ相臨床試験—. 腎と透析 41(6):877-886, 1996.
- 萩元宣彦, 篠田俊雄, 丹羽昭博, 秋葉隆: 透析導入時に頻回に胸痛発作を繰り返し, PTCAが奏功した1例. 臨床透析 12(13):1797-1802, 1996.
- 田村博之, 田村禎一, 秋葉隆, 丸茂文昭: CAPD中, 頻回の嘔吐・下痢をきたした糖尿病の1例. 腹膜透析'97:271-275, 1997.
- 秋葉隆, 吉川直哉, 佐野直人, 芝本隆, 田村博之, 田村禎一, 丸茂文昭: Polysulphone膜透析器の溶出物—透析器洗浄液への溶出に関する研究. 人工臓器 26:126-129, 1997.
- 越川昭三, 秋澤忠男, 飯田喜俊, 丸茂文昭, 川口良人, 白井大祿, 今田聰雄, 山崎親雄, 鈴木正司, 椿原美治, 秋葉隆, 中島光好: 透析患者の起立性低血圧症状に対するL-threo-DOPSの臨床効果—多施設共同二重盲検比較法によ

- る第3相試験一. 日透析医学会誌 30(7):941-959, 1997.
- 秋澤忠男, 越川昭三, 飯田喜俊, 丸茂文昭, 川口良人, 白井大祿, 今田聰雄, 山崎親雄, 鈴木正司, 椿原美治, 秋葉隆: 血液透析患者の低血圧症に対するL-DOPSの臨床効果—多施設共同試験一. 医学と薬学 37(2):411-427, 1997.
- 秋澤忠男, 越川昭三, 飯田喜俊, 丸茂文昭, 川口良人, 白井大祿, 今田聰雄, 山崎親雄, 鈴木正司, 椿原美治, 秋葉隆, 中島光好: 透析患者の起立性低血圧症状に対するL-threo-DOPS臨床効果—多施設共同二重盲検比較法による用量設定試験一. 腎と透析 42(4):527-583, 1997.
- 椿原美治, 越川昭三, 飯田喜俊, 丸茂文昭, 川口良人, 白井大祿, 今田聰雄, 山崎親雄, 鈴木正司, 秋澤忠男, 秋葉隆, 清水直容: 慢性透析患者の起立性低血圧に対するL-DOPS (ドロキシドパ) の長期投与試験. 腎と透析 43(4):571-583, 1997.
- 信澤正美, 安藤亮一, 竹田篤, 千田佳子, 秋葉隆, 丸茂文昭: HDFダイアライザー FB-150FHの性能評価. 人工臓器 26(2):439-442, 1997.
- 川口良人, 下条文武, 秋澤忠男, 菊池健次郎, 野本保夫, 平方秀樹, 秋葉隆: 腎不全の病態と治療に関する研究. 平成9年度厚生科学研究疾病対策研究分野長期慢性疾患総合研究事業, 厚生省, 1997.
- 日本透析医学会統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (1996年12月31日現在). 日透析医学会誌 31(1):1-24, 1998.
- 太田朋子, 秋葉隆, 伏見清秀, 田村博之, 羽田俊彦, 佐々木成, 丸茂文昭: 腹膜における水チャネルaquaporin (AQP) mRNAの発現について. 腹膜透析'98別冊:182-186, 1998.
- 秋葉隆, 芝本隆, 川崎忠行, 上野信一, 佐藤久光, 申曾洙, 竹沢真吾, 田部井薫, 那須野修一, 藤井穂波, 和田孝雄, 浅野泰 (日本透析医学会学術委員会コンピュータ化小委員会): 我が国の透析医療におけるコンピュータ化の現状. 日透析医学会誌 31(3):237-242, 1998.
- 阿部薫, 椎名充, 星野正信, 山本明広, 芝本隆, 秋葉隆: 水道水に含まれるエンドトキシン, ペータグルカン, ペプチドグリカンのハイフラックス膜通過の評価. 日透析医学会誌 31(9):1273-1278, 1998.
- 櫻井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 大和田一博, 小野田教高, 米島秀夫, 秋葉隆: 副甲状腺機能低下症を呈した血液透析患者の長期経過についての検討. 日透析医学会誌 31(9):1243-1249, 1998.
- 渡邊有三, 中本雅彦, 千葉栄市, 平野宏, 秋葉隆, 衣笠えり子, 小川洋史, 中井滋, 浅野泰: 在宅(家庭)血液透析についての提言. 日透析医学会誌 31(5):959-965, 1998.
- 下田研二, 秋葉隆, 松島照彦, 頼建光, 阿部薫, 星野正信: Niceritrolは慢性維持血液透析患者において血清無機リン濃度を低下させる. 日腎誌 40(1):1-7, 1998.
- 桑原道雄, 顧勇, 秋葉隆, 丸茂文昭: カドミウム投与後早期におけるメタロチオネイン遺伝子の発現. Biomed Res Trace Elements 9(3):121-122, 1998.
- 羽田俊彦, 木田雄二郎, 秋葉隆: 超音波検査およびGaシンチグラムにより感染巣の確定診断に至り, 経皮的ドレナージを必要とした染色体優性多発性嚢胞腎の嚢胞内感染の1例. 臨牀透析 14(6):81-85, 1998.
- 斎藤明, 新里徹, 秋葉隆, 秋澤忠男: 身体的および財政的負担の少ない在宅透析技術の開発. 平成10年度厚生科学研究健康安全確保総合研究分野健康科学総合研究事業, 厚生省, 1998.
- 越川昭三, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 酒井紀, 荒川正昭, 森井浩世, 清野佳紀, 秋澤忠男, 秋葉隆, 塚本雄介, 鈴木正司: 高齢透析期腎不全患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対するcalcitriol (Ro21-5535) 注射剤の効果: 非高齢者を対象とした試験. CLINICAL CALCIUM 9(1):134-157, 1999.
- 山田敏生, 秋葉隆, 平賀聖悟, 丸茂文昭: 家庭血液透析におけるsingle-pass batch式透析液供給方式の至適条件の検討. 日透析医学会誌 32(1):27-33, 1999.
- 日本透析医学会統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (1997年12月31日現在). 日透析医学会誌 32(1):1-17, 1999.
- 佐野直人, 芝本隆, 佐々木信, 島村治子, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: ポリスルホンおよびセルローストリアセテート膜の蛋白吸着特性. 腎と透析別冊 1999.
- 栗原怜, 秋葉隆, 谷澤龍彦, 高橋栄明: 維持透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 投与時の骨組織形態計測学的検討. 腎と透析 47(4):559-572, 1999.

- 黒川清, 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 越川昭三, 平澤由平, 他: 維持透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 注射剤の効果—前期第Ⅱ相予備投与試験—。臨牀透析 15(9):1333-1353, 1999.
- 黒川清, 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 越川昭三, 平澤由平, 他: 透析期腎不全患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 注射剤の効果—前期第Ⅱ相臨床試験—(第2報)。腎と透析 47(5):715-737, 1999.
- 秋葉隆, 山崎親雄, 秋澤忠男, 佐藤千史, 吉澤浩司: 血液透析療法における実態把握と予防対策に関する研究。平成11年度厚生科学研究疾病対策研究行政政策研究分野厚生科学特別研究事業, 厚生省, 1999.
- 佐野直人, 芝本隆, 田村禎一, 坂本尚登, 秋葉隆, 成瀬真, 中島健一, 大塚正一, 篠田俊雄, 丸茂文昭: セルローストリアセテート膜透析器の抗血栓に関する臨床的評価。臨牀透析 15(1):133-139, 1999.
- 鳥村治子, 田村博之, 坂本尚登, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 酢酸フルドロコルチゾンの投与が著効した高K型尿細管性アシドーシスの1症例。臨床体液 26(1):45-50, 1999.
- 栗原怜, 秋葉隆, 谷澤龍彦, 高橋栄明: 維持透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 投与時の骨組織形態計測学的検討。腎と透析 47(4):559-572, 1999.
- 栗原怜, 大和田和博, 小野田教高, 桜井祐成, 大藪英一, 米島秀夫, 秋葉隆, 谷澤龍彦: ビタミンD3の欠乏により線維性骨炎がマスクされたと考えられる高度の二次性副甲状腺機能亢進症の1例。CLINICAL CALCIUM 9(12):1582-1586, 1999.
- 越川昭三, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 酒井紀, 荒川正昭, 森井浩世, 清野佳紀, 秋澤忠男, 秋葉隆, 塚本雄介, 鈴木正司: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するRo21-5535(calcitriol) 注射剤の臨床効果 多施設共同前期第2相臨床試験。腎と透析 46(3):415-435, 1999.
- 越川昭三, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 酒井紀, 荒川正昭, 森井浩世, 清野佳紀, 秋澤忠男, 秋葉隆, 塚本雄介, 鈴木正司: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するRo21-5535(calcitriol) 注射剤のPTH抑制効果及び臨床評価 多施設共同前期第2相臨床試験。腎と透析 46(2):275-292, 1999.
- 越川昭三, 秋澤忠男, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 秋葉隆, 酒井紀, 塚本雄介, 荒川正昭, 鈴木正司, 森井浩世, 清野佳紀, 大橋靖雄: 透析期腎不全患者に合併した二次性副甲状腺機能亢進症に対するcalcitriol注射剤 (Ro21-5535) の長期投与による臨床効果。腎と透析 46(1):123-144, 1999.
- 黒川清, 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 越川昭三, 他: 透析期腎不全患者に合併した二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 注射剤長期投与の効果。腎と透析 48(2):243-264, 2000.
- 黒川清, 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 西澤良記, 他: 透析期腎不全患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-Oxacalcitriol (OCT) 注射剤の安全性および有効性の検討—第Ⅲ相一般臨床試験—。腎と透析 48(6):875-897, 2000.
- 田口直美, 長谷部佳子, 山中泰子, 武久弘子, 中山栄純, 佐藤千史, 秋葉隆, 丸茂文昭, 栗原怜, 小笠原陽: 透析患者への旅行支援について。日透析医学会誌 33(6):1053-1058, 2000.
- 田島真人, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 透析導入時に全身の血管の石灰化が認められた慢性腎不全の1症例。臨床体液 27:49-52, 2000.
- 栗原怜, 秋葉隆, 丸茂文昭: 新しいCAPD用無菌性接合装置 (TSCD SC-102) の無菌性保持能に関する評価。腎と透析 49(2):295-299, 2000.
- 伏見清秀, 劉天泉, 鈴木卓, 武田稔男, 田代嗣晴, 秋葉隆: 血液透析治療に関する医療情報交換のためのデータフォーマット (HeMX) の設計。日透析医学会誌 33(9):1273-1282, 2000.
- 秋葉隆, 山崎親雄, 秋澤忠男, 佐藤千史, 吉沢浩司: 血液透析療法における院内感染防止対策の現況。日透析医学会誌 33(10):1303-1312, 2000.
- 太田朋子, 秋葉隆, 伏見清秀, 鳥村治子, 田村博之, 佐々木成, 丸茂文昭: 除水能—AQPラット腹膜細胞培養における水チャネルaquaporin-1(AQP-1) の発現。腎と透析 49別冊腹膜透析 2000:113-116, 2000.
- 栗原怜, 秋葉隆, 丸茂文昭: 新しいCAPD用無菌接合装置 (TSCD SC-102) の無菌性保持能に関する評価。腎と透析 49(2):295-299, 2000.
- 越川昭三, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 酒井紀, 荒川正昭, 森井浩世, 佐野佳紀, 秋澤忠男, 秋葉隆, 塚本雄介, 鈴木正司, 大橋靖雄: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するカルシトリオール注射剤 (Ro21-5535) の治療効果及

- び安全な使用方法に関する検討 多施設共同第3相臨床試験. 腎と透析 48(5):723-740, 2000.
- 山崎親雄, 鈴木正司, 秋澤忠男, 秋葉隆, 鈴木満, 吉田豊彦: 透析医療機関実態調査について. 日透析医学会誌 15(1):122-126, 2000.
- 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭: 開発したヘマトクリット値と除水制御連動システムは透析中の低血圧防止と適正体重の管理に有効か. 人工透析 29(1):141-146, 2000.
- 浅井友基, 桑原道雄, 佐藤和則, 寺田典生, 栗原怜, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: 透析患者におけるエストロゲン受容体遺伝子多型と骨病変. 日透析医学会誌 34(1):33-39, 2001.
- 中井滋, 新里高弘, 佐中孜, 菊池健次郎, 北岡建樹, 篠田俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠実, 大森浩之, 守田治, 井関邦敏, 久保和雄, 田部井薫, 政金生人, 伏見清秀, 秋葉隆: わが国の慢性透析療法の現況 (1999年12月31日現在). 日透析医学会誌 34(1):1-31, 2001.
- 秋葉隆: カドミウム投与後早期のラット腎におけるメタロチオネインの局在. 平成12年度環境庁委託研究費報告書 2001.
- 佐野直人, 芝本隆, 吉本裕, 佐々木信, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: エンドトキシン汚染対策プログラムの基礎的および臨床的評価. 日透析医学会誌 34(4):257-262, 2001.
- 平澤由平, 内藤秀宗, 栗原怜, 山崎親雄, 秋葉隆, 秋澤忠男, 中井滋: 透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定に関する研究. 日透析医学会誌 16(2):236-263, 2001.
- 平澤由平, 内藤秀宗, 栗原怜, 山崎親雄, 秋葉隆, 秋澤忠男, 中井滋: 透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定に関する研究. 日透析医学会誌 34(9):1257-1286, 2001.
- 平澤由平, 今忠正, 吉田祐彦, 山崎親雄, 杉崎弘章, 鈴木正司, 秋澤忠男, 秋葉隆: 地域災害における透析医療の実態調査と対応マニュアルの策定に関する研究. 日透析医学会誌 16(2):264-287, 2001.
- 野木雅仙, 橋本貴仁, 椎名充, 阿部薫, 古川猛, 星野正信, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: 離散的酸素飽和度測定 (MasimoSET) 原理を用いたパルスオキシメーターの透析分野における評価. ICUとCCU 25: S115-S117, 2001.
- 吉本裕, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭: 持続的血液浄化膜の抗凝固薬吸着動態について. ICUとCCU 25: S97-S98, 2001.
- 渡邊有三, 中本雅彦, 千葉栄市, 秋葉隆, 衣笠えり子, 小川洋史, 中井滋, 斎藤明: 在宅 (家庭) 血液透析についての提言 (第2報) 患者からみた在宅血液透析療法の評価と今後の問題点. 日透析医学会誌 34(5):357-364, 2001.
- 太田朋子, 秋葉隆, 田村博之, 佐々木成, 丸茂文昭: 腹膜の病理とカイネティクス ラット腹膜における水チャネルaquaporin-1(AQP-1)の局在. 腎と透析 51別冊腹膜透析 2001:90-92, 2001.
- 石森勇, 峰島三千男, 佐藤雄一, 秋葉隆, 春原隆司, 増田利明, 玉村憲幸, 櫻井秀彦: 超音波ドップラーによるダイヤライザ内部濾過現象の検証. 医工学治療 13(4):187-190, 2001.
- 海老沢秀夫, 石和希伊子, 佐々木ふみ, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液排液中溶質濃度の連続的モニタリングによる適正透析の模索. 医工学治療 13(4):178-182, 2001.
- 鈴木聡, 石森勇, 石田和寛, 奥田幸正, 金子岩和, 佐藤雄一, 峰島三千男, 秋葉隆: ここまできた在宅透析関連機器 在宅治療としての透析液再生型腹膜透析の可能性. 臨牀透析 17(9):1266-1268, 2001.
- 渡邊有三, 中本雅彦, 千葉栄市, 秋葉隆, 衣笠えり子, 小川洋史, 中井滋, 日本透析医学会在宅血液透析小委員会: 在宅透析患者のアンケート調査 患者の視点から見た在宅血液透析療法の評価. 臨牀透析 17(9):1236-1238, 2001.
- 秋葉隆, 木全直樹, 西田英一, 三和奈穂子, 川嶋朗, 峰島三千男: ラットにおける静注鉄剤の急性毒性比較試験. 医学と薬学 46(1):47-67, 2001.
- 秋葉隆: カドミニウム投与後早期のラット腎におけるメタロチオネインの局在. 環境保健レポートNo. 68(平成12年度環境省委託業務結果報告書「カドミニウムの健康影響に関する研究」より), 294-297, 2002.
- 大坪茂, 森典子, 長井幸二郎, 松尾研, 前原陽子, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析患者におけるポリウレタン製人工血管 (Thoratec Vascular Access Graft, TVAG) と Expanded Polytetrafluoroethylene Graft (E-PTFEG) の早期閉塞率の比較. 日透析医学会誌 35(6):1125-1129, 2002.
- 越川昭三, 秋澤忠男, 尾形悦郎, 黒川清, 丸茂文昭, 秋葉隆, 酒井紀, 塚本雄介, 荒川正昭, 鈴木正司, 森井浩

- 世, 清野佳紀, 大橋靖雄: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するCalcitriol (Ro 21-5535) 静脈内投与の効果—プラセボを対照とした3用量間多施設共同二重盲検比較試験—. 臨床医薬 18(5):663(39)-703(79), 2002.
- 吉澤浩司, 武田直和, 三代俊治, 溝上雅史, 鈴木一幸, 長尾由美子, 秋葉隆, 田中純子, 三浦宣彦, 佐田通夫, 佐藤千史, 山本匡介, 田中英夫, 頼岡徳在, 高橋和明, 小山富子: C型肝炎の自然経過および介入による影響等の評価を含む疫学的研究. 厚生科学研究補助金新興・再興感染症研究事業, 平成13年度報告書(3年計画の1年目), 2002.
- 峰島三千男, 鈴木聡, 石森勇, 石田和寛, 秋葉隆: 透析液再生型腹膜透析システムの開発に関する研究. 東京女子医科大学総合研究所紀要 22:90-92, 2002.
- 秋葉隆, 福原俊一, 秋澤忠男, 丸茂文昭, 前田貞亮: 透析導入前慢性腎不全患者へのEpoetin alfa (エスポー) 投与の影響に関する検討. 腎と透析 52(1):117-123, 2002.
- 秋澤忠男, 福原俊一, 秋葉隆, 丸茂文昭, 黒川清, 杉野信博: 血液透析患者のQOLへのEpoetin alfa (エスポー) 投与の影響に関する検討. 腎と透析 53(5): 669-676, 2002.
- 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 近本裕子, 服部元史, 白髪宏司, 伊藤克己: 持続緩徐式血液浄化装置ACH-07用小児回路の開発と臨床使用について. 日小児腎不全会誌 22:126-128, 2002.
- 清水幹夫, 相馬泉, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏, 近本裕子, 永淵弘之, 服部元史, 白髪宏司, 伊藤克己: 血液透析を利用した交換輸血. 日小児腎不全会誌 22:111-113, 2002.
- 芝田正道, 天野雄介, 坂上貴光, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: Fresenius社製個人用透析装置4008Sの除水コントロール機能の有用性. 医工学治療 14(4):203-208, 2002.
- 東尚子, 安藤稔, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析患者におけるhelper T細胞サブセットの解析. 日透析医学会誌 35(13):1549-1555, 2002.
- 関根淑江, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: 腹膜透析患者におけるCD4陽性ヘルパー T細胞 (Th1/Th2) バランス (CD4+ Helper T Cell Balance (Th1/Th2) in Patients on Continuous Ambulatory Peritoneal Dialysis). 東女医大誌 72(10~11):470-476, 2002.
- 芝田正道, 天野雄介, 坂上貴光, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: Fresenius社製個人用透析装置4008SのBVMを指標とした除水コントロール機能の有用性. 日透析医学会誌 35(10):1337-1342, 2002.
- 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 近本裕子, 永淵弘之, 服部元史, 白髪宏司, 伊藤克己, 秋葉隆: 乳児及び低体重患児用低容量血液回路の開発. ICUとCCU 26別冊: S205-S206, 2002.
- 伊木雅之, 秋葉隆, 西野治身, 松本俊夫, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭: 健常日本人女性における骨代謝マーカーによる骨密度変化の予測 JPOS Cohort Study. Osteoporosis Japan 10(2):270-273, 2002.
- 春口洋昭, 中島一郎, 村上徹, 吉村直子, 君川正昭, 佐藤純彦, 川瀬友則, 唐仁原全, 淵之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 慢性透析患者の周術期管理, とくに血液浄化法の検討. ICUとCCU 26別冊: S24-S26, 2002.
- 清水幹夫, 永淵弘之, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児急性血液浄化療法の課題 当施設における小児急性血液浄化法の実際 技術的側面から. ICUとCCU 26別冊: S50-51, 2002.
- 中井滋, 新里高弘, 佐中孜, 菊池健次郎, 北岡建樹, 篠田俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠実, 大森浩之, 守田治, 井関邦敏, 久保和雄, 田部井薫, 政金生人, 伏見清秀, 和田篤志, 三和奈穂子, 秋葉隆 日本統計調査委員会: わが国の慢性透析療法の現況 (2000年12月31日現在). 日透析医学会誌 35(1):1-28, 2002.
- 伊木雅之, 秋葉隆, 西野治身, 松本俊夫, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭 (for JPOS Study Group): 健常日本人女性における骨代謝マーカーによる骨密度変化の予測—JPOS Cohort Study—. Osteoporosis Japan 10(2):126-129, 2002.
- 内藤順代, 西田英一, 二瓶宏, 川嶋朗, 秋葉隆: 腹膜透析歴4年で破壊性脊椎関節症 (DSA) を発症した1例. 腹膜透析 2002(腎と透析 53 別冊):272-273, 2002.
- 西田英一, 塚田三佐緒, 板橋美津世, 内藤順代, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 腹膜中皮細胞および腹膜線維芽細胞におけるTGF- $\beta$  アンチセンスおよびHGFの投与効果. 腹膜透析 2002(腎と透析 53 別冊): 288-291, 2002.
- 塚田三佐緒, 本田一穂, 西田英一, 堀田茂, 板橋美津世, 内田啓子, 新田孝作, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏, 水江由佳, 西平順: 腹膜中皮細胞のmacrophage migration inhibitory factor (MIF) 産生とCAPD患者にお

- る MIF の役割. 腹膜透析 2002(腎と透析 53 別冊):300-303, 2002.
- 渋谷理恵, 後藤しずか, 長谷川美恵子, 西田英一, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 患者自身が食生活を振り返ることにより体重増加をコントロールできた 1 例. 腹膜透析 2002(腎と透析 53 別冊):476-477, 2002.
- 新田孝作, 秋葉隆, 三和奈穂子, 木全直樹, 渡邊喜彦, 川嶋朗, 青木孝直, 二瓶宏: 維持血液透析患者における血中 whole PTH 濃度と骨密度との関連性. 日骨形態計測会誌 12(2): 53, 2002.
- 徳本直彦, 木全直樹, 田邊一成, 石田英樹, 戸田房子, 山下優子, 望月剛, 赤羽陸弘, 秋葉隆, 東間紘: 血液透析患者における超音波高速 3 次元表示 (Volmode) 画像によるブラッドアクセスの評価と有用性について. 腎移植・血管外科 14(2):149-157, 2003.
- 安田雅子, 安藤稔, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析患者における単球細胞内でのサイトカイン産生能の解析—サイトカイン仮説の再評価—. 日透析医学会誌 36(3):185-191, 2003.
- 安藤亮一, 吉川桃乃, 山下裕美, 土肥まゆみ, 千田佳子, 伊田隆, 石田雄二, 秋葉隆: 血液透析患者におけるマキサカルシトール, 静注カルシトリオールの二次性副甲状腺機能亢進症に対する効果比較. 日透析医学会誌 36(5): 317-325, 2003.
- 齋藤まどか, 土谷健, 安藤稔, 秋葉隆, 二瓶宏: 保存期腎不全患者の貧血—網赤血球ヘモグロビン含量 (CHR) による鉄動態の評価—. 日腎誌 45(5):430-438, 2003.
- 成田暁, 松井貴広, 田村仁信, 須田昭夫, 高橋真生, 北野優里, 佐藤雄一, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 高分子量溶質除去に優れた改良 BS-1.6UL の性能および内部濾過流量の検討. 腎と透析 55 別冊:87-90, 2003.
- 春口洋昭, 西田英一, 秋葉隆, 二瓶宏, 寺岡慧: 段階的腹膜透析導入法 (SMAP) を試みた 11 例の検討. 腎と透析 54 別冊:109-111, 2003.
- 春口洋昭, 甲斐耕太郎, 佐藤雄一, 廣谷紗千子, 佐藤純彦, 中村道郎, 川瀬友則, 田上茂, 矢嶋淳, 工藤真司, 唐仁原全, 中島一郎, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 内シャントを維持するためのバイパスグラフとの臨床的検討. 腎と透析 55 別冊アクセス 2003:76-78, 2003.
- 越川昭三, 斎藤明, 秋澤忠男, 浅野泰, 大平整爾, 伊丹儀友, 鈴木正司, 秋葉隆, 篠田俊雄, 出浦照國, 衣笠えり子, 川口良人, 東海林隆男, 小川洋史, 武本佳昭, 内藤秀宗, 打田和宏, 水口潤, 中本雅彦: 連日透析システム (AEK-10) による連日短時間血液透析の有効性と安全性の検討 (多施設共同試験). 日透析医学会誌 36(12):1709-1718, 2003.
- 佐藤朱美, 田中好子, 浅野美和子, 内田啓子, 久保和雄, 大坪由里子, 網代晶子, 岩田晶子, 齋藤まどか, 秋葉隆: エチドロン酸二ナトリウム (EHDP) が奏効した巨大な異所性石灰化の 2 透析例. 日透析医学会誌 36(12): 1725-1730, 2003.
- 春口洋昭, 西田英一, 秋葉隆, 二瓶宏, 寺岡慧: CAPD 段階的腹膜透析導入法 (SMAP) を試みた 11 例の検討. 腎不全外科 2003. 腎と透析 54 別冊:109-111, 2003.
- 石田和寛, 木全直樹, 坂上貴光, 峰松祐介, 岡亨, 三輪芳久, 川口敬三, 佐藤敦司, 金子岩和, 佐藤雄一, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析療法における循環動態モニタリング機能 (HASTF) の評価. 日透析医学会誌 36(10):1553-1559, 2003.
- 横手卓也, 芝田正道, 坂上貴光, 天野雄介, 三浦俊二, 石和希伊子, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ヘマトクリット濃縮法による再循環率測定. 医工学治療 15(2):77-82, 2003.
- 太田和夫, 秋葉隆, 前波輝彦, 中尾俊之, 中山昌明, 頼岡徳在, Tranaeus A: 本邦におけるイコデキストリン透析液の臨床成績—ブドウ糖透析液を対照薬とした二重盲検比較試験の結果—. 腎と透析 55(1):211-219, 2003.
- 清水幹夫, 芝田正道, 相馬泉, 金子岩和, 中倉兵庫, 服部元史, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏, 伊藤克己: 循環量モニター—小児血液浄化療法における循環血液量監視の有用性—. ICU と CCU 27 別冊: S94-S95, 2003.
- 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 中倉兵庫, 近本裕子, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: 当施設での小児における急性期血漿交換法 (PE) の技術的検討. ICU と CCU 27 別冊: S87-88, 2003.
- 唐仁原全, 川瀬友則, 佐藤純彦, 中村道郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 田上正茂, 春口洋昭, 中島一郎, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 敗血症性多臓器不全の病態と治療—消化管緊急手術症例に対するエンドトキシン吸着法—. ICU と CCU 27 別冊: S31-33, 2003.

- 金野好恵, 江口圭, 天野雄介, 横井良, 金子岩和, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏:新しい二重膜濾過法(加温式再循環法)の使用経験:吸着型LDLアフェレシス療法との比較をふまえて. 日アフエレシス会誌 22(1):44-50, 2003.
- 中井滋, 新里高弘, 奈倉勇爾, 政金生人, 北岡建樹, 篠原俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠実, 大森浩之, 守田治, 井関邦敏, 菊池健次郎, 久保和雄, 鈴木一之, 田部井薫, 伏見清秀, 三和奈穂子, 和田篤志, 矢内充, 秋葉隆:わが国の慢性透析療法の現況(2001年12月31日現在). 日透析医学会誌 36(1):1-31, 2003.
- 中井滋, 新里高弘, 奈倉勇爾, 政金生人, 北岡建樹, 篠田俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠実, 大森浩之, 守田治, 井関邦敏, 菊池健次郎, 久保和雄, 鈴木一之, 田部井薫, 伏見清秀, 美和奈穂子, 和田篤志, 矢内充, 秋葉隆. 日本透析医学会統計調査委員会同小委員会:わが国の慢性透析療法の現況(2002年12月31日現在). 日透析医学会誌 37(1):1-24, 2004.
- 下条文武, 斎藤明, 秋澤忠男, 秋葉隆, 酒井達也, 鈴木正司, 椿原美治, 西慎一, 平方秀樹, 別所正美:2004年版日本透析医学会「慢性血液透析患者における腎性貧血治療のガイドライン」. 日透析医学会誌 37(9):1737-1826, 2004.
- 杉浦秀和, 小川哲也, 平林あゆみ, 末永多恵子, 大前清嗣, 西田英一, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏:慢性腎不全に合併したabdominal anginaにprostaglandin E<sub>1</sub>が有効であった3症例. 日透析医学会誌 37(4):329-334, 2004.
- 菅沼信也, 湯村和子, 内田啓子, 鈴木啓子, 内藤順代, 小池美菜子, 川嶋朗, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏:全身性エリテマトーデス患者の血液透析導入時の特徴—慢性糸球体腎炎患者との比較—. 日透析医学会誌 37(9):1789-1796, 2004.
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 福原俊一, 斎藤明, 大平整爾, 関野宏, 山崎親雄, 岸本武利, 大澤源吾, 藤見惺, 丸茂文昭, 黒川清, Bragg-Gresham JL, Pisoni RL, Port FK, Held PJ, J-DOPPS研究会:日本における国際血液透析患者調査DOPPSの成績. 日透析医学会誌 37(10):1865-1873, 2004.
- 澁谷あすか, 安藤稔, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏:連続携行式腹膜透析患者と血液透析患者における自然免疫能の比較—単核球の外因刺激に対するサイトカイン産生反応からみた検討. 日腎会誌 46(7):700-708, 2004.
- 末永多恵子, 小川哲也, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏:慢性透析患者の血液透析治療に伴う脈波伝播速度と心拍変動解析に関する検討. 日透析医学会誌 37(11):1989-1998, 2004.
- 横手卓也, 芝田正道, 加藤紀子, 坂上貴光, 中道見子, 天野雄介, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆:CRIT-LINE III TQAによるブラッドアクセス流量測定. 医工学治療 16(2):73-78, 2004.
- 菊地勘, 秋葉隆:特集 透析室の環境整備—院内感染を含めて II 透析室の感染対策—透析施設の全国アンケート調査より—. 臨牀透析 20(8):27-33, 2004.
- 峰島三千男, 鈴木聡, 石森勇, 秋葉隆:44 透析液再生型腹膜透析システムの開発に関する研究 東京女子医科大学総合研究所 紀要 24—2003年度報告書—, 80-81, 2004.
- 石和希伊子, 村上淳, 海老沢秀夫, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆:透析液廃液溶質除去モニターを用いた適正透析への模索. 日血浄化技会誌 12(1):31-33, 2005.
- 和田篤志, 北岡建樹, 中井滋, 新里高弘, 奈倉勇爾, 菊池健次郎, 政金生人, 篠田俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠実, 丸林誠二, 守田治, 井関邦敏, 宇佐美武, 木全直樹, 鈴木一之, 田部井薫, 伏見清秀, 三和奈穂子, 矢内充, 岩井建志, 秋葉隆:わが国の慢性透析療法の現況(2003年12月31日現在). 日透析医学会誌 38(1):1-16, 2005.
- 江口圭, 峰松佑輔, 金子岩和, 森山能仁, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆:LDLアフェレシスにおけるフィブリノーゲン除去に関する基礎的研究—DFPP (DF) サーモ法とデキストラン硫酸 (DS) 吸着法の比較—. 日アフエレシス会誌 24(1):84-90, 2005.
- 金野好恵, 江口圭, 天野雄介, 横井良, 金子岩和, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆:閉塞性動脈硬化症 (ASO) に対する加温式リサキュレーション法 (DFサーモ) の効果. 日アフエレシス会誌 24(1):91-98, 2005.
- 山崎親雄, 秋澤忠男, 大平整爾, 鈴木正司, 秋葉隆, 篠田俊雄, 鈴木満, 内藤秀宗, 栗原怜, 吉田豊彦, 杉崎弘章, 渡邊有三, 中井滋, 宇田眞紀子, 川崎忠行:血液透析施設におけるC型肝炎感染事故(含:透析事故)防止体制の確立に関する研究. 日透析医会誌 20(2)別冊:1-18, 2005.
- 山崎親雄, 秋澤忠男, 大平整爾, 鈴木正司, 秋葉隆, 篠田俊雄, 鈴木満, 内藤秀宗, 栗原怜, 吉田豊彦, 杉崎弘



- 章, 渡邊有三, 中井滋, 宇田眞紀子, 川崎忠行:平成14~16年度厚生労働科学研究肝炎等克服緊急対策事業血液透析施設におけるC型肝炎感染事故(含:透析事故)防止体制の確立に関する研究 総合研究報告書. 日透析医学会誌 20(2) 別冊:116-132, 2005.
- 横山哲郎, 秋葉隆, 石田仁男, 奥平博一, 奥平雅彦, 尾崎正彦, 笠貫宏, 木村清延, 木元康介, 斎藤芳晃, 関博之, 高本眞一, 戸田剛太郎, 戸部隆吉, 西村重敬, 人見滋樹, 松島正浩, 望月秀隆:胸腹部臓器の障害認定に関する専門検討会報告書 胸腹部臓器の障害認定に関する専門検討会, 2005.
- 徳本直彦, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘:移植前HCV陽性患者に対するインターフェロン $\alpha$ 投与の有用性についての研究. 腎移植・血管外 17(1):20-25, 2005.
- 相馬泉, 服部元史, 近元裕子, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 中倉兵庫, 芳田工, 秋葉隆, 伊藤克己:第15回日本急性血液浄化学会 セッション1 ブラッドアクセス・カテーテル 小児血液浄化法におけるブラッドアクセスカテーテルの現況と課題—多施設アンケートの結果から—. ICUとCCU 29(別冊):S169-S170, 2005.
- 春口洋昭, 廣谷紗千子, 甲斐耕太郎, 小山一郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 二瓶宏, 秋葉隆:第15回日本急性血液浄化学会 セッション1 ブラッドアクセス・カテーテル ダブルルーメンカテーテルによる透析導入症例の検討. ICUとCCU 29(別冊):S173-S175, 2005.
- 芝田正道, 清水幹夫, 相馬泉, 坂上貴光, 小沢和由, 金子岩和, 菊地勘, 芳田工, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏, 寺岡慧:第15回日本急性血液浄化学会 セッション3 膜・装置 新しい除水システムADP-01の使用経験. ICUとCCU 29(別冊):S194-S196, 2005.
- 坂上貴光, 峰松佑輔, 芝田正道, 清水幹夫, 金子岩和, 芳田工, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏:第15回日本急性血液浄化学会 セッション3 膜・装置 急性血液浄化におけるMoneo BP-88Siの使用経験. ICUとCCU 29(別冊):S197-S198, 2005.
- 大石哲也, 菊地勘, 芳田工, 中村綾子, 八木理充, 角田裕子, 多賀谷悦子, 秋葉隆, 二瓶宏:第15回日本急性血液浄化学会 セッション7 病態1 乏尿を目安にPMMA-HDFを導入し改善の得られた敗血症の1例. ICUとCCU 29(別冊):S242-S244, 2005.
- 中井滋, 和田篤志, 北岡建樹, 新里高弘, 奈倉勇爾, 菊池健次郎, 政金生人, 篠田俊雄, 山崎親雄, 坂井瑠美, 丸林誠二, 守田治, 井関邦敏, 宇佐美武, 木全直樹, 鈴木一之, 田部井薫, 伏見清秀, 三和奈穂子, 矢内充, 若井建志, 秋葉隆:わが国の慢性透析療法の現況(2004年12月31日現在). 日透析医学会誌 39(1):1-22, 2006.
- 元吉八重子, 服部元史, 近本裕子, 中倉兵庫, 古江健樹, 宮川三平, 甲能深雪, 伊藤克己, 甲斐耕太郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 秋葉隆, 北山浩嗣, 和田尚弘, 小川由英:乳児型原発性過剰尿酸血症1型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験. 日腎会誌 48(1):22-28, 2006.
- 菊地勘, 秋葉隆, 新田孝作:慢性血液透析患者におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東女医大誌 76(2):32-37, 2006.
- 峰松佑輔, 江口圭, 金野好恵, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆:LDL吸着カラム(LA-15)におけるフィブリノーゲン吸着挙動の検討. 日アフエレシス会誌 25(2):145-152, 2006.
- 金野好恵, 江口圭, 峰松佑輔, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆:血漿成分分画器Evaflux-5Aの濾過分離特性に及ぼす温度の影響. 日アフエレシス会誌 25(2):153-158, 2006.
- 秋葉隆, 中井滋, 若井建志, 新里高弘, 奈倉勇爾:糖尿病性腎症による新規慢性透析患者数の推計. 日透析医学会誌 39(7):1237-1244, 2006.
- 深川雅史, 平方秀樹, 秋澤忠男, 秋葉隆, 石村栄治, 角田隆俊, 風間順一郎, 衣笠えり子, 塚本雄介, 富永芳博, 弓田滋, 横山啓太郎, 木全直樹, 中井滋(日本透析医学会二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン作成ワーキンググループ, 同統計調査委員会):透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症ガイドライン. 単独冊子, 2006.
- 菊地勘, 潮平俊治, 石森勇, 松本和之, 青木明日香, 鈴木浩一, 塚田三佐緒, 池辺宗三人, 芳田工, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆:臨床評価HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcetate Free Biofiltration (AFB) への変更で, 従来の治療と比較し血圧が安定するか. 腎と透析 61(別冊HDF療法'06):210-212, 2006.
- 秋葉隆, 中井滋, 若井建志, 新里高弘, 奈倉勇爾:糖尿病性腎症による新規慢性透析患者数の推計. 日透析医学会誌 39(7):1237-1244, 2006.

- 中井滋, 政金生人, 秋葉隆, 井関邦敏, 渡邊有三, 伊丹儀友, 木全直樹, 重松隆, 篠田俊雄, 勝二達也, 庄司哲雄, 鈴木一之, 土田健司, 中元秀友, 濱野高行, 丸林誠二, 守田治, 両角國男, 山縣邦弘, 山下明泰, 若井建志, 和田篤志, 椿原美治: わが国の慢性透析療法の現況 (2005年 12月 31日現在). 日透析医学会誌 40(1):1-30, 2007.
- 鈴木一恵, 澁谷あすか, 秋葉隆, 新田孝作, 安藤稔: 長期血液透析患者に認められる透析アミロイド股関節変一女性血液透析患者 12例のMRIスクリーニング結果一. 日透析医学会誌 40(3):247-253, 2007.
- 小島史子, 齋藤まどか, 上田美緒, 安田雅子, 朝長修, 田中好子, 新田孝作, 秋葉隆: 乳酸アシドーシスを繰り返すミトコンドリア遺伝子異常透析患者にアセテートフィリールバイオフィルとレーション (AFB) を施行した 1 例. 日透析医学会誌 40(3):287-293, 2007.
- 坂上貴光, 村上淳, 金子岩和, 池辺宗三人, 峰島三千男, 秋葉隆: ユーザーから見たセーフティ針の有用性. 日血浄化技会誌 14(1):41-44, 2007.
- 上田美緒, 小島智亜里, 杉浦秀和, 大貫隆子, 田中好子, 藤生亜由子, 鈴木基文, 三宮彰仁, 新田孝作, 秋葉隆: Chronic portal-systemic shunt encephalopathy (CPSE) による高アンモニア血症のために意識障害を反復した 1 例. 日透析医学会誌 40(5):445-450, 2007.
- 成瀬友彦, 渡邊有三, 石田裕則, 水野紹夫, 草野英二, 鈴木正司, 松信精一, 葉山修陽, 秋葉隆, 小口健一, 重松隆, 望月隆弘, 入江康文, 衣笠えり子, 山崎親雄, 和田誠次, 森石みさき, 碓井公治, 藤原謙太, 水口隆, 福成健一, 東治道, 塚本雄介, 内田英二, 岩崎学, 秋澤忠男, 越川昭三: 新規透析導入後rHuEPO製剤未投与の血液透析患者を対象とした貧血改善用量検討試験—KRN321(Darbepoetin alfa) 第Ⅲ相臨床試験—. 腎と透析 62(5):977-988, 2007.
- 江口圭, 池辺宗三人, 金野好恵, 山田祐史, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しいHDF療法 (間歇補液HDF: intermittent infusion HDF) の考案とその臨床効果. 日透析医学会誌 40(9):769-774, 2007.
- 青木明日香, 菊地勘, 永井佳子, 岩崎富人, 塚田三佐雄, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 尿素回路異常症による高アンモニア血症に対し急性血液浄化が有効であった 2 症例. 日透析医学会誌 40(10):859-864, 2007.
- 宮尾眞輝, 峰島三千男, 秋葉隆: 医療安全における他分野との医工学的融合 医療安全に果たす臨床工学技士の役割. 医工学治療 19(1):61-64, 2007.
- 坂上貴光, 石森勇, 鈴木雄太, 小田祐美, 茂木佳奈, 村上淳, 金子岩和, 池辺宗三人, 峰島三千男, 秋葉隆, 大澤貞利, 立花英幸, 今井正己: 血液透析における血液回路内圧力値を用いた測定血流量モニタの有用性. 医工学治療 19(3):197-203, 2007.
- 石森勇, 茂木佳奈, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 春原隆司, 増田利明, 秋葉隆: リップル構造を有するPES-150S $\alpha$  の水系性能評価 (透析液側流量の影響). 腎と透析 63(別冊) ハイパフォーマンス・メンブレン'07:55-57, 2007.
- 茂木佳奈, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 春原隆司, 増田利明, 秋葉隆: ニプロ製PES-S $\alpha$  のリップル形状が透析液側チャネリング低減に及ぼす効果. 腎と透析 63(別冊) ハイパフォーマンス・メンブレン'07 :58-61, 2007.
- 中井滋, 政金生人, 秋葉隆, 重松隆, 山縣邦弘, 渡邊有三, 井関邦敏, 伊丹儀友, 篠田俊雄, 両角國男, 庄司哲雄, 丸林誠二, 守田治, 木全直樹, 勝二達也, 鈴木一之, 土田健司, 中元秀友, 濱野高行, 山下明泰, 若井建志, 和田篤志, 椿原美治: わが国の慢性透析療法の現況 (2006年 12月 31日現在). 日透析医学会誌 41(1):1-28, 2008.
- 坂上貴光, 石森勇, 鈴木雄太, 小田祐美, 茂木佳奈, 村上淳, 金子岩和, 池辺宗三人, 峰島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正己: 東レ・メディカル社製測定血流量モニタの有用性と改善点の基礎的検討. 日血浄化技会誌 15(1):31-35, 2008.
- 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 政金生人, 友雅司, 川崎忠行, 西澤良記: 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 日透析医学会誌 41(3):159-167, 2008.
- 鈴木正司, 斎藤明, 下条文武, 西澤良記, 秋澤忠男, 富野康日己, 椿原美治, 秋葉隆, 平方秀樹, 渡邊有三, 川西秀樹, 別所正美, 大橋靖雄: 血液透析導入患者における患者背景と貧血治療の実態. 日透析医学会誌 41(4):251-254, 2008.

- 佐藤啓太郎, 大坪茂, 杉織江, 小川真里子, 佐原由華子, 岩佐悠子, 浅宮有香理, 菊地勸, 武井卓, 小川哲也, 三和奈穂子, 木全直樹, 内田啓子, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における原因不明の発熱で入院した慢性腎臓病患者の特徴. 日透析医学会誌 41(5):317-322, 2008.
- 三和奈穂子, 土谷健, 木全直樹, 浜口行雄, 新田孝作, 秋葉隆: 透析患者におけるreticulocyte hemoglobin equivalent (RET-He) 測定の臨床的有用性. 日透析医学会誌 41(7):437-444, 2008.
- 斎藤明, 秋葉隆, 秋澤忠男, 福原俊一, 浅野泰, 黒川清, Bragg-Gresham JL, Eichleay MA, Pisoni RL, Port FK: 血液透析の修正可能な治療指標に起因する日本の透析患者の推定生存年数—DOPPSより—, 日透析医学会誌 41(8):473-482, 2008.
- 川嶋朗, 班目健夫, 小川哲也, 新田孝作, 秋葉隆: 維持透析患者の合併症に対する漢方薬の応用. 日透析医学会誌 23(2):195-200, 2008.
- 秋葉隆, 吉澤浩司, 佐藤千史, 山崎親雄, 秋澤忠男: 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル(三訂版). 厚生省厚生科学特別研究事業「透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予後・予防に関する研究班」平成19年度報告書, 1-139, 2008.
- 椿原美治, 西慎一, 秋葉隆, 平方秀樹, 井関邦敏, 窪田実, 栗山哲, 小松康宏, 鈴木正司, 中井滋, 服部元史, 馬場園哲也, 平松信, 山本裕康, 別所正美, 秋澤忠男: 2008年版日本透析医学会「慢性腎臓病患者における腎性貧血治療のガイドライン」. 日透析医学会誌 41(10):661-716, 2008.
- 鈴木聡, 伊藤謙治, 伊藤憲, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析における穿刺技能の評価に対する因子構造. 日透析医学会誌 41(12):827-835, 2008.
- 尾原英利, 村上淳, 坂上貴光, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ性能評価時の影響因子と問題点. 腎と透析 65(別冊) ハイパフォーマンスマンブレン'08:96-100, 2008.
- 石森勇, 茂木佳奈, 吉田智史, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 高野快男: HDFフィルターTDF-2.0の臨床およびウシ血漿系による溶質除去特性の評価. 腎と透析 65(別冊) ハイパフォーマンスマンブレン'08:122-125, 2008.
- 石森勇, 茂木佳奈, 吉田智史, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 春原隆, 増田利明: PES-150 Saの水系による溶質除去特性の評価. 腎と透析 65(別冊) ハイパフォーマンスマンブレン'08:191-194, 2008.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析施行中の末梢循環の変化が透析効率に及ぼす影響. 腎と透析 65(別冊) ハイパフォーマンスマンブレン'08:262-266, 2008.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 4時間透析における除去動態の検討. 腎と透析 65(別冊) ハイパフォーマンスマンブレン'08:267-270, 2008.
- 鈴木正司, 安藤亮一, 秋葉隆, 岡田雅美, 富永芳博, 山崎親雄, 小野利彦, 福田豊史, 山崎悟, 奥野仙二, 長谷川裕人, 重本憲一郎, 碓井公治, 柏木稔, 片瀧律子, 菊地博, 高田健治, 菅野勝寛, 山口博, 伊藤功, 有村哲朗, 大橋誠治, 稲葉洋子, 瀧正史, 上木原宗一, 下川敏弘, 西田秀美, 市川誠一, 福永仁夫, 越川昭三: 血液透析施行中の慢性腎不全患者における高リン血症に対する塩酸セベラマーの長期投与試験—市販後臨床試験(第IV相)—, 腎と透析 65(5):767-779, 2008.
- 鈴木雄太, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析モニタHD02を利用した再循環率測定精度の再検討. 腎と透析 65(別冊) アクセス2008:178-180, 2008.
- 渡部雄介, 坂上貴光, 伊部紀子, 古田達也, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 三村甲子郎, 高田和明, 秋葉隆: 安全機構を備えた新型透析用留置針の開発および評価. 腎と透析 65(別冊) アクセス2008:181-185, 2008.
- 村上淳, 石森勇, 尾原英利, 星野哲史, 伊藤憲, 入江健一, 大木美帆, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 治療中の末梢循環の変化が透析効率に及ぼす影響の検討. 腎と透析 65(別冊) HDF療法'08:104-107, 2008.
- 吉田智史, 石森勇, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: PES-150S $\alpha$ における内部濾過流量の経時変化. 腎と透析 65(別冊) HDF療法'08:202-204, 2008.
- 尾原英利, 村上淳, 坂上貴光, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ性能評価時の影響因子と問題点. 腎と透析 65(別冊) HDF療法'08:239-243, 2008.

- 入江健一, 相馬泉, 尾原英利, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: バスキュラーカテーテル使用時における静脈用カテーテルアダプタBDQサイト™の有用性の検討. ICUとCCU 32(別冊): S209-S210, 2008.
- 宮尾眞輝, 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆 服部元史: 持続緩徐式血液浄化装置の除水精度の検討～第2報～. ICUとCCU 32(別冊): S203-S205, 2008.
- 相馬泉, 小澤和由, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 小児急性血液浄化療法における安全性の確保. ICUとCCU 32(別冊): S70-S73, 2008.
- 田中好子, 青木明子, 小島史子, 上田美緒, 田中純子, 島本由紀子, 石井幾久子, 安田雅子, 藤生亜由子, 内田啓子, 新田孝作, 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症 副甲状腺摘出術後のDIP法による骨密度の経年変化—影響を及ぼす因子の検討—. Nephrology Frontier 増刊号:12-15, 2008.
- 藤生亜由子, 青木明子, 安田雅子, 田中好子, 長嶋浩貴, 上野秀樹, 相良耕一, 鈴木信也, 平野景子, 秋葉隆, 新田孝作: 冠動脈バイパス術, 僧帽弁人工弁置換術後の低心機能透析患者に両室ペーシング機能付き植え込み型除細動器を装着し良好なADLを維持している1症例. 日透析医学会誌 42(1):105-111, 2009.
- 清水阿里, 武井卓, 森山能仁, 板橋美津世, 大坪茂, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析導入となった成人ファロー四徴症の1例. 日透析医学会誌 42(2):159-164, 2009.
- 青木明子, 安田雅子, 田中純子, 内田啓子, 田中好子, 新田孝作, 秋葉隆: 軟部組織巨大石灰化に対してエチドロンート長期投与が奏功するも, 病的骨折をきたした2透析例. 日透析医学会誌 42(2):165-171, 2009.
- 横手卓也, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当センターにおけるバスキュラーアクセスの評価及び管理法. 日血浄化技会誌 16(1):93-95, 2009.
- 清水阿里, 武井卓, 青木明日香, 杉浦秀和, 秋葉隆, 新田孝作: エリスロポエチン不応性貧血にダルベポエチンが奏功した赤芽球癆, 副腎機能不全合併の長期透析患者の1例. 日透析医学会誌 42(4):339-344, 2009.
- 小島史子, 雫淳一, 柿沼多恵子, 上田美緒, 田中好子, 秋葉隆, 新田孝作: 長期にわたる血糖コントロール不良にも関わらず大血管障害の軽微なミトコンドリア糖尿病透析患者の1例. 糖尿病 52(4):305-309, 2009.
- 上田美緒, 春口洋昭, 田中好子, 小島史子, 柿沼多恵子, 鈴木基文, 新田孝作, 秋葉隆: 人工血管移植術後に溶血性貧血をきたした透析患者の1例. 日透析医学会誌 42(5):387-391, 2009.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 血液透析施設におけるウイルス性肝炎に対する院内感染防止対策の現況. 日透析医学会誌 42(6):423-433, 2009.
- 村上淳, 尾原英利, 坂上貴光, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ性能評価に及ぼす実流量, サンプリング方法, 有形成分の影響. 医工学治療 21(3):179-187, 2009.
- 宮尾眞輝, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 持続的血液浄化装置の定期メンテナンスの試み. ICUとCCU 33(別冊号): S240-S242, 2009.
- 藤井寛, 秋岡祐子, 梶保祐子, 藤木琢磨, 倉山亮太, 松村英樹, 久野正貴, 近本裕子, 秋葉隆, 峰島三千男, 服部元史: 尿路感染症を契機とした敗血症性ショックに対してエンドトキシン吸着療法が奏功した腎移植後14歳女児例. ICUとCCU 33(別冊号): S182-S184, 2009.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液の変更によるリン除去動態の変化. 腎と透析 67別冊 (HDF療法'09):187-191, 2009.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: リンの除去動態と適正な評価法に関する検討. 腎と透析 67別冊 (HDF療法'09):182-186, 2009.
- 伊藤憲, 横手卓也, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 鈴木雄太, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置の保守点検時におけるメンテナンス性の比較. 日血浄化技会誌 17(1):113-115, 2009.
- 秋葉隆, 菊地勘: 透析患者のC型ウイルス肝炎治療. 日透析医学会誌 25(2):198-203, 2010.
- 森戸卓, 塚田三佐緒, 種田積子, 秋葉隆, 新田孝作: 肺ムコール症を合併した血液透析患者の剖検例. 日透析医学会誌 43(1):71-76, 2010.
- 大坪茂, 矢島愛治, 内藤順代, 石原美和, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症に対するシナカルセト投与が貧血に及ぼす影響. 日透析医学会誌 43(6):501-506, 2010.

- 飯野靖彦, 後藤達宏, 小藪助成, 勝二達也, 田中恵子, 久永修一, 山本龍夫, 下条文武, 西慎一, 鈴木正司, 秋葉隆, 斎藤明, 渡邊有三, 平方秀樹, 内田英二, 椿原美治, 秋澤忠男: 保存期慢性腎臓病患者に対するKRN321(ダルベポエチンアルファ)単回静脈内投与時の薬物動態. 腎と透析 68(1):121-126, 2010.
- 飯野靖彦, 田熊淑男, 浅野泰, 草野英二, 鈴木洋通, 細谷龍男, 出浦照國, 長嶋悟, 椿原美治, 平松信, 保利敬, 下条文武, 西慎一, 鈴木正司, 秋葉隆, 斎藤明, 渡邊有三, 平方秀樹, 内田英二, 秋澤忠男, 越川昭三: 連続携行式腹膜透析(CAPD)患者および保存期慢性腎臓病(ND)患者に対するKRN321(ダルベポエチンアルファ)単回皮下投与時の薬物動態. 腎と透析 68(1):111-120, 2010.
- 秋葉隆, 角間辰之, JR-013 Study Group: 血液透析施行中の腎性貧血に対する無血清培養にて製造された遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤(エポエチンカップ)の長期投与試験. 薬理と治療 38(2):199-212, 2010.
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 角間辰之, JR-013 Study Group: 血液透析施行中の腎性貧血に対する無血清培養にて製造された遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤(エポエチンカップ)の第II/III相二重盲検比較試験. 薬理と治療38(2):181-198, 2010.
- 伊部紀子, 江口圭, 宮尾眞輝, 安部貴之, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しい血液浄化用装置KM9000の使用経験. 東京臨工技士会誌 20(2):38-40, 2010.
- 西慎一, 下条文武, 重松隆, 飯野靖彦, 細谷龍男, 東海林隆男, 角田隆俊, 菱田明, 磯崎泰介, 成瀬友彦, 戸川雅樹, 勝二達也, 鈴木正司, 秋葉隆, 斎藤明, 渡邊有三, 平方秀樹, 塚本雄介, 内田英二, 椿原美治, 秋澤忠男, 越川昭三: 保存期慢性腎臓病患者を対象としたHb濃度維持効果の検討 KRN321-SC初期第II相試験. 腎と透析 68(2):284-294, 2010.
- 渡邊有三, 重松隆, 飯野靖彦, 細谷龍男, 東海林隆男, 角田隆俊, 下条文武, 西慎一, 菱田明, 磯崎泰介, 成瀬友彦, 戸川雅樹, 勝二達也, 鈴木正司, 秋葉隆, 斎藤明, 平方秀樹, 塚本雄介, 内田英二, 椿原美治, 秋澤忠男, 越川昭三: 保存期慢性腎臓病患者を対象とした貧血改善効果の検討 KRN321-SC初期第II相試験. 腎と透析 68(2):273-283, 2010.
- 秋葉隆, 北澤孝三, 柴田孝則, 五味朋子, 渋谷祐子, 前田益孝, 松井則明, 高田健治, 浅野泰, 飯塚正, 小口智雅, 笠原寛, 山崎親雄, 伊藤晃, 小川洋史, 大林孝彰, 稲熊大城, 武田一人, 下条文武, 西慎一, 鈴木正司, 飯野靖彦, 斎藤明, 渡邊有三, 平方秀樹, 塚本雄介, 内田英二, 岩崎学, 椿原美治, 秋澤忠男: 保存期慢性腎臓病患者の腎性貧血に対するKRN321(ダルベポエチンアルファ)静脈内投与の有効性および安全性. 腎と透析 68(3):436-448, 2010.
- 古山政幸, 水谷誠, 谷口貴美子, 上田博章, 梶保祐子, 藤井寛, 近本裕子, 秋岡祐子, 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 単一施設における小児急性血液浄化療法の治療経験 Vascular access選択の重要性. 日急性血浄化会誌 1(1):120-123, 2010.
- 林晃正, 和田篤志, 相馬淳, 堀籠郁夫, 古田隆史, 若松良二, 佐々木成, 衣笠えり子, 成瀬友彦, 今井裕一, 大橋宏重, 青木孝彦, 小藪助成, 山内淳, 田中恵子, 飯田博行, 川端雅彦, 武藤寿生, 竹田正廣, 中西健, 横野博史, 谷合一陽, 原田和博, 瀧正史, 大藪靖彦, 平方秀樹, 安永親生, 奥田誠也, 久永修一, 池田徹, 潮平芳樹, 下条文武, 鈴木正司, 飯野靖彦, 秋葉隆, 斎藤明, 渡邊有三, 西慎一, 塚本雄介, 内田英二, 岩崎学, 椿原美治, 秋澤忠男: 保存期慢性腎臓病患者を対象としたKRN321(ダルベポエチンアルファ)とエポエチンアルファ製剤の皮下投与における貧血改善効果の同等性に関する検討 KRN321-SC第III相臨床試験. 腎と透析 68(5):931-945, 2010.
- 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: メディキット社製新型透析用留置針ハッピーキャスV(Z1S)の臨床評価. 腎と透析 69(別冊アクセス2010):249-251, 2010.
- 濱田万恭子, 横手卓也, 小田祐美, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 定期的実血液ポンプ流量測定の有用性. 腎と透析 69(別冊アクセス2010):187-189, 2010.
- 鈴木聡, 安部貴之, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤謙治: アイトラッキングを利用した透析装置のタイマーアラーム設定における情報獲得の評価. 医工学治療 22(2):59-65, 2010.
- 石川亜矢子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆, 服部元史: 血栓により循環血液量モニターが継続不可になった1例とその対策. 日小児腎不全会誌 30:187-188, 2010.
- 藤田照美, 広川牧子, 沼田真奈美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 菊地勘, 塚田三佐緒, 秋葉隆: 患者支援

- PD導入となった左義手患者へのかかわり. 腎と透析 69(別冊腹膜透析 2010) 760-761, 2010.
- 沼田真奈美, 廣川牧子, 藤田照美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 塚田三佐緒, 秋葉隆: 患者支援 精神発達遅滞患者が腹膜炎を通院しながら治療した事例 事例を通して出た今後への課題. 腎と透析 69(別冊腹膜透析 2010, 2010).
- 本田一穂, 塚田三佐緒, 江口亜弥, 石塚喜世伸, 種田積子, 小田秀明, 服部元史, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜障害の基礎と臨床 最近の離脱時腹膜生検で観察される腹膜組織変化の動向と問題点. 腎と透析 69(別冊腹膜透析 2010): 421-423, 2010.
- 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 基礎 限外濾過率測定時におけるTMP算出法の妥当性キサントガム水溶液を用いた検討. 腎と透析 69(別冊HDF療法'10):234-236, 2010.
- 濱田万恭子, 石森勇, 横手卓也, 金野好恵, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 水処理・透析液管理 当施設の透析液清浄化への取り組み. 腎と透析 69(別冊HDF療法'10):208-211, 2010.
- 吉田智史, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液浄化膜の工学技術 PES-210S a と PES-21S a における内部濾過流量ならびに溶質除去性能の比較. 腎と透析 69(別冊HDF療法'10):93-96, 2010.
- 鈴木聡, 峰島三千男, 秋葉隆: 眼球運動解析を利用した血液透析回路の準備における習熟特性. 腎臓 33(2):125-129, 2010.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 【ハイパフォーマンスメンブレン2010】各種低分子量蛋白における除去率の意味と適正な除去率算出式の提案. 腎と透析 69(別冊ハイパフォーマンスメンブレン'10) 26-29, 2010.
- 大坪茂, 石原美和, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: Effect of cinacalcet on bone mineral density in hemodialysis patients. 東女医大誌 80:297-304, 2010.
- 古山政幸, 相馬泉, 水谷誠, 谷口貴実子, 上田博章, 石塚喜世伸, 梶保祐子, 藤井寛, 久野正貴, 近本裕子, 秋岡祐子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 松永明, 服部元史: 小児における長期留置型バスキュラーアクセスの挿入・固定に関する検討. 日小児腎臓学会誌 23(2):119-122, 2010.
- 宮尾眞輝, 石川亜矢子, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆, 服部元史: ADP-01における除水制御に関する検討. 日小児腎不全会誌 30:207-208, 2010.
- 鈴木聡, 安部貴之, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤謙治: アイトラッキングを利用した透析装置のタイマーアラーム設定における情報獲得の評価. 医工学治療 22(2):59-65, 2010.
- 芳田工, 代田さつき, 杉浦秀和, 潮平俊治, 三戸部倫大, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: 44.Sphingosine-1-phosphate (S1P)は腎において新規線維化メディエーターである. 東京女子医科大学総合研究所 紀要 29—2008年度報告書—:82, 2010.
- 秋葉隆: 透析室の安全対策 感染制御. 大阪透析研究会誌 28(1):1-5, 2010.
- 杉浦秀和, 芳田工, 公平順子, 潮平俊治, 三戸部倫大, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: Klothoと腎線維化との関係 東京女子医科大学総合研究所紀要 30:75-76, 2010.
- 小田祐美, 横手卓也, 江口圭, 鈴木万恭子, 小松原紀子, 村上淳, 金子岩和, 陣内彦博, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 末梢動脈疾患スクリーニングへの取り組み. 日血浄化技会誌 18(3):80-82, 2011.
- 亀井大悟, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆, 峰島三千男: 安定維持透析患者における実測値TACBUNと推算値TACBUNの相関性. 医工学治療 23(1):9-13, 2011.
- 陣内彦博, 菊地勘, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 吉原愛, 高野加寿恵, 新田孝作, 秋葉隆: アフェレシスと希少疾患 血漿交換と血液濾過透析の併用療法が奏功した肝機能障害を伴った甲状腺クリーゼの1例. 日アフェレシス会誌 30(2):161-165, 2011.
- 大坪茂, 矢吹恭子, 石原美和, 秋葉隆, 新田孝作: 腰部脊柱管狭窄症による難治性のしびれ, 疼痛に対しプレガバリンが有効であった血液透析患者の1例. 東女医大誌 81(6) 別刷 :416-418, 2011.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 短時間頻回低透析液流量透析 (short-daily low dialysate flow hemodialysis) における溶質除去特性の検討. 腎と透析 70(別冊HDF療法'11):196-199, 2011.
- 吉田智史, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: ダイアライザ血液側入口圧の透析中監視

- 項目としての有用性. 腎と透析 70(別冊HDF療法'11):167-169, 2011.
- 石森勇, 吉田智, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 透析装置のモニタリング機能を用いた後希釈HDFにおける透水性の経時変化の検討. 腎と透析 70(別冊HDF療法'11):110-112, 2011.
- 秋葉隆, 田村禎一, 鎌田貢壽, 水口潤, 松井則明: 腎不全患者を対象としたOPF-102の臨床試験(第III相)より安全な経静脈的リン補給に向けて. 日透析医学会誌 44(6):567-575, 2011.
- 上田博章, 秋岡祐子, 石塚喜世伸, 谷口貴実子, 菅原典子, 藤井寛, 近本裕子, 秋葉隆, 服部元史: 腎移植後受診を怠り緊急血液透析再導入となったキャリアオーバーの1例. 日小児腎不全会誌 31:298-299, 2011.
- 清水幹夫, 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析困難を克服するための治療戦略 透析中の血圧低下などの透析困難を防ぐための治療法, 透析液, ダイアライザーの選択 透析困難症例に対する短時間頻回透析の有用性. 日血浄化技会誌 19(1):37-40, 2011.
- 川西邦夫, 本田一穂, 塚田三佐緒, 高野真理, 土谷健, 小田秀明, 服部元史, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜の病理とカイネティックス PD離脱時腹膜生検における腹膜毛細血管の検討 酸性液と中性液の比較. 腎と透析 71(別冊腹膜透析 2011):300-301, 2011.
- 鈴木美貴, 杉浦秀和, 秋山健一, 唐澤一徳, 武井卓, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 多発性骨髄腫に対するサリドマイド治療中に肺塞栓症を発症した血液透析症例. 日透析医学会誌 44(9):951-956, 2011.
- 秋葉隆: 慢性腎臓病と無形性骨の診断. 日骨粗鬆症会誌 20(2):7, 2011.
- 秋澤忠男, 下条文武, 鈴木正司, 秋葉隆, 飯野靖彦, 斎藤明, 山川正人, 渡邊有三, 西慎一, 平松秀樹, 窪田実, 椿原美治, 川越昭三: 保存期慢性腎臓病患者および腹膜透析患者に対するKRN321(ダルベポエチンアルファ) 静脈内投与または皮下投与の有効性および安全性. 腎と透析 71(6) 887-898, 2011.
- 高野真理, 大坪茂, 木全直樹, 小野祐美, 安部貴之, 岡島友樹, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者におけるankle-brachial blood pressure index (ABI) が生命予後および死因に与える影響. 日透析医学会誌 45(2):157-162, 2012.
- 崎山亮一, 石森勇, 吉田智, 秋葉隆, 峰島三千男: ヘモダイアフィルタABH-Fの前希釈HDFと後希釈HDFにおける性能比較. 医工学治療 24(1):20-28, 2012.
- 小島史子, 上田美緒, 齋藤まどか, 田中好子, 唐鎌優子, 輿石剛, 新田孝作, 秋葉隆: 脾動脈—下大動脈短絡による高アンモニア血症を呈し, balloon-occluded retrograde transvenous obliteration ; B-RTO (バルーン下逆行性頸動脈的塞栓術) により著明に改善した血液透析患者の1例. 日透析医学会誌 45(3):267-272, 2012.
- 秋葉隆, 安藤亮一, 小林光樹, 佐藤千史, 藤岡知昭, 森兼啓太, 杉崎弘章, 秋澤忠男, 久野勉, 萩原千鶴子, 佐藤久光, 金子岩和, 大浜和也, 大藪英一, 松本哲哉, 水附裕子, 川崎忠行, 大石義英, 篠田俊雄, 土田健司: Letter to Editor 『透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル(三訂版)』第1章をICD(インфекションコントロールドクター)の視点から考察する(透析会誌 44(11):1113~1116, 2011)』に答えて. 日透析医学会誌 45(3):281-282, 2012.
- 塚田三佐緒, 高野真理, 川西邦夫, 江口亜弥, 三和奈穂子, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者の大動脈石灰化の検討. 腎と透析 73巻別冊 :305-306, 2012.
- 高野真理, 塚田三佐緒, 川西邦夫, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における腹膜透析+血液透析併用療法の現況. 腎と透析 73巻別冊 253-254, 2012.
- 宮岡統紀子, 亀井大悟, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作, 菅野仁, 武市智志, 山本雅: ビタミンC大量投与により急性溶血発作とAKIを発症したグルコース-6-リン酸脱水素酵素異常患者にHDFを施行した透析離脱した一例. 日透析医学会誌 45(1):902, 2012.
- 秋葉隆, 飯野靖彦, 東京都区部災害時透析医療ネットワーク: 透析ケア, MCメディカル出版, 18(3):60-65, 2012.
- 大澤正樹, 丹野高三, 板井一好, 岡山明, 加藤香廉, 藤島洋介, 小野田敏行, 近田龍一, 秋葉隆, 坂田清美, 藤岡知昭, KAREN研究グループ: 血液透析患者の死因と突然死に関する疫学研究. 日循環器予防誌 47(2):120-138, 2012.
- 鈴木万恭子, 横手卓也, 清水幹夫, 瀧澤亜由美, 若山功治, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 3種類の生菌検出方法の比較. 腎と透析HDF療法'12 73(別冊):132-134, 2012.

- 若山功治, 石井貴文, 菅原智子, 岡島友樹, 小田祐美, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 日機装社製オンライン対応個人用透析監視装置DBG-03におけるHybrid D-FASの使用経験. 腎と透析HDF療法'12 73(別冊):144-146, 2012.
- 荒井純子, 市村志朗, 長田卓也, 安達拓, 勝村俊仁, 宮川三平, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 近赤外線分光装置を用いた維持血液透析患者の骨格筋酸素消費量について: 血液透析前後での比較. 東女医大誌 84(4):222-228, 2012.
- 山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古蘭勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男: 委員会報告 わが国のend stage kidney disease (ESKD) の現況. 日透析医学会誌 45(11):1067-1076, 2012.
- 山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古蘭勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男: わが国のEnd stage kidney disease (ESKD) の現況. 日小児腎臓病会誌 25(2):178-189, 2012.
- 峰島三千男, 秋葉隆: 膜性能とその経時変化を考慮したHPMダイアライザ・HDFフィルタのモジュールデザイン. ハイパフォーマンスマンブレン'12腎と透析 73(別冊):20-23, 2012.
- 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 各種ダイアライザにおける充填液, 洗浄液中の溶出物の基礎的検討. ハイパフォーマンスマンブレン'12腎と透析 73(別冊):153-156, 2012.
- 秋葉隆: 管理法各論 CKD患者の貧血管理. 医学のあゆみ243(9):833-836, 2013.
- 若山功治, 鈴木雄太, 菅原智子, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 実血液流量と脱血圧の関係および脱血圧モニタリングの重要性. 腎と透析 75(別冊):185-187, 2013.
- 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 水素イオン指数とPVP濃度測定によるダイアライザの洗浄性と溶出物の基礎的評価 紫外線吸光度の測定によるダイアライザの洗浄と溶出物の基礎的評価. 腎と透析 75(別冊):180-184, 2013.
- 鈴木万恭子, 石森勇, 清水幹夫, 瀧澤亜由美, 若山功治, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当施設における生菌検出方法の変更. 腎と透析 75(別冊):119-121, 2013.
- 岡島友樹, 鈴木雄太, 石森勇, 瀧澤亜由美, 鈴木万恭子, 清水幹夫, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用透析装置原液接続ポートを原液集中配管と原液タンク両方へより清浄度を高く接続するための工夫. 日血浄化技会誌 21(2):110, 2013.
- 金野好恵, 小田順一, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 三和奈穂子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院透析室における感染対策の取り組み 感染対策標識 (POP) 運用の検討. 日血浄化技会誌 21(2):83, 2013.
- 菅原智子, 鈴木雄太, 若山功治, 阿部千尋, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 同一ゲージ表示の透析用留置針における脱血液限界流量の検討. 腎と透析 74(別冊):193-195, 2013.
- 秋葉隆, 日ノ下文彦, 今村顕史: HIV感染患者における透析医療の推進に関する調査—拠点病院でのアンケート—. 日透析医学会誌 46(1):111-118, 2013.
- 阿部千尋, 宮尾眞輝, 鈴木雄太, 若山功治, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: PTA施行後早期に再狭窄をきたしVAモニタリングの強化が有用であった1症例. 腎と透析 74(別冊):188-190, 2013.
- 若山功治, 鈴木雄太, 吉田智史, 小田順一, 安部貴之, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: BV計を用いたAV再循環率測定のスクリーニングとしての有用性について. 腎と透析 74(別冊):77-79, 2013.
- 星野慈恵, 木全直樹, 石森勇, 木崎尚子, 鈴木宏美, 塚田三佐夫, 三和奈穂子, 岡野一祥, 坂井瑠実, 松田義雄, 秋葉隆, 新田孝作: 塩酸リトドリン投与により妊娠継続した透析妊婦1例における塩酸リトドリンの透析性の検討. 日透析医学会誌 46(6):545-549, 2013.
- 若山功治, 鈴木雄太, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: バスキュラーアクセス再循環率測定をスクリーニング的に行う必要性. 埼玉透析医会誌 9(Suppl):214, 2014.



- 亀井大悟, 木全直樹, 秋葉隆:【神経症候群(第2版)―その他の神経疾患を含めて―】内科疾患にみられる神経障害(疾患)肝・腎・肺疾患 腎疾患 灼熱脚症候群. 日本臨牀別冊神経症候群V:399-401, 2014.
- 亀井大悟, 木全直樹, 秋葉隆:【神経症候群(第2版)―その他の神経疾患を含めて―】内科疾患にみられる神経障害(疾患)肝・腎・肺疾患 腎疾患 レストレッグス症候群. 日本臨牀別冊神経症候群V:399-401, 2014.
- 平川晋也, 山本健一郎, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆:紫外光を利用した透析液排液モニタリングに及ぼすアルブミン漏出の影響. 腎と透析 77別冊ハイパフォーマンスメンブレン:22-25, 2014.
- 若山功治, 木全直樹, 鈴木雄太, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆:上腕動脈血流量定値症例に対して充血流量を確保する手法の検討. 腎と透析 77別冊アクセス:130-132, 2014.
- 若山功治, 広川牧子, 塚田三佐緒, 阿部千尋, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 荒井純子, 峰島三千男, 秋葉隆:【腹膜透析 2014】腹膜透析患者におけるInBody s10(BIA法)による体水分量測定の基礎的検討. 腎と透析 77別冊腹膜透析:107-108, 2014.
- 日ノ下文彦, 秋葉隆, 勝木俊, 戸村成男:高齢化する血液透析患者の透析実態に関するアンケート調査. 日透析医学会誌 48(6):341-350, 2015.
- 真壁志帆, 岡野一祥, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作:炭酸ランタンとポリスチレンスルホン酸カルシウムを併用していた透析患者に腸管穿孔を認めた一例. 腎と透析 78(4):631-634, 2015.
- 岡島友樹, 崎山亮一, 安部貴之, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 菊地勘, 木全直樹, 峰島三千男, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆:廃棄ヒト血漿を用いたCHDF条件下における新規PMMA膜血液浄化器の性能評価. 日急性血浄化会誌 6(1):58-62, 2015.

## 総 説

### 【欧文】

- Marumo F, Tomita K, Sasaki S, Akiba T, Hirata Y : Endothelin and renal failure. *Int J Artif Organs* 148: 259-261, 1991.
- Akiba T : Cardiovascular complications in hemodialysis patients. *Japan-France Nephrology Exchange Association* 27-29, 1999.
- Mineshima M, Sato Y, Ishimori I, Ishida K, Kaneko I, Akiba T, Nihei H, Sunohara T, Hattori H : Measurement of internal filtration (if) flow rate in high fluz dialyzers by doppler ultrasonography. *ASAIO Journal* 47(2): 156, 2001.
- Iseki K, Shinsato T, Nagura Y, Akiba T : Factors influencing long-term survival in patients on chronic dialysis. *Clin Exp Nephrol* 8(2): 89-97, 2004.
- Akiba T : 4. Comprehensive patient care system from medical checkups for kidney diseases to kidney transplantation-dialysis therapy. *Internal Medicine* 44(4): 391-392, 2005.

### 【和文】

- 中川成之輔, 岩本均, 秋葉隆, 篠田俊雄, 福留裕一郎 : 体液管理に必要な検査と装置. *総合臨牀* 27(11): 2695-2701, 1978.
- 中川成之輔, 末永松彦, 秋葉隆, 藤崎三郎 : 中分子量仮説に関する考察. *最新医学* 33(9): 1720-1726, 1978.
- 秋葉隆, 須田立雄 : ビタミンD代謝酵素とその異常. *臨床科学* 16(8): 944-950, 1980.
- 中川成之輔, 秋葉隆, 末永松彦 : 透析の適応. *日本臨牀* 39(Suppl 維持透析): 3-13, 1981.
- 秋葉隆 : プラスマフェレーシス治療研究会—第3回シンポジウム参加印象記. *人工臓器* 12(5): 954, 1983.
- 秋葉隆, 石田雄二, 馬場操 : CAPDの臨床. *看護技術* 30(1): 109-113, 1984.
- 馬場操, 石田雄二, 秋葉隆 : 腹膜炎の診断と治療. *看護技術* 30(3): 385-389, 1984.
- 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆 : CAPDの合併症 (除 腹膜炎). *看護技術* 30(4): 529-533, 1984.
- 秋葉隆 : 第V章 カテーテルの合併症とその処置. *臨牀透析* 1(10): 1593-1603, 1985.
- 秋葉隆 : アクセス—ブラッドアクセスとペリトネアルアクセス—カテーテル合併症とその処置. *臨牀透析* 1(10): 273-282, 1985.
- 中川成之輔, 岸清, 秋葉隆 : 透析膜としての腹膜の問題点 CAPDとの関連. *日本臨牀* 43(Suppl): 465-470, 1985.
- 佐々木節子, 秋葉隆 : CAPD患者の腹膜炎と看護. *臨牀透析* 1(2): 243-250, 1985.
- 秋葉隆, 中川成之輔 : 特集 VI 腎疾患治療薬—腎不全 163. 慢性腎不全における高血圧の薬物療法. *メディチーナ* 24(10): 2156-2157, 1987.
- 秋葉隆, 飯野靖彦, 吉山直樹, 武内重五郎 : 新訂体液—最近の進歩と対策を中心に 炭酸脱水酵素阻害薬. *日本臨牀* 45(増刊): 1212-1221, 1987.
- 秋葉隆 : 特集「診断基準」IX 腎尿路 低Na血症, 高Na血症. *メディチーナ* 25(10): 2138, 1988.
- 秋葉隆 : III. 腎疾患と多臓器 117. 慢性腎不全. 腎と透析 別冊 : 634-637, 1988.
- 秋葉隆 : 特集「診断基準」IX 腎尿路 低K血症, 高K血症. *メディチーナ* 25(10): 2139, 1988.
- 秋葉隆 : 特集 多臓器疾患と腎 117. 慢性腎不全. 腎と透析 25(臨時増刊): 634-637, 1988.
- 秋葉隆 : 特集 透析患者の神経症状 腎不全の電解質異常と酸塩基平衡. *臨牀透析* 5(3): 373-378, 1989.
- 秋葉隆, 丸茂文昭 : 特大号 話題の疾患—その診断と治療 糸球体硬化症. *現代医療* 21: 2190-2193, 1989.
- 秋葉隆 : 第4回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会に参加して. *人工臓器* 18(5): 1581, 1989.
- 秋葉隆 : 第26回ヨーロッパ透析移植腎臓学会 (EDTA) に参加して. *臨牀透析* 5(14): 2173, 1989.
- 秋葉隆 : 合併症と治療法. *全腎協* 108: 14, 1989.

- 秋葉隆：透析液の腹腔内分布と溶質拡散。腎と透析 28(6)：1025-1028, 1990.
- 秋葉隆，丸茂文昭：特集 長期透析合併症 175. 脂質代謝異常。腎と透析 臨時増刊号：462-463, 1990.
- 秋葉隆，丸茂文昭：腎尿路疾患診療指針'90 脂質代謝異常。腎と透析 29(臨時増刊)：462-463, 1990.
- 丸茂文昭，秋葉隆：糖尿病(上巻) 糖尿病にみられる各種病態 微量元素代謝異常。日本臨牀 48(増刊号)：722-730, 1990.
- 秋葉隆：第5回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会に参加して。人工臓器 19(4)：1462-1463, 1990.
- 秋葉隆，潮山健一，安藤亮一，栗山廉二郎，千田佳子，小野重五郎，星野正信，丸茂文昭：活性型ビタミンD<sub>3</sub>大量間欠経口投与法は副甲状腺の縮小と骨症の改善をもたらすか。腎と骨代謝 3(1)：41-47, 1990.
- 秋葉隆：なんでも相談コーナー。全腎協 111：14, 1990.
- 秋葉隆，桑原道雄，丸茂文昭，栗原怜，河辺満彦，鈴木隆雄，米島秀夫：慢性腎不全患者の骨塩量の評価—dual energy x-ray absorptiometry (DEXA) による測定—。腎と骨代謝 3(2)：237-245, 1990.
- ハイパフォーマンス・メンブレン研究会臨床評価グループ 膜の性能評価法。腎と透析 28(別冊)：175-179, 1990.
- 秋葉隆：検査データの話 透析者にとって検査とはどんな意味を持つか。透析ライフ 33：34-35, 1991.
- 秋葉隆：特集 血液浄化療法(上巻) —ビタミンDパルス療法。日本臨牀 49(増刊)：720-724, 1991.
- 秋葉隆：特集 ビタミンDと腎臓 ビタミンDパルス療法とは。腎と透析 30(6)：889-893, 1991.
- 秋葉隆：特集 至適透析への試み—腎性骨症。腎と透析 31(5)：891-894, 1991.
- 秋葉隆：PTHをめぐる最近の話題—腎不全とPTH。腎と骨代謝 4(2)：195-198, 1991.
- 秋葉隆：腎とビタミンD ワークショップ—内科的な副甲状腺機能亢進症の治療。腎と骨代謝 4(3)：347-351, 1991.
- 小椋陽介，深川雅史，富永芳博，井上聖士，秋葉隆：腎とビタミンD ワークショップ Parathyroidectomy-pros and cons 腎と骨代謝 4(3)：353-358, 1991.
- 芝本隆，秋葉隆：特集 血液浄化療法—抗凝固薬。日本臨牀 49(増刊)：175-184, 1991.
- 川口良人，安藤明利，秋葉隆，窪田実，瀬戸博美，長谷弘記：腎性貧血治療の実際。Pharam Medica 9(7)：137-152, 1991.
- 秋葉隆：続発性副甲状腺機能亢進症における経口1,25(OH)<sub>2</sub>D<sub>3</sub>パルス療法の効果。Yamasa Workshop'90 PTHとROD (ヤマサ醤油株式会社診断薬部)：39-44, 1991.
- 秋葉隆：特集 エリスロポエチンの作用と研究 III エリスロポエチンの作用と研究 (1) エリスロポエチンと高血圧。臨牀透析 8：1503-1508, 1992.
- 秋葉隆，丸茂文昭：透析療法管理 ビタミンDパルス療法。総合臨牀 41：2804-2808, 1992.
- 秋葉隆：特集 腎透析とカルシウム カルシウム調節ホルモン。CLINICAL CALCIUM 2：16-19, 1992.
- 秋葉隆：Question and Answer 副甲状腺機能亢進症。腎と透析 32：93-94, 1992.
- 秋葉隆：Question and Answer 腎性骨症の重症度評価および経過観察。腎と透析 32(6)：973-974, 1992.
- 秋葉隆：PTHをめぐる最近の話題 腎不全とPTH。腎と骨代謝 4：195-198, 1992.
- 栗原怜，秋葉隆：慢性腎不全患者とdual energy X-ray absorptiometry (DEXA)。CLINICAL CALCIUM 2：43-46, 1992.
- 栗原怜，秋葉隆：二次性副甲状腺機能亢進症による骨病変。臨牀透析 8(8)：1201-1206, 1992.
- 秋葉隆：Q&A 透析医療の現場から 副甲状腺ホルモン測定法の種類とその臨床的意義。透析フロンティア 2：19-21, 1992.
- 秋葉隆：血液の粘性と血行動態—保存期腎不全とrHuEPO。腎と血液，6-9, 1992.
- 秋葉隆：リン，カルシウムと骨。透析ライフ 45：34-35, 1992.
- 秋葉隆：ヘマトクリット・白血球・血小板。透析ライフ 46：34-35, 1992.
- 秋葉隆：EPO—演題数は減少したが，腎性貧血の重要性を深く認識。ライフサイエンス出版，1992年度米国腎臓学会総会トピックス (1992年11月15-18日ボルティモア)：1, 1992.
- 安藤亮一，秋葉隆：維持透析治療の問題点と治療の進歩 腎性骨異常栄養症の治療。Modern Physician 12(3)：420-424, 1992-3.
- 秋葉隆：血球 (赤血球・白血球・血小板)。透析ライフ 47：34-35, 1993.

- 秋葉隆：β2-ミクログロブリンとアミロイド症. 透析ライフ 48: 34-35, 1993.
- 秋葉隆：心臓・循環器—超音波診断は心疾患の診断に重要. 透析ライフ 49: 34-35, 1993.
- 秋葉隆：高齢者透析をめぐる問題. Excerpta Medica News Letter 19: 1-2, 1993.
- 秋葉隆：Mini-review アポトーシスと副甲状腺機能亢進症. 腎不全 5(1): 124, 1993.
- 秋葉隆：特集 慢性腎不全—病態に基づいた治療と予後の改善 慢性腎不全のカルシウム・リン代謝. 内科 72: 290-294, 1993.
- 秋葉隆：短時間透析. 腎と透析 34(6): 883-886, 1993.
- 太田和夫, 内藤秀宗, 竹沢真吾, 秋葉隆, 佐中孜, 秋澤忠男, 鈴木正司, 山中征二, 斎藤明：特集 透析療法の抱える問題と今後の展望〈討論会〉透析療法の課題と展望. 腎と透析 34(6): 931-942, 1993.
- 秋葉隆：特集 エリスロポエチンその後の動向 エリスロポエチンと高血圧. 臨牀透析 8(10): 1503-1508, 1994.
- 秋葉隆：エリスロポエチンによる血圧上昇. 造血因子 5(Suppl): 168-172, 1994.
- 秋葉隆：特集 新しい透析骨病変対策—その基礎と臨床 第Ⅱ部 透析骨病変の新しい治療 3. 静注カルシトリオール療法. 臨牀透析 10(5): 646-652, 1994.
- 秋葉隆：長期透析療法の合併症とその対策—特殊な病態の管理と対策 C型肝炎. 腎と透析 36(6): 1181-1184, 1994.
- 秋葉隆：骨関節合併症対策の進歩. MEDICO 25(3): 8-10, 1994.
- 堀岡理, 秋葉隆：窒素化合物 クレアチニン/クレアチン. メディチーナ 31(11): 68-69, 1994.
- 栗原怜, 秋葉隆：骨生検. 腎と透析 37(2): 248-253, 1994.
- 秋葉隆, 芝本隆：血液浄化療法における臨床工学技士の役割と将来. 医科器械学 64(11): 23-25, 1994.
- 秋葉隆：中分子量仮説批判と中川成之輔先生. 日アフエレーシス会誌 13(3): 243-244, 1994.
- 川口良人, 窪田実, 秋葉隆, 犬塚信子：「座談会」CAPDの合併症について. 腎臓 17(1): 17-32, 1994.
- 秋葉隆：特集 骨と血管—透析患者における骨病変と動脈硬化. CLINICAL CALCIUM 4(11): 15-18, 1994.
- 秋葉隆：人工腎臓—この1年. 人工臓器 23(6): 1994.
- 竹内正至, 栗原怜, 秋葉隆：Ⅱ. 診断・画像診断 2. 腎疾患診療におけるDEXAの有用性. Annual Review 腎臓 1994: 45-50, 1994.
- 秋葉隆：腎不全患者の運動能力, とくに筋代謝をめぐる. 腎不全 7(1): 57, 1995.
- 秋葉隆：透析療法最近の話題 予後とその規定因子 アメリカ. 腎と透析 38: 621-624, 1995.
- 秋葉隆：新しいビタミンDアナログによるパルス療法—22-oxa-1α,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>. 腎と骨代謝 8(2): 177-182, 1995.
- 秋葉隆：腎炎と腎疾患—長期血液透析合併症の対策 (予防管理を含めて). Medical Practice 12(2): 1995.
- 秋葉隆：透析療法の未来—ハイパフォーマンス透析器の性能と適応, 透析器の将来の性能と適応. 診断と治療 83(3): 457-462, 1995.
- 田村禎一, 秋葉隆：特集 腎不全の治療と透析療法—2次性副甲状腺機能亢進症とパルス. 臨床医 21(2): 217-221, 1995.
- 田村禎一, 秋葉隆：慢性腎不全に対する薬剤選択と投与方法. メディチーナ 32(10): 2010-2013, 1995.
- 秋葉隆, 佐藤千史：透析患者の肝疾患—ウイルス性肝炎. 臨牀透析 11(10): 1517-1524, 1995.
- 小椋陽介, 飯野靖彦, 山上征二, 秋葉隆, 市井栄介：災害時の透析医療. 腎臓 18(1): 21-33, 1995.
- 山崎親雄, 秋葉隆：第40回日本透析医学会総会パネルディスカッション「阪神大震災—現場からの報告, この経験を今後いかに生かすか」を企画して. 日透析医学会誌 28(7): 1015-1017, 1995.
- 鈴木正司, 内藤秀宗, 山上征二, 秋葉隆, 日台英雄, 新治純子, 小中節子, 水附祐子, 松下洋一, 大木好明：「討論」阪神大震災から得るもの. 臨牀透析 11(9): 1475-1503, 1995.
- 秋葉隆：日本の災害時透析医療を考える. 臨牀透析 11(9): 1407-1418, 1995.
- 桑原道雄, 秋葉隆：合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 第1回 透析患者の骨はどうして悪くなるのか その病態と対策. 透析ケア 1(1): 48-53, 1995.
- 栗原怜, 秋葉隆：合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 第2回 高回転性骨症とはどんな病態か. 二次性副甲状腺機能亢進症はなぜ起こるのか. 透析ケア 1(2): 426-432, 1995.

- 田村博之, 秋葉隆: 合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 第3回 高回転性骨症; 副甲状腺機能亢進症をどう診断するか. またその治療は. 透析ケア 1(3): 90, 1995.
- 田村禎一, 秋葉隆: 合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 第4回 副甲状腺摘出術とビタミンDパルス療法, どちらを選ぶか. 透析ケア 1(4): 192-198, 1995.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 第5回 低回転骨症アミロイド骨症 その病態と治療. 透析ケア 1(5): 494-500, 1995.
- 秋葉隆: 合併症の基礎知識シリーズ①透析と骨 最終回 腎性骨異常変栄養症の新しい治療. 2(2): 74-79, 1996.
- 秋葉隆: 第40回日本透析医学会総会・学術集会開催について. お茶の水会報 179: 12, 1995.
- 前田貞亮, 秋葉隆, 川口良人, 内藤秀宗, 前田益孝: 座談会「透析療法」. 日内会誌 84(10): 1701-1722, 1995.
- 秋葉隆: エリスロポエチンの新効能. カレントセラピー (別冊) 13(7): 171-173, 1995.
- 秋葉隆: 第40回日本透析医学会総会. 人工臓器 24(6): 1133, 1995.
- 中山栄造, 秋葉隆, 佐藤千史: 特集 透析患者の消化器病変 IX. B型・C型肝炎. 臨牀透析 12(1): 63-68, 1996.
- 田村博之, 秋葉隆: 用語解説 透析患者の抱える感染症. Clinical Engineering 7(1): 46-49, 1996.
- 秋葉隆, 大平整爾, 阿岸鉄三: 透析医療におけるConsensus Conference '95—二次性副甲状腺機能亢進症に対する保存的治療の限界と手術適応. 日透析医会誌 1996.
- 秋葉隆, 田村禎一, 田村博之: CAPD臨床の問題点と進歩 透析液の開発—低カルシウム透析液. 腎と透析 40(6): 897-901, 1996.
- 秋葉隆: 副甲状腺の細胞生物学 その他の因子による副甲状腺調節. 腎と骨代謝 9(3): 295-298, 1996.
- 秋葉隆: 慢性腎不全患者の2次性副甲状腺機能亢進症に対するビタミンDパルス療法. CLINICAL CALCIUM 6(5): 619-623, 1996.
- 鈴木小夜, 安原真人, 秋葉隆: 慢性腎不全の治療指針. 薬局 47(11): 1651-1658, 1996.
- 秋葉隆: 特集 エリスロポエチンの応用—新しい展開 非透析患者の貧血. 日常診療と血液 6(5): 7-12, 1996.
- 秋葉隆: 動脈硬化とカルシウム代謝の不思議! 全薬Journal 165: 12-13, 1996.
- 秋葉隆: 腎疾患における搔痒症. Modern Medicine 3(2): 72-75, 1996.
- 秋葉隆: 副甲状腺全摘術の適応まとめ. 日透析医会誌 12(1): 49-52, 1996.
- 秋葉隆: rHuEPOの皮下投与と静脈内投与との臨床効果の違い. 腎と血液 7-9, 1996.
- 田村博之, 秋葉隆: [特集] 透析液を考える 透析液カルシウムの至適濃度は? 透析ケア 2(11): 1087-1092, 1996.
- 秋葉隆: 気になるあれこれにお答えするキャッチ・ザ・ハート. VIVID (JMS) 2: 9-11, 1996.
- 秋葉隆: 透析効果をどう評価するか. 第24回東京透析懇談会記録: 8-21, 1996.
- 秋葉隆: 第8回日本透析医会シンポジウム まとめ. 日透析医会誌 12(1): 49-52, 1996.
- 秋葉隆: 新薬の使い方 腎臓 球状活性炭・エリスロポエチンアルファ・ジピリダモール. 診断と治療 84(1): 121-125, 1996.
- 秋葉隆, 田村博之, 羽田俊彦: 透析治療の問題点と対策—透析困難症. 腎と透析 42: 839-841, 1997.
- 秋葉隆: 災害時救急透析医療システムとコンピュータ. クリニカルエンジニアリング別冊 透析医療とコンピュータ: 175-178, 1997.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 骨粗しょう症とCa. 臨床成人病 27(4): 529-532, 1997.
- 秋葉隆: 主要腎疾患—現況・病態・診断・治療 末期腎不全患者の循環器合併症. 医学のあゆみ 別冊腎疾患: 383-385, 1997.
- 山脇正永, 横田隆徳, 秋葉隆: 神経疾患へのサイタアフェレーシス治療. 組織培養工学 23(12): 4-8, 1997.
- 秋葉隆: 透析患者の高リン血症とその対策. 日経メディカル 10: 117-118, 1997.
- 秋葉隆: 6. 低Ca血症 (術後). 臨床成人病 27(9): 1120, 1997.
- 丸茂文昭, 秋葉隆: 糖尿病 (1) 糖尿病と微量元素. 日本臨牀 55: 660-665, 1997.
- 秋葉隆, 田村博之, 羽田俊彦: 特集 副甲状腺機能低下症 Ⅷ慢性透析患者の副甲状腺機能低下症 (2) 原疾患のもたらす副甲状腺機能への影響—とくに糖尿病性腎症患者の特異性—. 臨牀透析 13(1): 73-78, 1997.
- 秋葉隆: Ⅵ QOL評価は腎不全治療に何をもたらしたか. 臨牀透析 13(8): 1115-1119, 1997.

- 秋葉隆, 田村博之, 羽田博幸: ダブルバッグはなぜダブルにしてあるのか? 臨床医 23(12): 2282-2283, 1997.
- 秋葉隆: 気になるあれこれにお答えするキャッチ・ザ・ハート. VIVID (JMS) 3: 6-8, 1997.
- 田村博之, 秋葉隆: 現場で聞けなかったあんなこと, こんなこと Q&A. 透析ケア3(1): 58-60, 1997.
- 秋葉隆: 透析液流量 竹沢真吾編 血液透析スタッフのための新しいハイパフォーマンスダイアライザー, 226-229, 東京医学社, 1997.
- 秋葉隆: 2) 長期生存の条件. 日透析医会誌 14(1): 13-23, 1998.
- 秋葉隆: [特集] 透析患者の高血圧治療. Medical Forum CHUGAI 2(1): 2-8, 1998.
- 秋葉隆: 透析患者と血圧異常. 治療 (J. Therap.) 80(7): 2124-2128, 1998.
- 秋葉隆, 羽田俊彦, 田村博之: 在宅腹膜透析療法の実際とその管理. 診断と治療 86(2): 221-226, 1998.
- 廣江道昭, 秋葉隆, 高元俊彦, 梅沢滋男: 10 血液透析患者に対するエリスロポエチン療法の心機能への影響. 臨床透析 14(8): 1149-1157, 1998.
- 秋葉隆: IVDaily home hemodialysis (連日在宅血液透析). 臨床透析 14(7): 929-934, 1998.
- 芝本隆, 秋葉隆: 透析とコンピューター情報化の進展と今後の展開 I 透析療法におけるコンピューターの利用. 臨床透析 14(6): 785-792, 1998.
- 秋葉隆, 高橋幸雄, 松井則明, 松尾武文: 非分画ヘパリン不適合例の実態と対処法—第42回日本透析医学会カレントコンセプトより—. 日透析医学会誌 31(2): 105-112, 1998.
- 秋葉隆: 腎臓病患者のための最新医学講座 18 治療法の進歩 (8) ウイルス性肝炎とインターフェロン療法. 全腎協 169: 16-17, 1998.
- 秋葉隆: 診療手技マニュアル 21. 血液浄化療法. 臨床医 24(増刊号): 220-223(1601-1603), 1998.
- 安藤亮一, 秋葉隆: ビタミンDの臨床薬理 慢性腎不全. THE BONE 12(1): 69-76, 1998.
- 秋葉隆: 透析導入後の身体的合併症と自分で出来る注意点—よりよい社会復帰を目指して—. 東腎協会(号外): 9-12, 1998.
- 新村文男, 秋葉隆: IV. 疾患への分子生物学的アプローチ 1. 腎の遺伝性疾患へのアプローチ 低Ca尿性高Ca血症. 腎と透析 45(臨時増刊号): 414-418, 1998.
- 秋葉隆, 杉崎弘章: 広域災害対策—東京都での対策—. 日透析医会誌 14(2): 46-54, 1998.
- 川崎忠行, 秋葉隆: 透析療法におけるコンピューターシステム—第42回日本透析医学会ワークショップより—. 日透析医学会誌 31(9): 1237-1242, 1998.
- 秋葉隆, 小川洋史, 水口潤, 山田敏生, 石原旬: 血液透析患者のQOL向上を目指した在宅血液透析の課題. 人工臓器 27(5): 821-826, 1998.
- 寺杣一徳, 秋葉隆: 透析施設の災害対策とは「他地域への避難」の初期判断が核. らうんじ (日経メディカル開発) 4: 6-7, 1998.
- 秋葉隆: まとめ (透析医療におけるConsensus Confererence '95). 日透析医会誌 14(1): 49-52, 1998.
- 秋葉隆: 腎性骨異常栄養症. Mebio 12, 1998.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 腎 病態・異常値・異常所見 高Ca血症. Molecular Medicine 35(臨時増刊): 341-343, 1998.
- 田村博之, 秋葉隆: 疾患からみた内科エマージェンシー 腎疾患・電解質異常 急性腎不全. メディチーナ 35(11): 341-343, 1998.
- 田村博之, 秋葉隆: 透析患者とクスリ 総論. 透析ケア 1998冬季増刊: 7-34, 1998.
- 秋葉隆: リンをめぐる最近の進歩 8 リンの腸管吸収. 腎と骨代謝 12(2): 161-167, 1999.
- 芝本隆, 秋葉隆: 特集 血液浄化機器の歴史と今後の発展 V 透析液供給装置・監視装置—未来に向けて透析装置の小型化はどこまで可能か?—. 臨床透析 15(1): 59-65, 1999.
- 秋葉隆, 丸茂文昭, 阿部薫, 星野正信: 糖尿病性腎症による末期腎不全の長期予後とその骨症. 腎と透析 46(4): 523-527, 1999.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症と遺伝子多型. CLINICAL CALUCIUM 9(6): 40-45, 1999.
- 秋葉隆: 透析患者の心血管合併症の予後改善に期待感 ICN Congress Report (第15回国際腎臓学会コンgresレポート). 中外製薬 6-7, 1999.

- 秋葉隆：《透析療法の問題点と対策》透析はどこまで待てるか 特集 慢性腎不全—進行は止められるか。内科 84 (1)：111-116, 1999.
- 秋葉隆：第44回日本透析医学会ランチョンセミナー。透析フロンティア 9 増刊号：3-5, 1999.
- 秋葉隆：エリスロポエチンを巡る話題 EPO遺伝子と受容体の発現調節に関心集まる。第32回米国腎臓学会コングレスレポート：9, 1999.
- 秋葉隆：第19回腹膜透析学会に参加して。腎臓 22(2)：142-143, 1999.
- 秋葉隆，他：腹膜透析療法における適正処方あり方。Current Topics on Peritoneal Dialysis 17(3)：100-117, 1999.
- 田村博之，秋葉隆：間違いやすい腎機能の読み。臨床医 25(5)：615-618, 1999.
- 秋葉隆：末期腎不全患者へのアプローチ 内科学II。1558-1561。黒川清・松澤佑次編，文光堂，1999.
- 田口直美，長谷部佳子，山中泰子，武久弘子，中山栄純，佐藤千史，秋葉隆，丸茂文昭，栗原怜，小笠原陽：透析患者の旅行支援について。日透析医学会誌 32(Suppl 1)：644, 1999.
- 田村博之，秋葉隆，伊東春樹，飯沼宏之：循環器薬のTDM ジギタリス薬・抗不整脈薬。臨床透析 15(12)：1657-1663, 1999.
- 田村博之，秋葉隆：長期血液透析治療の偶発症・合併症とその対策 腎性貧血。腎と透析 46(5)：663-667, 1999.
- 島村治子，秋葉隆：救急治療の実際 内分泌・代謝・電解質 血清K異常。臨床医 25(増刊)：1010-1012, 1999.
- 芝本隆，佐野直人，秋葉隆，丸茂文昭：開発したヘマトクリット値と除水制御運動システムは透析中の低血圧防止と適正体重に有効か。人工臓器 29(1)：141-146, 2000.
- 秋葉隆，他：透析室の肝炎対策（座談会）。腎臓 22(Suppl 1)：s19-s34, 2000.
- 秋葉隆，遠藤健一，田村博之：無形成骨(症)の病態。腎と骨代謝 13(1)：23-29, 2000.
- 秋葉隆：透析医療における院内感染防止 プライドを持って治療の質向上を。らうんじ 9：8, 2000.
- 秋葉隆：リン代謝異常。腎と透析 48(4)：459-463, 2000.
- 安藤亮一，秋葉隆：長期透析合併症・偶発症の病態と治療，内分泌系，カルシトニン。腎と透析 49(増刊)：783-785, 2000.
- 安藤亮一，秋葉隆：長期透析合併症・偶発症の病態と治療，内分泌系，副甲状腺ホルモン。腎と透析 49(増刊)：779-782, 2000.
- 田島真人，秋葉隆：長期透析合併症・偶発症の病態と治療，内分泌系，甲状腺ホルモン。腎と透析 49(増刊)：776-778, 2000.
- 秋葉隆，丸茂文昭：長期透析合併症・偶発症の病態と治療，心血管系，心嚢液貯留・心(外)膜炎。腎と透析 49：783-785, 2000.
- 秋葉隆：透析と劇症肝炎。日透析医会誌 15(1)：20-26, 2000.
- 秋葉隆，栗原怜，下田研二：腎不全におけるリン代謝とその管理。日透析医学会誌 33(5)：325, 2000.
- 秋葉隆：腎不全患者の輸液。診断と治療 88(5)：746-749, 2000.
- 秋葉隆：透析施設における院内感染と最近の動向。透析ケア 6(9)：14-19, 2000.
- 秋葉隆：慢性腎不全の治療—保存期から移植まで— Ⅲ透析期腎不全 5。高齢透析患者の問題点。日内会誌 89(7)：1379-1384, 2000.
- 安藤亮一，秋葉隆：透析療法と感染対策。感染と抗菌薬 3(3)：289-292, 2000.
- 富野康日己，重松隆，本田雅敬，秋葉隆：腎不全における高カリウム血症の治療。Pharma Medica 18(10)：101-110, 2000.
- 遠藤健一，秋葉隆：多尿，頻尿。救急医学 24(5)：594-595, 2000.
- 秋葉隆，伊藤友浩，田中啓之，岡戸丈和，田村博之：透析患者の骨粗鬆症。CLINICAL CALCIUM 10(10)：1211-1214, 2000.
- 秋葉隆：透析医療 透析医学はどうしたら魅力的な領域であり続けるか？ 透析フロンティア 10(Suppl)：535, 2000.
- 田村博之，秋葉隆：救急・集中治療における低侵襲的診断法・治療法 内科・循環器系 内科救急における低侵襲的治療法 腎疾患に対する低侵襲的診断法。集中治療 12(臨時増刊号)：93-96, 2000.

- 秋葉隆：透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル。感染防止 10(3)：42-53, 2000.
- 秋葉隆：二次性副甲状腺機能亢進症の治療目的と方法論。医薬ジャーナル 37(1)：538-540, 2001.
- 川嶋朗, 内藤順代, 鈴木浩一, 田中純子, 小林英雄, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏：腎不全に対する血液浄化療法 血液濾過法と類縁治療法。Biotherapy 15(1)：17-23, 2001.
- 秋葉隆, 内藤秀宗：特集 減らぬ院内感染にどう対処するか「患者さんのため」の労を惜しむな 2割越すHCV陽性率への対応が重要。らうんじ 12, 2001.
- 秋葉隆：透析室スタッフのための院内感染予防マニュアル。キッセイ薬品株式会社, 2001.
- 斎藤明, 秋葉隆, 川西秀樹：長期透析療法—現況と21世紀の課題 2, B. P. up to date 2001.
- 江口圭, 横井良, 金子岩和, 君川正昭, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏：アフエレーシス療法におけるkinetic modelingの利用。臨床透析 17(4)：473-481, 2001.
- 秋葉隆, 田村博之：二次性副甲状腺機能亢進症。EBM血液浄化療法 313-319, 2001.
- 秋葉隆：感染。血液浄化療法ハンドブック（改訂第2版）。64-67, 2001.
- 秋葉隆：長期透析の問題点。血液浄化療法ハンドブック（改訂第2版）。411-420, 2001.
- 秋葉隆：透析医療の質の担保。臨床透析 17(5)：525-526, 2001.
- 木全直樹, 菊地勘, 秋葉隆：重症患者に対する治療の実際。腎と透析 50(5)：689-694, 2001.
- 秋葉隆：21世紀腎不全治療の展望—合併症とその予防—。東腎協 139：2-13, 2001.
- 田中純子, 川嶋朗, 秋葉隆：各疾患別急性腎不全の診断と治療 薬剤性急性腎不全。内科 88(1)：45-51, 2001.
- 秋葉隆：院内感染防止に向け議論沸く 多発なら透析内容の見直しも。第46回日本透析医学会コンgresレポート, 8-9, 2001.
- 秋葉隆：巻頭言：腎不全の原因疾患の病態解明と治療法開発が進んでいるのに、なぜ末期腎不全患者は増え続けるのか？ 腎と透析 51(3)：285-286, 2001.
- 板橋美津世, 秋葉隆：透析患者とC型肝炎。地域保健 32(10)：39-44, 2001.
- 寺岡慧, 秋葉隆, 伊藤克己, 東間紘, 二瓶宏：臓器不全とその対策（腎不全）。現代医療 33：87-97, 2001.
- 末永多恵子, 秋葉隆：透析患者と突然死。Cardiovascular Med-Surg 3(4)：444-450, 2001.
- 秋葉隆, 三和奈穂子, 木全直樹：二次性副甲状腺機能亢進症の新しい展開—新しい活性型ビタミンD誘導体を中心に—。Progress in Medicine 12月号別刷 21(12)：77(2727)-81(2731), 2001.
- 菊地勘, 秋葉隆：ウイルス感染こうすれば防げる！ 透析ケア 8(1)：32-38, 2001.
- 新田孝作, 秋葉隆：腎障害と高リン血症—血管壁の石灰化における役割—。CLINICAL CALCIUM 11(10)：17(1275)-23(1281), 2001.
- 秋葉隆：テロと第19回国際血液浄化学会。Clinical Engineering 11(10)：7(1265), 2001.
- 菊地勘, 秋葉隆：透析患者におけるHCV感染。肝胆臓 43(5)：747-753, 2001.
- 木全直樹, 秋葉隆：ファレカルシトリオール。新しい治療薬のポイント 15：83-84, 104-105, 2001.
- 秋葉隆, 三和奈穂子, 木全直樹：7. 今後の治療展開（特集：二次性副甲状腺機能亢進症治療の新しい展開）。Progress in Medicine 21(12)：77(2727)-81(2731), 2001.
- 菊地勘, 秋葉隆：もっと知りたいC型肝炎 治療を困難にする他の要因も抱えたC型肝炎患者の治療のポイント 透析療法中のC型肝炎患者の治療。看護技術 47(8)：899-904, 2001.
- 三和奈穂子, 秋葉隆：EBMに基づく臨床データブック 症候の原因疾患頻度表 浮腫。臨床医 27：934, 2001.
- 秋葉隆, 太田和夫, BLBC研究会：重曹透析液—この古くて新しい期待されるアルカリ化剤。腹膜透析 2001(腎と透析 別冊), 2001.
- 平澤由平, 今忠正, 吉田豊彦, 山崎親雄, 杉崎弘章, 鈴木正司, 秋澤忠男, 秋葉隆：地域災害下における透析医療の実態調査と対応マニュアルの策定に関する研究 有珠山噴火における透析医療をふまえて（平成12年度厚生科学研究費補助金「厚生科学特別研究事業」研究報告書）。日透析医会誌 16(2)：264-287, 2001.
- 西田英一, 秋葉隆：透析者における心・血管系合併症 不整脈。臨床透析 17(10)：1319-1324, 2001.
- 秋葉隆：透析室における医療事故とは？ 透析室の感染事故 その因子と対応。透析ケア 2001夏季増刊：37-47, 2001.
- 齋藤まどか, 秋葉隆：浮腫の治療 体外循環による浮腫治療。臨床医 27(10)：2392-2394, 2001.



- 川合由恵, 川嶋朗, 秋葉隆: 末期腎不全治療の多様性とその特徴 血液濾過・濾過透析. *Pharma Medica* 19(12): 35-41, 2001.
- 代田さつき, 坂東美和, 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析液組成の変遷. *Clinical Engineering* 12(8): 705-707, 2001.
- 秋葉隆: 巻頭言: 副甲状腺機能亢進症に対する新薬の特徴と使い分け? 腎と骨代謝 15(1): 5-6, 2002.
- 秋葉隆: 血清カルシウム値の異常への対処. *Infusion Therapy News* 7: 8-10, 2002.
- 菊地勘, 秋葉隆: 透析とウイルス肝炎. *臨床透析* 18(6): 7-13, 2002.
- 戸田房子, 秋葉隆: 慢性腎不全の輸液と注意. *臨床看護* 28(6): 955-960, 2002.
- 小川哲也, 平林あゆみ, 杉浦秀和, 大前清嗣, 秋葉隆: 維持透析における管理のポイント—透析導入後の問題—1. 心血管系. *Geriat Med* 40(7): 933-967, 2002.
- 秋葉隆: 医療保険制度から考えるPDファースト, PDラスト. 腹膜透析 2002(腎と透析 53 別冊): 43-48, 2002.
- 秋葉隆, 渋谷理恵: 在宅腹膜透析 (CAPD). 在宅医療支援・推進部ニューズレター第9号 2002.
- 土谷健, 秋葉隆: 骨粗鬆症の診断と予防・治療. *臨床看護* 28(11): 1735-1738, 2002.
- 中村道郎, 秋葉隆: 透析患者のIVR(2) 副甲状腺のPEIT. *日獨医報* 47(4): 65-74, 2002.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: 至適透析療法とは. *Medical Practice* 19(3): 409-412, 2002.
- 秋葉隆: 感染症コントロール (A. 感染症対策の基本 1. 透析療法時の一般的な感染予防) 飯田喜俊, 秋澤忠男, 椿原美治編. 透析療法のリスクマネジメント, 234-238, 中外医学社, 2002.
- 木全直樹, 秋葉隆: エリスロポエチン. 黒川清監修, 深川雅史, 山田明, 秋澤忠男, 鈴木正司編. 透析患者の検査値の読み方. 202-204, 日本メディカルセンター, 2002.
- 秋葉隆: 急性血液浄化の将来. 伊藤克己監修, 服部元史, 金子岩和編集. 小児急性血液浄化療法マニュアル: 209-211, 医学図書出版, 2002.
- 土谷健, 二瓶宏, 秋葉隆: 浸透圧利尿薬. 北畠顕, 島本和明編, 浮腫: 149-157, 医薬ジャーナル社, 2002.
- 西田英一, 秋葉隆: 血液分布異常性ショック 2. 血液浄化療法. 矢崎義雄監修, 磯部光章編集, ショックの臨床: 328-336, 医薬ジャーナル社, 2002.
- 川嶋朗, 秋葉隆: 慢性腎不全. 下条文武, 内山聖, 富野康日己編集, 専門医のための腎臓病学: 151-161, 医学書院, 2002.
- 秋葉隆, 西田英一: 腎・尿路疾患治療薬. 奈良信雄編著, コメディカルの治療薬マニュアル: 322-331, 中外医学社, 2002.
- 秋葉隆, 西田英一: 輸液製剤 (等張電解質輸液). 奈良信雄編著, コメディカルの治療薬マニュアル: 567-571, 中外医学社, 2002.
- 木全直樹, 秋葉隆: 透析骨症の予防と治療—過去, 現在, 将来への展望. 透析療法ネクストII: 95-103, 医学図書出版, 2002.
- 川嶋朗, 秋葉隆: 知っておきたい医学的知識 診断基準の変遷・その意義, 境界領域の意味 骨粗鬆症の診断と予防・治療. *透析看護* 28(7): 1047-1050, 2002.
- 齋藤まどか, 秋葉隆: 腎性貧血と統計. *医薬ジャーナル* 38(2): 787-792, 2002.
- 秋葉隆: 腎性骨症とその治療. 善仁会研究年報 23: 9-12, 2002.
- 安田雅子, 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するビタミンD治療. 腎と透析 52(4): 437-440, 2002.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: アフェレシス関連モニタリング技術の最近の動向 循環血液量 (BV) モニタのアフェレシスへの応用. *日アフェレシス会誌* 21(1): 54-63, 2002.
- 土谷健, 秋葉隆: エリスロポエチン投与について教えてください. *治療* 84(5): 1602-1603, 2002.
- 石井幾久子, 秋葉隆: 慢性腎不全の看護 透析療法の基礎知識 血液透析と腹膜透析の原理. *ナーシング* 22(7): 106-110, 2002.
- 石井幾久子, 秋葉隆: 慢性腎不全の看護 透析療法の基礎知識 (その1). *ナーシング* 22(6): 106-110, 2002.
- 石井幾久子, 秋葉隆: 慢性腎不全の看護 腎の病態生理 慢性腎不全を中心に. *ナーシング* 22(1): 72-76, 2002.
- 秋葉隆: カルシウム・リン代謝異常に対する治療の課題と展望. *臨床透析* 19(1): 7-12, 2003.
- 秋葉隆, 芝本隆: 透析支援コンピューターシステム. *Annual Review 2003 腎臓*, 141-145, 2003.

- 徳本直彦, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: 腎移植におけるウイルス性慢性肝炎とそのマネジメント. 臨床泌尿器科 57 (1): 7-17, 2003.
- 菅沼信也, 三和奈穂子, 秋葉隆: 透析患者の他科受診における薬物療法のポイント 腎性骨症に対する薬剤. 薬局 54(5): 59-65, 2003.
- 秋葉隆: 統計調査の結果を透析医療の方針決定に活かす. Clinical Engineering 14(1): 40-41, 2003.
- 秋葉隆: 透析医療の国際アウトカム研究. 現代医療 35(4): 129-132, 2003.
- 秋葉隆, 天野泉: 急性血液浄化方法の今後の課題 エビデンス構築の必要性. らうんじ19: 4-5, 2003.
- 秋葉隆: 医療施設が考える臨床工学技士教育 目標の見える臨床工学技士を養成する 雇用する側から. Clinical Engineering 14(7): 694-696, 2003.
- 秋葉隆: 高P血症と低P血症の診断と治療の進め方. Medical Practice 20(8): 1343-1349, 2003.
- 秋葉隆: 腎不全の現況と未来. 大阪透析研会誌 21(2): 111-115, 2003.
- 秋葉隆: The hemodialysis (HEMO) studyの意義とその誤解. 臨床透析 19: 1366-1367, 2003.
- 杉浦秀和, 芳田工, 秋葉隆: 臨床研修 コアスキル 緊急を要する症状・病態への対応 急性腎不全. メディチーナ 増刊号 40(12), 医学書院, 2003.
- 秋葉隆: 統計調査の結果を透析医療の方針決定に活かす. Clinical Engineering 14(1), 2003.
- 西田英一, 秋葉隆, 中本雅彦: SMAPの適応. 腹膜透析 2003: 61-64, 2003.
- 渋谷理恵, 後藤しずか, 長谷川美恵子, 西田英一, 秋葉隆, 二瓶宏: PDの段階的導入法 (SMAP) におけるインターネットの活用. 腹膜透析 2003: 164-167, 2003.
- 西田英一, 中元秀友, 川本篤史, 八田正人, 鈴木洋通, 秋葉隆, 二瓶宏, 中本雅彦: 携帯電話とインターネットを利用したCAPD患者管理システムの構築. 腹膜透析 2003: 311-314, 2003.
- 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析療法の現況. 浅野泰, 小山哲夫編集, 別冊医学のあゆみ 腎疾患—state of arts 2003-2005: 194-197, 医歯薬出版, 2003.
- 秋葉隆, 芝本隆: VII. 血液浄化法 3. 透析支援コンピュータシステム. 伊藤克己, 浅野泰, 遠藤仁, 御手洗哲也, 東原英二編集, Annual Review 腎臓: 141-145, 中外医学社, 2003.
- 土谷健, 秋葉隆: 慢性腎不全 (保存期) 貧血管理 (至適Ht, EPO, Fe剤). 黒川清監修, 吉村吾志夫, 南学正臣編集, Evidence based medicine 臨床に直結する腎疾患治療のエビデンス, 142-145, 文光堂, 2003.
- 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析 貧血の治療. 黒川清監修, 吉村吾志夫, 南学正臣編集, Evidence based medicine 臨床に直結する腎疾患治療のエビデンス, 250-252, 文光堂, 2003.
- 秋葉隆: 3. 1 糖尿病性腎症の透析導入基準. 腎不全予防医学調査研究委員会編, 腎不全治療マニュアル: 57-60, (社)日本透析医会, 2003.
- 秋葉隆: 急性腎不全. 奈良信雄編集, 臨床研修実践マニュアル, 278-279, 2003.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: 骨, 関節の異常. 二瓶宏監修, 佐中孜編, 透析患者処方ノート—透析合併症に対して—, 228-236, 2003.
- 秋葉隆: 統計調査の結果を透析医療の方針決定に活かす. Clinical Engineering 14(1): 2-3, 2003.
- 秋葉隆: The Hemodialysis (HEMO) study の意義とその誤解. 臨床透析 19(10): 2-4, 2003.
- 西田英一, 中元秀友, 秋葉隆, 中本雅彦: CAPD患者のインターネットを利用した遠隔医療. 臨床透析 19(9): 1245-1251, 2003.
- 澁谷あすか, 秋葉隆: 慢性透析患者を受け持つとき わが国の透析療法の現状と問題点. 臨床医 29(8): 1545-1547, 2003.
- 芳田工, 秋葉隆: 急性腎不全の診断. 救急・集中治療 15(9): 907-913, 2003.
- 木全直樹, 秋葉隆: アメリカの透析事情. 腎と透析 54(5): 670-674, 2003.
- 清水幹夫, 金子岩和, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: 重症インフルエンザ脳症のこども達をどう救うか 当施設における体重5kgの乳児症例に対するPE+CHDF併用両方施行上の技術的検討. ICUとCCU 27(別冊): S43-S45, 2003.
- 芳田工, 秋葉隆: 術後急性腎不全. 腎臓 25(3): 217-226, 2003.
- 芳田工, 秋葉隆: 腎不全診療の最近の考え方 維持透析療法の最近の考え方について DOQIガイドラインは日本の透

- 析医療にどの様に影響を与えているか. 診断と治療 91(3): 443-447, 2003.
- 小川哲也, 平林あゆみ, 杉浦秀和, 大前清嗣, 秋葉隆: 腎移植の降圧療法と臓器保護. 成人病と生活習慣病 33(12): 1533-1535, 2004.
- 田中純子, 秋葉隆: Ⅶ. 骨代謝・異所性石灰化. 臨牀透析 20(1): 61-68, 2004.
- 秋葉隆: 透析期腎不全診療のエビデンス 透析処方. EBMジャーナル5(2): 70-74, 2004.
- 長井一高, 土谷健, 秋葉隆: 血圧異常に対する透析治療の工夫. 腎と透析 56(1): 107-112, 2004.
- 秋葉隆: 3. The hemodialysis Studyの意味するもの. Annual Review 腎臓 2004: 156-159, 2004.
- 秋葉隆: 血液浄化療法の概念と分類. 日本臨牀 62増刊号 5: 7-12, 2004.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: 活性型ビタミンD<sub>3</sub>と誘導体. 日本臨牀 62増刊号 5: 364-367, 2004.
- 秋葉隆, 木全直樹, 安藤亮一: 腎性骨症における血管障害と生命予後. CRITICAL CALCIUM 14(1): 9-15, 2004.
- 秋葉隆, 平方秀樹: 透析者の死因の検証— 一心・血管障害— 第48回日本透析医学会シンポジウムより. 日透析医学会誌 37(3): 191, 2004.
- 秋葉隆: 3-4 感染 11-11 感染症 12-2 長期透析の問題点 透析療法合同専門委員会編著 血液浄化療法ハンドブック [改訂第3版]. 50-52, 287-289, 296-303, 協同医書出版社, 2004.
- 菊地勘, 秋葉隆: X 部門別の感染対策 3 人工透析関連感染対策. ICDテキスト編集委員会編, ICDテキスト. メディカ出版, 176-177, 2004.
- 秋葉隆: 1章 血清リン濃度と透析患者予後. 鈴木正司・秋澤忠男編, 腎不全とリン, 日本メディカルセンター, 149-153, 2004.
- 秋葉隆: I 透析療法の適応と処方の実際. 秋葉隆編, 腎不全治療マニュアル, 南江堂, 57-63, 2004.
- 川口良人, 大平整爾編集: 事例に学ぶ透析看護基礎編. 事例 99 事例 20 解説 51, 事例 34 解説 83, 事例 45 解説 105, 事例 48 解説 111, 事例 52 解説 119, 事例 63 解説 143, 事例 78 解説 177, 事例 94 解説 209, 事例 99 解説 221, 日本メディカルセンター, 2004.
- 大平整爾編集: 臨牀透析創刊20周年記念エッセイ集. 腎不全とともに歩んで 透析医療の常識・非常識 75 透析医療のターゲット, 172-173, 日本メディカルセンター, 2004.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: Chapter 4 透析患者に対する薬物選択と使い方の実際 エリスロポエチン・鉄. 富野康日己編, ファーマナビゲーター, 慢性腎不全・透析編, 日本メディカルセンター, 242-251, 2004.
- 寺岡慧, 東間紘, 秋葉隆, 二瓶宏: 腎移植の将来. 治療学 38(4): 71-78, 2004.
- 秋葉隆: EPO不応透析患者の意義. 透析 Strategy 8: 3-6, 2004.
- 徳本直彦, 秋葉隆, 田邊一成, 東間紘: ガイドラインに見る透析期および移植患者における腎性骨症治療. CLINICAL CALCIUM 14(5): 30-38, 2004.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 金子岩和, 峰島三千男, 中倉兵庫, 近本裕子, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児における急性血液浄化法の適応と技術的限界. ICUとCCU 28: 5045-5047, 2004.
- 秋葉隆: 女性化乳房の兆候を伴う疾患と病態 腎不全・透析療法. ホルモンと臨床 52(7): 33-35, 2004.
- 菊地勘, 秋葉隆: Ⅱ 透析室の感染対策—透析施設の全国アンケート調査より—. 臨牀透析 20(8): 27-33, 2004.
- 秋葉隆, 山崎親雄, 内藤秀宗, 奈倉勇爾, 新里高弘, 中井滋, 鈴木正司, 篠田俊雄, 栗原怜: 本邦の血液透析施設におけるC型ウイルス肝炎感染の実態調査. 日透析医学会誌 別冊 19(2): 30-32, 2004.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: オピニオン特集 透析療法をめぐる諸問題 2004 4 incremental dialysis, prophylactic dialysis は予後を左右するか オピニオン2. 臨牀透析 20(7): 55-58, 2004.
- 西田英一, 中元秀友, 秋葉隆, 中本雅彦: 3. Web型患者管理システム「i手帳」の構築とHeMXとの連携. 日透析医学会誌 37(9): 1771-1772, 2004.
- 竜崎崇和, 中元秀友, 鈴木洋通, 西田英一, 秋葉隆: 4. Telemedicine system を用いた透析病院間の病・診連携 systemの確立. 日透析医学会誌 37(9): 1773-1774, 2004.
- 芝本隆, 上野信一, 井村卓, 川村正喜, 秋葉隆: 透析療法における血液透析装置通信プロトコール共通化のバージョンアップ (案) について. 日透析医学会誌 37(9): 1777-1778, 2004.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: 欧米でのVitamin D 製剤を用いた治療戦略. CLINICAL CALCIUM 14(9): 45-47, 2004.

- 小島智亜里, 秋葉隆: 糖尿病の国際比較 糖尿病性腎症の国際比較は? 肥満と糖尿病 3(4): 656-658, 2004.
- 菊地勘, 秋葉隆: 特集 DOPPSとK/DOQI〔合併症〕感染症, 腎と透析 56(6): 875-878, 2004.
- 秋葉隆: シンポジウム 3. 腎疾患—検診から移植まで 4) 透析療法. 日内会誌 93(9): 145-150, 2004.
- 小島智亜里, 秋葉隆: 特集 透析患者の栄養評価における新理論と新技術 X 日本の統計調査からみた透析患者の栄養と実態. 臨牀透析 20(12): 73-79, 2004.
- 池辺宗三人, 秋葉隆: 特集 1 透析患者の生命を脅かす三大疾患概論. 透析ケア 10(12): 12-15, 2004.
- 徳本直彦, 木全直樹, 長井一高, 山下優子, 望月剛, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: 超音波高速三次元表示 (超音波血管VOL) 画像を用いたブラッドアクセスの評価. 腎移植・血管外科 15(2): 133-138, 2004.
- 塚田三佐緒, 秋葉隆: 腹膜透析は残腎機能保持に有効か オピニオン (2). 臨牀透析 20(7): 825-828, 2004.
- 小島智亜里, 芳田工, 秋葉隆: カリウム代謝異常の対策 透析療法. 腎と透析 56(4): 538-541, 2004.
- 宮尾眞輝, 江口圭, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しいクリットライン血液チャンバ (エクステンションチューブ型) の使用経験. 日臨工技士会誌 21: 47-48, 2004.
- 秋葉隆: わが国の透析医療は, 世界の模範となりうるのか—透析医療費の仕組みと医療内容の関連—. 臨牀透析 20(13): 7-12, 2004.
- 木全直樹, 秋葉隆: 2. 透析患者の予後規定因子. Annual Review 腎臓 2005, 中外医学社, 133-137, 2005.
- 江口圭, 平山千佳, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: DFPP 療法における安全性とその留意点. 日アフェレシス会誌 24(1): 39-46, 2005.
- 菊地勘, 秋葉隆: C型肝炎—透析患者での増加. 総合臨牀 54(3): 471-479, 2005.
- 西慎一, 下条文武, 斎藤明, 秋澤忠男, 秋葉隆, 酒井達也, 鈴木正司, 椿原美治, 平方秀樹, 別所正美: 「慢性血液透析患者における腎性貧血治療のガイドライン」の解説. 日透析医会誌 20(1): 178-183, 2005.
- 秋葉隆, 上田美緒: 透析療法期 (第5期) 糖尿病透析患者の予後に影響する因子 A-89. 西沢良記, 石村栄治編, 専門医に聞きたいコメディカルのための糖尿病・糖尿病性腎症 Q&A101, 医歯薬出版, 180-181, 2005.
- 三和奈穂子, 秋葉隆: わが国の透析患者数, 導入基礎疾患と透析成績 A-23. 飯田喜俊 椿原美治編 専門医に聞きたいコメディカルのための腎不全・透析療法 Q&A101, 医歯薬出版, 48-49, 2005.
- 新田孝作, 秋葉隆: IV. 腎臓 透析腎性骨症の診断基準・病型分類・重症度. 内科 95(6): 1246-1250, 2005.
- 秋葉隆: Latest Article ミネラル代謝異常の予測因子と影響 要約・論評 DOPPS Clinical Evidence (Suppl 3), 2005.
- 正岡(降旗)純子, 佐々木(乙丸)晶世, 香月毅史, 秋葉隆, 坂本倫美, 渋谷理恵, 佐藤千史: 持続的腹膜透析 (CAPD) 患者における運動が心理状態に及ぼす影響. 透析ケア 11(5): 110-115, 2005.
- 秋葉隆: 3. 血液浄化療法 1 血液透析総論. 二瓶宏, 湯村和子監修, 図説腎臓病学, 184-188, 日本医事新報社, 2005.
- 西井規子, 桑鶴良平, 三橋紀夫, 塚田三佐緒, 秋葉隆, 木村文子: 血管石灰化病変の評価. 臨牀透析 21(7): 141-146, 2005.
- 秋葉隆: 特集 末期腎不全患者の血圧管理—保存期, 透析期, 移植 序論—高血圧は腎疾患を進行し, 合併症を増悪する—. 臨牀透析 21(8): 7-10, 2005.
- 秋葉隆: 慢性透析療法の現況. 人工臓器 34(1): 88-91, 2005.
- 小田順一, 芝田正道, 清水幹夫, 坂上貴光, 金子岩和, 芳田工, 峰島三千男, 秋葉隆, 寺岡慧, 二瓶宏: 旭化成メディカル社製ADP-01のシステム評価. 第33回東京透析懇談会記録集: 3-5, 2005.
- 坂上貴光, 小田順一, 山田祐史, 伊部紀子, 石森勇, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 高血流量を必要とする症例に対する各種留置針を用いた脱血圧と実流量の関係. 第33回東京透析懇談会記録集: 36-38, 2005.
- 秋葉隆: 透析医療の国際比較は可能か. BIO Clinica 20(11): 58-62, 2005.
- 秋葉隆: 透析患者の予後を規定する因子—透析の質と量の決定因子と予後との関係. 医学のあゆみ 214(13): 1037-1042, 2005.
- 秋葉隆: 透析患者におけるC型肝炎の現状と問題点. THERAPEUTIC RESEARCH 26(9): 1791-1794, 2005.
- 秋葉隆: 特集 透析医療を担う各職種の役割の現況とあるべき姿 医師 (2) —大学病院. 臨牀透析 21(11): 1450-

1451, 2005.

- 江口圭, 金野好恵, 峰松佑輔, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しい二重膜濾過血漿分離交換法 (加温式リサキュレーション法: DFサーモ) の性能と臨床効果. 日アフエレス会誌 24(3): 264-270, 2005.
- 秋葉隆, 菊地勘: 透析患者におけるウイルス性肝炎対策. Clinical Engineering 16(12): 1224-1230, 2005.
- 徳本直彦, 清水朋一, 川島洋一郎, 倉富由香, 日野和子, 益本憲太郎, 角山邦子, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: 腎移植—登録から移植, 退院まで: 安定期で一. 腎と透析 59(4): 675-684, 2005.
- 秋葉隆: 腹膜透析の特徴と療法選択. Pharma Medica 23(Suppl): 15-22, 2005.
- 秋葉隆: 人工腎臓. 人工臓器 34(3): 156-158, 2005.
- 木全直樹, 秋葉隆: 抗凝固薬 (急性血液浄化療法のすべて). 腎と透析 58(5): 627-629, 2005.
- 秋葉隆: [腎不全と心血管イベントの予防] 貧血とその管理. 日医師会誌 134(12): 2370-2375, 2006.
- 秋葉隆: 急性血液浄化治療と院内感染. ICUとCCU 30(別冊): S9-S10, 2006.
- 岩藤和広, 唐仁原全, 加藤容二郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 三宮彰仁, 小山一郎, 佐藤純彦, 中島一朗, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 診療科別にみた PMX 治療の実態と評価. ICUとCCU 30(別冊): S19-S21, 2006.
- 宮村正和, 金井孝裕, 三浦健一郎, 久野正貴, 古江健樹, 秋岡祐子, 松本絵里, 岸崇之, 窪田さやか, 林典子, 服部希, 武藤順子, 坂内優子, 永木茂, 大澤真木子, 世川修, 相馬泉, 清水幹夫, 平山千佳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: ガンマグロブリン療法不応川崎病に対する血漿交換療法の有効性. ICUとCCU 30(別冊): S95-S97, 2006.
- 清水幹夫, 相馬泉, 平山千佳, 金子岩和, 峰島三千男, 古江健樹, 宮村正和, 服部元史, 大澤真木子, 秋葉隆: 乳児に対する血漿交換療法. ICUとCCU 30(別冊): S132-S134, 2006.
- 尾原英利, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析用標準化回路の安全性と操作性の検討. 日血浄化技会誌 13(1): 1-5, 2006.
- 宮尾眞輝, 鈴木聡, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 経営工学的アプローチによるマシンインターフェース由来の透析装置誤操作対策. 日血浄化技会誌 13(1): 35-39, 2006.
- 池辺宗三人, 秋葉隆: シスタチンC—Ccrに代わりうる腎機能マーカー. 臨牀透析 22(4): 502-504, 2006.
- 金野好恵, 江口圭, 峰松佑輔, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: アフエレス療法における温度変化を利用した分画分離技術. 日アフエレス会誌 25(2): 99-104, 2006.
- 峰松佑輔, 江口圭, 金野好恵, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: LDL吸着カラム (LA-15) において新たに示されたフィブリノーゲン吸着特性—過去の誤解と最新の知見から—. 日アフエレス会誌 25(2): 105-109, 2006.
- 三和奈穂子, 芳田工, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 維持血液透析患者における1-84PTH (whole PTH) の有用性. Osteoporosis Japan 14(2): 174, 2006.
- 秋葉隆: 慢性腎不全患者における臓器相関, 編集: 秋葉隆, 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC 腎4 透析合併症, 最新医学社, 9-14, 2006.
- 秋葉隆: ガイドラインは必要か? 臨牀透析 22(7): 13-19, 2006.
- 秋葉隆: 腎臓疾患・透析と微量元素. 治療 88(7): 1925-1929, 2006.
- 秋葉隆, 石森勇, 村上淳, 金子岩和: IV災害を迎え撃つ—未来へ (1) 大型都市型巨大災害—東京都 23区の透析施設における災害への取組み—. 臨牀透析 22(11): 91-97, 2006.
- 秋葉隆: 5. 腎生貧血. 日内会誌 95(10): 46-49, 2006.
- 秋葉隆: 序説 特集: メタボリックシンドロームと腎不全. 臨牀透析 22(12): 7-11, 2006.
- 秋葉隆: 慢性腎不全. メディチーナ 43(12): 491-495, 2006.
- 秋葉隆: 129. 腎性貧血 腎・尿路疾患の診療指針'06. 腎と透析 61(臨時増刊号): 565-568, 2006.
- 鈴木聡, 宮尾眞輝, 峰島三千男, 秋葉隆: 医療安全に果たす臨床工学技士の役割. 医工学治療 19(1): 61-64, 2007.
- 秋葉隆: 慢性腎不全とサイトカイン. 臨牀透析 23(4): 7-12, 2007.
- 菊地勘, 秋葉隆: 透析患者のC型肝炎とインターフェロン治療. 臨牀透析 23(4): 75-83, 2007.
- 秋葉隆: 特集 腎性貧血治療の進歩 DOPPS から見たわが国の慢性貧血治療の進歩. 腎と透析 62(4): 765-768, 2007.
- 秋葉隆: 特集 腎と骨 新しいビタミンD誘導体とcalcimimetics. CLINICAL CALCIUM 17(5): 123-127, 2007.

- 秋葉隆：CHOIRとCREATE騒動とその帰結点. 臨牀透析 23(6)：80-82, 2007.
- 秋葉隆：《CKD対策の一環として》わが国の透析医療とCKDキャンペーン. 内科 100(1)：117-119, 2007.
- 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆：内部濾過流量の経時変化：圧力連続モニタリングによる臨床評価. 腎と透析 別冊 2007：195-197, 2007.
- 石川亜矢子, 江口圭, 山田祐史, 村上淳, 金子岩和, 塚田三佐緒, 峰島三千男, 秋葉隆：新しい腹膜透析の評価方法 (PD 排液濃縮法) —その1：技術的側面から—. 腹膜透析 2007(腎と透析 63別冊)：318-320, 2007.
- 塚田三佐緒, 菊地勘, 三和奈穂子, 池辺宗三人, 木全直樹, 石川亜矢子, 山田祐史, 江口圭, 峰島三千男, 秋葉隆, 新田孝作：新しい腹膜機能評価方法 (PD 排液濃縮法) —その2：臨床的側面から—. 腹膜透析 2007(腎と透析 63別冊)：321-323, 2007.
- 秋葉隆：【特別コメント】—CKDキャンペーン動機と転帰—. 臨牀透析 23(13)：83-86, 2007.
- 芳田工, 杉浦秀和, 潮平俊二, 秋葉隆, 新田孝作：急性腎不全 (急性腎臓障害) の病因と機序. Nephrology Frontier 6(4)：21-25, 2007.
- 菊地勘, 秋葉隆：腎疾患診療におけるセーフティマネージメント 感染対策マニュアル. 腎と透析 63(3)：380-383, 2007.
- 菊地勘, 秋葉隆：感染リスクと対策 透析室 感染対策. ICTジャーナル 2(1)：104-108, 2007.
- 秋葉隆：腎性貧血マネジメント II 腎性貧血の治療 (1) わが国と世界の腎性貧血治療の違い. 臨牀透析 24(1)：19-28, 2008.
- 秋葉隆：急性血液浄化法における感染対策. ICUとCCU 32(別冊)：S14-S15, 2008.
- 秋葉隆, 成田一衛, 浅野泰, 草野英二：腎臓疾患に潜在するファブリー病の診断・治療の戦略. Therapeutic Research 29(10)：1667-1672, 2008.
- 秋葉隆：特集 透析患者における循環器合併症ガイドラインを考える I 診療ガイドラインとは—日本透析医学会「循環器合併症ガイドライン」に期待するもの—. 臨牀透析 24(12)：7-12, 2008.
- 小川哲也, 市川明子, 松田奈美, 秋葉隆, 新田孝作：特集 透析患者における循環器合併症ガイドラインを考える IV 透析患者のおもな循環器合併症 (6)不整脈. 臨牀透析 24(12)：79-88, 2008.
- 秋葉隆, 杉崎弘章, 隈博政, 森兼啓太, 篠田俊雄, 衣笠えり子, 久野勉, 安藤亮一, 大藪英一, 上園健, 中西博：日本透析医会・日本透析医学会新型インフルエンザ対策合同会議 透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドライン. 日透析医学会誌 41(12)：1-8, 2008.
- 秋葉隆：エビデンスが透析医学をどう変えるか? を評価する機能として. 臨牀透析 25(1)：12, 2009.
- 菊地勘, 秋葉隆：(特集 どうコントロールするか 透析患者の感染症) I 病因微生物：感染症の動向 (1) C型肝炎ウイルス. 臨牀透析 25(1)：19-26, 2009.
- 秋葉隆：(特集 CKD (慢性腎臓病)と骨) カルシウム・リン・PTHの管理. CLINICAL CALCIUM 19(4)：69-76, 2009.
- 田端秀日朗, 菊地勘, 寺岡慧, 秋葉隆：先天性腎疾患と腎不全 VIII 代謝性疾患—高尿酸血症に焦点をあてて—. 臨牀透析 25(4)：67-72, 2009.
- 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史：小児領域における急性血液浄化機器の標準化に向けて. ICUとCCU 33(別冊号)：S60-S61, 2009.
- 秋葉隆：(話題・論点) 新型インフルエンザと慢性透析治療. 臨牀透析 25(6)：86-87, 2009.
- 秋葉隆：序文 臨牀透析 25(7) 6月増刊号 一目で診断できる透析患者の皮膚症状. 日本メディカルセンター, 2009.
- 木全直樹, 秋葉隆：特集 貧血を診る 腎性貧血. 総合臨牀 58(8)：1764-1768, 2009.
- 秋葉隆：特集 透析患者におけるウイルス肝炎への新しい対応 II 透析患者のウイルス肝炎—歴史とその撲滅の意義—. 臨牀透析 25(9)：1253-1258, 2009.
- 大坪茂, 新田孝作, 秋葉隆：特集 透析患者におけるウイルス肝炎への新しい対応 V 透析患者のウイルス肝炎の起源 (1)原疾患との関連, 持ち込み. 臨牀透析 25(9)：1283-1289, 2009.
- 田中純子, 田中好子, 秋葉隆：特集 透析患者におけるウイルス肝炎への新しい対応 VII 透析患者のウイルス肝炎治療 (3) B型肝炎肝炎治療とラミブジン. 臨牀透析 25(9)：1321-1326, 2009.

- 徳本直彦, 秋葉隆, 田邊一成: 特集 透析患者におけるウイルス肝炎への新しい対応 Ⅷ透析患者のウイルス肝炎の他臓器への影響 (2)肝炎ウイルス感染と腎移植. 臨牀透析 25(9): 1333-1340, 2009.
- 秋葉隆: 特集 CRAS一心・腎・貧血の悪循環 (各論) 慢性腎臓病の保存期・透析期とCRAS. 内科 104(1): 25-28, 2009.
- 川嶋朗, 班目健夫, 秋葉隆, 新田孝作: 腎疾患 (特集 漢方診療のイロハ—これから漢方導入を考えている一般医のための基本と実践—). 治療 91(6): 1743-1747, 2009.
- 金野好恵, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: DFサーモ (加温式リサーキュレーション法). 日アフレスニス会誌 28(3): 211-217, 2009.
- 田中好子, 上田美緒, 鈴木啓子, 田中純子, 小島史子, 芳田さつき, 秋葉隆: ビタミンD静注のみとシナカルセト投与による2HPTの治療効果に骨マーカーの差はあるか. Nephrology Frontier 2009. 10増刊号: 20-24.
- 秋葉隆: 特集 血液浄化法 アフェレシス療法の現状と今後の可能性—種類と適応疾患について—. 日腎会誌 51(7): 875-877, 2009.
- 秋葉隆: 各論 1. 様々な環境下での施設内感染制御 4) 透析施設における感染制御. 臨床検査 53(11): 1313-1317, 2009.
- 秋葉隆: 特別企画 透析施設における新型インフルエンザ対策 1. 透析施設に求められる対策と対応. 透析ケア 15(12): 84-87, 2009.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 分光光度計を用いた透析液廃液中の溶質濃度連続モニタリングシステムによる新たな透析効率を示す指標の提案. 腎と透析 67(別冊): 138-142, 2009.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液の変更がリン除去動態に与える影響の検討. 腎と透析 67(別冊): 211-215, 2009.
- 秋葉隆: ステロイドの使い方 9 ネフローゼ症候群に対するステロイドの使い方. 日医師会誌 138(9): 1804-1805, 2009.
- 秋葉隆: 速報 TREAT 試験の結果とその反響—腎性貧血へのESA投与方針はどのように変貌を遂げるのか? 臨牀透析 25(13): 100-101, 2009.
- 秋葉隆: 特集 【CKD-MBDの概念を透析診療にどう取り入れるか?】 CKD-MBDガイドライン後の新薬 —何を期待できるのか, どのように診療に取り入れられるのか?—. 臨牀透析 26(1): 53-57, 2010.
- 秋葉隆: 日本の果たすべき役割と人工臓器 特集「シミュレータを用いた医療機器・治療法の安全性と有効性評価の現状と展望」. 人工臓器 39(3): 139, 2010.
- 秋葉隆: TREAT 試験の解釈とその影響—腎性貧血治療の今後—. 臨牀透析 26(8): 1145-1150, 2010.
- 秋葉隆: 特集 急性血液浄化療法 アフェレシス療法. 臨牀透析 26(9): 1333-1342, 2010.
- 秋葉隆: 特集 膠原病と腎障害 TREAT試験の紹介と解説. Nephrology Frontier 9(3): 299-302, 2010.
- 秋葉隆: 【透析医療におけるガイドラインエッセンス】施設管理 透析医療に関連した院内感染防止. 腎と透析 68(4): 545-550, 2010.
- 秋葉隆: 新型インフルエンザ. 感染症 19(別刷): 23-31, 2010.
- 富澤康子, 酒井基広, 石森勇, 南茂, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: 高校生のための人工臓器教育セミナー 今, 人工の臓器は何ができるか. 人工の臓器を学ぼう (解説). 人工臓器 39(3): 145-149, 2010.
- 秋葉隆, 杉崎弘章, 隈博政, 篠田俊雄, 萩原千鶴子, 大濱和也, 松金隆夫, 安藤稔, 安藤亮一, 日ノ下文彦, 照屋勝治, 水上由美子: HIV感染患者透析医療ガイドライン 日本透析医会・日本透析医学会HIV感染患者透析医療ガイドライン策定グループ. 日透析医学会誌 43(12): 1-24, 2010.
- 秋葉隆, 栗山哲, 塚本雄介, 衣笠えり子: 【CKDとESA 再評価の時代】CKDとESA 腎性貧血治療の現状と課題 TREAT試験に焦点をあてて. Nephrology Frontier 9(4): 346-355, 2010.
- 秋葉隆: 解説/特集 【長期透析症候群 新しい治療戦略】ウイルス感染症. 腎と透析 69(5): 614-620, 2010.
- 秋葉隆: 【糖尿病性細小血管症(第2版)発症・進展制御の最前線】糖尿病性腎症 治療 新しい治療薬 ESA(赤血球造血刺激製剤). 日本臨牀 68(増刊9) 糖尿病性細小血管症: 472-475, 2010.
- 秋葉隆: 【CKD Up-To-Date】CKD患者における貧血と管理 解説/特集. Angiology Frontier 9(4): 363-371,

2010.

- 秋葉隆：【透析医療のブレークスルーを探り、将来を展望する】腎性貧血対策の変遷と将来. 臨牀透析 26(Suppl): 78-88, 2010.
- 秋葉隆, 菊地勘：透析医療におけるCurrent Topics 2010 透析患者のC型ウイルス肝炎治療. 日透析医会誌 25(2): 198-203, 2010.
- 秋葉隆：TREAT試験の解釈とその影響 腎性貧血治療の今後. 臨牀透析 26(8): 1145-1150, 2010.
- 秋葉隆：【透析医療におけるガイドラインエッセンス】施設管理 透析医療に関連した院内感染防. 腎と透析 68(4): 545-550, 2010.
- 秋葉隆：透析室の安全対策 感染制御. 大阪透析研会誌 (0912-6937) 28(1): 1-5, 2010.
- 秋葉隆：解説/特集【感染症】新型インフルエンザ 透析患者の合併症とその対策 19: 23-31, 2010.
- 秋葉隆：特集 膠原病と腎障害 TREAT試験の紹介と解説. Nephrology Frontier 9(3): 89-92, 2010.
- 秋葉隆：特集 1 長期透析症候群：新しい治療戦略. 腎と透析 69(5): 614-620, 2011.
- 秋葉隆：特集 透析合併症③ 腎性貧血. Clinical Engineering 22(5): 456-461, 2011.
- 平方秀樹, 新田孝作, 友雅司, 秋葉隆, 伊莉裕二, 井関邦敏, 稲葉雅章, 井上亨, 尾崎重之, 熊田佳孝, 小林修三, 常喜信彦, 庄司哲雄, 椿原美治, 鶴屋和彦, 田部井薫, 西村真人, 長谷弘記, 平田純生, 藤井秀毅, 藤元昭一, 横井宏佳, 島本和明, 久木山清貴:血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン(解説) 日本透析医学会「血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン」作成ワーキンググループ社団法人日本透析医学会. 日透析医会誌 44(5): 337-425, 2011.
- 秋葉隆：透析施設における新型インフルエンザ対策. 278-279, 2011.
- 秋葉隆：特集 透析患者, 移植患者の感染症へのアプローチ 【血液透析】院内感染症. 腎と透析 70(6): 883-886, 2011.
- 秋葉隆：ウイルス肝炎の話題. 日透析医会誌 26(3): 377-381, 2011.
- 秋葉隆：腎不全を生きる 福島第一原発メルトダウンと透析医療. Dialysis and Transplant 44: 3-4, 2011.
- 秋葉隆：腎不全を生きる 季節性インフルエンザ対策. Dialysis and Transplant 44: 47-51, 2011.
- 秋葉隆：速報 米国のESA製剤を取り巻く嵐—米国Amgen社によるESAの添付文書改定など. 臨牀透析 27(9): 1252-1256, 2011.
- 鈴木万恭子, 横手卓也, 瀧澤亜由美, 若山功治, 鈴木幹夫, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆：透析室移転後の透析液清浄化への取り組み. 日血浄化技会誌 19(2): 82-85, 2011.
- 鈴木美貴, 杉浦秀和, 秋山健一, 唐澤一徳, 武井卓, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作：症例報告 多発性骨髄腫に対するサリドマイド治療中に肺塞栓症を発症した血液透析症例. 日透析医会誌 44(9): 951-956, 2011.
- 秋葉隆：特集 血液透析と骨・関節障害の最新知見 透析に伴う骨代謝障害 関節外科. 基礎と臨床 30(10): 1173-1180, 2011.
- 秋葉隆：特集 東日本大震災と透析医療 Editorial. 臨牀透析 28(3): 7-8, 2012.
- 秋葉隆, 飯野靖彦：特集 東日本大震災と透析医療 IV 今回の災害の教訓と将来への布石 (2)大都市直下型地震への備え 臨牀透析 28(3): 127-134, 2012.
- 木全直樹, 秋葉隆：腎臓症候群(第2版)下—その他の腎臓疾患を含めて—X 腎不全 灼熱脚症候群. 別冊日本臨牀新領域別症候群シリーズ, No.18: 33-35, 2012.
- 秋葉隆：特集 新たに検討すべき透析患者の薬剤使用法《透析合併症に対する新治療薬》①長時間作用型ESA. Modern Physician 4 32(4): 429-434, 2012.
- 秋葉隆：透析導入の最大の要因は糖尿病性腎症 ストップ! 糖尿病・腎臓病. 別冊がんサポート 10(7): 15, 2012.
- 秋葉隆：特集 慢性疾患と感染症 2. 慢性腎不全と感染症. 化学療法の領域 28(7): 36-41, 2012.
- 秋葉隆：特集 CKD・透析関連領域におけるガイドラインを日常診療にどう生かすか 各論 6 循環器合併症ガイドライン 9. 透析患者での循環器薬の使用方法は? 臨牀透析 28(7): 1008-1012, 2012.
- 秋葉隆：速報 透析液アルカリ化剤処方への安全情報の示すもの. 臨牀透析 28(8): 1151-1153, 2012.
- 林松彦, 高松一郎, 吉田理, 菅野義彦, 佐藤裕史, 阿部貴之, 橋口明典, 細谷龍男, 秋葉隆, 中元秀友, 梅澤明



- 弘, 重松隆, 深川雅史, 川村哲也, 田中勝, 杉野吉則: 全国調査に基づくカルシフィラキシス診断基準の提案. 日透析医学会誌 45(7): 551-557, 2012.
- 越智文美, 大坪茂, 武井卓, 内田啓子, 湯村和子, 河村俊治, 秋葉隆, 新田孝作: 症例呈示 肉芽腫病変を認めた抗糸球体基底膜抗体腎炎の1例. 腎と透析 73(4): 別刷, 2012.
- 秋葉隆, 阿部貴弥, 片山浩, 池田寿昭: 特集 AKI(急性腎障害)に関する話題 Round Table Discussion. Nephrology Frontier 別冊 11(4): 320-327, 2012.
- 秋葉隆: 特集 非災害地区の医療機関としての対応—東日本大震災東電原子力発電所メルトダウンと透析医療の確保—. 腎臓 35(3): 205-210, 2013.
- 菊地勘, 秋葉隆: 特集 透析患者の合併症~透析スタッフは何を考えるべきか~ 4 透析患者の感染症: 死亡原因としての感染症とその対策. 透析スタッフ2013創刊号 1(1): 37-45, 2013.
- 岡野一祥, 土谷健, 秋葉隆: 東京女子医大病院における血液浄化療法のアクシデント 分析およびリスク・マネジメントの試み. 日本急性血液浄化雑誌 4(1): 3-8, 2013.
- 秋葉隆: 「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル(三訂版)」はこう活用する. 感染対策ICTジャーナル ヴァン メディカル 8(3) 2013 Summer: 258-262, 2013.
- 秋葉隆: 特集 わが国におけるAKI診療の現状と課題 VI AKIに対する急性血液浄化療法の導入・中止基準. 臨牀透析 29(11): 1587-1591, 2013.
- 秋葉隆, 日ノ下文彦, 今村顕史: HIV感染者における透析医療の推進に関する研究—拠点病院でのアンケート調査—. 日透析医学会誌 46(9): 931-936, 2013.
- 川島眞, 秋葉隆, 新田孝作: 特集 透析患者にみられる皮膚症状—特にドライスキンについて—. 腎と透析 75(2): 275-281, 2013.
- 秋葉隆: 透析療法の現状. 日内会誌 102(9): 2473-2480, 2013.
- 秋葉隆: 「EVOLVE試験に関する評価コメント」. Nephrology Frontier 12(38): 84, 2013.
- 阿部貴之, 宮尾眞輝, 清水幹夫, 加藤紀子, 鈴木雄太, 鈴木万恭子, 若山功治, 瀧澤亜由美, 村上淳, 峰島三千男, 廣谷紗千子, 木全直樹, 秋葉隆: 当院でのバスキュラーアクセス管理における超音波診断装置の位置づけ. 腎と透析 74(別冊): 71-73, 2013.
- 宮尾眞輝, 村上淳, 清水幹夫, 加藤紀子, 鈴木雄太, 鈴木万恭子, 阿部貴之, 若山功治, 瀧澤亜由美, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: モニタリング技術でつなぐアクセス管理 VA管理における超音波診断装置の有効活用. 腎と透析 74(別冊): 30-33, 2013.
- 海上耕平, 秋葉隆: 【知っておきたい鉄代謝と関連疾患】鉄代謝と疾患のかかわりを理解する 慢性腎臓病・透析. Medical Technology 41(9): 953-958, 2013.
- 山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古藺勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男: わが国のend stage kidney disease (ESKD)の現況. 移植 48(4-5): 225-235, 2013.
- 秋葉隆: 透析療法の現況. 日内会誌 102(9): 2473-2480, 2013.
- 秋葉隆: 特集 透析スタッフの教育と診療レベルの向上 透析医を志す医師の研修. 臨牀透析 29(12): 1715-1722, 2013.
- 鶴屋和彦, 椿原美治, 鈴木一之, 酒井謙, 川西秀樹, 稲熊大城, 平方秀樹, 山本裕康, 武本佳昭, 森典子, 岡田一義, 幡谷浩史, 秋葉隆, 井関邦敏: 維持血液透析ガイドライン: 血液透析導入. 日透析医学会誌別刷 46(12): 1107-1155, 2013.
- 秋葉隆, 濱田千江子, 鶴田良成, 横山啓太郎: 動脈硬化促進因子としてのリン. Nephrology Frontier別刷 12(4): 2013.
- 生方政光, 陣内彦博, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆, 峰島三千男: 血漿交換を含めた加療により救命できた劇症型抗リン脂質抗体症候群の1例. 日アフエレシス会誌 33(1): 53-56, 2014.
- 秋葉隆: 透析室における感染対策. 診断と治療 別刷 102(6): 96-99, 2014.

○秋葉隆：透析患者にとっての感染症のリスクの重さ．別刷 30(7)：733-738, 2014.

## 著 書

### 【欧文】

- Suda T, Horiuchi N, Akiba T, Sunaga S, Takahashi N: Localization and control mechanism for 25-hydroxyvitamin D<sub>3</sub> 1 $\alpha$ -hydroxylase activity in the mammalian kidney. Hormonal control of calcium metabolism. Cohn DV, Talmage RV, and Matthews JL eds., Amsterdam-Oxford-Princeton, Excerpta Medica pp. 212-221, 1981.
- Yoshiyama N, Aoki H, Chida Y, Akiba T, Tomita K, Iino Y, Yoshizawa K, Shin Y, and Akao M: Animal experiment and clinical application for CAPD using hydroxyapatite percutaneous access device. Bioceramics : Proceedings of 1st International Bioceramic Symposium. ed. by Oonishi H, Aoki H, and Sawai K. pp.143-148, Ishiyaku-EuroAmerica, Inc. Tokyo, 1989.
- Akiba T: Clinical characterization of cellulose-triacetate dialyzer. In : Cellulose triacetate: Evolution of a dialysis membrane, ed. by Greca GL and Ronco C. pp. 31-33, Wichig Editore, 1994.

### 【和文】

- 秋葉隆 : Hemofiltration. 岸三郎編, 体外循環と生体計測. pp.149-171, 日本体外技術交流会, 1979.
- 秋葉隆 : 濾過型人工腎の原理 - 濾過膜, 及び濾過型人工腎の臨床. 太田和夫, 中川成之輔共編, 新しい血液浄化法. pp. 35-65, pp. 88-104, 南江堂, 東京, 1981.
- 村山正博, 川原貴, 大城雅也, 野田晴彦, 秋葉隆, 他 : 高齢者の早朝ジョギングおよびマラソン大会における循環動態について. 昭和58年度日本体育協会スポーツ科学研究報告 運動による事故防止に関する研究 第3報 財団法人日本体育協会スポーツ科学委員会.
- 秋葉隆 : 血液濾過法. 透析技術交流会編, 第3回透析応用セミナーテキスト, pp.23-31, 神奈川, 1982.
- 秋葉隆, 佐々木成, 岩本均, 末永松彦, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎 : 長期透析患者にみられた大腿骨頭無腐性壊死の1例. 透析 (XVII), pp.174-177, 透析研究会編, 1983.
- 篠田俊雄, 秋葉隆 : CAPD. 越川昭三, 三村信英, 中川成之輔編, 症例による透析療法の実際. pp. 331-333, 中外医学社, 東京, 1983.
- 村山正博, 川原貴, 大城雅也, 秋葉隆, 他 (計21名) : 高年者の早朝ジョギングおよびマラソン大会における循環動態について 昭和58年度日本体育協会スポーツ科学研究報告 No. III 運動による事故防止に関する研究 第3報. pp. 23-29, 財団法人日本体育協会スポーツ科学委員会編, 東京, 1984.
- 秋葉隆 : CAPDのトレーニングシステム及び腹膜炎の予防と治療. 太田和夫, 中川成之輔編, CAPDの臨床. pp. 109-124, pp. 149-164, 南江堂, 東京, 1984.
- 武内重五郎, 日ノ下文彦, 中村義弘, 秋葉隆, 栗山鍊二郎, 富田公夫, 飯野靖彦, 松田治, 齋藤博, 井田隆, 戸村成夫, 椎貝達夫 : 進行性腎障害に関する研究. 厚生省特定疾患 進行性腎障害調査研究班, 昭和58年度 研究業績, 1984.
- 秋葉隆, 丸茂文昭 : 血中ビタミンD代謝産物. 医科学大事典 補遺巻6 診断検査法の進歩 1989, pp. 158-160, 講談社, 東京, 1988.
- 秋葉隆, 丸茂文昭 : 骨・カルシウム代謝. Current Review 透析療法・腎移植, 越川昭三, 太田和夫編, pp. 34-48, 中外医学社, 東京, 1989.
- ハイパフォーマンス研究会 ワーキンググループ. 膜の性能評価. 腎と透析 27(別冊) : 167-175, 1989.
- 秋葉隆 : 腎尿路系の疾患. 内科学アトラス. 上田英雄, 武内重五郎編, 秋葉隆編集協力及び著者. pp. 359-373, 医歯薬出版, 東京, 1989.
- 秋葉隆, 芝本隆 : Leaky dialyzerと透析用の水. 血液透析スタッフのためのハイパフォーマンス・メンブレン ハイパフォーマンス・メンブレン研究会編, pp. 187-193, 東京医学社, 東京, 1990.

- 芝本隆, 秋葉隆: デキストランを用いたハイパフォーマンスダイアライザーの臨床評価. 血液透析スタッフのためのハイパフォーマンス・メンブレン, pp.97-102, 東京医学社, 東京, 1990.
- 秋葉隆: V. 腎と高血圧 エリスロポイエチンと高血圧. Annual Review 腎臓 1991. 越川昭三, 長沢俊彦, 小磯謙吉, 伊藤拓編, pp.123-126, 中外医学社, 東京, 1991.
- 秋葉隆: エリスロポエチンと血圧 Current Review 腎臓透析療法 2. 越川昭三, 太田和夫編, pp.72-76, 中外医学社, 東京, 1992.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: 腎性骨異常栄養症 新・糖尿病性腎症—発症予防と進展阻止のために. 繁田幸夫, 海津嘉蔵編, pp.201-205, 医学書院, 東京, 1992.
- 秋葉隆: 8. エリスロポエチンと血圧. Current Review 透析療法. 越川昭三編, pp.271-276, 中外医学社, 東京, 1992.
- 丸茂文昭, 秋葉隆: 糸球体疾患 慢性腎不全. 高久史磨監修, 図説病態内科学9 腎・泌尿器, メジカルビュー社, 東京, 1993.
- 秋葉隆: 1992年度米国腎臓学会総会トピックス. ライフサイエンス社, 東京, 1993.
- 田村禎一, 秋葉隆: 透析患者と薬物代謝 透析マニュアル. 阿岸鉄三編, pp.269-278, 金原出版, 東京, 1993.
- 秋葉隆, 田村禎一: 透析患者と薬物代謝. 透析 XX, 日本透析療法学会編, pp.177-184, 1993.
- 秋葉隆: 今日の治療指針 第12章 腎疾患 腎性貧血. 日野原重明, 阿部正和監修, pp.431-432, 医学書院, 東京, 1993.
- 秋葉隆, 田村禎一: III 透析医療とその周辺医療 4. 透析患者と薬物代謝. 透析 XX, 日本透析療法学会編, pp.177-184, 1993.
- 秋葉隆: 今日の治療指針 15. 代謝疾患 高K・低K血症. 日野原重明, 阿部正和監修, p.511, 医学書院, 東京, 1994.
- 竹内正至, 栗原怜, 秋葉隆: II-2 腎疾患診療におけるDEXAの有用性. Annual Review 腎臓 1994, 越川昭三, 長沢俊彦, 小磯謙吉, 伊藤拓編, pp.44-50, 中外医学社, 東京, 1994.
- 秋葉隆: 第11章 腹膜炎以外の合併症 II. CAPDにおける腹膜機能の喪失. 太田和夫, 川口良人, 中川成之輔編, CAPDの臨床 改訂第2版, pp.149-153, 南江堂, 東京, 1994.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: 維持透析患者の病態統計 透析療法の合併症対策指針. 阿岸鉄三編, pp.7-16, 金原出版, 東京, 1994.
- 秋葉隆: 血液透析液. 血液浄化におけるコントラバシー. 阿岸鉄三編, pp.37-42, 金原出版, 東京, 1994.
- 秋葉隆: 5. 透析液「透析入門」. 阿岸鉄三編, Clinical Engineering, 1994.
- 佐藤千文, 秋葉隆, 丸茂文昭: 3. 肝炎 b. HCV. 越川昭三編, 透析療法における合併症, pp.128-131, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1994.
- 秋葉隆: 合併症に応じた透析技術の選択—透析液の選択. 越川昭三編, 透析療法における合併症, pp.681-685, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1994.
- 秋葉隆: 骨疾患 腎性骨異常栄養症治療. 最新内科学大系, 73: 245-249, 1995.
- 酒井義法, 佐藤千史, 秋葉隆: 肝胆臓. 太田和夫監修, 二瓶宏, 佐中孜編集, 至適透析をめざして, pp.170-177, 中外医学社, 東京, 1995.
- 秋葉隆: エリスロポイエチンの新効能. 堀岡正義監修, 今日の医薬情報 第XII集, pp.87-91, 薬事新報社, 東京, 1995.
- 秋葉隆: XI. 腎不全 2. 慢性腎不全 (8)透析患者におけるウイルス性肝炎. 酒井紀編, 腎臓病学の診断アプローチ (第38回日本腎臓学会学術総会記念), pp.175-176, 日本腎臓学会, 東京, 1995.
- 秋葉隆, 松井則明, 大和田章, 栗原怜, 星野正信, 小笠原陽, 中村義弘, 千田佳子, 篠田俊雄, 山田敏生, 西尾康英: 副甲状腺機能低下症に関する実態調査と対策 副甲状腺機能低下症と骨マーカー, 特に骨塩量の検討. 平成6年度腎不全医療研究事業研究報告書 (1995年3月), pp.62-66, 1995.
- 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するパルス療法の限界と手術適応. 長沢俊彦, 河邊香月, 伊藤克己, 浅野泰, 遠藤仁編, Annual Review 腎臓, pp.177-180, 中外医学社, 東京, 1996.
- 寺元民生, 秋葉隆, 大内尉義, 押味和夫, 清水輝夫, 中川武正, 寛和敏博, 林茂樹編著: チャートによる内科診断

- 学, 中外医学社, 東京, 1996.
- 秋葉隆: 長期透析の合併症. 今日の治療指針, pp. 464-465, 医学書院, 東京, 1997.
- 秋葉隆: 日本のCAPDの生い立ち 日本の透析・臓器移植 とともに歩んだ仲間たち. pp. 30-31, 太田和夫教授退任記念出版刊行会編, 1997.
- 佐中孜, 秋葉隆編: 透析療法 専門医に聞く最新の治療. 中外医学社, 東京, 1997.
- 秋葉隆編: 腹膜透析'97, 東京医学社, 東京, 1997.
- 秋葉隆: 末期腎不全患者の循環器合併症 (腎疾患 state of arts Ver. 2). 医学のあゆみ, pp. 383-385, 1997.
- 秋葉隆: 「Ca, Mg, Pの出納とその調節」. 丸茂文昭監修, 秋葉隆編集, Ca, Mg, Pの臨床, 診断と治療社, 東京, 1998.
- 丸茂文昭編集, 廣江道昭, 秋葉隆編集協力: 透析患者の循環器合併症. 中外医学社, 東京, 1999.
- 佐藤千史, 丸茂文昭, 秋葉隆編: 透析患者のウイルス性肝炎—その対策と意義. 中外医学社, 東京, 1999.
- 秋葉隆: 腎不全患者への投薬. 奈良信雄編, わかる薬の使い方 チャートで学ぶ病態メカニズムと治療, pp. 53-54, 羊土社, 東京, 2000.
- 秋葉隆: 急性腎不全. 奈良信雄編, わかる薬の使い方 チャートで学ぶ病態メカニズムと治療, pp. 176-178, 羊土社, 東京, 2000.
- 秋葉隆: 低・高カルシウム血症. 今日の治療指針—2001年版, 医学書院, 東京, 2001.
- 寺本民男, 秋葉隆編著: 診察の技法と考え方. 中外医学社, 東京, 2001.
- 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト I. 人工腎臓としての透析療法—到達点と未来, 医学図書出版, 東京, 2001.
- 秋葉隆, 吉澤浩司, 佐藤千史, 山崎親雄, 秋澤忠男: 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル. 厚生省厚生科学特別研究事業「透析医療における感染症の実態把握と予防対策に関する研究班」. 平成11年度報告書, 2001.
- 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト II. 透析骨症は防げる, 医学図書出版, 東京, 2002.
- 秋葉隆: 日本透析医学会認定医認定委員会編, 血液浄化医療の調査統計, pp. 297-299, 2002.
- 御手洗哲也, 秋葉隆編集: 腎臓病専門医にきく最新の臨床. 中外医学社, 東京, 2002.
- 平澤由平, 内藤秀宗, 栗原怜, 山崎親雄, 秋葉隆, 秋澤忠男, 中井滋: 透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアル. 厚生省厚生科学特別研究事業「透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定に関する研究班」. 平成12年度報告書, 2002.
- 秋葉隆: 慢性腎不全の長期予後 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 11 慢性腎不全. pp. 191-199, 最新医学社, 大阪, 2003.
- 富野康日己, 秋葉隆編集: EBM 腎臓病の治療 2003-2004. 中外医学社, 東京, 2003.
- 寺岡慧, 岩藤和広, 東間紘, 秋葉隆, 伊藤克己, 二瓶宏, 富野康日己, 秋葉隆編集: 腎移植の生命予後は, 血液透析・腹膜透析とで違いますか? pp. 522-529, EBM 腎臓病の治療 2003-2004, 中外医学社, 東京, 2003.
- 日本透析医学会統計調査委員会, 秋葉隆: 図説 わが国の慢性透析療法の現況 2002年 12月 31日現在. (社)日本透析医学会統計調査委員会, 2003.
- 奈良信雄編著, 共同執筆: 高加国夫, 大柴晃洋, 秋葉隆, 三戸部倫広, 東田修二, 中村良子, 久保田俊郎, 谷川宗, 水口國雄, 山田正人, 遠田栄一, 東條尚子, 渋谷均, 長野展久, 三高千恵子: 根拠がわかる臨床検査. 南江堂, 東京, 2004.
- 秋葉隆監修, 川崎忠行・芝本隆編: 臨床工学ポケットハンドブック. 医薬ジャーナル社, 大阪, 2004.
- 秋葉隆, 峰島三千男編集: 秋葉隆, 末永多恵子: I. 血液浄化とは, 1-9芳田工, 秋葉隆: V. 抗凝固薬の種類と選択. pp. 56-61, Clinical Engineering CE技術シリーズ 血液浄化療法, 南江堂, 東京, 2004.
- 日本透析医学会統計調査委員会, 秋葉隆: 図説 わが国の慢性透析療法の現況 2003年 12月 31日現在. (社)日本透析医学会統計調査委員会, 2004.
- 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト III. 在宅血液透析の展望, 医学図書出版, 東京, 2004.
- 秋葉隆, 吉澤浩司, 佐藤千史, 山崎親雄, 秋澤忠男: 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関する

- マニュアル (改訂版). 厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業 分担研究「透析に関する院内感染対策」, 2004.
- 秋葉隆: Ⅲ-4. 循環器疾患 Ⅲ-4-d. 高脂血症, 日本アフェレシス学会編, 新版アフェレシスマニュアル—難治疾患の治療革命—. 秀潤社, 東京, 2004.
  - 秋葉隆, 吉澤浩司, 佐藤千史, 山崎親雄, 秋澤忠男: 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル (改訂版第2刷). 厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業 分担研究「透析に関する院内感染対策」, 2004.
  - 事例出題・解説執筆: 川口良人, 大平整爾, 鈴木正司, 秋葉隆, 原田孝司, 前田貞亮, 樋口千恵子, 川口良人, 大平整爾編, 事例に学ぶ透析看護応用編事例99, 日本メディカルセンター, 東京, 2005.
  - 菊地勘, 秋葉隆: Part 1 透析療法実施上のポイント 7. 透析療法時の緊急時の対応とトラブル防止対策 ②院内感染発生時の対応と防止策, 秋澤忠男編, 透析療法と合併症対策ハンドブック, pp.96-106, 先端医学社, 東京, 2005.
  - 川合由恵, 木全直樹, 秋葉隆: 11. 腎臓・泌尿生殖器疾患 7. 透析患者の管理とその合併症, 編集主幹: 矢崎義雄, 乾兼一, 薬剤師・薬学生のための臨床医学, pp.898-903, 文光堂, 東京, 2005.
  - 秋葉隆: 腎臓領域. 奈良信雄編集, 基本医学略語辞典, 中外医学社, 東京, 2005.
  - 秋葉隆: 透析医療における感染症とは. 秋葉隆編, 透析医療における感染症予防・治療マニュアル, pp.15-19, 日本メディカルセンター, 東京, 2005.
  - 菊地勘, 秋葉隆: 2. 基本的感染防止対策. 秋葉隆編, 透析医療における感染症予防・治療マニュアル, pp.28-32, 日本メディカルセンター, 東京, 2005.
  - 秋澤忠男, 秋葉隆, 川西秀樹, 斎藤明, 佐中孜: 人工腎臓の実際 改訂第5版, 太田和夫編著, 南江堂, 東京, 2005.
  - 秋葉隆: 1. 血液浄化センターの設計. 太田和夫監修, 佐中孜, 秋葉隆編集, 血液浄化療法スタッフマニュアル 第2版, pp.1-9, 医学書院, 東京, 2005.
  - 秋葉隆: 2. 血液浄化チームの設計. 太田和夫監修, 佐中孜, 秋葉隆編集, 血液浄化療法スタッフマニュアル 第2版, pp.10-17, 医学書院, 東京, 2005.
  - 秋葉隆: 31. 透析施設における危機管理. 太田和夫監修, 佐中孜, 秋葉隆編集, 血液浄化療法スタッフマニュアル第2版, pp.371-381, 医学書院, 東京, 2005.
  - 三和奈穂子, 秋葉隆: 2 臨床的課題— (2)EPO抵抗性貧血. 平澤由平, 平嶋邦猛監修, 秋澤忠男, 下条文武, 斎藤明, 鈴木正司編集, エリスロポエチンのすべて, pp.161-172, メディカルレビュー社, 大阪, 2005.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクストⅣ. 透析技術の進歩は透析患者の予後を改善できるか?, 医学図書出版, 東京, 2005.
  - 木全直樹, 秋葉隆: 6. 肝炎ウイルスキャリア患者に用いた針の針刺し事故を起こした. どうしよう? 秋澤忠男編集, 透析療法 これは困ったぞ, どうしよう!, pp.263-265, 中外医学社, 東京, 2006.
  - 木全直樹, 秋葉隆: 7. 肝炎ウイルスの院内感染が疑われる. どうしよう? 秋澤忠男編集, 透析療法 これは困ったぞ, どうしよう!, pp.266-269, 中外医学社, 東京, 2006.
  - 秋葉隆編: 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC. 38/腎4 透析合併症, pp.9-13, 最新医学社, 大阪, 2006.
  - 発田陽子, 麦谷望, 秋葉隆: Q11 血液透析の原理は?. 湯村和子監修, 新田孝作, 湯村和子, 土谷健編集, 腎不全・透析患者指導ガイド, pp.46-49, 日本医事新報社, 東京, 2006.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編: 透析療法ネクストⅤ. 透析患者のQOL向上をめざして, 医学図書出版, 東京, 2006.
  - 飯田喜俊, 秋葉隆編: 透析療法パーフェクトガイド. 医歯薬出版, 東京, 2007.
  - 秋葉隆: 血液浄化療法. 日野原重明, 井村裕夫監修, 岩井郁子, 北村聖監修協力, 佐々木成編集, 看護のための最新医学講座 第6巻. 腎疾患と高血圧, pp.398-403, 中山書店, 東京, 2007.
  - 秋葉隆編集協力: 今日の診断基準. 大田健, 奈良信雄編集, 南江堂, 東京, 2007.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクストⅥ. 慢性透析療法とガイドライン, 医学図書出版, 東京, 2007.
  - 秋葉隆: 17. これから導入される新薬の展望 2) 新しいビタミンD誘導体. 深川雅史編, ガイドラインサポートハンドブック 慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常 (CKD-MBD), pp.282-286, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2007.

- 秋葉隆：第1章，糖尿病透析患者の現況—わが国の透析患者の実態調査から見えるもの，渡邊有三，羽田勝計，馬場園哲也編，新しい糖尿病学と透析医療，pp.167-172，日本メディカルセンター，東京，2007。
- 菊地勘，秋葉隆：11. 肝炎ウイルス：有病率，新規感染率，スクリーニング，予後，対策，治療。越川昭三監修，秋澤忠男編著，症例に学ぶ透析療法，pp.179-185，中外医学社，東京，2007。
- 秋葉隆：3. J-DOPPS，DOPPSとその活用。深川雅史，秋澤忠男編，EBM 透析療法 2008-2009，pp.12-17，中外医学社，東京，2007。
- 秋葉隆：2. 日本の透析患者の統計。腎不全予防医学調査研究委員会編，腎不全治療マニュアル，pp.9-15，(社)日本透析医会，2007。
- 秋葉隆，峰島三千男編：Clinical Engineering CE技術シリーズ 血液浄化療法，第4刷，南江堂，東京，2007。
- 秋葉隆：11. 腎・尿路系の疾患 1. 総論 (4)腎性貧血 (5)腎性骨ジストロフィ。杉本恒明，矢崎義雄編集，内科学第九版，pp.1157-1159，朝倉書店，東京，2007。
- 菊地勘，秋葉隆：VI. 維持透析患者の病態 F. 感染症 1. 血液による感染を予防するためにはどのような方策が必要か。EBM透析療法，pp.394-401，中外医学社，東京，2007。
- 秋葉隆：9. 腎疾患 腎性骨異常症 (透析骨症)，山口徹，北原光夫，福井次矢総編集，今日の治療指針 2008年版 (Volume 50)，pp.471-472，医学書院，東京，2008。
- 秋葉隆，秋澤忠男，安藤亮一，加藤明彦，川西秀樹，北岡建樹，鈴木正司，富永芳博，峰島三千男：日本透析医学会学術委員会 透析医学用語集作成小委員会編「日本透析医学会透析医学用語集」。社団法人日本透析医学会，2008。
- 秋葉隆，吉澤浩司，佐藤千史，山崎親雄，秋澤忠男：透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル (三訂版)。厚生省厚生科学特別研究事業「透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予後・予防に関する研究班」。平成19年度報告書，2008。
- 浅宮有香理，秋葉隆：43. 人工透析用薬。高久史磨監修，堀正二，菅野健太郎，門脇孝，乾賢一，林昌洋編集，治療薬ハンドブック2008 薬剤選択と処方のポイント，pp.709-712，じほう，東京，2008。
- 秋葉隆：腎性貧血を再考する。世界の腎性貧血治療ガイドラインと目標ヘモグロビン濃度をめぐる課題。秋葉隆，秋澤忠男編，透析療法ネクストⅦ，pp.45-52，医学図書出版，2008。
- 菊地勘，秋葉隆：XV 透析患者の感染症 3. HCV感染症。西沢良記編，最新透析医学，pp.462-469，医薬ジャーナル社，大阪，2008。
- 秋葉隆：1. 透析治療の原理と現況。西沢良記監修，秋葉隆編著，透析診療プラクティス，pp.2-10，文光堂，東京，2008。
- 秋葉隆：「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル (三訂版)」の発行を巡って。丸石感染対策NEWS 6: 2-5, 2008。
- 秋葉隆：透析施設の院内感染予防マニュアルの改訂ポイントと活用方法，and You pp.2-5, 2008。
- 秋葉隆：第8章。腎・尿路疾患，水・電解質異常 4. 血液浄化療法。高久史磨，尾形悦郎，黒川清，矢崎義雄監修，新臨床内科学第9版，pp.995-997，医学書院，東京，2009。
- 浅宮有香理，秋葉隆：腎臓・泌尿器系 44. 人工透析用薬，高久史磨監修，堀正二，菅野健太郎，門脇孝，乾賢一，林昌洋編集，治療薬ハンドブック2009 薬剤選択と処方のポイント，pp.720-731，じほう，東京，2009。
- 佐々木成，吉川徳茂，秋葉隆，他 (エビデンスに基づく診療ガイドライン2009作成委員会 計78名)：エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2009。日本腎臓学会編，東京医学社，東京，2009。
- 鈴木正司編集，臨床透析編集委員会企画，編集委員 秋葉隆，他，症例による透析患者の画像診断。日本メディカルセンター，東京，2009。
- 秋葉隆，秋澤忠男編集：透析療法ネクストⅧ。感染症対策，医学図書出版，東京，2009。
- 秋葉隆，峰島三千男編：Clinical Engineering CE技術シリーズ 血液浄化療法，第5刷，南江堂，東京，2009。
- 飯田喜俊，秋葉隆編：透析療法パーフェクトガイド。第2刷，医歯薬出版，2009。
- 秋葉隆：第5章 CKD-MBD病態解明のトピックス 2. CKD-MBDと生命予後。深川雅史編著，CKD-MBDハンドブック，pp.224-230，日本メディカルセンター，東京，2009。
- 秋葉隆：特集「感染症対策」新興感染症—SARSと新型インフルエンザ—。透析療法ネクストⅧ，pp.17-31，医学図

- 書出版, 東京, 2009.
- 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクストIX. CKD-MBD管理の新時代: Cinacalcetへの期待と展望, 医学図書出版, 東京, 2009.
  - 秋葉隆, 他編集: 臨床透析6月増刊号 一目で診断できる透析患者の皮膚症状, 日本メディカルセンター, 東京, 2009.
  - 秋葉隆: 3. 血液浄化療法14. 対策マニュアル. 中本雅彦, 佐中孜, 秋澤忠男編集, 透析療法事典第2版, pp.114-116, 医学書院, 東京, 2009.
  - 秋葉隆, 川嶋朗: 2 慢性腎不全. 下条文武監修, 内山聖, 富野康日己, 今井裕一編集, 専門医のための腎臓病学第2版, pp.209-219, 医学書院, 東京, 2009.
  - 浅宮有香理, 秋葉隆: 腎臓・泌尿器系45. 人工透析用薬. 高久史磨監修, 堀正二, 菅野健太郎, 門脇孝, 乾賢一, 林昌洋編集, 治療薬ハンドブック2010 薬剤選択と処方のポイント, pp.733-736, じほう, 東京, 2010.
  - 雨宮伸幸, 秋葉隆: 第4章 主要疾患における輸液の使い方 4)糖尿病, 北岡建樹編, ポケット輸液マニュアル改訂版, pp.216-230, 羊土社, 東京, 2010.
  - 越田善久, 秋葉隆: 第4章 主要疾患における輸液の使い方 5)悪性腫瘍. 北岡建樹編, ポケット輸液マニュアル改訂版, pp.231-239, 羊土社, 東京, 2010.
  - 山下哲理, 秋葉隆: 第4章 主要疾患における輸液の使い方 6)脳血管障害. 北岡建樹編, ポケット輸液マニュアル改訂版, pp.240-249, 羊土社, 東京, 2010.
  - 唐澤一徳, 秋葉隆: 第5章 Q&A case studyと処方解説 2)高度の腎機能低下症例における輸液. 北岡建樹編, ポケット輸液マニュアル改訂版, pp.316-318, 羊土社, 東京, 2010.
  - 秋葉隆: 今日の診断指針. 金澤一郎, 永井良三編, 第6版 長期透析の合併症, pp.1045-1048, 医学書院, 東京, 2010.
  - 飯田喜俊, 秋葉隆編集: 透析療法パーフェクトガイド 第2版. 医歯薬出版, 東京, 2010.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト X. 無酢酸透析液の課題と展望, 医学図書出版, 東京, 2010.
  - 秋葉隆, 他: 臨床透析創刊25周年記念 透析医療のブレイクスルーを探り, 将来を展望する 腎性貧血対策の変遷と将来, 日本メディカルセンター, 東京, 2010.
  - 秋葉隆, 他監修: 家庭の医学 オールカラー版, 成美堂出版, 東京, 2010.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト XI. 新しい腎性貧血治療薬—EPO バイオシミラー, 医学図書出版, 東京, 2011.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト XII. 透析そう痒症の最前線, 医学図書出版, 東京, 2011.
  - 秋葉隆: 【図説透析入門 知っておきたいキーワード】透析療法の臨床 透析合併症 腎性貧血(解説/特集). Clinical Engineering 22(5): 456-461, 2011.
  - 秋葉隆: 透析療法の臨床 透析合併症 ③腎性貧血. 南江堂, 東京, 2011.
  - 飯田喜俊, 秋葉隆編著: 透析療法パーフェクトガイド. 医歯薬出版, 東京, 2012.
  - 秋葉隆, 飯野靖彦監修: PD患者さんのための災害対策マニュアル. バクスター株式会社, 2012.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト XIII. 新時代の高リン血症治療, 医学図書出版, 東京, 2012.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト XIV. 腎性貧血治療最前線—C.E.R.A.への期待—, 医学図書出版, 東京, 2012.
  - 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析 貧血の治療 臨床に直結する腎疾患治療のエビデンス第2版, 小林正貴, 南学正臣, 吉村吾志夫編集, pp.241-243, 文光堂, 東京, 2012.
  - 秋葉隆編: CKD(慢性腎臓病)患者と感染コントロール, pp.16-21, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2012.
  - 若井幸子監修, 秋葉隆, 飯野靖彦編: 報告と提言 いわき市の透析患者集団避難に学ぶ—首都圏大災害への備え—, 2012.10.
  - 秋葉隆, 秋澤忠男編集: 透析療法ネクスト XV. 透析患者のCKD-MBD治療最前線, 医学図書出版, 東京, 2013.
  - 秋澤忠男, 斎藤明, 秋葉隆, 福原俊一編: DOPPS—透析臨床にもたらしたimpact. 日本メディカルセンター, 東京, 2013.



- 秋葉隆 医学監修：透析看護ケアマニュアル。川野良子，大橋信子編集，中山書店，東京，2014.
- 秋葉隆，秋澤忠男編集：透析療法ネクスト XVI. 多様化する透析治療モードに求められる透析液組成について，医学図書出版，東京，2014.
- 秋葉隆，秋澤忠男編集：透析療法ネクスト XVII. 透析患者におけるカルニチン補充療法について，医学図書出版，東京，2014.
- 秋葉隆監修，金子岩和編集：臨床工学技士のための血液浄化療法フルスペック。メジカルビュー社，東京，2014.
- 秋葉隆，秋澤忠男編集：透析療法ネクスト XVIII. 透析医療における臨床研究の意義，医学図書出版，東京，2014.
- 秋葉隆，秋澤忠男編集：透析療法ネクスト XIX. HIV診療と透析医療の関わり，医学図書出版，東京，2015.

---

## 国際学会発表

---

- Shinoda T, Akiba T, Suenaga M, Yoshiyama N, Nakagawa S, and Takeuchi J: A trial of filtration and reabsorption artificial kidney (FRAK). Second Annual Meeting of the International Society for Artificial Organs, April 18, 1979.
- Akiba T, Nakagawa S, and Takeuchi J: Sufficient extraction of small molecular substances by hemofiltration therapy. Second Meeting of International Society for Artificial Organs, April 18, 1979.
- Suda T, Horiuchi N, Akiba T, Sunaga S, and Takahashi N: Localization and control mechanism for 25-hydroxyvitamine D<sub>3</sub>-1 alpha-hydroxylase activity in the mammalian kidney. Hormonal control of calcium metabolism. PTH Conference in Denver, 1980.
- Shinoda T, Akiba T, Ogura M, Shouji T, and Nakagawa S: Evaluation of hemostasis in uremic patients treated by continuous ambulatory peritoneal dialysis. 4th ISAO Official Satellite Symposium on CAPD, Nov. 14, 1983.
- Kijima Y, Ozawa K, Sasaoka T, Akiba T, Suenaga M, and Nakagawa S: Evaluation of thyroid function in CAPD patients. 4th ISAO Official Satellite Symposium on CAPD, Nov. 14, 1983.
- Ozawa K, Goto K, Nakayama I, Shouji T, Sasaoka T, Akiba T, and Nakagawa S: The effect of CAPD on lipid abnormality in view of apoproteins and ultracentrifugal lipid subfractions. The third international symposium on peritoneal dialysis, June 18, 1984.
- Yokota Y, Baba M, Maekawa K, Ishida U, Akiba T, Miyake S, Nakagawa S, and Nagasawa N: Beneficial effect of plasma exchange on severe renal failure in Goodpasture's Syndrome. 5th Symposium on Therapeutic Plasmapheresis, June 1, 1985.
- Nakagawa S, Ogura M, Akiba T, Iwamoto H, and Shibamoto T: Development of nonaluminum phosphate binder hydrorous cesium. XXXIth Annual Meeting of American Society of Artificial Internal organs, June 1985.
- Akiba T, Calamia J, Alpern RJ, Eveloff J, and Warnock DG: Electrogenic Na/HCO<sub>3</sub> co-transport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicles. The 18th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 17, 1985.
- Akiba T, Calamia J, Alpern RJ, Eveloff J, and Warnock DG: Effect of acetazolamide on electrogenic Na/HCO<sub>3</sub> cotransport in basolateral membrane vesicles from rabbit renal cortex. American Federation Clinical Research, Western Section, 1986.
- Akiba T, Alpern RJ, and Warnock DG: Substrate dependence of electrogenic Na/HCO<sub>3</sub> cotransport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicle. FASEB, 1986.
- Akiba T, Rocco V, and Warnock DG: Parallel adaptation of the rabbit renal cortical sodium/proton anti-porter and sodium/bicarbonate cotransporter in metabolic acidosis and alkalosis. The 19th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 1986.
- Akiba T, and Warnock DG: Evidence for Na<sup>+</sup>/carbonate cotransport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicles. American Federation for Clinical Research, May 2, 1987.
- Akiba T, and Warnock DG: Evidence for Na<sup>+</sup>/carbonate/bicarbonate cotransport in rabbit renal cortical basolateral membrane vesicles(BLMV). The 10th International Congress of Nephrology (London), July 1, 1987.
- Iwamoto H, Nakamura Y, Akiba T, and Shiigai T: The effect of correcting metabolic acidosis on serum phosphorus (P) level in hemodialysis patients. 10th International Congress of Nephrology. London, July 1987.
- Yoshiyama N, Akiba T, Tomita K, Iino Y, Yoshizawa K, Shin Y, and Aoki H: Clinical experiment of hydroxyapatite percutaneous device applied to CAPD treatment. Third world biomaterials congress, April 24, 1988.
- Akiba T, Kurihara S, Kato H, Yoneshima H, and Marumo F: Hemodynamic changes of hemodialyzed patients by erythropoietin (EP) treatment. The 21st Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 12, 1988.
- Kurihara S, Akiba T, Kawabe M, Yoneshima H, and Marumo F: Change of hemopoietic response to recombinant

- erythropoietin (rHuEPO) in hemodialyzed patients. 21th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 12, 1988.
- Kanemitsu H, Sasaki S, Akiba T, Tomita K, and Marumo F: Ureteral obstruction decreases ATP dependent H pump activity of rabbit renal outer medulla. 21th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 13, 1988.
- Akiba T, Taniguchi K, Marumo F, and Matsuda O: Clinical significance of renal hemodynamics in severe congestive heart failure: Responsiveness to ultrafiltration therapy. XXVIth Congress of the European dialysis and Transplant Association-European, June 11-15, 1989.
- Akiba T, Emori T, Ando R, Chida Y, Kuriyama R, Tomita K, Yoshiyama N, Akiyama T, Miyagawa T, and Marumo F: Suprious hyperparathyroidism: 160k dalton globlin causes false elevation of serum c-terminal parathyroid hormone. XXVIth Congress of the European dialysis and Transplant Association-European Renal Association (Goteborg, Sweden), June 11-15, 1989.
- Kurihara S, Akiba T, Besso M, Yoneshima H, Hirashima K, and Marumo F: In vitro response of bone marrow cell to erythropoietin can predict in vivo response in hemodialysis patients. XXVIth Congress of the European dialysis and Transplant Association-European Renal Association (Goteborg, Sweden), June 11-15, 1989.
- Shibamoto T, Akiba T, Yamada T, Iino Y, and Oshima Y: In vivo estimation of highly permeable membrane dialyzer by dextran clearance. VIIth World Congress of the International Society for Artificial Organs, Oct. 1-4, 1989.
- Kurihara S, Akiba T, Shimizu A, Kawabe M, T. Suzuki T, Yoneshima H, and Marumo F: Histological co-existence of iron (Fe) and aluminum in renal osteodystrophy (ROD). 22th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 1989.
- Akiba T, Kurihara S, Suzuki T, Yoneshima H, and Marumo F: Dual energy x-ray bone absorptiometry for bone mineral measurements in heodialysis patients. The 11th International Congress of Nephrology, July 2-5, 1990.
- Akiba T, Shioyama K, Ando R, Kuriyama R, Chida Y, Ono J, and Marumo F: Intermittent oral high-dose 1,25 dihydroxyvitamin D3 stably suppress parathyroid hormone secretion. The 11th International Congress of Nephrology, July 2-5, 1990.
- Ando R, Akiba T, Matsuda S, Matsui N, and Marumo F: Effects of short-term 1,25-dihydroxycholecalciferol on response of parathyroid hormone to blood calcium. 11th International Congress of Nephrology, July 2-5, 1990.
- Akiba T, Popovitzer M, Lach F, and Fournier A modulated by JW Coburn: When and how to use vitamin D in uremic patients. Satellite symposium of 11th International Congress of Nephrology. Round table discussion, July 22-25, 1990.
- Kurihara S, Akiba T, Takeuchi N, Yoneshima H, and Marumo F: Conventinal hemodialysis therapy does not prevent dialysis-induced bone loss: Estimation by dual X-ray bone absorptiometry. Satellite Symposium of 11th International Congress of Nephrology, July 22-25, 1990.
- Akiba T, Tachibana K, Shibamoto T, Togashi K, and Marumo F: Plasma brain natriuretic peptide (BNP) in patients with decreased renal function. The 23rd Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 3, 1990.
- Kurihara S, Akiba T, Nara N, Besso M, Yoneshima H, and Marumo F: In vitro response of bone marrow cells to erythropoietin is dependent on host age in regular hemodialysis patients. 23rd Annual Meeting of Nephrology, Dec. 2-5, 1990.
- Takamoto T, Akiba T, Umezawa S, Sasaoka T, Ogasawara M, and Marumo F: Hemodynamic changes by recombinant erythropoietin therapy in hemodialysis patients with or without heart dysfunction. 23rd Annual Meeting of Nephrology, Dec. 2-5, 1990.
- Matsui N, Akiba T, Goto K, Takamoto T, Fujiwara H, Nomura T, and Marumo F: Exercise training in regular dialysis patients after improvement of anemia by recombinant human erythropoietin. 23rd Annual Meeting of Nephrology, Dec. 2-5, 1990.

- Kuwahara K, Akiba T, Marumo F, Kurihara S, and Yoneshima H: Effect of parathyroidectomy on renal osteodystrophy in hemodialysis patients: A cross-sectional study. Ninth Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, June 14-16, 1991.
- Kurahara S, Akiba T, Yoneshima H, and Marumo F: Oral vitamin K increases bone mineral contents in maintenance hemodialysis patients. Ninth Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, June 14-16, 1991.
- Tachibana K, Akiba T, Tomita K, Inada T, Hoshino M, Saito T, and Marumo F: Remnant lipoproteins in hemodialysis patients. Ninth Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, June 14-16, 1991.
- Akiba T, Kurihara S, Tachibana K, Kuwahara M, Sakamoto H, Yoneshima H, and Marumo F: Vitamin K increased bone mass in hemodialysis patients with low turnover bone disease. Annual meeting of American Society of Nephrology, Nov. 17-20, 1991.
- Tachibana K, Akiba T, Sakamoto H, Inada T, Hoshino M, Saito T, and Marumo F: Remnant lipoprotein in hemodialysis patient. The 2nd Hospital International Forum -Contemporary Management of renal failure, Feb. 9-13, 1992.
- Akiba T, Tachibana K, Ozawa K, Chida Y, Ogasawara H, Yoshiyama N, Hoshino M, Inada T, and Marumo F: Long-term use of low-molecular weight heparin ameliorates type IIb and IV hyperlipidemia in patients on hemodialysis. 38th Annual Meeting of American Society for Artificial Internal Organs, May 7-9, 1992.
- Akiba T, Koshikawa S, Mimura N, Maeda T, and KRN5702 Pre-dialysis Study Group: Randomized double-blind study of subcutaneous recombinant human erythropoietin in pre-dialysis uremic patients. XXIXth Conference of the European Dialysis and Transplantation Association-European Renal Association, June 28-July 1, 1992.
- Akiba T, Tachibana K, Tanaka A, Okazaki M, Nakajima K, Koide A, and Marumo F: Low molecular heparin decreases serum remnant lipoproteins in hemodialysis patients. 25th Annual Meeting of American society of Nephrology, Dec. 15-18, 1992.
- Yamada T, Akiba T, Hoshino M, and Marumo F: Urea kinetic modeling with fixed distribution volume mislead urea generation rate: Appraisal by dual-energy X-ray absorptiometry. 25th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 15-18, 1992.
- Ishibashi K, Sasaki S, Akiba T, and Marumo F: Expression of bone morphogenic protein 7 mRNA in MDCK cells and Kidney. 25th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 15-18, 1992.
- Rai T, Sakamoto H, Akiba T, Uchida S, Aso T, and Marumo F: Suppression of parathyroid hormone-related peptide mRNA expression by a synthetic analogue of vitamin D3. 25th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 15-18, 1992.
- Shibamoto T, Akiba T, Sano N, Ohoshima H, Arai H, Sakamoto T, and Suzuki A: Continuous veno-venous hemofiltration (CVVH) with large surface-area (SA) high-flux dialyzer. 39th Annual Meeting of American Society for Artificial Internal Organs, April 29-May 1, 1993.
- Akiba T, Matsui N, and Marumo F: Theme 6 Symposium: Erythropoietin I Erythropoietin can partially increase, but can not maintain exercise capacity without exercise training. The XIIth International Congress of Nephrology, June 13-18, 1993.
- Hoshino M, Akiba T, Takamoto T, Shimoda K, Suenaga M, Sekiya T, and Marumo F: Ultra-fast CT can detect coronary heartdisease in hemodialysis patients. The XIIth International Congress of Nephrology, June 13-18, 1993.
- Kurihara S, Akiba T, Sakurai M, Takeuchi M, Yoneshima H, and Marumo F: Moderate correction of renal anemia with erythropoietin consistently improves cardiovascular functions in hemodialysis patients. The XIIth International Congress of Nephrology, June 13-18, 1993.
- Akiba T, Takamoto T, Sakamoto H, Hoshino M, Sekiya T, and Marumo F: Non-invasive detection of coronary artery stenosis in end-stage renal disease. 25th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 14-17, 1993.

- Tachibana K, Akiba T, Tamaura T, Ogasawara M, Nakajima K, and Marumo F: Increased remnant lipoprotein concentration in chronic hemodialysis patients. 26th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Dec. 14-17, 1993.
- Akiba T: Ultra-fast CT can detect coronary heart disease in PD patients. Peritoneal Dialysis 1994 (endorsed by International Society for Peritoneal Dialysis), Jan. 24-26, 1994.
- Akiba T, Kurihara S, Yamada T, Ogasawara M, Yoneshima H, and Marumo F: Intravenous calcitriol can increase bone mass of osteitis fibrosa in hemodialysis patients. The Third International Congress on New Actions of parathyroid hormone at Miyako Hotel Kyoto Japan, Apr. 18-21, 1994.
- Akiba T, Matsui N, Chida Y, Kurihara S, and Marumo F: European Dialysis and Transplantation Association Serum hepatocyte growth factor in HCV-positive hemodialysis patients. XXXIst Congress of the European Renal Association, July 3-6, 1994.
- Kurihara S, Suga M, Akiba T, Iino Y, and Yoneshima H: Bolus recombinant erythropoietin increases pulmonary vascular tone without changes in plasma endothelin levels. XXXIst Congress of the European Renal Association, European Dialysis and Transplantation Association, July 3-6, 1994.
- Hoshino T, Onuki J, Tsuruta Y, Shibamoto T, and Akiba T: Effects of dialysate composition on coagulation and thrombotic parameters in biofiltration. 13th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 27-29, 1995
- Sano N, Sakamoto N, Shibamoto T, Tamura T, Akiba T, Oshima H, and Marumo F: Efficacy of hemodialysis to estimate radiocontrast material, Iohexol, soon after angiography in patients with chronic renal failure. 13th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 27-29, 1995.
- Akiba T, Yamazaki C, Inoue T, Goto T, Suzuki M, Yoshida T, Tsuchiya T, and Harasawa Y: Chronic dialysis and Great Hanshin Earthquake. The 28th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 6, 1995.
- Lee JP, Akiba T, and Marumo F: Long-term low dose cadmium-induced renal osteopathy in ovariectomized rats. The 28rd Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 6, 1995.
- Kurikawa K, Akizawa T, Suzuki M, Akiba T, Ogata E, and Slatopolsky E: Suppression of PTH by 22-oxacalcitriol in hemodialysis patients by secondary hyperparathyroidism. The 28rd Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 6, 1995.
- Shimoda K, Akiba T, Matsushita Y, Rai T, and Hoshino M: Niceritrol decreases serum phosphate levels in hemodialysis patients- A randomized double blind crossover study. 29th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 3-6, 1996.
- Akiba T, Ota T, Fushimi K, Tamura H, Hata T, Sasaki T, and Marumo F: Water Channel AQP 1, 3, and 4 in the human peritoneum and peritoneal dialysate. 17th Annual Conference on Peritoneal Dialysis, Feb. 17-19, 1997.
- Akiba T, Shimoda K, Hoshino M, and Marumo F: Plasma nicotine acid, phosphate levels and platelet counts after administration of niceritrol in regular hemodialysis patients. 17th Annual Meeting of the ISBP (Prague: Czech Republic), Oct. 7-9, 1999.
- Kurihara S, Akiba T, Koiwa M, Yoneshima H, and Marumo F: Clinicopathological studies of non-traumatic fractures in hemodialysis (HD) patients. 17th Annual Meeting of the ISBP (Prague: Czech republic), Oct. 7-9, 1999.
- Akiba T, Shimoda K, Nonaka T, Nunokawa A, Hoshino M, and Marumo F: Niceritrol Can Dose-Dependently Decrease Serum Phosphate Levels in Regular Hemodialysis Patients. 32nd Annual Meeting and 1999 Renal Week, Nov. 1-8, 1999.
- Ota T, Akiba T, Tamura H, Sasaki S, and Marumo F: Effects on osmotic on expression of (AQP-1) mRNA in rat cultured mesothelial cells and its localization in peritoneum. The 33rd Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-16, 2000.
- Shuling Fan, Ota T, Tamura H, Marumo F, Niwa T, and Akiba T: Effects of dialysate osmolytes on peritoneal transcapillary ultrafiltration, aquaporin-1, and advanced glycation end products (AGEs) in uremic rats. The 33rd

- Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-16, 2000.
- Akiba T: IFRR Symposium, Experience from JSDT registry. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Keen ML, Bragg JL, Bommer J, Marumo F, Akiba T, and Akizawa T: Outcomes and treatment patterns of elderly hemodialysis (HD) patients (A-1715). The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Ota T, Kuwahara M, Shuling Fan, Terada Y, Akiba T, Sasaki S, and Marumo F: Hyperosmolality regulates expression of aquaporin-1 (AQPI) in the peritoneal tissues. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Tanaka J, Kawashima A, Yumura Y, Akiba T, and Nihei H: Catabolism of brain natriuretic peptide in normal and nephrotic rat kidney lysosomes. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Kimata N, Akiba T, Nitta K, Sato Y, Suzuki K, Watanabe Y, Kawashima A, Miwa N, Nishida E, and Nihei H: Tube-shaped thrombus formed around hemodialysis catheter may cause catheter dysfunction. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Naito M, Kawashima A, Akiba T, Nihei H, Takanashi M, and Juji T: Effects of an angiotensin II receptor antagonist and angiotensin-converting enzyme (ACE) inhibitors on burst forming units-erythroid (BFU-E) in chronic hemodialysis patients. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Nitta K, Kabaya T, Kawashima A, Kimata N, Uchida K, Honda K, Yumura W, Akiba T, and Nihei H: Contribution of Osteopontin to vascular calcification hemodialysis patients. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Okano H, Tsuchiya K, Saito M, Ando M, Teramura M, Akiba T, and Nihei H: Estimating iron status by measuring the content of reticulocyte hemoglobin (CHr) in chronic renal failure (CRF) patients: measurement in non-dialysis CRF patients and response patterns in dialysis patients receiving iron supplements. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Terada Y, Tanaka H, Okado T, Inoshita S, Kuwahara M, Akiba T, Sasaki S, and Marumo F: Efficient and ligand-dependent-regulated erythropoietin production by naked DNA. The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Kurihara S, Onoda N, Yoneshima H, Tanizawa T, and Akiba T: Correlation between serum bone markers and histological indicators in the cancellous (canc.) and cortical (cort.) ilium in renal osteodystrophy (ROD). The 34th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 10-17, 2001.
- Akiba T, Bosch T, Buoncrisiani U, Stefoni S, and Takemoto Y: Panel Discussion, Long-term management of hemodialysis: current status and future prospects. The 13th World Congress of International Society for Artificial Organs, Nov. 5-8, 2001.
- Kimata N, Ishida K, Miwa N, Tokumoto T, Yoshida T, Sato Y, Mineshima M, Kawashima A, Nihei H, and Akiba T: Evaluation of new algorithms for the estimation of continuous systolic blood pressure using electrocardiogram and pulse oximeter on hemodialysis patients. 20th Annual Meeting of the ISBP (Celle: Germany), Sep. 5-7, 2002.
- Tokumoto T, Tanabe K, Toda F, Kimata N, Yamashita Y, Akahane M, Mochizuki T, Kawashima A, Akiba T, Nihei H, and Toma H: Evaluation for diagnosing blood vessels using a fast three-dimensional (3-D) ultrasound imaging system in hemodialysis patients. 20th Annual Meeting of the ISBP (Celle: Germany), Sep. 5-7, 2002.
- Miwa N, Tokumoto T, Tanabe K, Yoshida T, Kawashima A, Akiba T, Toma H, and Nihei H: The results of patients with history of positive anti-donor antibody (ADA) after living related renal transplantations. 20th Annual Meeting of the ISBP (Celle: Germany), Sep. 5-7, 2002.
- Ota K, Akiba T, Maeba T, Nakao T, Nakayama M, Yorioka N, and Tranaeus A: Peritoneal ultrafiltration and serum icodextrin concentration during dialysis with 7.5% icodextrin Japanese patients. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.

- Iwata A, Tanaka Y, Otsubo Y, Saito M, Kikuchi K, and Akiba T: Intravenous iron supplement aggravate chronic viral hepatitis C in hemodialysis patients. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Mineshima M, Suzuki S, Akiba T, Masuda T, and Hattori H: Utilization of albumin solution as an osmotic agent in a continuous regeneration system for peritoneal dialysis. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Akiba T, Satayathum S, Akizawa T, Kurokawa K, Locatelli F, Combe C, Keen ML, Held RA, and Young EW: Effect of mineral metabolism practices on hemoglobin (Hgb) concentration among hemodialysis (HD) patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Young EW, Satayathum S, Goodkin DA, Keen ML, Piera L, Rayner HC, Locatelli F, Akiba T, Saito A, Pisoni RL, and Port FK: Mortality and dialysate prescription in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Kuwahara M, Ota T, Yong Gu, Terada Y, Akiba T, Sasaki S, and Marumo F: Renal expression of metallothionein (MT) in rats treated with cadmium. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Satayathum S, Goodkin DA, Akiba T, Akizawa T, Kurokawa K, Bommer J, Piera L, McCullough KP, and Young EW: Effect of mineral metabolism management practices on mortality and parathyroidectomy among hemodialysis (HD) patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Naito M, Kawashima A, Takanashi M, Akiba T, and Nihei H: Effects of angiotensin-converting enzyme (ACE) inhibitors on burst units-erythroid (BFU-E) in chronic hemodialysis patients. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Kimata N, Akiba T, Kikuchi T, Nitta K, Miwa N, Kawashima A, Higuchi R, Yamashita N, and Nihei H: 1-84 parathyroid hormone (PTH)/PTH fragment ratio changes after percutaneous ethanol injection to parathyroid gland (PEIT). The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Nitta K, Akiba T, Otsubo S, Uchida K, Yumura W, and Nihei H: Osteoprotegerin (OPG) and renal osteodystrophy (ROD) in hemodialysis patients with diabetes mellitus (DM). The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Ota K, Akiba T, Maeba T, Nakao T, Nakayama M, Yorioka N, and Traaneus A: The use of icodextrin solution in Japanese patients outcome from double blind study. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Saito M, Tsuchiya K, Sugiyama H, Ando M, Akiba T, and Nihei H: Measuring the content of reticulocyte hemoglobin (CHr) in non-dialysis chronic renal failure (CRF) patients. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Tokumoto T, Tanabe K, Ishida H, Kimata N, Akiba T, and Toma T: Effect of fluvastatin on hyperlipidemia in renal transplant recipients. The 35th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Oct. 30-Nov. 4, 2002.
- Mineshima M, Niwayama Y, Ishimori I, Hirose M, Watanabe S, Akiba T, Sunohara T, and Masuda T: Performance evaluation of a dialyzer equipped with a hydrophilic fiber spacer to enhance internal filtration. 23rd Annual Dialysis Conference, March 2-4, 2003.
- Ozawa K, Ishimori I, Yokote T, Kaneko I, Sato M, Mineshima M, and Akiba T: Clinical Measurement of Internal Filtration Flow Using Ultrasonic Wave. 9th Annual Conference of the Japanese Society for Hemodiafiltration in Conjunction with the international Symposium on Hemodiafiltration Therapy, Aug. 30-31, 2003. Oral Presentation.
- Mochizuki T, Naganuma S, Tanaka Y, Iwamoto Y, Ishiguro C, Kawashima Y, Maekawa K, Suda A, and Akiba T: Prospective comparison of the effects of maxacalcitol and calcitriol in chronic hemodialysis patients with

- secondary hyperparathyroidism: A multicenter randomized crossover study. The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Ando M, Shibuya A, Yasuda M, Azuma N, Tsuchiya K, Akiba T, and Nihei H: Cytokine synthesis by monocytes is reduced in CAPD patients - is innate host defense lower in CAPD than in HD patients? The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Rajiv Saran, Bragg-Gresham JL, Combe C, Wizemann V, Saito A, Akiba T, Young BW, and Port FK: High ultrafiltration rates are associated with poor outcomes in hemodialysis patients: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Pisoni RL, Prutz K-G, Canaud B, Akiba T, Akizawa T, Gillespie BW, Wolfe RA, Held PJ, Port FK, and Young EW: Patient characteristics associated with hemoglobin concentrations: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS) (PO923). The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Pisoni RL, Young EW, Gillespie BW, Locatelli F, Combe C, Akiba T, Akizawa T, Wolfe RA, P.J. Held, and Port FK: Erythropoietin therapy and associated hemodialysis patient characteristics: DOPPS results. The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Wizemann V, Satayathum S, Disney A, Akiba T, Marumo F, Burdick RA, Maroni BJ, Kerr PG, and Young EW: Predictors and outcomes associated with arterial fibrillation among hemodialysis (HD) patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Rajiv Saran, Satayathum S, Lameire N, Saito A, Akiba T, Jadoul M, Ginsberg N, Gillespie BW, Keen M, Young EW, and Rajagopalan S: Predictors and outcomes in hemodialysis (HD) patients with peripheral vascular disease: Results from the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Nitta K, Akiba T, Horita S, Uchida K, and Nihei H: Osteoprotegerin and vascular calcification in hemodialysis patients. The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Saito M, Iwata A, Ajiro A, Tanaka Y, and Akiba T: Intravenous iron supplement increase HCV-RNA and aggravates liver injury in hemodialysis patient. The 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 12-17, 2003.
- Combe C, Bragg-Gresham JL, Pifer TB, Cruz JM, Asano Y, Akiba T, Keen ML, Goodkin DA, Pisoni RL, and Port FK: Validation of malnutrition-inflammation score (MIS) to predict mortality and hospitalization in the DOPPS. ERA-EDTA 41st Congress, May 15-18, 2004.
- Young EW, Albert JM, Pisoni RL, Piera L, Rayner HC, Akiba T, Akizawa T, and Port FK: Trends in mineral metabolism laboratory values in hemodialysis patients. ERA-EDTA 41st Congress, May 15-18, 2004.
- Tokumoto T, Kimata N, Nagai K, Nanri M, Yamashita Y, Mochizuki T, Tanabe K, Akiba T, and Toma H: The clinical utility of real-time ultrasound three-dimensional (3-D) imaging system with vessel volume mode in primary dialysis access. ERA-EDTA 41st Congress, May 15-18, 2004.
- Kimata N, Albert JM, Akiba T, Akizawa T, Bommer J, Kerr PG, Pisoni RL, Port FK, and Saran R: Association of serum calcium and phosphorus with cardiac mortality I hemodialysis patients: New results from the DOPPS. 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
- Kawai Y, Yoshida T, Tsuchiya K, Sirota S, Kikuchi K, Kojima C, Nihei H, and Akiba T: A comprehensive analysis of the gene expression of T cell in hemodialysis patient. 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
- Jadoul M, Albert JM, Akiba T, Akizawa T, Arab L, Bragg-Gresham JL, Mason N, Prutz KG, Young EW, and Pisoni RL: Epidemiology of bone fractures in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
- Yoshida T, Sirota S, Sugiura H, Mitobe M, Oishi T, Tsuchiya K, Nihei H, and Akiba T: The mechanism of



- protection by ATF3 against oxidative stress induced cell death I human kidney cell. 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
- Tsuchiya K, Yoshida T, Sugiura H, Shirota S, Oishi T, Kojima C, Akiba T, Sakai N, Mochizuki T, and Nihei H: Cross talk between klotho expression in the kidney and phosphorus metabolism. 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
  - Iseki K, Nakai S, Shinzato T, Nagura Y, and Akiba T: Increasing gender difference in the incidence of chronic dialysis (CD) patients in Japan. 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
  - Fissell RB, Lin Y, Akiba T, Bragg-Gresham JL, Lameire NH, Marshall MR, Pisoni RL, Saito A, and Young EW: Information systems (IS): Prevalence and trends in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 37th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2004.
  - Mineshima M, Ishimori I, and Akiba T: Estimation of backfiltration flow rate in commercially available high flux dialyzers: Importance of water purification system for dialysate. 25th Annual Conference on Peritoneal Dialysis, 11th International Symposium on Hemodialysis, and 16th Annual Symposium on Pediatric Dialysis, Feb. 28-March 2, 2005.
  - Akiba T: Report from Japanese HDF Registry. Dialysis Annual Conference Celebrating 25 Years, Mar. 2, 2005.
  - Tokumoto T, Shimizu T, Tsunoyama K, Tanabe K, Akiba T, and Toma H: Change of bone lesion in hemodialysis patients with renal osteopathy after renal transplantation. 23rd Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Aug. 31-Sep. 2, 2005.
  - Kimata N, Sato T, Abe K, Hoshino T, and Akiba T: Effects of GI medication to the mineral metabolism control in patients undergoing hemodialysis. 23rd Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Aug. 31-Sep. 2, 2005.
  - Akiba T, Akizawa T, Uchida E, Tsukamoto Y, Koshikawa S, KRN1493 Study Group: F-PO764 Randomized, doubleblind, placebo-controlled, dose-finding parallel study for KRN1493 (cinacalcet HCl) in Japanese hemodialysis patients. The 38th Annual Meeting of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Shiohira S, Yoshida T, Shirota S, Sugiura H, Tsuchiya K, Akiba T, and Nitta K: Pretreatment of carbon monoxide for mice ameliorate acute renal failure in septic shock. 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Young EW, Albert JM, Akiba T, Greenwood R, Kimata N, Levin NW, Piera L, and Saran R: Vitamin D therapy and mortality in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Albert JM, Akiba T, Bommer J, Fukuhara S, Kerr PG, Mapes DL, Port FK, and Young EW: Mortality risks and combined phosphorus and calcium control among hemodialysis (HD) patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Block G, Albert JM, Akiba T, Kurokawa K, Marshall M, Port FK, Wixemann V, and Ramirez SPB: Survivors of calciphylaxis: Characteristics and outcomes among hemodialysis (HD) patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Yoshida T, Shirota S, Sugiura H, Shiohira S, Tsuchiya K, Takemiya T, Yamagata K, Nitta K, and Akiba T: Cyclooxygenase-2 knockout mice and microsomal prostaglandin E synthase-1 knockout mice demonstrate decreased renal ischemia reperfusion injury. 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
  - Iseki K, Nakai S, Shinzato T, Morita O, Shinoda T, Kikuchi K, Wada A, Kimata N, and Akiba T: Prevalence and determinants of hypertension in chronic hemodialysis patients in Japan. 38th Annual Meeting and Scientific

Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.

- Morita O, Iseki K, Nakai S, Shinozato T, Shinoda T, Kikuchi K, Wada A, Naoki K, and Akiba T: Survival analysis using Monte Carlo method in chronic hemodialysis patients. 38th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 8-13, 2005.
- Tokumoto T, Shimizu T, Masumoto K, Tsunoyama K, Tanabe K, Akiba T, and Toma H: Pathological change of bone lesion in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. World Transplant Congress 2006, July 22-27, 2006.
- Ikebe N, Eguchi K, Suzuki K, Miwa N, Mineshima M, and Akiba T: Trial of a new haemodiafiltration (HDF): Intermittent infusion HDF. XLIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), July 15-18, 2006.
- Albert J, Akiba T, Akizawa T, Goodkin D, Jacobson S, Jadoul M, Port F, and Youg E: Baseline and time-varying measures of serum calcium & mortality in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). XLIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), July 15-18, 2006.
- Furniss AL, Gillespie BW, Pisoni RL, Akiba T, Keen ML, Kurokawa K, Wizemann V, and Saran R: Neutrophil count as a predictor of patient and facility level outcomes in hemodialysis patients: International results from the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). XLIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), July 15-18, 2006.
- Fukuhara S, Green J, Albert J, Mihara H, Pisoni R, Yamazaki S, Akiba T, Akizawa T, Asano Y, Saito A, and Port F: Symptoms of depression, prescription of benzodiazepines, and risk of death in hemodialysis patients in Japan. XLIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), July 15-18, 2006.
- Tokumoto T, Shimizu T, Tsunoyama K, Masumoto K, Tanabe K, Akiba T, and Toma H: Changes of bone lesion in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. XLIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), July 15-18, 2006.
- Iwamoto M, Uchida K, Itabashi M, Yumura W, Akiba T, and Nitta K: Retrospective study for treatment of RPGN (Rapidly progressive glomerulonephritis) with apheresis or Not. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Kimata N, Albert JM, Yamazaki S, Kawaguchi T, Fukuhara S, Akizawa T, Saito A, Asano Y, Kurokawa K, Pisoni RL, Port FK, and Akiba T: The present state of mineral metabolism and association with cardiovascular mortality in Japanese hemodialysis patients: The Japan Dialysis outcomes and practice patterns study (J-DOPPS). 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Furuya M, Noki M, Abe K, Nonaka T, Kimata N, Akiba T, and Hoshino M: Long-term survival on hemodialysis patients; trend in cause of death. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Otsubo S, Otsubo K, Sugimoto H, Akiba T, and Nitta K: Characteristics of patients on hemodialysis therapy for more than 30 years. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Masumoto K, Tokumoto T, Tsunoyama K, Lizuka J, Akiba T, and Tanabe K: Utility of needling method of the central venous catheter using special adapter of ultrasound in hemodialysis patients. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Lizuka J, Hashimoto Y, Masumoto K, Tsunoyama K, Tokumoto T, Kondo T, Okuda H, Ito F, Onitsuka S, Nakazawa H, Akiba T, and Tanabe K: Histo-Pathological analysis of proliferative cysts in acquired cystic disease of the kidney: Renal cell carcinoma in dialysis patients as a model of multistep carcinogenesis. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Tokumoto T, Shimizu T, Masumoto K, Tsunoyama K, Lizuka J, Akiba T, and Tanabe K: Pathological change of

- bone lesion in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 8-10, 2006.
- Yoshida T, Mitobe M, Shirota S, Sugiura H, Shiohira S, Tsuchiya K, Takemiya T, Yamagata K, Akiba T, and Nitta K: Microsomal prostaglandin E synthase-1 (mPGES-1) is related with protection from oxidative stress in the mouse kidney via serine protease inhibitor. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 14-19, 2006.
  - Mendelssohn DC, Arrington CJ, Pisoni RL, Akiba T, Krishnan M, Fukuhara S, Lameire NH, Port FK, and Wolfe RA: Changes in the DOPPS practice-related risk score are associated with changes in hemodialysis (HD) facility mortality. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 14-19, 2006.
  - Ohsawa M, Itai K, Kato K, Fujioka T, Abe K, Suzuki K, Nakamura M, Sakata K, Okayama A, and Akiba T: Long-Term hemodialysis treatment is significantly associated with high prevalence of hepatitis C viral infection in a large scale cross-sectional study. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 14-19, 2006.
  - Saran R, Furniss AL, Gillespie BW, Akiba T, Disney A, Fukuhara S, Piera L, and Port FK: Heart failure is common and strongly associated with mortality and hospitalization in hemodialysis patients. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 14-19, 2006.
  - Jadoul M, Bragg-Gresham JL, Akiba T, Andreucci VE, Akizawa T, Saran R, Wolfe RA, and Port FK: Statin use and the risk of sepsis in the DOPPS. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov.14-19, 2006.
  - Tanaka M, Yamazaki S, Hayashino Y, Fukuhara S, Akiba T, Saito A, Asano Y, Akizawa T, Port FK, and Kurokawa K: Hypercalcemia is associated with poor mental health in hemodialysis patients: Result from Japan DOPPS. 39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 14-19, 2006.
  - Uchida K, Suzuki K, Iwamoto M, Yumura W, Akiba T, and Nitta K: Lupus nephritis and apheresis. 6th World Congress of the International Society for Apheresis/World Apheresis Association 11th Congress, March 2-4, 2007.
  - Iwamoto M, Kikuchi K, Ikebe N, Miwa N, Yoshida T, Kimata N, Uchida K, Yumura W, Akiba T, and Nitta K: Apheresis for RPGN. Effect on death and renal death. 6th World Congress of the International Society for Apheresis/World Apheresis Association 11th Congress, March 2-4, 2007.
  - Tokumoto T, Masumoto K, Tsunoyama K, Iizuka J, Akiba T, and Tanabe K: Utility of needling method of the central venous catheter using special adapter of ultrasound in hemodialysis patients. XLIV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 21-24, 2007.
  - Albert JM, Gillespie BW, Locatelli F, Akiba T, and Young EW: Improved survival following parathyroidectomy among patients with high PTH: Results from the DOPPS. XLIV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 21-24, 2007.
  - Blayney M, Pisoni R, Brass-Gresham JL, Bommer J, Piera L, Saito A, Akiba T, Keen M, Young E, and Port F: Predictors and outcomes associated with alkaline phosphatase (AP) levels in hemodialysis patients: International results from the DOPPS. XLIV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 21-24, 2007.
  - Miwa N, Tsuchiya K, Kimata N, Tamura T, Shinkawa Y, Kasahara Y, Nitta K, and Akiba T: A new parameter, reticulocyte hemoglobin equivalent (RET-He), is a reliable tool for determining iron efficiency in dialysis patients. XLIV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 21-24, 2007.
  - Tokumoto T, Iizuka J, Masumoto K, Tsunoyama K, Shimizu T, Akiba T, and Tanabe K: Pathological change of bone lesion in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. XLIV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 21-24, 2007.
  - Tokumoto T, Masumoto K, Tsunoyama K, Iizuka J, Kawashima Y, and Akiba T: Successful needling method of

- the central venous catheter using special adapter of ultrasound. 25th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 15-17, 2007.
- Tokumoto T, Iizuka J, Masumoto K, Tsunoyama K, Shimizu T, Akiba T, and Tanabe K: Change of pathological bone lesion in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. 25th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 15-17, 2007.
- Iwasa Y, Otsubo S, Iwasaki T, Kikuchi K, Miwa N, Kimata N, Uchida K, Nitta K, and Akiba T: Patterns in the prevalence of hepatitis C virus infection at the start of hemodialysis in Japan. 25th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 15-17, 2007.
- Asamiya Y, Arai J, Kimata N, Sato K, Sugi O, Kikuchi K, Otsubo S, Miwa N, Sato T, Nitta K, and Akiba T: Association between muscle mass and hemodialysis duration in females. 25th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 15-17, 2007.
- Iwasaki T, Kimata N, Fuchinoue S, Kikuchi K, Miwa N, Chikamoto H, Tojinbara T, Nakajima I, Akioka Y, Hattori M, Teraoka S, and Akiba T: Blood purification at the time of the sequential liver-kidney transplantation for primary hyperoxaluria type 1 in our center. 25th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 15-17, 2007.
- Elder S, Saito A, Lopes A, Gillespie B, Disney A, Cruz J, Akiba T, and Pisoni RL: Restless legs syndrome (RLS) in the dialysis outcome and practice patterns study (DOPPS). 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Ohsawa M, Kato K, Tanno K, Itai K, Konda R, Fujioka T, Abe K, Suzuki K, and Akiba T: Hepatitis C viral infection independently contributes to an increased mortality risk among hemodialysis patients. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Mineshima M, Eguchi K, Ikebe N, and Akiba T: Development of intermittent infusion hemodiafiltration (IIHDF) as a new HDF therapy. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Santos DR, Bragg-Gresham JL, Saito A, Mendelssohn D, Chaturvedi P, Andreucci V, Akiba T, and Saran R: Inhibitors of rennin angiotensin aldosterone system antagonists (RAASA) and risk of hyperkalemia in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Yoshida T, Shirota S, Mitobe M, Sugiura K, Shiohira S, Yabuki Y, Akiba T, Tsuchiya K, and Nitta K: Novel ALK5 inhibitor has a preventive role in renal interstitial fibrosis. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Kerr P, Bragg-Gresham JL, Pisoni LR, Saran R, Gillespie B, Krishnan M, Bommer J, Akizawa T, Akiba T, Disney A, and Port F: Longer treatment time (TT) is associated with better PO<sub>4</sub> control and higher quality of life (QoL): The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Kimata N, Asamiya Y, Sugi O, Sato K, Iwasaki T, Kikuchi K, Otsubo S, Miwa N, Arai J, Mineshima M, Nitta K, and Akiba T: Longer survivor preserved body protein mass in maintenance hemodialysis patients. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Miwa N, Tsuchiya K, Kimata N, Tamura T, Arakawa Y, Kasahara Y, Nitta K, and Akiba T: Clinical utility of the new parameter, reticulocyte hemoglobin equivalent (RET-He), is the diagnosis of Iron-Deficiency anemia in dialysis patients. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Masakane I, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, and Iseki K: Bacteriological water quality of dialysis fluid in Japan at the end of 2006. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.

- Masakane I, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, and Iseki K: The latest trends of peritoneal dialysis in Japan. 40th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 31-Nov. 5, 2007.
- Masakane I, Tsubakihara Y, Akiba T, Watanabe Y, and Iseki K: The Most Recent Trends of Peritoneal Dialysis in Japan. Proceedings of the 3rd Asian Chapter Meeting of the International Society for Peritoneal Dialysis, Nov. 22-24, 2007.
- Robinson BM, Poler MK, Sen A, Akiba T, Cruz JM, Locatelli F, Saito A, and Port FK: Parenteral (IV) iron dosing to hemodialysis (HD) patients with ferritin levels >500ng/mL: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). XLV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 12, 2008.
- Jadoul M, Bragg-Gresham JL, Gillespie BW, Greenwood R, Akiba T, Saito A, and Robinson BM: Trends in hepatitis c prevalence (1997-2006) and associations with facility practice patterns: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). XLV Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 13, 2008.
- Otsubo S, Kimata N, Oshikawa K, Ueda S, Sugimoto H, Mitobe M, Uchida K, Otsubo K, Otsubo O, Nitta K, and Akiba T: Characteristics of dialysis-related amyloidosis in patients on hemodialysis therapy for more than 30 years. 26th Annual Meeting International Society of Blood Purification, Sep. 20-22, 2008.
- Jinnai H, Okano K, Asamiya Y, Kimata N, Iwasaki T, Kikuchi K, Otsubo S, Miwa N, Arai J, Mineshima M, Nitta K, and Akiba T: Longer survivor preserved body protein mass in maintenance hemodialysis patients. 26th Annual Meeting International Society of Blood Purification, Sep. 20-22, 2008.
- Zhang H, Schaubel ED, Kalbfleisch DJ, Bragg-Gresham JL, Robinson B, Pisoni RL, Canaud B, Jadoul M, Akiba T, Saito A, and Saran R: Relationship between dialysis schedule and day-of-week association with mortality in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 41th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 4-9, 2008.
- Robinson B, Bragg-Gresham JL, Sen A, Saran R, Morgenstern H, Locatelli F, Bommer J, Akiba T, Akizawa T, and Pisoni RL: Anemia management practices and the odds of attaining target hemoglobin levels: The dialysis outcomes and practice patterns study. 41th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 4-9, 2008.
- Bragg-Gresham JL, Hirth R, McKeivitt P, Vanholder R, Ethier J, Fukuhara S, Akiba T, and Robinson B: Predictors of employment (EMP) and loss of EMP among incident HD patients in the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 41th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 4-9, 2008.
- Fujishima Y, Ohsawa M, Fujioka T, Abe K, Suzuki K, and Akiba T: Persistent infection of hepatitis C virus contributes to an increase in mortality among hemodialysis patients. 41th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Nov. 4-9, 2008.
- Asamiya Y, Otsubo S, Kimata N, Uchida K, Kikuchi K, Miwa N, Nitta K, and Akiba T: Importance of low bun level for birth weight in pregnant patients undergoing hemodialysis. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Otsubo S, Kimata N, Ishihara M, Ueda S, Sugimoto H, Otsubo K, Uchida K, Nitta K, and Akiba T: Dialysis-related amyloidosis in extremely long-term survivors of hemodialysis therapy. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Aoki A, Kikuchi K, Tsukada M, Miwa N, Kimata N, Akiba T, and Nitta K: Adiponectin and atherosclerosis in chronic hemodialysis patients. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Iwasaki T, Tong L, Robinson B, Li Yun, Akiba T, Andreucci V, Fort J, Wikstrom B, and Pisoni RL: Patient characteristics associated with a hemoglobin (HB) fall<10g/dl and with HB cycling (CYC): Results from the

- dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Eguchi A, Tsuchiya K, Miwa N, Tsukada M, Kimata N, Hamaguchi Y, Oguni S, Akiba T, and Nitta K: The new parameter, reticulocyte hemoglobin equivalent (RET-He), for the assessment of iron status in the CKD patients with and without dialysis. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Otsubo S, Kimata N, Ishihara M, Ueda S, Sugimoto H, Uchida K, Otsubo K, Akiba T, and Nitta K: Effect of treatment of secondary hyperparathyroidism using cinacalcet on renal anemia. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Pisoni RL, Fuller DS, Tentori FD, Young EW, Bommer J, Kleophas W, Jacobson SH, Block GA, Akiba T, Sen A, and Robinson BM: Cinacalcet prescription among hemodialysis (HD) patients in the DOPPS: Association with use and mineral metabolism control. XLVI Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), May 22-26, 2009.
- Tokumoto T, Nozaki T, Chikaraishi K, Toda N, Akiba T, and Tanabe K: Transition of serum fibroblast growth factor-23 levels in recipients with renal osteopathy after renal transplantation. 27th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (ISBP), Sep. 17-19, 2009.
- Iwasaki T, Kimata N, Jinnai H, Ishimori I, Suzuki S, Kikuchi K, Okano K, Nitta K, and Akiba T: The impact of the initiation of cinacalcet on the long-term hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism (SHPT): A single-center observational study. 42th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2009.
- Kimata N, Pisoni RL, Akiba T, Saito A, Fukuhara S, Akizawa T, and Port FK: Higher dialysis dose is associated with lower mortality among women: Results from the Japan dialysis outcomes and practice patterns study (J-DOPPS). 42th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2009.
- Lopes AA, Tong L, Li Y, Bieber B, Morgenstern H, Bommer J, Kerr P, Tentori F, Port F, Akiba T, and Pisoni RL: Phosphate binder use and mortality among hemodialysis (HD) patients in the DOPPS: Influence of nutritional adjustment. 42th Annual Meeting and Scientific Exposition of American Society of Nephrology, Oct. 27-Nov. 1, 2009.
- Tentori F, Tong L, Akiba T, Bommer J, Jacobson SH, Morgenstem H, Young E, Port FK, and Robinson BM: Phosphate levels soon after starting hemodialysis (HD): Association with mortality among participants in the dialysis outcomes and practice patterns study. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
- Chen JB, Chiang SS, Chen HC, Obayashi S, Nagasawa M, Hexham JM, Balfour A, Cretin N, Akiba T, and Fukagawa M: SBR759, a novel phosphate binder, is superior to severamer HCl in controlling hyperphosphatemia in asian patients on hemodialysis. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
- Otsubo S, Yajima E, Ishihara M, Naito M, Kimata N, Uchida K, Akiba T, and Nitta K: Improvement of anemia after cinacalcet therapy for secondary hyperparathyroidism in hemodialysis patients. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
- Pisoni RL, Bieber B, Morgenstern H, Gillespie B, Gillespie B, Akiba T, Kleophas W, Kerr P, Depner T, Mendelssohn D, Robinson B, Saran R, and Port FK: Achievement of  $KT/V > 1.2$ : Trends and associated practices & outcomes from the international dialysis outcomes and practice patterns study. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
- Isawa Y, Otsubo S, Yajima E, Kimata N, Akiba T, and Nitta K: Intracranial artery calcification in hemodialysis patients. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association

- (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
- Tsuruta Y, Nitta K, Akizawa T, Fukuhara S, Tong L, Robinson BM, Pisoni RL, and Akiba T: Allopurinol and all-cause mortality among hemodialysis (HD) patients (PTS): Results from the dialysis outcomes and practice patterns study(DOPPS) in Japan. XLVIII Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association (ERA-EDTA), June 25-28, 2010.
  - Akiba T: The Guidelines for the Prevention of In-hospital Infection of Viral Hepatitis C in Dialysis Patients. Bit's 1st World Congress of Virus and Infections 2010, Aug. 2, 2010.
  - Yamamoto K, Eguchi K, Takagi M, Kaneko I, Akiba T, Sakai K, Mineshima M: Preliminary Study on Protein-bound Toxin Removal by Dilution and pH Change Methods. 32nd Annual Dialysis Conference, Feb. 2012.
  - Okano K, Iwasaki T, Jinnai H, Hibi A, Miwa N, Kimata N, Nitta K, Akiba T: IL-13 has an inhibitory effect on type I collagen expression by suppression of smad3 activities in TGF-beta1-stimulated renal tubuloe epithelial cells. 49th ERA-EDTA Congress, May 26, 2012.
  - Abe T, Suzuki S, Aoki H, Tomizawa Y, Akiba T: Evaluation of the Usability of Dialysis Machines by Measuring Eye Movement. 58th Annual Meeting of American Society for Artificial Organs, June 15, 2012.
  - Inoue T, Okano K, Tsuruta Y, Tsuchiya K, Tsuruta Y, Akiba T, Nitta K: Eicosapentaenoic acid (EPA) is an independent predictor of all-cause mortality in hemodialysis patients. ERA-EDTA2013, May 19, 2013.
  - Okano K, Yamashita T, Tsuruta Y, Hibi A, Miwa N, Kimata N, Tsuchiya K, Nitta K, Akiba T: Serum levels of osteocalcin are associated with cerebral and cardiac vascular diseases in hemodialysis patients. ERA-EDTA2013, May 20, 2013.
  - Otsubo S, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K: Relationship between N-terminal pro-brain natriuretic peptide (NT-proBNP) and mortality in hemodialysis patients. ERA-EDTA2013, May 20, 2013.
  - Tsuchiya K, Shiohira S, Sugiura H, Suzuki M, Okano K, Nitta K: Functional roles of Klotho in the process of renal fibrosis assessed in the cultured renal epithelial and fibroblast cells. ERA-EDTA2013, May 20, 2013.
  - Abe T, Suzuki S, Akiba T, Mineshima M, Murakami J, Miyamoto A: Improvement of work manual for blood purification using gaze point information. 31st Annual Meeting of the International Society of Blood Purification, Sep. 14, 2013.
  - Tsuchiya K, Shiohira S, Nishida M, Okano K, Sugiura H, Nitta K: Biological Properties of Klotho in the Anti-Fibrotic Process and Establishment of Cell Integrity in Coordination with Cell Signaling Pathway / Translocation of Membrane Transporters. ASN2013, Nov. 8, 2013.
  - Abe T, Ishimori I, Murakami J, Mineshima M, Kimata N, Akiba T: Comparison of biocompatibility between the two polysulfone dialyzers on change of white corpuscles, blood platelets, and a related factor. 7th Congress of the International Society for Hemodialysis. April 25, 2014.
  - Abe T, Yamamoto K, Ishimori I, Eguchi K, Murakami J, Mineshima M, Akiba T: Solute Removal Characteristics of Hemodiafilter under Back-filtration Conditions. 51st ERA-EDTA Congress, June 2, 2014.
  - Yamamoto K, Eguchi K, Hirakawa S, Murakami J, Akiba T, Mineshima M: Preliminary study of albumin leakage quantification by spent dialysis fluid monitoring technique. 51st ERA-EDTA Congress, June 2, 2014.
  - Yamamoto K, Eguchi K, Akiba T, Mineshima M: Fundamental study on the estimation of albumin leakage by spent dialysis fluid monitoring technique. 35th Annual Dialysis Conference, Feb. 2, 2015.
  - Tanaka Y, Okano K, Tsuchiya K, Yamamoto M, Akiba T, Nitta K: Polymyxin B hemoperfusion therapy improves hemodynamic status in septic patients not only with gram-negative but with non-gram-negative bacteria. 52nd ERA-EDTA Congress, May 30, 2015.

## 国内学会発表 (筆頭演者)

- 秋葉隆, 杉浦克明, 加登康洋, 武内重五郎, 渋谷均: 胃十二指腸動脈瘤および脾動脈瘤を伴った肝硬変症の1例. 第263回内科学会関東地方会, 1976年2月14日.
- 秋葉隆, 小松文夫, 三輪俊博, 松田美枝子, 阿部恒夫, 武内重五郎: ITPとして経過観察中Sjogren症候群が発見された1例. 第264回内科学会関東地方会, 1976年3月13日.
- 秋葉隆, 佐々木成, 松井則明, 東海林隆男, 三浦導太郎, 坂本龍, 笹岡拓男, 小泉精策, 金山正明: 風疹ウイルスによるとおもわれる肺炎を経過した劇症肝炎の1例. 第268回内科学会関東地方会, 1976年9月11日.
- 秋葉隆, 佐々木成, 岩本均, 末永松彦, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 竹下公夫, 工藤克悦, 土屋正光, 青木秀希, 井上篤: 長期透析患者にみられた大腿骨頭無腐性壊死の1例. 第7回日本腎臓学会東部部会, 1977年5月20日.
- 秋葉隆, 高木達治: 15) 先天性冠状動脈低形成による心筋症 (虚血性Cardiomyopathy) —心内膜肥厚を伴なう特異な心筋線維症—. 第84回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1977年6月.
- 秋葉隆, 岩本均, 佐々木成, 鰐坂隆一, 末永松彦, 家坂義人, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: 僧帽弁狭窄症の1症例の透析経験. 第19回人工透析研究会, 1977年6月26日.
- 秋葉隆, 湊志仁, 寺岡次郎, 鳥田良典, 笹岡拓男, 金山正明, 三戸康義, 尾崎行雄, 中川成之輔, 武内重五郎: 高度の低ナトリウム血症を呈した非ケトン性高浸透圧性糖尿病の3例. 第278回内科学会関東地方会, 1977年10月8日.
- 秋葉隆, 末永松彦, 松井則明, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 東海林隆男, 坂本龍, 笹岡拓男, 金山正明, 湊志仁, 寺岡次郎, 鳥田良典: 急性肝不全の2例の活性炭吸着療法の検討. 第2回急性肝不全治療談話会, 1977年11月18日.
- 秋葉隆, 末永末彦, 藤崎三郎, 松井則明, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 佐々木成, 寺岡次郎, 岩本均, 井上篤, 笹岡拓男: Regular hemofiltration therapyを施行した慢性腎不全8例の臨床的検討. 第8回日本腎臓学会東部部会, 1978年5月20日.
- 秋葉隆, 中川成之輔: ワークショップ Hemofiltrationの臨床的意義. 第21回人工透析研究会, 1978年7月2日.
- 秋葉隆, 末永松彦, 松井則明, 中川成之輔, 武内重五郎, 中林宣男: 各種濾過型人工腎用濾過膜の性能に関する研究. 第16回日本人工臓器学会, 1978年9月13日.
- 秋葉隆, 藤崎三郎, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 寺岡次郎, 岩本均, 井上篤, 笹岡拓男: 濾過型人工腎に関する研究 (第3報). 第16回日本人工臓器学会, 1978年9月13日.
- 秋葉隆, 篠田俊雄, 寺岡次郎, 笹岡拓男, 岩本均, 井上篤, 稲田俊雄, 福留裕一郎, 藤崎三郎, 末永末彦, 松井則明, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: Regular hemofiltration therapyの長期臨床効果. 第21回日本腎臓学会総会, 1978年11月16日.
- 秋葉隆, 青沼和隆, 家坂義人, 中川成之輔, 武内重五郎, 青木望, 寺岡次郎, 藤原秀臣: Adams Stokes発作を呈した原発性アミロイドーシスによる腎不全の1例. 第9回日本腎臓学会東部部会, 1979年.
- 秋葉隆, 福留裕一郎, 松井則明, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 小笠原陽: 慢性腎不全の副甲状腺ホルモンにたいするシメチジンの効果. 第11回日本腎臓学会東部部会, 1980年.
- 秋葉隆, 小関千寿子, 酒井文徳, 堀内登, 須永進, 須田立雄: ほ乳類の腎に於ける25-OH-D3-1 $\alpha$ 水酸化酵素のネフロン内局在. 第14回骨代謝研究会, 1980年7月25日.
- 秋葉隆, 小関千寿子, 酒井文徳, 堀内登, 須永進, 須田立雄: ほ乳類の腎に於ける25-OH-D3-1 $\alpha$ 水酸化酵素のネフロン内局在. 第53回日本内分泌学会総会, 1981年5月24日.
- 秋葉隆, 石田雄二, 末永松彦, 三宅祥三, 篠田俊雄, 福留裕一郎, 松井則明, 中川成之輔, 武内重五郎: シメチジンの腎不全患者の下垂体機能への影響. 第24回日本腎臓学会, 1981年10月29日.
- 秋葉隆, 末永松彦, 石田雄二, 田中雄一郎, 吉沢正文, 白井隆則, 江畑明, 浮田恒夫, 新田政夫, 鰐坂隆一, 仲山杜人, 間栄, 植木美正, 三宅祥三, 神谷敬三, 塩谷禎, 荒木威: 急性薬物中毒の治療における活性炭直接灌流法の意義. 第17回日本赤十字社医学会, 1981年11月30日.
- 秋葉隆, 石田雄二, 末永松彦, 三宅祥三, 福留裕一郎, 松井則明, 中川成之輔, 椎貝達夫, 武内重五郎: 急性腎不



全患者のカルシウム代謝異常—高カルシウム血症を呈した症例を中心として. 第25回日本腎臓学会, 1982年11月19日.

- 秋葉隆, 江畑明, 石田雄二, 末永松彦, 三宅祥三: 急性腎不全をきたした上腸管膜動脈性十二指腸閉塞症の1例. 第13回日本腎臓学会東部部会, 1983年5月21日.
- 秋葉隆: 特別講演 CAPDの現況. 三多摩腎疾患治療医会第6回研究会, 1983年5月8日.
- 秋葉隆, 石田雄二, 馬場操, 三宅祥三, 篠田俊雄, 小倉美津雄, 末永松彦, 中川成之輔: CAPD療法におけるカルシウム出納の検討. 第28回透析研究会, 1983年7月9日.
- 秋葉隆, 佐々木成, 岩本均, 末永松彦, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: 長期透析患者にみられた大腿骨頭無腐性壊死の1例. 第28回透析研究会, 1983年7月9日.
- 秋葉隆, 石田雄二, 馬場操, 三宅祥三: 急性尿細管壊死の回復期におけるカルシウム, リン代謝. 第26回日本腎臓学会, 1983年10月28日.
- 秋葉隆, 馬場操, 石田雄二, 末永松彦, 三宅祥三: シンポジウム CAPDの問題点—透析量の決定に関する検討. 第29回透析研究会, 1984年7月14日.
- 秋葉隆, 前川清, 石田雄二, 馬場操, 三宅祥三: 当院におけるCAPD5年間の経験. 第20回日本赤十字社医学会, 1984年11月6日.
- 秋葉隆, 前川清, 石田雄二, 馬場操, 三宅祥三, 中川成之輔: CAPDにおける透析液排液後の残液量の測定とその透析効率に対する影響. 第27回日本腎臓学会, 1984年11月15日.
- 秋葉隆, Warnock DG: 代謝性アシドーシスおよびアルカローシスにおける家兎腎近位尿細管のNa/HCO<sub>3</sub>共輸送系とNa/H逆輸送系の調節. 第29回日本腎臓学会, 1986年11月13日.
- 秋葉隆, 吉山直樹, 武内重五郎: シンポジウム CAPD 短時間透析への問題点. 第32回日本透析療法学会総会, 1987年7月11日.
- 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦: 腎皮質刷子縁小胞のNa/H交換輸送体に対する酸血症の影響—糖質コルチコイドの関与. 第30回日本腎臓学会総会, 1987年10月31日.
- 秋葉隆, 谷口興一: シンポジウム 循環不全からみた心不全の病態と重症度 7. 腎循環からみた心不全の病態と重症度. 第52回日本循環器学会学術集会, 1988年5月12日.
- 秋葉隆, 吉山直樹, 丸茂文昭, 河辺満彦, 栗原怜, 米島秀夫: クエン酸カルシウムのりん吸着薬としての有用性—炭酸カルシウムとの比較. 第6回日本骨代謝学会, 1988年8月1日.
- 秋葉隆, 後藤健, 芝本隆, 飯野靖彦, 吉山直樹, 丸茂文昭, 名倉賢治: 高速液体クロマトグラフィーを用いたデキストランの分子量別クリアランス曲線—透析器のIN VIVO 評価法として. 第26回日本人工臓器学会大会, 1988年9月8日.
- 秋葉隆, 伊東春樹: ワークショップ エリスロポイエチン—腎不全治療体系におけるその意義. 第31回日本腎臓学会総会, 1988年10月13日.
- 秋葉隆, 伊東春樹, 富田公夫, 谷口興一, 丸茂文昭, 栗原怜, 加藤仁志, 米島秀夫: エリスロポイエチン (EPO) の循環動態に対する影響. 第86回日本内科学会講演会, 1989年4月1日.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: 家兎腎近位尿細管のNa/H交換輸送体活性の調節における糖質コルチコイドの関与. 第66回日本生理学会大会, 1989年4月7日.
- 秋葉隆, 安藤亮一, 千田佳子, 栗山廉二郎, 丸茂文昭: 1,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>大量間歇投与による二次性副甲状腺機能亢進症の治療. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日.
- 秋葉隆, 栗原怜, 河辺満彦, 米島秀夫, 丸茂文昭: 慢性血液透析患者における外因性エリスロポイエチンの血中動態. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日.
- 秋葉隆, 桑原道雄, 丸茂文昭, 栗原怜, 河辺満彦, 鈴木隆雄, 米島秀夫: 慢性腎不全患者の骨塩量の評価—dual x-ray absorptiometryによる測定. 第7回日本骨代謝学会, 1989年7月27日.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: シンポジウム 活性型ビタミンD治療の再検討. 活性型ビタミンD<sub>3</sub>大量間歇投与法は副甲状腺の縮小と骨症の改善をもたらすか. 第8回腎と骨代謝研究会, 1989年10月9日.
- 秋葉隆, 安藤亮一, 千田佳子, 栗山廉二郎, 小野重五郎, 星野正信, 丸茂文昭: 1,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>大量間歇

- 投与によるPTH分泌抑制と副甲状腺腫大の改善. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-11日, 口演
- 秋葉隆, 丸茂文昭: 家兎腎近位尿細管のHa/H交換輸送体活性の調節における糖質コルチコイドの関与. 第66回日本生理学会大会, 1989年4月5-7日.
- 秋葉隆, 潮山健一, 安藤亮一, 栗山廉二郎, 千田佳子, 小野重五郎, 星野正信, 丸茂文昭: 1,25-dihydroxyvitamin D3大量間歇投与による慢性腎不全に合併する副甲状腺機能亢進症の治療. 第87回日本内科学会講演会, 1990年4月6日.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: シンポジウム 腎性骨症 Pathogenesis, prevention, and treatment. ビタミンDパルス療法. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日.
- 秋葉隆, 坂本尚登, 桑原道雄, 丸茂文昭, 竹内正至, 栗原怜, 米島秀夫: ポスターフォーラム 腎性副甲状腺機能亢進症にたいする1 $\alpha$ 水酸化ビタミンD3大量間歇経口投与の意義. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日.
- 秋葉隆, 平田結喜雄, 丸茂文昭, 小笠原陽: エリスロポイエチン投与時の透析患者の血漿エンドセリン濃度の変化. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日.
- 秋葉隆: 特別講演 Vit.D パルス療法. 三多摩腎疾患治療医会第20回研究会 (10周年記念), 1990年9月16日.
- 秋葉隆, 立花健, 潮山健一, 安藤亮一, 栗山廉二郎, 千田佳子, 富田公夫, 富樫和美, 丸茂文昭: 腎不全の副甲状腺ホルモン代謝—各種の放射免疫法による評価. 第9回腎と骨代謝研究会, 1990年.
- 秋葉隆: シンポジウム Parathyroidectomy-pros and cons 4. 内科的副甲状腺機能亢進症の治療. 第2回腎とビタミンD研究会, 1991年2月16日.
- 秋葉隆, 坂本尚登, 丸茂文昭, 富樫和美, 長谷川宏, 川上正也: 1p59 ヒト血中Brain natriuretic peptide (BNP) 活性. 第68回日本生理学会大会, 1991年3月27日.
- 秋葉隆, 立花健, 富樫和美, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: 慢性腎不全患者における血漿brain natriuretic peptideの意義. 第88回日本内科学会講演会, 1991年4月3日, 口演
- 秋葉隆: PTHとROD 続発性副甲状腺機能亢進症における経口1,25(OH)<sub>2</sub>D<sub>3</sub>パルス療法の効果. Yamasa Workshop '90, 1991年7月.
- 秋葉隆, 丸茂文昭: ワークショップ エリスロポイエチン投与と血管内皮障害. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日.
- 秋葉隆: 統計調査検討会 2. 原疾患・死因について. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日.
- 秋葉隆, 芝本隆, 前田益孝, 坂本尚登, 富田公夫, 大島博幸, 丸茂文昭: 新しい合成蛋白分解酵素阻害薬 4-sulfamoyl phenyl-4-guandinobenzoate methanesulfonateの血液透析の抗凝固薬としての有用性. 第23回日本人工臓器学会大会, 1991年9月20-21日.
- 秋葉隆, 岩科将虎, 藤崎裕幸, 江口暁, 立花健, 桑原道雄, 佐々木成, 富田公夫, 平田結喜雄, 丸茂文昭, 江淵正和: 原発性副甲状腺腫における副甲状腺ホルモン分泌調節. 第10回腎と骨代謝研究会, 1991年10月5日.
- 秋葉隆, 立花健, 坂本尚登, 桑原道雄, 富田公夫, 丸茂文昭, 栗原怜, 米島秀夫: 長期透析患者の腎性骨症にたいするビタミンK2の効果. 第34回日本腎臓学会総会, 1991年11月7-9日, 示説
- 秋葉隆: ワークショップ 慢性腎不全患者の脂質代謝異常とヘパリンの関与. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992年5月26-27日.
- 秋葉隆: シンポジウム 各病態下における微量元素の動態—腎疾患における微量元素の動態. 第3回日本微量元素学会, 1992年6月23-24日.
- 秋葉隆, 小沢潔, 松田治: ワークショップ 長期CAPD患者にみられる腹膜機能の変化と動脈硬化の関与. 第37回日本透析療法学会総会, 1992年7月4-5日.
- 秋葉隆: ワークショップ 統計調査'92国際比較. 第37回日本透析療法学会総会, 1992年7月4-5日.
- 秋葉隆, 小沢潔, 松田治: ワークショップ 長期CAPD患者にみられる腹膜機能の変化と動脈硬化の関与. 第37回日本透析療法学会総会, 1992年7月4-5日.
- 秋葉隆, 田村禎一, 立花健, 丸茂文昭: 血液透析患者の高レムナント蛋白血症にたいする低分子量ヘパリンの効果. 第35回日本腎臓学会総会, 1992年12月4-6日, 示説
- 秋葉隆, 高本隆, 関谷透, 星野正信, 丸茂文昭: 国際ワークショップ 血液透析患者の冠動脈石灰化. Dialysis

Update '93, 1993年2月12-13日.

- 秋葉隆, 星野正信, 関谷透: ワークショップ 血液透析・CAPD・移植患者の心合併症からみた末期腎不全治療法の評価. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日.
- 秋葉隆, 李静平, 星野正信, 下田研二, 寺元民雄, 丸茂文昭: 慢性透析患者の脂質にたいする低分子量ヘパリン長期投与の影響. 第36回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 口演
- 秋葉隆, 芝本隆: パネルディスカッション 先端医療における臨床工学技士の現状と将来 2. 血液浄化業務における臨床工学技士の業務と将来. 第69回日本医科器械学会総会, 1994年5月19-20日.
- 秋葉隆, 栗原怜, 越川昭三: シンポジウム 腎性骨異常栄養症の診断と治療 副甲状腺機能亢進症に対する1,25水酸化ビタミンD<sub>3</sub>静注の効果. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日.
- 秋葉隆, 篠田俊雄: コンセンサスカンファランス ハイパフォーマンス透析器の除去性能. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日.
- 秋葉隆, 田村博之, 田村禎一, 松井則明, 千田佳子, 栗原怜, 下田研二, 星野正信, 丸茂文昭: HCV抗体陽性の慢性血液透析患者における肝細胞増殖因子血清濃度の意義. 第37回日本腎臓学会総会学術総会, 1994年12月16-18日, 口演
- 秋葉隆: 特別講演 災害時の透析医療. 三多摩腎疾患治療医会第29回研究会, 1995年6月11日.
- 秋葉隆, 田村禎一, 田村博之, 李静平, 松井則明, 大和田章, 栗原怜, 星野正信, 小笠原陽, 千田佳子, 中村義弘, 山田典生, 西尾康英, 丸茂文昭: 慢性血液透析患者における副甲状腺機能低下症の頻度と病態—骨塩量の検討. 第38回日本腎臓学会総会, 1995年11月26-28日.
- 秋葉隆, 田村博之, 田村禎一, 栗原怜, 安藤亮一, 千田佳子, 大和田章, 石田雄二, 井上篤, 丸茂文昭: 慢性血液透析患者の副甲状腺機能亢進症にたいするflucalcitriol (ST-630) の効果—1 $\alpha$ (OH)D<sub>3</sub>を対照薬とした長期試験. 第39回日本腎臓学会総会, 1996年5月30日-6月1日.
- 秋葉隆, 安藤亮一, 千田佳子, 栗原怜, 瓶子昌幸, 田沢浩光, 田村博之, 田村禎一, 丸茂文昭: 慢性血液透析患者の骨塩量を決定する因子—ビタミンD受容体遺伝子多型の影響. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
- 秋葉隆, 吉川直哉, 佐野直人, 芝本隆, 田村博之, 田村禎一, 丸茂文昭: Polysulphone膜透析器の溶出物—透析器洗浄液への溶出に関する研究. 第34回日本人工臓器学会, 1996年10月3日.
- 秋葉隆: 透析医療におけるConsensus Conference '95 二次性副甲状腺機能亢進症に対する保存的治療の限界と手術適応. 第8回日本透析医会シンポジウム, 1996年11月19日.
- Akiba T, Ando R, Kurihara S, Heishi M, Tazawa H, Marumo F: IS THE BONE MASS OF HEMODIALYSIS PATIENTS GENETICALLY DETERMINED? 第3回尿毒素シンポジウム 1997年4月11日, 口演
- 秋葉隆, 田村博之, 羽田俊彦, 下田研二, 星野正信, 中目祐幸, 丸茂文昭: 慢性腎不全におけるIRMA法による新しい副甲状腺ホルモン測定キット (intact PTH IRMA 「ミツビシ」) の臨床的検討. 第40回日本腎臓学会総会, 1997年5月15日.
- Akiba T, Tamura H, Hata T, Kurihara S, Ando R, Chida C, Owada A, Ishida Y, Inoue A, Marumo F, Ohashi Y and ST-630 Research Group, Japan, Sydney Australia: Falcacitriol (fc), but not alfalcidol (ac), suppresses secondary hyperparathyroidism in hemodialysis (hd) patients (pts) —A well-controlled crossover study. 国際腎臓学会, 1997年5月27日, 示説
- 秋葉隆: ランチョンセミナー 透析患者の高リン血症とその対策. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー エリスロポエチンの臨床使用の実際. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 秋葉隆, 高元俊彦, 広江道昭, 矢島隆司, 中村義弘, 篠田俊雄, 井田隆, 東海林隆男, 椎貝達夫, 丸茂文昭: 透析導入前慢性腎不全の心機能に与えるエリスロポエチン投与の効果. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998年5月11-12日, 口演
- 秋葉隆, 伊本雅之, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭: 骨粗鬆症診断における尿中クロスラップスの意義. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998年5月11-12日, 口演

- 秋葉隆, 伊木雅之, 西野治身, 松本俊夫, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭 for JPOS Study Group: 日本人女性における骨代謝マーカーの年齢, 閉経, 骨密度との関連—JPOS Study—. 日本骨粗鬆症学会, 2000年.
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 福原俊一, 斎藤明, 黒川清, 丸茂文昭: Japan dialysis outcome & practice study (J-DOPPS) の標本抽出の妥当性とデータ信頼性に関する検討. 第43回日本腎臓学会学術総会, 2000年.
- 秋葉隆: ワークショップ 今後の統計調査の在り方. 第43回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日.
- 秋葉隆: ワークショップ 消えゆくマーカー. 第43回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日.
- 秋葉隆, 丸茂文昭, 山崎親雄, 関野宏, 大平整爾, 岸本武利, 藤見惺, 大澤源吾, Philip H: 欧州・米国・日本の血液透析患者におけるC型ウイルス肝炎感染の現況と解析—DOPPS研究より. 第44回日本腎臓学会学術総会, 2001年5月27-29日, 示説
- 秋葉隆, 重松隆: ランチョンセミナー 新しい二次性副甲状腺機能亢進症に対する治療の実際. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日.
- 秋葉隆, 黒川清, 丸茂文昭, 山崎親雄, 関野宏, 大平整爾, 岸本武利, 藤見惺, 大澤源吾, Philip H: 世界7カ国の透析処方と透析量—DOPPS研究より. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演
- 秋葉隆: 医療保険政策から考えるPDファースト・PDラスト. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年11月10-11日.
- 秋葉隆, 齋藤まどか, 土谷健: 鉄剤投与方法について. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 秋葉隆, 峰島三千男, 金子岩和: 上手に付き合えるコンピューターシステムとは—近未来的および夢を交えて—. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 秋葉隆, 大平整爾, 関野宏, 山崎親雄, 岸本武利, 榎野博史, 大澤源吾, 藤見惺, 浅野泰, 丸茂文昭, Phillip H: 高齢血液透析患者の治療内容と転帰の関連. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演
- 秋葉隆, 太田和夫: 無菌接合装置「むきんエース」の接合習得時間と腹膜炎発症率. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演
- 秋葉隆, 山崎親雄, 大平整爾, 関野宏, 浅野泰, 黒川清, Port FK: 透析液処方が透析患者の転帰に与える影響—DOPPS調査から. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演
- 秋葉隆, 大平整爾, 関野宏, 山崎親雄, 黒川清, 丸茂文昭, Held JP: カルシウム・リン関連治療が血液透析患者のヘモグロビン濃度 (Hb) に与える影響—DOPPS調査による. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 秋葉隆, 平方秀樹: シンポジウム 透析者の死因の検証—心・血管障害—. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 秋葉隆: シンポジウム 腎疾患—検診から移植まで 4) 透析療法. 第101回日本内科学会講演会, 2004年4月10日.
- 秋葉隆, 斎藤明, 榎野博史, 藤見惺, 山崎親雄, 浅野泰, Young EW: 透析患者における末梢血管病変 (PVD) の予測因子と予後について—DOPPS調査より. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演
- 秋葉隆, 丸茂文昭, 大平整爾, 榎野博史, 藤見惺, 黒川清, Young EW: 血液透析患者における心房細動の予測因子と予後について—DOPPS調査より. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演
- 秋葉隆: イブニングセミナー 各国の貧血治療のガイドラインについて. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.
- 秋葉隆: シンポジウム 現代分析と次世代統計調査への提言. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー PD+HD併用療法の確立を目指して 1. OVER VIEW. 第10回日本腹膜透析研究会, 2004年9月18-19日.
- 秋葉隆, 佐藤朱美, 新田孝作: パネルディスカッション 慢性透析症例の冠疾患治療研究について 慢性透析患者における動脈石灰化は非可逆的か. 第42回日本人工臓器学会, 2004年10月5-7日.
- 秋葉隆: 教育講演 腎不全患者のカルシウム・リン・ビタミンD代謝異常治療のターゲット. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日.
- 秋葉隆: 大会長講演 医工学治療と院内感染. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.

- Akiba T: 合同シンポジウム Cardiovascular Risk, Comorbidities, and Mortalities in Japanese and World Dialysis Patients. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー 透析患者におけるC型肝炎の現状と問題点. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日.
- 秋葉隆, 福原俊一, 山崎親雄, 大平整爾, 楨野博史, 黒川清, Port FK: 血液透析患者の心血管・末梢動脈疾患の新規発症に対する鉍質代謝の影響～DOPPS研究から～. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演
- 秋葉隆, 斎藤明, 岸本武利, 藤見惺, 関野宏, 黒川清, Saran R: 心拍数と心血管疾患による予後との関連. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演
- 秋葉隆: 教育講演 急性血液浄化治療と院内感染. 第16回日本急性血液浄化学会学術集会, 2005年9月16-17日.
- 秋葉隆: 合同ワークショップ 透析患者のHCV感染について 透析施設院内感染としてのHCV感染症—その成因と予防. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日.
- 秋葉隆, 木全直樹: ワークショップ 腎不全における心血管系合併症—DOPPS研究から. 第35回日本腎臓学会西部学術大会, 2005年9月30日-10月1日.
- 秋葉隆: 特別企画「日本の腹膜透析研究会10年の歩みと将来の夢を語る」第2回腹膜透析研究会を回想して. 第11回日本腹膜透析研究会, 2005年10月29-30日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー 血液浄化療法—HDFとAFBの課題と展望—. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆: 統計調査からみた骨代謝マーカーガイドラインの設定値. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆: 『腎性貧血治療ガイドライン作成を巡って』—「2004年版慢性血液透析患者における腎性貧血治療ガイドライン」の影響. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆, 関野宏, 山崎親雄, 大平整爾, 黒川清, Ramirex SPB: カルシフィラクシスの既往を持つ血液透析患者の特徴と予後～DOPPS調査から. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆, 福原俊一, 山崎親雄, 関野宏, 藤見惺, 黒川清, Young EW: 血液透析患者における血清リン値 (P)・カルシウム値 (Ca) 相互の管理と予後因子～DOPPS調査から. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 内田英二, 塚本雄介, 越川昭三, KRN1493研究会: 維持血液透析 (HD) 施行中の二次性副甲状腺機能亢進症 (2° HPT) 患者に対するKRN1493 (シナカルセト塩酸塩) のランダム二重盲検用量設定試験. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- 秋葉隆: 教育講演 透析とC型肝炎ウイルス肝炎感染. 第33回東北腎不全研究会, 2006年9月2-3日.
- 秋葉隆: シンポジウム Critical care nephrology の薦め 透析医学とCritical care nephrologyの関わり. 第17回日本急性血液浄化学会学術集会, 2006年10月6-7日.
- 秋葉隆: 教育講演 腎不全患者のビタミンD代謝異常. 第36回日本腎臓学会東部学術大会, 2006年11月3-4日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー 腎性貧血治療のゴール. 第27回日本アフェレシス学会学術大会, 2007年3月2-3日.
- 秋葉隆: 「2004年版慢性血液透析患者における腎性貧血治療ガイドライン」の現状と問題点. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日.
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 山崎親雄, 藤見惺, 岸本武利, Port FK: スタチン使用と敗血症のリスク～DOPPS調査より. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演
- 秋葉隆, 福原俊一, 岸本武利, 大平整爾, 藤見惺, Port FK: 心不全は透析患者において一般的な疾患であり, 生命予後や入院と強く関連がある～DOPPS調査より. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演
- 秋葉隆: 教育講演 DOPPSによる血液透析の評価. 第37回日本腎臓学会東部学術大会, 2007年10月5-6日.
- 秋葉隆: 教育講演 急性血液浄化法における感染対策. 第18回日本急性血液浄化学会学術集会, 2007年10月5-6日.

- 秋葉隆：基調講演 わが国の腹膜透析の現状と未来. 第13回日本腹膜透析研究会大会, 2007年11月24-25日.
- 秋葉隆：教育講演 血液浄化における院内感染予防. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日.
- 秋葉隆：学会・委員会企画セッション 統計調査委員会現況報告 透析患者における腎性貧血治療の現況と課題. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 秋葉隆：イブニングセミナー 透析医療における最新の話 透析患者のC型肝炎. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 秋葉隆：学会・委員会企画セッション 腎性貧血治療ガイドラインの概要 血液透析患者における腎性貧血治療ガイドラインの改定. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 秋葉隆, 斎藤明, 大平整爾, 榎野博史, 浅野泰, Pisoni R: DOPPS調査における下肢静止不能症候群 (RLS). 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演
- 秋葉隆, 榎野博史, 岸本武利, 浅野泰, Saran R: レニンアンジオテンシンアルドステロン系 (RAAS) 阻害薬と高カリウム血症～DOPPSより～. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演
- 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 政金生人, 友雅司, 川崎忠行, 西沢良記: 委員会報告 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準2008. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 秋葉隆: HD (合併症) 2 オーバービュー HDのミネラル・骨合併症. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー カーボスター導入で何が変わったか. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日.
- 秋葉隆: シンポジウム 透析医療における院内感染予防マニュアル. 第24回日本環境感染学会総会, 2009年2月27-28日.
- 秋葉隆: 基調講演 血液浄化と院内感染. 日本医工学治療学会第25回学術大会, 2009年4月10-12日.
- 秋葉隆: 特別講演 血液浄化療法の未来と臨床工学への期待. 第36回日本血液浄化技術学会, 2009年4月18-19日.
- 秋葉隆: 特別講演 透析患者のC型肝炎. 第23回鹿児島県透析医会総会, 2009年5月16日.
- 秋葉隆: 教育講演 透析施設における院内感染の現状とその予防法. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 秋葉隆: シンポジウム ヘモグロビンサイクリングの意義～生命予後への影響はあるのか. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 秋葉隆: シンポジウム 透析医療における取り組みの現状～東京都区部災害時透析医療ネットワーク. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 秋葉隆, 斎藤明, 関野宏, 岸本武利, 黒川清, Rajiv S: 週3回血液透析の透析曜日と生命予後との関連～DOPPSより～. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演
- 秋葉隆, 斎藤明, 秋澤忠男, 藤見惺, 黒川清, Pisoni R: リン吸着薬 (PB), ビタミンD (VD) 及びシナカルセト (Cin) 使用傾向の国際比較～DOPPSより～. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 秋葉隆: シンポジウム 新しいリン吸収低下薬炭酸ランタンの今後. 第20回日本微量元素学会, 2009年7月2-3日.
- 秋葉隆: ランチョンセミナー 腎性貧血治療最近の話題. 第39回日本腎臓学会西部学術大会, 2009年10月16-17日.
- 秋葉隆: 教育講演 透析室におけるウイルス対策. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日.
- 秋葉隆: 透析施設における新型インフルエンザ対策. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演
- 秋葉隆, 井廻道夫, 佐藤千史, 田中榮司: C型肝炎ガイドライン 透析患者におけるC型肝炎診療ガイドライン 透析施設での感染対策. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演
- 秋葉隆, 斎藤明, 関野宏, 岸本武利, 黒川清, Pisoni R: HD患者のリン吸着薬 (PB) 使用と生命予後 栄養状態との関連性 DOPPS調査より. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演
- 秋葉隆, 秋澤忠男, 斎藤明, 下条文武, JET Study Group: 血液透析患者のEPO低反応例の実態～JET Studyから～. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日.
- 秋葉隆: 分かりやすい血液浄化セミナー 21. 第21回日本急性血液浄化学会学術集会, 2010年10月23-24日.

- 秋葉隆：特別講演 腎不全（透析）患者の感染症対策. 第4回日本腎と薬剤研究会学術大会2010, 2010年10月.
- 秋葉隆：透析患者のC型ウイルス肝炎. 2010年12月.
- 秋葉隆：ウイルス性肝炎の話題（GL, 診断・治療, 肝癌）. 日本透析医会研修セミナー, 2011年3月6日.
- 秋葉隆, 飯野靖彦：緊急企画 東日本大震災と透析医療：支援地からの報告. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 秋葉隆：学会・委員会企画 我が国のCKDステージ5の実情と今後の対策～本企画の目的. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 秋葉隆, 田村禎一, 鎌田貢壽, 水口潤, 松井則明：腎不全患者を対象としたOPF-102の臨床試験（第Ⅲ相）～より安全な経静脈的リン補給に向けて～. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 秋葉隆：シンポジウム 国際比較から見た腎性貧血治療の再考. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 秋葉隆：学会・委員会企画 腎不全総合対策委員会の役割～末期腎不全患者数を明らかにすることの意義～. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日.
- 秋葉隆：日本人工臓器学会と日本透析医学会とのジョイントシンポジウム 次世代血液浄化療法. 第50回日本人工臓器学会, 2012年11月23日.
- 秋葉隆：教育講演 透析療法の現状. 第110回日本内科学会講演会, 2013年4月14日.
- 秋葉隆：学会・委員会企画 腎不全総合対策委員会の役割～末期腎不全患者数を明らかにすることの意義～. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 秋葉隆：ワークショップ 原発メルトダウンにともなう透析患者の集団避難の経験と教訓. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 秋葉隆：ランチョンセミナー 血液透析患者に対する鉄投与～我国と合衆国における鉄投与方法の違いとトレンド. 第37回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会, 2013年9月7日.
- 秋葉隆：特別講演 透析患者のC型肝炎ウイルス肝炎治療をめぐる一ガイドラインと最近のトピックス—第20回宮城肝腎研究会, 2013年9月10日.
- 秋葉隆：ワークショップ 腎臓代謝1 どんな人工腎臓が求められているのか. 第51回日本人工臓器学会大会, 2013年9月27日.
- 秋葉隆：ランチョンセミナー 腎性貧血治療～バイオシミラー EPOは透析現場に何をもちたすか～. 日本医工学治療学会第30回学術大会, 2014年3月23日.
- 秋葉隆：鉄代謝からみたクエン酸第二鉄リオナ錠250mgの上手な使い方. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日.
- 秋葉隆：腎性貧血治療の課題を考える 鉄欠乏マーカーと慢性炎症. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日.
- 秋葉隆：EL-4「『透析医療における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）』への改訂のポイント～マニュアルからガイドラインへ」. 第31回日本環境感染学会総会・学術集会, 2015年2月19日.
- 秋葉隆：腎性貧血. 日本医工学治療学会第31回学術大会, 2015年3月27-29日.
- 秋葉隆：よくわかる講座 腎性貧血. 日本医工学治療学会第31回学術大会, 2015年3月28日.
- 秋葉隆：シンポジウム 「透析医療における標準的操作と感染予防に関するガイドライン」作成の経緯・目的. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 秋葉隆：ランチョンセミナー 高リン血症治療最前線～リン管理の発展が拓く未来～2. 透析患者をクエン酸第二鉄で治療する～処方のポイントと治療戦略～. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 秋葉隆：会長講演 血漿分離器の取り違え事故の防止について. 第26回日本急性血液浄化学会学術集会, 2015年10月9-10日.

## 国内学会発表（共同演者）

- 三浦導太郎, 佐々木成, 秋葉隆, 是永正義, 富田正義, 福島純, 笹岡拓雄, 金山正明: 風疹ウイルス抗体上昇を示した肺炎2例の検討. 第32回日本胸部疾患学会関東地方会第90回日本結核病学会関東支部合同会, 1976年11月20日.
- 是永正義, 秋葉隆, 嶋瀬順二, 千田守, 宮田義彦, 三浦導太郎, 坂本龍, 稲田美保恵, 小泉精策, 金山正明, 鈴木文彦: 髄液の蛋白細胞解離を示す多発性神経炎を伴った hashitoxicosis の1例. 第272回内科学会関東地方会, 1977年2月12日.
- 中川成之輔, 末永松彦, 吉山直樹, 佐々木成, 秋葉隆, 岩本均, 武内重五郎: パネルデイスカッション 生体側からみた適正透析—透析の方法論としての中分子量の妥当性について. 第19回人工透析研究会, 1977年6月26日.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 岩本均, 佐々木成, 末永松彦, 武内重五郎, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 井上篤, 稲田俊雄, 馬場健一: 慢性腎不全患者の骨代謝異常 (第4報)—副甲状腺亜全摘の臨床的意義について. 第11回骨代謝研究会, 1977年7月8日.
- 末永松彦, 中川成之輔, 吉山直樹, 岩本均, 佐々木成, 秋葉隆, 武内重五郎, 山田多啓男: 尿毒症性末梢神経障害における五炭糖代謝阻害と吸着療法併用効果について. 第20回透析研究会, 1977年11月12日.
- 末永松彦, 松井則明, 佐々木成, 秋葉隆, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎, 東海林隆男, 金山正明: 石油ピッチ活性炭による Direct hemoperfusion の臨床例の検討. 第15回日本人工臓器学会, 1977年11月16日.
- 中川成之輔, 末永松彦, 秋葉隆, 藤崎三郎, 吉山直樹, 松井則明, 吉山直樹, 佐々木成, 武内重五郎, 中林宣男: Cuprophan-carbon hollow fiber (CCHF) の基礎的検討. 第15回日本人工臓器学会, 1977年11月16日.
- 末永松彦, 藤崎三郎, 中川成之輔, 佐々木成, 吉山直樹, 岩本均, 秋葉隆, 武内重五郎, 山田多啓男: 尿毒症血清限外ろ液の分子量別毒性分画に関する研究. 第20回日本腎臓学会総会, 1977年12月1日.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 岩本均, 佐々木成, 末永松彦, 出浦照國, 中川成之輔, 武内重五郎: 慢性腎不全患者のカルシウム代謝異常 (第3報)—高リン血症抑制療法について. 第20回日本腎臓学会総会, 1977年12月3日.
- 井上篤, 稲田俊雄, 田口又也, 寺門運隆, 馬場健一, 中川成之輔, 吉山直樹, 末永松彦, 佐々木成, 岩本均, 秋葉隆, 武内重五郎, 北岡建樹: 透析施設に集団的発生をした急性溶血性貧血の原因と対策. 第20回日本腎臓学会総会, 1977年12月3日.
- 福留裕一郎, 篠田俊雄, 秋葉隆, 松井則明, 末永松彦, 吉山直樹, 中川成之輔, 武内重五郎: 広範な髄外増殖が腎病変を修飾した多発性骨髄腫の1例. 第8回日本腎臓学会東部部会, 1978年5月21日.
- 東海林隆男, 中村義弘, 三戸康義, 仲山勲, 木嶋祥磨, 久保田智, 嘉手川裕司, 笹岡拓雄, 金山正明, 秋葉隆, 谷口興一, 林良夫, 佐藤和人, 青木望: 長期透析中突然死をきたした2症例の検討. 第8回日本腎臓学会東部部会, 1978年5月21日.
- 福留裕一郎, 小坂佳子, 仲山勲, 木嶋祥磨, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 金山正明, 秋葉隆, 末永松彦, 中川成之輔: 急性薬物中毒の活性炭吸着療法について. 第23回透析研究会, 1978年7月8日.
- 塚本雄介, 丸茂文昭, 秋葉隆, 他: Hemofiltration の血中微量元素におよぼす影響. 第23回透析研究会, 1978年7月8日.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 松井則明, 末永松彦, 中川成之輔, 武内重五郎, 岩本均, 井上篤, 馬場健一:  $1\alpha\text{-OH-D}_3$  の血液透析患者にたいする長期投与効果について. 第12回骨代謝研究会, 1978年7月28日.
- 末永松彦, 中川成之輔, 藤崎三郎, 福留裕一郎, 秋葉隆, 篠田俊雄, 松井規明, 吉山直樹, 武内重五郎: 尿毒症血清の分子量別分画毒性の検討—とくに ATP 阻害について. 第21回日本腎臓学会総会, 1978年11月16日.
- 浦田義之, 秋葉隆, 藤崎三郎, 末永松彦, 中川成之輔: 濾過型人工腎濾過膜のプロテインキー除去性能に関する研究—自動逆洗装置の試み. 第16回日本人工臓器学会, 1978年9月13日.
- 篠田俊雄, 秋葉隆, 藤崎三郎, 末永松彦, 寺岡次郎, 吉山直樹, 中川成之輔: 人工腎臓設計における糸球体機能と尿細管機能の分離—FRAK (Filtration-Reabsorption Artificial Kidney) の試み. 第16回日本人工臓器学会, 1978年9月13日.
- 末永松彦, 一瀬邦弘, 松井則明, 秋葉隆, 佐々木成, 中川成之輔, 武内重五郎, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 金山正



- 明：活性炭吸着療法の治療効果の評価—とくに肝不全の意識障害と脳波の臨床区分について。第16回日本人工臓器学会，1978年9月13日。
- 末永松彦，中川成之輔，秋葉隆，藤崎三郎，吉山直樹，武内重五郎：PMMA 膜透析器による長期透析の意義。第16回日本人工臓器学会，1978年9月13日。
  - 篠田俊雄，福留裕一郎，松井則明，末永松彦，吉山直樹，中川成之輔，武内重五郎，秋葉隆，岩本均，井上篤，稲田俊雄，寺岡次郎，東海林隆男，笹岡拓雄：パネルディスクッション 腹膜の物質移動に関する検討。第22回日本人工透析研究会，1978年12月3日。
  - 青沼和隆，高元俊彦，鰐坂隆一，丹羽明博，藤原秀臣，武内重五郎，秋葉隆，青木望：Adams Stokes 発作を呈した原発性アミロイドーシスの1例。第291回日本内科学会関東地方会，1979年3月10日。
  - 中西太一，白木正紀，鈴木裕，秋葉隆，松本和美，藤原秀臣，米村尚光，武内重五郎：視力障害を主訴としたモヤモヤ病の1例。第291回日本内科学会関東地方会，1979年3月10日。
  - 吉山直樹，篠田俊雄，秋葉隆，岩本均，松井則明，末永松彦，中川成之輔，武内重五郎，寺岡次郎：異常乳汁分泌を呈した男性の腎不全の1例。第9回日本腎臓学会東部部会，1979年。
  - 富田公夫，秋葉隆，篠原紳介，三戸康義，富田治，武内重五郎：正K性原発性アルドステロン症の1例。第9回日本腎臓学会東部部会，1979年。
  - 末永松彦，秋葉隆，中川成之輔，東海林隆男，笹岡拓雄，吉田薫，浅野泰：パラコート中毒に対する活性炭カラムによるDirect hemoperfusionの治療効果。第28回日本農村医学会総会，1979年10月12日。
  - 中川成之輔，秋葉隆：パネルシンポジウム 血液濾過法と血液透析法 3. 濾過型人工腎のデメリット。第22回日本腎臓学会，1979年11月。
  - 石田雄二，秋葉隆，末永松彦：ヘモラルベインカテーテルの使用経験。三多摩腎疾患治療医会第3回研究会，1981年9月20日。
  - 遠藤仁，アブドル マレーク，古関千寿子，秋葉隆，酒井文徳：腎ネフロンにおけるグルコース新生。第53回日本薬理学会総会，1980年3月26日。
  - 芝本隆，松井則明，中村義弘，秋葉隆，岩本均，吉山直樹，中川成之輔，根本毅志：Dialyzerの膜及び形状による血小板への影響。第25回人工透析研究会，1980年5月。
  - 松井規明，小沢潔，中村義弘，秋葉隆，吉山直樹，中川成之輔，武内重五郎：無ヘパリン透析用抗凝固薬としてのプロスタグランジンE<sub>1</sub>およびD<sub>2</sub>の有用性について。日本人工臓器学会，1980年。
  - 中村義弘，芝本隆，秋葉隆，松井規明，吉山直樹，中川成之輔，武内重五郎：Cupropane Carbon Hollow Fiber (CCHF)における物質移動に関する検討。日本人工臓器学会，1980年。
  - 芝本隆，松井則明，小沢潔，中村義弘，秋葉隆，吉山直樹，中川成之輔，根本毅志，北岡建樹：Dialyserの生体適合性示標としてのbeta-thromboglobulinに関する検討。日本人工臓器学会，1980年。
  - 松井則明，篠田俊雄，小沢潔，秋葉隆，吉山直樹，中川成之輔，武内重五郎，寺岡次郎：長期透析患者脂質代謝異常の寄与因子としてのヘパリンの役割について。第23回日本腎臓学会，1980年11月14日。
  - 巻口宏平，桜井俊一郎，福留裕一郎，秋葉隆，中川成之輔，椎貝達夫，武内重五郎：セフテゾールナトリウムによると考えられる急性間質性腎炎の1例。第312回内科学会関東地方会，1981年7月11日。
  - 篠田俊雄，小沢潔，中村義弘，福留裕一郎，秋葉隆，岩本均，松井則明，中川成之輔，武内重五郎：Continuous Ambulatory Peritoneal Dialysisにおける糖脂質代謝異常の研究。第24回日本腎臓学会，1981年10月29日。
  - 末永松彦，鰐坂隆一，浮田恒夫，篠田俊雄，石田雄二，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三，福井俊哉，福留裕一郎，椎貝達夫：Indomethacinが主因と考えられる尿細管性アシドーシス，高K血症を呈した慢性関節リウマチ，ループス腎炎の1例。第12回日本腎臓学会東部部会，1982年5月22日。
  - 石田雄二，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：外傷性気管支断裂に併発したミオグロビン尿性急性腎不全の1例。第323回内科学会関東地方会，1982年10月9日。
  - 石田雄二，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：低カリウム血症，代謝性アルカローシスを合併した慢性腎不全の1例。第14回東京臨床体液研究会，1982年10月23日。
  - 石田雄二，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：外傷性気管支破裂とrhabdomyolysisによる急性腎不全を合併した一例。

三多摩腎疾患治療医会第4回研究会，1982年5月23日。

- 石田雄二，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：ウイルス病による急性腎不全の一例。三多摩腎疾患治療医会第5回研究会，1982年11月21日。
- 館治彦，東條尚子，品田秀穂，石田雄二，江畑明，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：急性腎盂腎炎に化膿性椎間板炎を合併した1例。第324回内科学会関東地方会，1982年11月13日。
- 宮崎弘，江畑明，馬場操，杉浦克明，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：急性非A非B型肝炎の経過中に発症した再生不良性貧血の1例。第328回内科学会関東地方会，1983年5月。
- 石田雄二，馬場操，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三，戸村成男：腎機能低下の継続する急性間質性腎炎の1例。第13回日本腎臓学会東部部会，1983年5月21日。
- 江畑明，石田雄二，金尾りえ，馬場操，杉浦克明，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：Weil病による急性腎不全の1例。第13回日本腎臓学会東部部会，1983年5月21日。
- 中村義弘，三戸康義，小倉美津雄，井上篤，末永松彦，有輪六朗，中川成之輔，秋葉隆：CAPD経過中に腹膜炎を合併し死亡した1剖検例。第13回日本腎臓学会東部部会，1983年5月21日。
- 石田雄二，馬場操，秋葉隆，三宅祥三：多彩な臨床症状を呈したSLEの一例—パルス療法への反応。三多摩腎疾患治療医会第6回研究会，1983年5月8日。
- 宮崎弘，馬場操，間栄，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：肝炎—再生不良性貧血症候群に対する plasmapheresis の1治験例。プラズマフェレーシス治療研究会第3回シンポジウム，1983年6月4日。
- 城山規博，池田正行，宮崎広，石田雄二，馬場操，秋葉隆，三宅祥三，久米敏文，高橋勝三，竹村民子：血漿中，尿中，組織中ノルアドレナリン高値を示しながら高血圧を捉えられなかった褐色細胞腫の1例。第329回内科学会関東地方会，1983年6月11日。
- 馬場操，石田雄二，秋葉隆，三宅祥三，中川成之輔，椎貝達夫，武内重五郎：慢性透析患者におけるヘパリンの血漿アルドステロンへの影響。第28回透析研究会，1983年7月9日。
- 末永松彦，秋葉隆，石田雄二，馬場操，三宅祥三：慢性透析患者に併発したS状結腸穿孔の1例。第28回透析研究会，1983年7月9日。
- 小沢潔，後藤健，仲山勲，木嶋祥麿，東海林隆男，笹岡拓雄，秋葉隆，末永松彦，松井則明，中川成之輔：慢性腎不全による脂質代謝異常にたいする血液透析，血液濾過，CAPD，およびヘパリンの影響について。第28回透析研究会，1983年7月9日。
- 城山規博，池田正行，宮崎広，館治彦，石田雄二，馬場操，秋葉隆，三宅祥三：多彩な臨床症状を呈したSLEの1例。第330回内科学会関東地方会，1983年7月。
- 石田雄二，馬場操，秋葉隆，末永松彦，三宅祥三：高カルシウム血症を呈した甲状腺機能低下症の1例。第15回東京臨床体液研究会，1983年10月1日。
- 中川成之輔，太田和夫，秋葉隆，藤見悝，藤永隆，末永松彦，川口良人，平沢由平，東海林隆男，白井大祿：CAPDの外来患者自己管理の安全性について。第26回日本腎臓学会総会，1983年10月27日。
- 中川成之輔，秋葉隆，石田雄二，馬場操，篠田俊雄，岸清：透析膜としての腹膜の形態的観察。第26回日本腎臓学会総会，1983年10月27日。
- 城山博，石田啓一郎，宮崎弘，四茂野はるみ，大橋良子，小林美也子，石田雄二，馬場操，三宅祥三：発症13年目に著明な低ナトリウム血症をきたして診断されたSheehan症候群の1例。第333回日本内科学会関東地方会，1983年11月12日。
- 馬場操，石田雄二，秋葉隆，三宅祥三：DHP施行により救命し得た有機リン中毒の1例。第3回急性中毒研究会，1983年12月10日。
- 馬場操，石田雄二，秋葉隆，陳維嘉：両側腎動脈血栓による急性腎不全の1例。第14回日本腎臓学会東部部会，1984年5月11日。
- 石田啓一郎，石田雄二，馬場操，秋葉隆，三宅祥三，松原修：NaClO<sub>2</sub>によるメトヘモグロビン血症から急性腎不全をきたした1例。第14回日本腎臓学会東部部会，1984年5月11日。
- 石田雄二，石田啓一郎，馬場操，秋葉隆，千田佳子，椎貝達夫：慢性アルコール多飲による低カリウム血症性ミオ

- パチーの1例. 第14回日本腎臓学会東部部会, 1984年5月11日.
- 和田義明, 石田啓一郎, 大草亮子, 境野博久, 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆, 杉浦克明, 三宅祥三: 高カルシウム血症による意識障害にて発症した悪性リンパ腫の1例. 第337回内科学会関東地方会, 1984年5月.
  - 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三: 急性腎不全を呈したA型肝炎の一例. 三多摩腎疾患治療医会第8回研究会, 1984年7月1日.
  - 前川清, 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三: ストレプトコッカス・バイオジェンスによる急性腎不全の一例. 三多摩腎疾患治療医会第9回研究会, 1984年11月25日.
  - 小沢潔, 後藤健, 仲山勲, 木島祥磨, 東海林隆男, 秋葉隆, 末永松彦, 松井規明, 中川成之輔: シンポジウム 透析患者の脂質代謝異常とその対策. 慢性腎不全による脂質代謝異常に対する血液濾過, CAPD, およびヘパリンの影響について. 第29回透析研究会, 1984年7月14日.
  - 馬場操, 石田雄二, 秋葉隆, 中川成之輔: 慢性透析患者におけるヘパリンの血漿アルドステロンへの影響. 第8回ヘパリン研究会, 1984年7月21日.
  - 秋葉隆, 前川清, 石田雄二, 馬場操, 三宅祥三: 当院におけるCAPD5年間の経験. 第20回日本赤十字社医学会総会, 1984年11月6-7日.
  - 石田雄二, 前川清, 馬場操, 秋葉隆, 兵藤常一, 村上正博: 長距離走負荷前後における腎機能, 及び各種ホルモンの検討. 第27回日本腎臓学会総会, 1984年11月15日.
  - 馬場操, 石田雄二, 前川清, 秋葉隆: 微少変化群ネフローゼ症候群における血中6-keto-PGF<sub>1</sub>α およびTXB<sub>2</sub>の動態について. 第27回日本腎臓学会総会, 1984年11月15日.
  - 篠田俊雄, 秋葉隆, 椎貝達夫, 武内重五郎, 小沢和子, 佐藤温重: 腎細胞株 LLC-PK1における25-hydroxy-vitamin D<sub>3</sub>代謝の研究. 第27回日本腎臓学会総会, 1984年11月17日.
  - 石田啓一郎: NaClO<sub>2</sub>によるメトヘモグロビン血症から急性腎不全をきたした1例. 第5回急性中毒研究会, 1984年12月1日.
  - 前川清, 石田雄二, 馬場操, 安藤亮一, 秋葉隆, 三宅祥三: 末梢血白血球数とCAPD排液中白血球数が正の相関を示した慢性白血病. 第15回日本腎臓学会東部部会, 1985年5月10日.
  - 立花健, 長田薫, 前川清, 石田雄二, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三: 乏尿性急性腎不全を呈したimmunoblastic lymphadenopathyの1剖検例. 第15回日本腎臓学会東部部会, 1985年5月10日.
  - 内原俊記, 前川清, 石田雄二, 安藤亮一, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三: サンゴ状結石を合併したRTAの1例. 三多摩腎疾患治療医会第10回研究会, 1985年5月19日.
  - 石田雄二, 新田順一, 立花健, 横田隆徳, 前川清, 安藤亮一, 馬場操, 秋葉隆, 杉浦克明, 三宅祥三: 重症A型肝炎に合併した急性腎不全の1例. 第348回内科学会関東地方会, 1985年7月13日.
  - 石田雄二, 前川清, 安藤亮一, 馬場操, 秋葉隆, 三宅祥三, 中川成之輔: 腹膜透析患者の腹膜炎罹患時におけるヘパリン投与の検討. ヘパリン研究会, 1985年.
  - 小倉美津雄, 岩本均, 秋葉隆, 中川成之輔: 非アルミニウムりん吸着薬一酸化セシウムの腎不全ラットに対する投与効果について. 第28回日本腎臓学会, 1985年10月17日.
  - 小倉美津雄, 秋葉隆, 岩本均, 芝本隆, 中川成之輔: 非アルミニウムーりん吸着薬 CeO<sub>2</sub> nH<sub>2</sub>O の性能について. 第23回日本人工臓器学会, 1985年10月24日.
  - 篠田俊雄, 秋葉隆, 椎貝達夫, 武内重五郎, 小沢和子, 佐藤温重, 石塚誠一: ブタ腎由来 LLC-PK1における19-norcoketo-25-hydroxy-vitamin D<sub>3</sub>代謝の産生. 第28回日本腎臓学会総会, 1985年10月17日.
  - 前川清, 馬場操, 石田雄二, 秋葉隆, 兵藤常一, 村山正博: 長距離走負荷前後における腎機能の検討. 第6回東日本スポーツ医学研究会報告集, 1985年.
  - 中川成之輔, 秋葉隆, 岩本均, 篠田俊雄, 小倉美津雄, 岸清: 人工臓器としての生体膜(腹膜)の特徴. 日本人工臓器学会, 1986年.
  - 栗原怜, 富田雅乃, 米嶋重夫, 秋葉隆, 日ノ下文彦, 福留裕一郎, 吉山直樹, 石崎正道: EDTA依存性偽性血小板減少症を伴った血液透析患者の1例. 第14回日本腎臓学会東部部会, 1987年.
  - 栗原怜, 富田雅乃, 米嶋重夫, 秋葉隆, 日ノ下文彦, 福留裕一郎, 吉山直樹, 石崎正道, 山中宣昭, 馬杉洋三: 腎

- 機能の改善をみた高齢発症の FGS と考えられる 1 例. 第14回日本腎臓学会東部部会, 1987年.
- 高見博弥, 日ノ下文彦, 福留裕一郎, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 武内重五郎, 椎貝達夫: FGS によるネフローゼ症候群の外來経過観察中に発症した遠位尿管アシドーシスの 1 例. 第14回日本腎臓学会東部部会, 1987年.
  - 高橋淳, 立花健, 福留裕一郎, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 武内重五郎: 含糖酸化鉄 (フェジン) により低リン血症をきたした 1 例. 第14回日本腎臓学会東部部会, 1987年.
  - 江森俊明, 立花健, 秋葉隆, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 秋山隆, 宮川透: Supriscous hyperparathyroidism の 1 例. 第 5 回日本骨代謝学会, 1987年7月30日.
  - 栗原怜, 富田雅乃, 米嶋秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆, 矢部啓夫, 中川智之, 相原薫, 吉村忍: 血液透析患者骨障害に対する desferrioxamine (DFO) infusion test 50症例の検討. 第 5 回日本骨代謝学会, 1987年8月1日.
  - 河辺満彦, 栗原怜, 米嶋秀夫, 鳴海福星, 葉山修陽, 秋葉隆: 慢性透析患者における血清 Haptoglobin 値の意義—脾容積との関連. 第30回日本腎臓学会総会, 1987年10月29日.
  - 栗原怜, 河辺満彦, 米嶋秀夫, 鳴海福星, 秋葉隆, 福留裕一郎, 吉山直樹, 葉山修陽: クエン酸カルシウム, 炭酸カルシウムの phosphate binder としての有用性についての検討. 第30回日本腎臓学会総会1987年10月29日.
  - 吉山直樹, 千田佳子, 秋葉隆, 富田公夫: Hydroxyapatite (HA) 経皮端子の透析療法への応用. 第30回日本腎臓学会総会, 1987年10月29日.
  - 河辺満彦, 栗原怜, 米嶋秀夫, 那須亮一, 木村祥一郎, 秋葉隆, 葉山修陽, 矢部啓夫, 中川智之: 骨量ファントム使用 Quantative computed tomography (QCT) による成人健常者の腰椎骨塩含量について. 第22回日本成人病学会, 1988年1月15日.
  - 福間淑子, 新謙一, 出口文佐栄, 後藤健, 七里真義, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹: 慢性腎不全を合併した Turner 症候群の 1 例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988年5月6日.
  - 新謙一, 小池朗, 出口文佐栄, 後藤健, 七里真義, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 谷口興一: 急性腎不全の回復期に心不全を合併した両側性皮質壊死の 1 例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988年5月6日.
  - 内田信一, 出口文佐栄, 後藤健, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 葛原敬八郎, 荒井純子, 杉野信博: 同胞 3 人がすべて単腎であり, 多彩な神経症状を示した 1 家族例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988年5月6日.
  - 栗原怜, 河辺満彦, 米嶋秀夫, 秋葉隆, 葉山修陽, 石崎正道: 血漿交換および免疫吸着療法が有効であった SLE に伴った自己免疫性溶血性貧血の 1 例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988年5月6日.
  - 大塚正一, 沖田佳子, 後藤健, 酒井英樹, 佐々木成, 富田公夫, 飯野靖彦, 吉山直樹, 笹岡拓雄, 金山正明: 慢性腎不全にみられた Reye-like 症候群の 2 例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988年5月6日.
  - 栗原怜, 河辺満彦, 米嶋秀夫, 秋葉隆, 矢部哲夫, 中川智之, 葉山修陽, 佐藤茂, 相原薫: 慢性血液透析患者における鉄過剰と鉄骨症. 第 6 回日本骨代謝学会, 1988年8月1日.
  - 栗原怜, 加藤仁史, 河辺満彦, 森島明, 米嶋秀夫, 秋葉隆, 葉山修陽: 血液透析患者にたいする r-EPO の循環動態に対する影響. 第33回日本透析療法学会総会, 1988年7月9日.
  - 河辺満彦, 栗原怜, 米嶋秀夫, 秋葉隆, 葉山修陽, 矢部啓夫, 中川智之: 骨ファントムを利用した Q-CT 法による慢性透析患者の骨評価. 第33回日本透析療法学会総会, 1988年7月9日.
  - 吉山直樹, 秋葉隆, 富田公夫, 飯野靖彦, 丸茂文昭, 保崎清人, 千田佳子: 腎不全患者の superoxide dismutase 活性について. 第33回日本透析療法学会総会, 1988年7月9日.
  - 吉山直樹, 千田佳子, 秋葉隆, 飯野靖彦, 丸茂文昭, 青木秀希, 吉沢和剛, 秦美治: ハイドロキシアパタイト経皮端子の臨床応用について. 第26回日本人工臓器学会大会, 1988年9月8日.
  - 金光寛承, 佐々木成, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭: 家兎腎髓質部における ATP 依存性 H ポンプの同定と閉塞性腎障害への関与. 第31回日本腎臓学会総会, 1988年10月12日.
  - 栗原怜, 河辺満彦, 清水章, 葉山修陽, 竹田篤, 鳴海福星, 米嶋秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: rEPO 再投与時の反応性の変化について. 第31回日本腎臓学会総会, 1988年10月14日, 口演.
  - 中野清美, 秋葉隆, 江森俊明, 山田敏生, 野々口博史, 桑原道雄, 佐々木成, 飯野靖彦, 富田公夫, 平田結喜緒,

- 丸茂文昭, 井田隆, 中野好: Type II 偽性副甲状腺機能低下症の1例. 第20回東京臨床体液研究会, 1988年10月22日.
- 坂本直哉, 後藤健, 出口文佐栄, 秋葉隆, 井田隆, 佐々木成, 富田公夫, 吉山直樹, 丸茂文昭: 偶然の蛋白尿で発見されたアミロイド腎の1例. 第19回日本腎臓学会東部部会, 1989年6月9-10日.
- 松田治, 内田信一, 金光寛承, 安藤亮一, 江口恭子, 浜口裕之, 三宅祥三, 石田雄二, 秋葉隆: CAPD 療法中, 慢性骨髄性白血病を併発しながら, 5年の長期生存を得た慢性腎不全の1例. 第19回日本腎臓学会東部部会, 1989年6月9-10日.
- 坂本敦子, 江森俊明, 山田敏生, 桑原道雄, 野々口博史, 秋葉隆, 佐々木成, 井田隆, 飯野靖彦, 富田公夫, 丸茂文昭: ステロイドパルス療法によって軽快した急性間質性腎炎の1例. 第19回日本腎臓学会東部部会, 1989年6月9-10日.
- 副島洋行, 山田敏生, 江森俊明, 桑原道雄, 野々口博史, 秋葉隆, 佐々木成, 飯野靖彦, 富田公夫, 丸茂文昭: 対側腎の萎縮のために診断が困難だった, 腎血管性高血圧症の1例. 第19回日本腎臓学会東部部会, 1989年6月9-10日.
- 栗原怜, 河辺満彦, 竹田篤, 鈴木隆雄, 鳴海福星, 米島秀夫, 大藪英一, 葉山修陽, 清水一雄, 秋葉隆, 中尾俊之: CAPD 中止44カ月後に発症した sclerosing encapsulating peritonitis の1例. 第19回日本腎臓学会東部部会, 1989年6月9-10日.
- 河辺満彦, 栗原怜, 鈴木隆雄, 竹田篤, 鳴海福星, 米島秀夫, 秋葉隆, 矢部啓夫, 中川智之: 骨への Fe, Aluminium および Amyloid の沈着を認めた一透析例. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 示説.
- 松井則明, 秋葉隆, 丸茂文昭: Recombinant human erythropoietin の血小板機能への効果. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日.
- 吉山直樹, 桜井俊一郎, 千田佳子, 秋葉隆, 吉沢和剛, 秦美治, 青木秀希: ハイドロキシアパタイト経皮端子の CAPD への応用—実験動物モデル. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 口演.
- 安藤亮一, 内田信一, 金光寛承, 松田治, 三宅祥三, 千田佳子, 秋葉隆, 丸茂文昭: CAPD と血液透析の骨に対する影響の比較. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 口演.
- 伊東春樹, 高橋淳, 土肥まゆみ, 安藤亮一, 秋葉隆, 千田佳子, 丹羽明博, 飯野靖彦, 松田治, 谷口興一, 丸茂文昭: Anerobic threshold を指標とした透析患者の運動耐容能—erythropoietin の効果. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 口演.
- 松井則明, 秋葉隆, 丸茂文昭: recombinant erythropoietin の貧血改善効果と脾容積の関係. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 口演.
- 栗原怜, 秋葉隆, 河辺満彦, 清水章, 米島秀夫, 別所正美, 平嶋邦猛: 透析患者の r-HuEPO にたいする in vitro および in vivo 反応性. 第34回日本透析療法学会, 1989年7月8-9日, 口演.
- 熊谷誠, 新津義文, 阿部薫, 星野正信, 秋葉隆: 改良型 Hemphophan 膜にかんする heparin 吸着性と生体適合性についての検討. 第27回日本人工臓器学会大会, 1989年9月29-30日.
- 吉山直樹, 秋葉隆, 千田佳子, 富田公夫, 飯野靖彦, 丸茂文昭, 赤尾勝, 青木秀希, 吉沢和剛, 秦美治: 慢性腎不全犬の腹膜透析治療による長期生存実験. 第27回日本人工臓器学会大会, 1989年9月29-30日.
- 栗原怜, 河辺満彦, 鈴木隆雄, 竹田篤, 鳴海福星, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭, 市村正一, 中川智之: Dual Energy X-ray Absorptiometry (DEXA) による血液透析患者の骨塩量の評価. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-10日, 口演.
- 吉山直樹, 桜井俊一郎, 竹内弘幸, 千田佳子, 秋葉隆, 吉沢和剛, 秦美治, 青木秀希: 「透析犬」の作製. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-11日, 口演.
- 安藤亮一, 金光寛承, 松田治, 松井則明, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者における PTH 分泌に及ぼす活性型ビタミン D の影響. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-11日, 示説.
- 李静平, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭: 蔗糖鉄による低リン血症の発生機序における Free Radicals の役割. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-11日, 示説.
- 河辺満彦, 大藪英一, 栗原怜, 鈴木隆雄, 米島秀夫, 沼秀親, 岡田耕一, 秋葉隆, 丸茂文昭: Recombinant Erythropoietin (rEPO) 治療中の血中 testosterone 値の変化. 第32回日本腎臓学会総会, 1989年11月9-11日, 示説.

- 吉田雅幸, 石山茂, 太田一樹, 前田益孝, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: 血漿エンドテリン濃度が腎機能のよい指標となった悪性高血圧の一例. 第20回日本腎臓学会東部部会, 1990年4月20-21日.
- 太田早苗, 江森俊明, 前田益孝, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 井田隆, 富田公夫, 丸茂文昭: Chance Proteinuria で発見された SLE の男性例. 第20回日本腎臓学会東部部会, 1990年4月20-21日.
- 石山茂, 吉田雅幸, 太田一樹, 前田益孝, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: 慢性腎不全に原発性副甲状腺機能亢進症を伴った MEN1 型の一例. 第20回日本腎臓学会東部部会, 1990年4月20-21日.
- 栗原怜, 竹内正至, 鈴木隆雄, 米島秀夫, 矢部啓夫, 中川智之, 秋葉隆, 河辺満彦: 二次性副甲状腺機能亢進症類似の骨レントゲン所見を呈した primary oxalosis の 1 例. 第20回日本腎臓学会東部部会, 1990年4月20-21日.
- 高元俊彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: ワークショップ 腎性貧血と障害心. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日.
- 栗原怜, 竹内正至, 竹田篤, 鳴海福星, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: 鉄過剰を有する透析患者の貧血に対するエリスロポイエチン投与. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日, 口演.
- 竹内正至, 竹田篤, 鳴海福星, 米島秀夫, 河辺満彦, 大藪英一, 秋葉隆: エリスロポイエチン使用患者における脾容積の検討. 第35回日本透析療法学会総会, 1990年7月7-8日, 示説.
- 太田早苗, 江森俊明, 前田益孝, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: 高カルシウム血症に意識障害を伴った原発性副甲状腺腫の 1 例. 第 6 回琵琶湖カンファレンス, 1990年8月3-4日.
- 岩科將虎, 立花健, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭, 江渕正和: Ca 負荷にて PTH の抑制がみられた原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991年5月17-18日, 口演.
- 滝沢資子, 高見博弥, 立花健, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 戸村成男, 丸茂文昭: 組織変化が軽微であった D-ペニシラミンによるとおもわれるネフローゼ症候群の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991年5月17-18日, 口演.
- 栗原怜, 清水章, 鳴海福星, 米島秀夫, 河辺満彦, 葉山修陽, 秋葉隆, 桑原道雄, 坂本尚登, 久保田俊郎: CAPD 患者の血性排液: LH-RH agonist 治療で軽快した卵巣チョコレート嚢腫の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991年5月17-18日, 口演.
- 合屋雅彦, 高見博弥, 立花健, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: 酸排泄障害を呈さなかった偽性低アルドステロン症の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991年5月17-18日, 口演.
- 栗原怜, 秋葉隆: ワークショップ 造血反応に影響を及ぼす因子について—in vivo culture 系での検討. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日.
- 星野正信, 小山年勇, 古川猛, 米田泰子, 齋藤謙一, 阿部薫, 秋葉隆, 加藤泰一, 寺本民生: 透析患者における高ビタミン C 血症に起因する低 HDL コレステロール血症について. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日, 口演.
- 神谷保, 片倉宏文, 牟田口一八, 新津義文, 阿部薫, 齊藤久生, 星野正信, 秋葉隆: 透析液 AK ソリタ DP の多人数臨床評価. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日, 口演.
- 桑原道雄, 秋葉隆, 丸茂文昭, 栗原怜, 河辺満彦, 米島秀夫: 腎性骨異栄養症にたいする副甲状腺亜全摘術の長期的効果. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日, 口演.
- 立花健, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭, 稲田俊雄, 星野正信, 齊藤俊光: 血液透析が異常リポ蛋白 (レムナント・リポ蛋白) に与える影響について. 第36回日本透析療法学会総会, 1991年7月13-14日, 口演.
- 立花健, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭, 稲田俊雄, 星野正信, 齊藤俊光: 慢性血液透析患者における異常リポ蛋白 (レムナント・リポ蛋白) について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991年11月7-9日, 口演.
- 栗原怜, 清水章, 鳴海福星, 米島秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆: 血液透析患者の副甲状腺機能. 第34回日本腎臓学会総会, 1991年11月7-9日, 口演.
- 吉山直樹, 桜井俊一郎, 竹内弘幸, 秋葉隆, 丸茂文昭, 吉沢和剛, 秦美治, 青木秀希: PD の溶質除去に及ぼす干

- 渉低周波の効果について、第34回日本腎臓学会総会、1991年11月7-9日、口演。
- W-3-6 腎疾患における脂質の変化—慢性腎不全透析患者の脂質代謝異常とヘパリンの関与。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 頼建光, 伏見清秀, 寺田典生, 立花健, 坂本尚登, 野々口博史, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭, 吉木尚之, 陶守敬二郎, 麻生武志: 卵巣腫瘍にともなった発作性高カルシウム血症。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 大木純, 寺田典生, 立花健, 坂本尚登, 野々口博史, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭, 江溯正和, 小椋啓司, 松田春甫, 中野美代子: 腎および肺に著明なカルシウム沈着を認めた原発性副甲状腺機能亢進症。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 田村博之, 立花健, 栗原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: シェーグレン症候群・悪性リンパ腫に合併した膜性増殖性糸球体腎炎によるネフローゼ症候群の1例。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 栗原怜, 清水章, 北村博司, 鳴海福星, 米島秀夫, 松信精一, 葉山修陽, 桑原道雄, 坂本尚登, 秋葉隆, 丸茂文昭: 急性腎不全を合併した微少変化群ネフローゼ症候群に横紋筋融解, epidermal necrolysis を併発した1例。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 大塚正一, 河崎雅, 後藤健, 松田治, 秋葉隆: Aortitis によると思われる CRF 患者で長期 CAPD 施行中の1例。第22回日本腎臓学会東部部会、1992年5月28-29日。
  - 栗原怜, 清水章, 鳴海福星, 米島秀夫, 矢部啓夫, 中川智之, 坂本尚登, 秋葉隆: 単純 X 線像による骨萎縮度分類と L3-QCT 法, DEXA 法骨塩量との関連。第37回日本透析療法学会総会、1992年7月4-5日、口演。
  - 立花健, 秋葉隆, 富田公夫, 丸茂文昭, 小沢潔, 吉山直樹, 稲田俊雄, 星野正信, 齊藤俊光: 血液透析患者の脂質代謝異常に対する低分子ヘパリンの長期使用の影響。第37回日本透析療法学会総会、1992年7月4-5日、口演。
  - 栗原怜, 桜井祐成, 鳴海福星, 米島秀夫, 秋葉隆, 桑原道雄, 葉山修陽, 三浦秀範: Deferoxamin 投与時の DFO および alminoxamine の血中動態。第37回日本透析療法学会総会、1992年7月4-5日、示説。
  - 吉山直樹, 北村真, 桜井俊一郎, 竹内弘幸, 秋葉隆, 吉沢和剛, 秦美治, 青木秀希: 干渉低周波による腹膜透析効果の向上について。第37回日本透析療法学会総会、1992年7月4-5日、示説。
  - 栗原怜, 米島秀夫, 潮山健一, 井田隆, 宮原康弘, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者に対するメナテトレノン (VitK2) の骨塩減少抑制効果。第10回日本骨代謝学会、1992年7月23-25日。
  - 秋葉隆: エリスロポエチンと循環器。第1回腎とエリスロポエチン研究会、1992年10月。
  - 齊藤久生, 秋葉隆, 小山年男, 阿部薫, 星野正信, 米虫節夫, 丸茂文昭: 低 Ca 透析液 AKDD25 の二次性副甲状腺機能亢進症患者における評価。第30回日本人工臓器学会総会、1992年11月5-6日。
  - 安藤亮一, 土肥まゆみ, 井田隆, 千田佳子, 戸村成男, 秋葉隆, 丸茂文昭: 腎糸球体疾患におけるビタミン D 代謝と腎機能, 蛋白尿, 尿細管傷害との関係。第35回日本腎臓学会総会、1992年12月4-6日、示説。
  - 田村禎一, 秋葉隆, 立花健, 富田公夫, 丸茂文昭, 松田治, 大和田章, 齋藤博, 栗山廉二郎: ネフローゼ症候群患者の脂質代謝異常に対するニセトリロールの効果についての検討。第35回日本腎臓学会総会、1992年12月4-6日、示説。
  - 桜井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 米島秀夫, 森島明, 秋葉隆, 葉山修養: 長期エリスロポエチン治療透析患者の心行動態。第35回日本腎臓学会総会、1992年12月4-6日。
  - 吉山直樹, 桜井俊一郎, 北村真, 竹内弘幸, 秋葉隆, 丸茂文昭, 吉沢和剛, 青木秀希: 腹膜透析の物質移動の研究—Cr の移動について。第35回日本腎臓学会総会、1992年12月4-6日。
  - 栗原怜, 竹内正至, 桜井祐成, 鳴海福星, 米島秀夫, 桑原道雄, 秋葉隆, 松信精一, 葉山修陽: 副甲状腺自家移植術後の長期効果: 副甲状腺機能と骨塩量。第35回日本腎臓学会総会、1992年12月4-6日。
  - 石橋賢一, 佐々木成, 秋葉隆, 丸茂文昭: Bone Morphogenic protein 7 (BMP-7) mRNA の MDCK 細胞と腎における発現。第4回腎とビタミン D 研究会、1993年2月27日。
  - 竹内正至, 桜井祐成, 鳴海福星, 米島秀夫, 児玉隆夫, 市村正一, 中村智之, 坂本尚登, 桑原道雄, 秋葉隆: 同時に4腱の断裂を来した透析患者の1例。第23回日本腎臓学会東部部会、1993年5月14-15日。
  - 山田敏生, 秋葉隆, 丸茂文昭: シンポジウム 透析量の指標としての尿素動力学的検討。第38回日本透析療法学会総会、1993年7月17-18日。

- 米島秀夫, 田中孝一, 栗原怜, 田中雅美, 渡辺文夫, 草野晴夫, 桑原道雄, 秋葉隆, 丸茂文昭, 葉山修陽: 電磁流量計を用いた廃液内物質自動定量による透析. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日, 口演.
- 栗原怜, 竹内正至, 桜井祐成, 米島秀夫, 坂本尚登, 桑原道雄, 秋葉隆: 1,25(OH)<sub>2</sub>D<sub>3</sub>静注治療後の副甲状腺サイズ. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日.
- 牧尾俊昭, 高橋純平, 佐藤隆, 神谷保, 牟田口一八, 新津義文, 阿部薫, 星野正信, 秋葉隆, 丸茂文昭: Hemophan 膜の低分子ヘパリン吸着性と使用量の検討. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日.
- 開一博, 阿部薫, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: 酢酸と重炭酸溶液の違いによる HPM モジュールからの溶出物について. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日.
- 桜井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 鳴海福星, 米島秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆: 血液透析患者の血清 creatinine phosphokinase 異常と lean body mass. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日, 示説.
- 及川政博, 山田敏生, 増原茂武, 秋葉隆, 丸茂文昭: 異なる尿素動力学における尿素分布容積の DEXA による検討. 第38回日本透析療法学会総会, 1993年7月17-18日.
- 栗原怜, 須賀優, 竹内正至, 米島秀夫, 葉山修陽, 飯野靖彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: エリスロポエチン治療中透析患者における脳出血一自験7症例の検討の心血管系に対する急性作用について. 第2回腎とエリスロポエチン研究会, 1993年10月16日.
- 栗原怜, 竹内正至, 須賀優, 桜井祐成, 米島秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆, 丸茂文昭: 1,25水酸化ビタミン D 静注パルス療法後の骨塩量の変化: DEXA での検討. 第38回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 口演.
- 李静平, 秋葉隆, 周立民, 丸茂文昭: 塩化カドミウムの腹腔内投与により惹起されたラット腎不全モデルにおける骨症. 第36回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 口演.
- 秋葉隆, 李静平, 丸茂文昭, 星野正信, 下田研二, 寺本民雄: 慢性透析患者の脂質にたいする低分子ヘパリン長期投与の影響. 第36回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 口演.
- 星野正信, 下田研二, 秋葉隆, 高本隆, 関谷透, 末永末彦, 北爪秀政, 寺本民雄: 血液透析患者に見られた冠動脈石灰化. 第36回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 示説.
- 桜井祐成, 竹内正至, 須賀優, 栗原怜, 米島秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆: 血液透析患者における心筋ミオシン軽鎖 I (MLC-I) 測定の意義. 第36回日本腎臓学会総会, 1993年12月2-4日, 示説.
- 江原真理子, 内田信二, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: Furosemide 長期服用患者にみられた腎石灰化の1例. 第36回日本腎臓学会東部部会, 1994年5月20-21日.
- 大岡真也, 田村禎一, 坂本尚登, 野々口博史, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 富田公夫, 丸茂文昭: INFa により尿蛋白の減少をみた C 型肝炎・メサンギウム増殖性糸球体腎炎の1例. 第36回日本腎臓学会東部部会, 1994年5月20-21日.
- 李静平, 秋葉隆, 丸茂文昭: 塩化カドミウムの腹腔内投与により惹起された卵巣摘出ラットの腎症と骨症. 第5回日本微量元素学会, 1994年6月2-3日, 示説.
- 佐藤千史, 秋葉隆: ワークショップ 透析症例のインターフェロン治療. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日.
- 芝本隆, 秋葉隆, 大島博之: 技師ワークショップ 透析膜内エンドトキシンの基礎的検討. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日.
- 佐野直人, 芝本隆, 田村禎一, 坂本尚登, 秋葉隆, 大島博之: Push/Pull 療法における Push/Pull サイクルの違いが溶質除去効率におよぼす影響について. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日, 口演.
- 吉山直樹, 篠原聖智, 秋葉隆, 千田佳子: CAPD 脱落症例の検討. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日, 口演.
- 開一博, 鎮目信二, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆: 各種血液浄化とナフォモスタットメシレートに至適持続投与量について. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日, 口演.
- 須賀優, 栗原怜, 桜井祐成, 竹内正至, 葉山修, 飯野靖彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: エリスロポエチン単回投与 (9000 単位) の血圧, 心行動態に与える影響. 第39回日本透析医学会総会, 1994年7月1-3日, 口演.
- 坂本尚登, 田村禎一, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 大島博之: 保存期腎不全における非イオン性造影剤使用後の透



- 析の有用性について、第39回日本透析医学会総会、1994年7月1-3日、口演。
- 開一博、鎮目信二、芝本隆、佐野直人、秋葉隆：ハイパフォーマンス膜のエンドトキシン吸着について、第39回日本透析医学会総会、1994年7月1-3日、口演。
  - 弓田滋、鈴木正司、秋葉隆、秋澤忠男：保存期の腎不全における血中1,25(OH)<sub>2</sub>Dの検討、第39回日本透析医学会総会、1994年7月1-3日、示説。
  - 桑原道雄、秋葉隆、丸茂文昭、栗原怜、竹内正至、桜井祐成、須賀優、米島秀夫：女性透析患者の骨に対する閉経の影響について、第39回日本透析医学会総会、1994年7月1-3日、示説。
  - 須賀優、栗原怜、竹内正至、米島秀夫、葉山修陽、飯野靖彦、秋葉隆、丸茂文昭：リコンビナントエリスロポエチンの心血管系に対する急性作用について、第3回腎とエリスロポエチン研究会、1994年10月15日。
  - 桜井祐成、竹内正至、栗原怜、大和田一博、須賀優、米島秀夫、秋葉隆、葉山修陽：血液透析（HD）患者における血中ヒアルロン酸（HY）濃度～HCV抗体（2nd）陽性患者での検討～、第37回日本腎臓学会学術総会、1994年12月16-18日、示説。
  - 栗原怜、竹内正司、須賀優、桜井祐成、大和田一博、米島秀夫、秋葉隆、丸茂文昭：改良型CAPD用無菌接合装置（TSCD）にたいする無菌性保持能の評価、第37回日本腎臓学会学術集會、1994年12月16-18日、口演。
  - 吉山直樹、篠原聖吾、秋葉隆：腹膜透析の効率に及ぼす干渉低周波の影響について、第37回日本腎臓学会学術集會、1994年12月16-18日、口演。
  - 須賀優、栗原怜、竹内正司、桜井祐成、大和田一博、米島秀夫、葉山修陽、秋葉隆、丸茂文昭：エリスロポイエチン単回投与時の血管作動性物質の変化、第37回日本腎臓学会学術集會、1994年12月16-18日、口演。
  - 坂本尚登、立花健、田村禎一、秋葉隆、佐々木成、丸茂文昭：肝細胞再生因子の腎再生因子としての関与について急性、慢性腎不全及び移植腎についての検討、第37回日本腎臓学会学術集會、1994年12月16-18日、示説。
  - 桜井祐成、竹内正司、栗原怜、大和田一博、須賀優、米島秀夫、秋葉隆、葉山修陽：血液透析患者における血中ヒアルロン酸濃度—HCV抗体陽性患者での検討、第37回日本腎臓学会学術集會、1994年12月16-18日、示説。
  - 田村博之、遠藤健一、田村禎一、秋葉隆、佐々木成、丸茂文昭、大島博幸：腹腔鏡下カテーテル変更術が著効したCAPD除水困難症、第3回東京PD研究会、1995年1月28日。
  - 安藤亮一、土肥まゆみ、竹田篤、千田佳子、井田隆、秋葉隆、丸茂文昭：透析患者における血清1,25水酸化ビタミンDと橈骨骨塩量の検討、第4回腎とビタミンD研究会、1995年3月4日。
  - 栗原怜、竹内正至、大和田一博、桜井祐成、須賀優、米島秀夫、桑原道雄、秋葉隆、葉山修陽、飯野靖彦：透析患者の副甲状腺機能低下症と骨代謝、第4回腎とビタミンD研究会、1995年3月4日。
  - 井下聖司、田村博之、田村禎一、秋葉隆、佐々木成、丸茂文昭、大島博幸：腹腔鏡下カテーテル変更術が著効したCAPD除水困難症、第25回日本腎臓学会東部学術集會、1995年5月12-13日。
  - 四條禎子、三石亜紀子、田村博之、田村禎一、桑原道雄、秋葉隆、佐々木成、丸茂文昭：microscopic PNによる血液透析透析離脱後ネフローゼ症候群を来した1例、第25回日本腎臓学会東部学術集會、1995年5月12-13日。
  - 安藤亮一、秋葉隆、土肥まゆみ、竹田篤、千田佳子、井田隆、丸茂文昭：透析患者（HD）における血清1,25水酸化ビタミンD濃度と橈骨骨塩量、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日、口演。
  - 竹内正至、栗原怜、大藪英一、松信精一、須賀優、桜井祐成、大和田一博、米島秀夫、飯野靖彦、秋葉隆：透析患者の副甲状腺機能低下症と骨塩量、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日、口演。
  - 山本浩靖、初山晴彦、和田敏彦、川崎忠行、芝本隆、秋葉隆、前田貞亮：新しいドプラー流量計（HD-800）による血流量測定、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日、口演。
  - 越川昭三、飯田喜俊、丸茂文昭、川口良人、白井大祿、今田総雄、山崎親雄、鈴木正司、秋葉隆、椿原美治：透析患者の起立性低血圧にたいするDOPSの効果、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日、口演。
  - 佐野直人、芝本隆、田村博之、田村禎一、秋葉隆、大島博幸：Push/PullにおけるPush時溶質除去の検討、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日。
  - 黒川清、秋澤忠男、鈴木正司、秋葉隆、尾形悦郎、Slatopolsky E：二次性副甲状腺機能亢進症に対する22-oxacalcitriolの効果—多施設共同研究、第40回日本透析医学会総会、1995年6月23-25日、口演。
  - 松本こずえ、中山栄純、林由美子、森口尚史、栗原怜、小笠原陽、秋葉隆、丸茂文昭、佐藤千史：透析患者の生活

- 活動度の検討. 第40回日本透析医学会総会, 1995年6月23-25日.
- 山崎親雄, 秋葉隆: パネルディスカッション「阪神大震災一現場からの報告 この経験を今後いかに生かすか」を企画して. 第40回日本透析医学会総会, 1995年6月23-25日.
  - 内原正勝, 泉並木, 秋葉隆: シンポジウム HCV 肝炎のインターフェロンによる治療 透析患者のC型肝炎にたいするインターフェロンの体内動態を中心とした検討. 第40回日本透析医学会総会, 1995年6月23-25日.
  - 篠田俊雄, 秋葉隆: コンセンサスカンファランス 血液透析器の除去性能の限界と適応. 第40回日本透析医学会総会, 1995年6月23-25日.
  - 田村博之, 田村禎一, 秋葉隆, 丸茂文昭, 井上晴洋: カテーテル周囲にフィブリン様膜を伴い除水困難症におちいった1例. 第4回東京PD研究会, 1995年10月7日.
  - 芝本隆, 佐野直人, 田村禎一, 田村博之, 秋葉隆, 安藤亮一, 丸茂文昭, 猿橋誠: 再生セルロース膜表面にコーティングされたビタミンEの有用性について. 日本人工臓器学会第33回大会, 1995年11月7-9日.
  - 星野武俊, 大貫順一, 鶴田幸男, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 松本賢一: 大口径ハイパフォーマンス膜による血液透析での血圧調節因子の動態について. 日本人工臓器学会第33回大会, 1995年11月7-9日.
  - 越川昭三, 太田和夫, 丸茂文昭, 岸本武利, 秋葉隆, 佐中牧, 山上征二, 秋澤忠男: アセテートフリーバイオフィルトレーションシステム (FB-1) の臨床効果. 第38回日本腎臓学会総会, 1995年11月26-28日, 口演.
  - 桜井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 大和田一博, 須賀優, 葉山修陽, 秋葉隆: 副甲状腺ホルモン濃度からみた血液透析患者の長期的な骨塩量の変化. 第38回日本腎臓学会総会, 1995年11月26-28日.
  - 竹内正至, 栗原怜, 大和田一博, 桜井祐成, 須賀優, 米島秀夫, 飯野靖彦, 赫彰郎, 秋葉隆: APD サイ클ラーを用いた Continuous cyclic peritoneal dialysis (CCPD) 16例の経験. 第38回日本腎臓学会総会, 1995年11月26-28日.
  - 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 西澤良記, 大橋靖雄, 緒形悦郎, Slatopolsky E: 二次性副甲状腺機能亢進症にたいする22-oxacalcitriol (OCT) の効果—プラセボを対照とした4用量間二重盲検多施設共同試験. 第39回日本腎臓学会総会, 1996年5月30日-6月1日.
  - 下田研二, 秋葉隆, 松島照彦, 頼建光, 星野正信: 維持透析患者における Niceritrol の血清リン低下作用について. 第39回日本腎臓学会総会, 1996年5月30日-6月1日.
  - 栗原怜, 大和田一博, 竹内正至, 桜井祐成, 内海甲一, 米島秀夫, 葉山修陽, 秋葉隆, 谷澤龍彦: 透析患者における無形成骨症の臨床的特徴について. 第39回日本腎臓学会総会, 1996年5月30日-6月1日.
  - 山田敏生, 竹内弘幸, 秋葉隆: ワークショップ 透析条件と透析効率—透析液流量と透析時間の重要性. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 大孔径ポリスルホン膜および再生セルロース膜による透析中の血管作動性因子動態について. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 重川光敏, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 田中耕, 末永松彦: 電解強酸性水の透析装置使用材料に与える影響と消毒効果. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 中島健一, 成瀬真, 広実伸紀, 小倉泰子, 篠田俊雄, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: 透析中の抗血栓性評価因子の動態におよぼす抗凝固薬の影響について. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 電解弱酸性水による透析装置の消毒管理. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 早川豪, 大場博, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆, 長谷川理: 慢性透析患者廃血漿を用いた HPM のタンパク除去特性について. 第41回日本透析医学会総会, 1996年7月5-7日.
  - 秋葉隆: 透析患者における hypoparathyroidism と adynamic bone disease. 第6回腎不全とビタミンD研究会, 1996年10月19日.
  - 小椋陽介, 秋葉隆, 衣笠えり子: ケースフォーラム CF-1 高Ca血症による腎障害を呈した成人T細胞白血病の1例 指定討論者. 第26回日本腎臓学会東部学術大会, 1996年11月15-16日, 横浜.
  - 玉岡明洋, 寺田典生, 田村博之, 田村禎一, 内田信一, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 腎障害を契機に多発性骨髄腫と診断された3症例の臨床像. 第26回日本腎臓学会東部学術大会, 1996年11月15-16日, 横浜.
  - 浅井友基, 田村博之, 田村禎一, 内田信一, 坂本尚登, 佐々木成, 丸茂文昭: 散発性 Alport 症候群の一例. 第26回

日本腎臓学会東部学術大会, 1996年11月15-16日, 横浜.

- 奥田日美子, 田村博之, 寺田典生, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 肉芽腫の浸潤による腎不全と著明な高Ca血症とをきたしたサルコイドーシスの1例. 第26回日本腎臓学会東部学術大会, 1996年11月15-16日, 横浜.
- 新村文男, 長澤哲郎, 浅野貴子, 小林克樹, 瀧本浩幸, 吉野篤範, 水沢備一, 竹田篤, 松谷秀智, 田村博之, 羽田俊彦, 秋葉隆, 井上晴洋: 腹腔鏡下にテコフカテーテルの閉塞解除を行った2症例. 第32回日本小児腎臓学会, 1997年6月11-13日, 大阪.
- 廣江道昭, 高元俊彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: シンポジウム エリスロポエチンの使用と心機能. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 芝本隆, 川崎忠行, 秋葉隆: ワークショップ アンケート調査中間報告(我が国における透析装置および透析支援に関するコンピューターシステム). 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 佐藤卓, 芝本隆, 秋葉隆, 土谷正和: ワークショップ 他施設によるエンドトキシン, 細菌数測定および細菌種同定から考える透析液清浄化の問題点. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 下田研二, 阿部薫, 古川猛, 野中達也, 張田真, 星野正信, 秋葉隆, 松島照彦: 慢性維持血液透析(HD)患者におけるニコチン酸製剤の血清無機燐(P)低下作用について—NICERITROL(NT)とNICOMOL(NC)との比較— . 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日.
- 田村博之, 羽田俊彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: カテーテル機能異常による除水不全の原因についての検討. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 羽田俊彦, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭, 井上晴洋: 腹腔鏡下腹膜透析カテーテル整復術の応用—カテーテルを体腔外へ誘導してのカテーテル内清掃. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 星野武俊, 石原時子, 鶴田幸男, 稲田俊雄, 芝本隆, 秋葉隆: Acetate-free biofiltration (AFBF)の骨代謝因子に与える影響について. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 木崎敦, 畑中忍, 前橋靖彦, 宮下美砂子, 星野武俊, 鶴田幸男, 芝本隆, 秋葉隆: 補充液組成の違いによるHDFの臨床評価. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 鈴木美紀, 土谷正和, 芝本隆, 秋葉隆: ペプチドグリカン測定値の信頼性と測定意義の基礎的検討. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 高橋雅彦, 戸浦じゅん, 押田進, 御園陽一, 尾崎泰史, 坂本順, 木村弘, 小笠原陽, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: 連続ヘマトクリット測定装置による慢性腎不全患者の適正体重管理について. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 櫻井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 小野田教高, 大和田一博, 米島秀夫, 秋葉隆: 低容量ビタミンD製剤の副甲状腺機能に及ぼす影響. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 安藤亮一, 土肥まゆみ, 竹田篤, 千田佳子, 井田隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者における骨塩量に影響をおよぼす因子としてのビタミンD受容体遺伝子多型の意義. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 栗原怜, 大和田一博, 竹内正至, 櫻井祐成, 小野田教高, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: 骨密度測定はROD組織型の一補助新療法となりうるか. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 佐野直人, 芝本隆, 田村博之, 羽田俊彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: ポリエチレングリコールおよびビタミンEによる再生セルロース膜表面改質効果の基礎的検討. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 太田朋子, 秋葉隆, 伏見清秀, 佐々木成, 丸茂文昭: 腹膜における水チャネルaquaporin(AQP)のmRNAの発現について. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 木村弘, 戸浦じゅん, 押田進, 御園陽一, 尾崎泰史, 坂本順, 高橋雅彦, 小笠原陽, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: 東レ社製PS膜Pタイプ透析器の基礎的および臨床的評価. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 高橋純平, 齊藤久生, 野中達也, 阿部薫, 星野正信, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆: 家族性高脂血症症例の廃血漿を用いたセルローストリアセテート(CTA)膜の脂質除去性能評価. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.

- 山本明広, 飯田宜志, 阿部薫, 星野正信, 芝本隆, 秋葉隆: 水道水に含まれるエンドトキシンを指標としたハイパフォーマンス膜エンドトキシン通過の評価. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 渡邊美里, 齋藤博, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆: 市販される手洗い用を改造した弱酸性水製造装置による個人用透析装置の洗浄消毒について. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 口演.
- 小倉泰子, 小牧陽子, 広実伸紀, 成瀬真, 中島健一, 篠田俊雄, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: エンドトキシンを指標とした逆浸透膜装置の運転条件の検討. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 示説.
- 盧敏浩, 前川清, 蒲谷堯, 秋葉隆: HPMを用いた HDF における大分子量物質除去能と骨関節痛軽減効果の検討. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 示説.
- 佐野直人, 芝本隆, 田村博之, 羽田俊彦, 秋葉隆, 丸茂文昭: 連続ヘマトクリット測定による血液透析が有効だった非イオン性造影剤による急性腎不全の一例. 第42回日本透析医学会学術集会・総会, 1997年7月18-20日, 示説.
- 安藤亮一, 竹田篤, 土肥まゆみ, 千田佳子, 井田隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者におけるビタミン D 受容体遺伝子多型の副甲状腺機能, 骨密度に及ぼす影響—haplotype からの検討. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998年5月11-12日, 口演.
- 栗原怜, 小野田教高, 大和田一博, 竹内正至, 桜井祐成, 葉山修陽, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: 副甲状腺重量と骨組織型との関連. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998年5月11-12日, 口演.
- 黒川清, 秋澤忠男, 鈴木正司, 秋葉隆, 西澤良記, 大橋靖雄, 尾形悦郎, Slatopolsky E: 2 次性副甲状腺機能亢進症 (2HPT) を合併した血液透析 (HD) 患者に対する 22-Oxcalcitriol (OCT) の効果: プラセボ (P) を対照とした二重盲検比較試験 (DBT). 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998年5月11-12日, 口演.
- 島村治子, 田村博之, 坂本尚登, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 酢酸フルドロコルチゾンの投与が著功した高 K 型尿細管性アシドーシスの一例. 第30回臨床体液研究会, 1998年10月17日.
- 岡田寛之, 田村博之, 島村治子, 羽田俊彦, 内田信一, 寺田典生, 坂本尚登, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: Thrombotic Microangiopathy に肺出血を合併した 1 例. 第28回日本腎臓学会東部学術大会, 1998年11月20-21日, 口演.
- 栗原怜, 大和田一博, 小野田教高, 桜井祐成, 竹内正至, 大藪英一, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭, 谷澤龍彦: ビタミン D3 の欠乏により線維性骨炎がマスクされたと考えられた高度の二次性副甲状腺機能亢進症の一例. 第28回日本腎臓学会東部学術大会, 1998年11月20-21日, 口演.
- 島村治子, 小澤直子, 岡田寛之, 田村博之, 羽田俊彦, 内田信一, 寺田典生, 坂本尚登, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 抗リン脂質抗体症候群に膜性腎症を合併したステロイド治療が奏功した一例. 第28回日本腎臓学会東部学術大会, 1998年11月20-21日, 示説.
- 小池英理子, 田村博之, 島村治子, 羽田俊彦, 内田信一, 寺田典生, 坂本尚登, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 難治性腹水に対する腹膜濃縮腹腔内再注入療法が有効であった 1 例. 第28回日本腎臓学会東部学術大会, 1998年11月20-21日, 示説.
- 秋葉隆, 栗原怜, 下田研二: 腎不全におけるリン代謝とその管理. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 秋葉隆, 田村博之, 芝本隆: 透析療法におけるコンピュータの活用. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 秋葉隆: 透析患者の鉄—この古くて新しい課題. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 佐々木信, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭, 川崎忠之: 共通通信プロトコルによる各社透析装置の中央管理の試み. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 芝本隆, 佐野直人, 佐々木信, 島村治子, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 透析液エンドトキシン (ET) 測定値に対する検体採取管とグラム陰性菌が与える影響. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 押田進, 斎藤武志, 立花健, 佐々木信, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆, 鈴木美紀, 土谷正和: 改良した透析液用エンドトキシン測定試薬 (DL) の評価. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 御園陽一, 戸浦じゅん, 尾崎泰史, 坂本順, 木村弘, 高橋雅彦, 小笠原陽, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: クリットラインモニターと除水機構を連動した個人用透析装置を用いた透析中の血圧管理. 第44回日本透析医学会学術集

会・総会, 1999年6月25-27日.

- 寺田典生, 田中啓之, 井下聖司, 中島修, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 虚血後の急性腎不全における細胞周期関連遺伝子の発現調整. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 太田朋子, 秋葉隆, 島村治子, 田村博之, 伏見清秀, 佐々木成, 丸茂文昭: in vitro ラット腹膜細胞培養における水チャネル aquaporin1 (AQP1) mRNA の発現. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 浅井友基, 桑原道雄, 佐藤和則, 寺田典生, 秋葉隆, 丸茂文昭, 栗原怜, 米島秀夫: 透析患者におけるコラーゲン type I  $\alpha 1$  遺伝子多型と骨病変. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 佐藤和則, 桑原道雄, 浅井友基, 寺田典生, 秋葉隆, 丸茂文昭, 栗原怜, 米島秀夫: 透析患者におけるエストロゲン受容体遺伝子多型と骨病変. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 児玉秀明, 阿部薫, 野木雅仙, 古川猛, 星野正信, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆: ポリスルホン (PS) 膜残留 PVP とエンドトキシン (ET), ベータグルカン (BG), ペプチドグリカン (PG) の検討. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 阿部薫, 児玉秀明, 野木雅仙, 古川猛, 星野正信, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: ポリスルホン (PS) 膜透析器のエンドトキシン (ET), ベータグルカン (BG), ペプチドグリカン (PG) 通過の検討. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 藤森明, 内藤秀宗, 依藤正彦, 鈴木正司, 秋澤忠男, 秋葉隆, 上住敏士, 吉田一: 膜孔径の新たな測定方法. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 佐々木信, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭, 阿部薫, 平野博久: 電解弱酸性水の安全性評価. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 田村博之, 島村治子, 秋葉隆, 丸茂文昭: ステロイド治療・腹腔洗浄が有効であった硬化性腹膜炎の1例. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 島村治子, 田村博之, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆, 丸茂文昭, 齋藤博: Morphine の使用により意識障害をきたした血液透析患者三症例の検討. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 大石竜, 西山敏郎, 大段剛, 奥山寛, 小林力, 衣笠えり子, 秋澤忠男, 出浦照國, 秋葉隆, 鈴木正司, 内藤秀宗, 上坂正利: ポリスルホン膜透析器の臨床評価. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 越川昭三, 秋澤忠男, 黒川清, 丸茂文昭, 秋葉隆, 坂井紀, 荒川正昭, 森井浩世, 清野佳紀, 塚本雄介, 鈴木正司, 尾形悦郎: 2次性副甲状腺機能亢進症 (2HPT) に対するカルシトリオール (C) 静注療法の長期効果. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 櫻井祐成, 栗原怜, 竹内正至, 小野田教高, 大和田一博, 大藪英一, 米島秀夫, 秋葉隆: 経口ビタミンD剤 (VD) 休薬による副甲状腺機能低下 (Hypo) 透析患者の骨塩量. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 星野武俊, 宮下美砂子, 鶴田幸男, 矢崎恒忠, 芝本隆, 秋葉隆: Acetate-Free Biofiltration (AFBF) が脂質代謝に与える影響について. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 前川清, 廬敏浩, 姜正義, 蒲谷堯, 松村美由起, 秋葉隆, 山下裕美: 下肢のむずむず感から発症し重症の周期性四肢運動障害に発展した1例. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 安藤亮一, 山内小津枝, 土肥まゆみ, 千田佳子, 井田隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血液透析患者におけるアポリポ蛋白 E 遺伝子多型および血中ビタミンK濃度の骨代謝における意義. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 佐野直人, 芝本隆, 佐々木信, 島村治子, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: エンドトキシン (ET) 汚染対策透析液カプラーの評価. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 寺田典生, 中島修, 井上聖司, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: Lipopolysaccharide 投与による急性腎不全でのアポトーシス関連遺伝子の発現調整. 第44回日本透析医学会学術集会・総会, 1999年6月25-27日.
- 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭: 開発したヘマトクリット値と除水制御運動システムは透析中の低血圧防止と適正体重に有効か. 第37回人工臓器学会大会, 1999年10月14-16日.
- 栗原怜, 大和田一博, 櫻井祐成, 小野田教高, 竹内正至, 大藪英一, 米島秀夫, 秋葉隆, 丸茂文昭: 副甲状腺ホル

- モン (PTH) 分泌状態は骨密度 (BMD) に影響を及ぼすか—DEXA 法と pQCT 法による検討—。第42回日本腎臓学会学術総会, 1999。
- 天野英介, 田村博之, 芳賀貴章, 島村治子, 内田信一, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: PTU 内服中の甲状腺機能亢進症に合併した ANCA 関連急速進行性糸球体腎炎の1例。第29回日本腎臓学会東部学術大会, 1999年10月22-23日。
  - 石川雅子, 田村博之, 蘇原映誠, 島村治子, 内田信一, 秋葉隆, 井田隆, 佐々木成, 丸茂文昭: P-ANCA 陽性と肺壊死血管炎を合併した Goodpasture 症候群の一例。第29回日本腎臓学会東部学術大会, 1999年10月22-23日。
  - 蘇原映誠, 島村治子, 朝野謙一, 田村博之, 内田信一, 坂本尚登, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭, 奈良智之: 血液透析導入後4年を経て原発性副甲状腺機能亢進症が顕在化した1症例。第29回日本腎臓学会東部学術大会, 1999年10月22-23日。
  - 芳賀貴章, 田村博之, 天野英介, 島村治子, 内田信一, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭, 室賀一宏, 栗山廉二郎: HUS をはじめとする多彩な臨床症状を呈した一過性免疫不全症の1例。第29回日本腎臓学会東部学術大会, 1999年10月22-23日。
  - 山崎親雄, 秋澤忠男, 秋葉隆, 鈴木正司: ワークショップ 望ましい透析施設の施設基準・提案。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日。
  - 櫻井祐成, 栗原怜, 小野田教高, 大和田一博, 須賀優, 大藪英一, 米島秀夫, 秋葉隆: 骨塩量 (BMC) 低下透析 (HD) 患者へのエチドロネート投与。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 斎藤明, 黒川清, 小倉裕幸, 越川昭三, 衣笠えり子, 浅野泰, 赤井洋一, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 中西太一, 秋葉隆, 篠田俊雄, 川口良人, 今村典嗣, 北條敏夫, 阿岸鉄三, 船越陽一, 鈴木正司, 甲田豊, 小川洋史, 水口潤, 武本佳昭, 内藤秀宗, 吾妻真幸, 秋澤忠男: 連日短時間血液透析の効果 (1)。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 秋澤忠男, 越川昭三, 衣笠えり子, 浅野泰, 赤井洋一, 東海林隆男, 笹岡拓雄, 中西太一, 秋葉隆, 篠田俊雄, 川口良人, 今村典嗣, 北條敏夫, 阿岸鉄三, 船越陽一, 鈴木正司, 甲田豊, 小川洋史, 水口潤, 武本佳昭, 内藤秀宗, 吾妻真幸, 小倉裕幸, 斎藤明, 黒川清: 連日短時間血液透析の効果 (1)。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 吉本裕, 芝本隆, 佐野直人, 秋葉隆, 丸茂文昭, 鈴木美紀, 土谷正和, 和山行正: 安定化剤効果確認試験と室間再現精度試験による透析液用エンドトキシン (ET) 測定試薬 (DL) の評価。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 吉本裕, 芝本隆, 佐野直人, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 工臓協共通プロトコルを使用した新しい通信ツール情報管理の試み。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 高木幾代, 黒滝理士, 村山巧, 星野武俊, 峰正英, 菊池史, 矢崎恒忠, 芝本隆, 秋葉隆: 各種ポリスルフォン (PS) 膜の LAL, SLP 活性物質の膜通過と溶質除去能について。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 木村弘, 稲田優子, 柴草成利, 尾崎泰史, 戸浦じゅん, 御園陽一, 下地洋稔, 高橋雅彦, 小笠原陽, 吉本裕, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: モジュール形状の長尺化は効率向上につながるか—東レ改良型透析機の基礎, 臨床評価—。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 太田朋子, 秋葉隆, 遠藤健一, 田村博之, 佐々木成, 丸茂文昭: ラット腹膜における水チャネル aquaporin (AQP1) の発現。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 石下晃子, 田村博之, 石川雅子, 田中雄二郎, 秋葉隆, 丸茂文昭: 腹水濃縮腹腔内再注入療法の適応について。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 芝本隆, 吉本裕, 佐野直人, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血漿リフィリング連続モニタリングシステムの臨床評価と今後の課題。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 星野武俊, 雨宮裕, 峰正英, 菊池史, 矢崎恒忠, 芝本隆, 秋葉隆, 稲田俊雄: i-PTH が低値を示す透析患者に対する Acetate-Free Biofiltration (AFBF) の有効性。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 口演。
  - 田島真人, 浅野謙一, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 原発性副甲状腺機能亢進症の合併を示唆した慢性腎不全の二例。第45回日本透析医学会学術集会・総会, 2000年6月16-18日, 示説。

- 浅野謙一, 田村博之, 遠藤健一, 秋葉隆, 丸茂文昭: 長期 CAPD 患者の難治性腹膜炎 2 例の治療経過について. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 前川清, 盧敏浩, 川邊真佐子, 蒲谷堯, 村松美由紀, 秋葉隆, 山下裕美: 周期性四肢運動障害 (PLMD) 治療薬の塩酸タリペキソールの透析患者における血中濃度の検討. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 石川雅子, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 血漿交換法, MP 療法, コルニチンの内服により長期生存が得られた原発性アミロイドーシスの一例. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 押田進, 古谷靖, 坂本順, 斎藤武志, 立花健, 小笠原陽, 吉本祐, 佐野直人, 芝本隆, 秋葉隆: ブドウ糖の体内動態に対する基礎的検討. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 浅野隆子, 新村文男, 亀井宏一, 小林克樹, 瀧本浩幸, 水沢慵一, 下田益弘, 田村博之, 秋葉隆, 井上晴洋: 腹腔鏡下の PD カテーテル閉塞解除術が有用であった 3 症例. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 畑中忍, 安倍和彦, 石原時子, 星野武俊, 峰正英, 菊池史, 矢崎恒忠, 芝本隆, 秋葉隆: 血圧低下防止目的で行う透析液 Na 値及び除水速度 (UF) の変更による血漿リフィリング速度 (PRR) について. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 佐野直人, 芝本隆, 吉本裕, 遠藤健一, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭: 測定原理の異なる循環血液量モニターの同一実験条件下における基礎的評価. 第 45 回日本透析医学会学術集会・総会, 2000 年 6 月 16-18 日, 示説.
- 伏見清秀, 秋葉隆: 血液透析治療に関する情報交換のためのデータフォーマット (HeMX) の設計. 第 20 回医療情報学連合大会, 2000 年 11 月.
- 曾根久美子, 永木茂, 白川清吾, 前田由美, 小峯真紀, 砂原真里, 大澤真木子, 木全直樹, 川嶋朗, 秋葉隆: アルギニン製剤投与で高アンモニア血症が遷延した OTG 欠損症の一例. 第 44 回日本先天代謝異常学会, 2000 年 11 月 9 日.
- 寺田典生, 桑原道雄, 秋葉隆, 佐々木成, 丸茂文昭: 薬剤による発現調節可能な Epo 遺伝子の in vino エレクトロポレーションによる遺伝子治療の試み. 第 44 回日本腎臓学会学術総会, 2001 年 5 月 27-29 日, 口演.
- 栗原怜, 小野田教高, 大和田一博, 桜井祐成, 須賀優, 大藺英一, 葉山修陽, 秋葉隆: 透析患者腸骨における海綿骨部と皮質骨部の骨代謝動態について. 第 44 回日本腎臓学会学術総会, 2001 年 5 月 27-29 日, 口演.
- 安藤亮一, 山内小津枝, 千田佳子, 井田隆, 秋葉隆, 丸茂文昭: 透析患者におけるビタミン K2 の骨代謝への影響とアポリポ蛋白 E 遺伝子多型の関与についての検討. 第 44 回日本腎臓学会学術総会, 2001 年 5 月 27-29 日, 口演.
- 秋澤忠男, 秋葉隆, 山崎親雄, 関野宏, 大平整爾, 岸本武利, 藤見惺, 大澤源吾, Held Philip: 欧州・米国・日本の血液透析患者と就労状況—DOPPS 研究から. 第 44 回日本腎臓学会学術総会, 2001 年 5 月 27-29 日, 示説.
- 福原俊一, Held Philip, Bragg Jennifer, 秋葉隆, 秋澤忠男, 斎藤明, 黒川清, 丸茂文昭: 透析患者の患者立脚型アウトカムの国際比較—DOPPS より. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 末永多恵子, 西田英一, 長井一高, 川嶋朗, 久保和雄, 秋葉隆, 二瓶宏: 当院における過去 5 年間の入院透析患者の動向. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.
- 関根淑江, 新田孝作, 本田一穂, 西田英一, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: CAPD 患者における Th サブセットに関する検討. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.
- 塚田三佐緒, 本田一穂, 西平順, 堀田茂, 西田英一, 新田孝作, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: CAPD 患者の Macrophage migration inhibitory factor (MIF) 値と腹膜機能との関係. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.
- 栗原怜, 小野田教高, 大和田一博, 桜井祐成, 須賀優, 大藺英一, 葉山修陽, 秋葉隆, 谷澤龍彦: 海綿骨および皮質骨の組織動態と骨代謝マーカー. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.
- 李順熙, 芝田正道, 横手卓也, 田中純子, 川嶋朗, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 大量処理におけるビリルビン吸着筒 (BR-350) の除去効率. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.
- 川嶋朗, 久保和雄, 杉本文美子, 村上淳, 松本和之, 木全直樹, 三和奈穂子, 樋川恵美子, 金子岩和, 大橋信子, 秋葉隆, 二瓶宏: 日常の透析室業務に対するクリティカルパスの適用. 第 46 回日本透析医学会学術集会・総会, 2001 年 6 月 23-24 日, 口演.

- 内藤順代, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏, 高梨美乃子, 十字猛夫: 血液透析患者 burst-forming unit-erythroid (BFU-E) への in vitro での降圧剤添加の影響. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 相馬泉, 木全直樹, 鈴木聡, 清水幹夫, 金子岩和, 田中純子, 川嶋朗, 峰島三千男, 佐藤雄一, 秋葉隆, 二瓶宏: 2種のダブルルーメンカテーテルにおける血液再循環の検討. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 江口圭, 横手卓也, 三浦俊二, 飯田稔, 金子岩和, 峰島三千男, 春口洋昭, 秋葉隆, 二瓶宏: CRIT-LINE を用いたシャント流量測定方法の検討. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 横手卓也, 江口圭, 三浦俊二, 飯田稔, 金子岩和, 峰島三千男, 春口洋昭, 秋葉隆, 二瓶宏: 種々のシャント流量測定法の比較. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 安田雅子, 川嶋朗, 久保和雄, 秋葉隆, 二瓶宏, 鈴木利昭, 松上桂子, 横小路朝代, 須田昭夫, 鈴木浩一, 蒲谷堯, 山下賀正: マキサカルシトール (OCT) の適正投与量の検討. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 芝本隆, 佐野直人, 吉本裕, 田村博之, 秋葉隆, 河合勲二, 丸茂文昭: 市販される持続血液浄化膜からの溶出物. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 中山昌明, 太田和夫, 秋葉隆, 中尾俊之, 前波輝彦, 頼岡徳在: 7.5% icodextrin 透析液 (BLPG) 12時間貯留の除水効果と薬物体内動態. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 口演.
- 伊藤友浩, 岡戸丈和, 田中啓之, 田村博之, 秋葉隆, 丸茂文昭, 樋口晃司, 小山信之: 透析患者に発症した肺コーム症の一例. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 田中純子, 川嶋朗, 代田さつき, 末永多恵子, 西田英一, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 当施設における急性肝不全の現況. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 安野崇, 川嶋朗, 萩原和子, 中島知美, 宮原逸子, 成澤公恵, 三室知子, 新田孝作, 宮島さや子, 秋葉隆, 二瓶宏, 蒲谷堯: 家族と同居している患者と1人暮らしの患者の心身医学的比較検討. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 田中純子, 木全直樹, 三和奈穂子, 相馬泉, 清水幹夫, 大貫隆子, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: トルネイドフロー・ブラッドアクセスカテーテル (アーガイル) の再循環の評価. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 齋藤まどか, 長井一高, 鈴木一恵, 田中裕子, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏, 大岡弘之: 鯉の胆嚢生食による急性腎不全の一例. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 渡邊喜彦, 田邊一成, 徳本直彦, 新村浩明, 湯村和子, 新田孝作, 川嶋朗, 木全直樹, 東間紘, 秋葉隆, 二瓶宏: SLE を原疾患とした腎不全患者に対する腎移植経験. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 代田さつき, 川嶋朗, 本間直子, 飯塚文瑛, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 重症・難治性潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法 (GCAP) の有効性について. 第46回日本透析医学会学術集会・総会, 2001年6月23-24日, 示説.
- 梁取有紀, 小川哲也, 木川田弥生, 三戸部倫大, 木全直樹, 秋葉隆, 小田秀樹, 二瓶宏: 急性腎不全で発症し非定型的多発性脳出血を来した IgD- $\lambda$  型多発性骨髄種の一例. 第31回日本腎臓学会西部学術大会, 2001年10月5-6日.
- 菊地勘, 西田英一, 末永多恵子, 代田さつき, 坂東美和, 木全直樹, 久保和雄, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏, 曾根久美子, 小峯真紀, 永木茂, 大澤真木子: オルチニントランスカルバミラーゼ欠損症における高アンモニア血症に対し血液濾過透析が有効であった一例. 第31回日本腎臓学会西部学術大会, 2001年10月5-6日, 示説.
- 平林あゆみ, 小川哲也, 梁取有紀, 齋藤まどか, 安田雅子, 三戸部倫大, 木全直樹, 曾根正好, 川嶋朗, 久保和雄, 秋葉隆, 二瓶宏, 三室和子, 成澤公恵: Diffuse antral vascular ectasia (DAVE) を合併した血液透析患者の一例. 第31回日本腎臓学会西部学術大会, 2001年10月5-6日, 示説.
- 渡辺喜彦, 三和奈穂子, 伊藤恭子, 塚田三佐緒, 鈴木一恵, 大貫隆子, 内田啓子, 本田一穂, 川嶋朗, 新田孝作, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 病理上 Classical PN の存在が考えられ, 消化管出血を繰り返した MPO-ANCA 関連腎炎の一例. 第31回日本腎臓学会西部学術大会, 2001年10月5-6日, 示説.
- 秋葉隆: シンポジウム 医療保険政策から考える PD ファースト・PD ラスト. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年



11月10-11日.

- 内藤順代, 西田英一, 二瓶宏, 川嶋朗, 秋葉隆: 腹膜透析歴約4年でDSAを発症した脳性麻痺合併の一症例. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年11月10-11日, 示説.
- 渋谷理恵, 後藤しずか, 長谷川美恵子, 西田英一, 川嶋朗, 秋葉隆: 患者自身が食生活を振り返ることにより, 体重増加をコントロールできた一症例. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年11月10-11日, 示説.
- 西田英一, 内藤順代, 塚田三佐緒, 板橋美津世, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 培養ラット腹膜中皮細胞におけるグルコース負荷に対する TGF- $\beta$  antisense oligodeoxynucleotides (ODNs) の導入効果. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年11月10-11日, 口演.
- 塚田三佐緒, 本田一穂, 西田英一, 堀田茂, 板橋美津世, 内田啓子, 新田孝作, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏, 西平順: 腹膜中皮細胞の Macrophage migration inhibitory factor (MIF) 産生と CAPD 患者における MIF の役割. 第7回日本腹膜透析研究会, 2001年11月10-11日, 口演.
- 春口洋昭, 中島一郎, 村上徹, 吉村直子, 君川正昭, 佐藤純彦, 川瀬友則, 唐仁原全, 淵之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: シンポジウム 慢性透析患者の周術期管理, とくに血液浄化法の検討. 第12回日本急性血液浄化学会, 2001年10月19-20日.
- 清水幹夫, 永瀨弘之, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: ワークショップ (小児急性血液浄化療法の課題) 当施設における小児急性血液浄化法の実際一技術的側面から一. 第12回日本急性血液浄化学会, 2001年10月19-20日.
- 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 近本裕子, 永瀨弘之, 服部元史, 白髪宏司, 伊藤克己, 秋葉隆: 乳児および低体重患児用低容量血液濾過回路の開発. 第12回日本急性血液浄化学会, 2001年10月19-20日.
- 伊木雅之, 秋葉隆, 西野治身, 松本俊夫, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭 for JPOS Study Group: シンポジウム 骨代謝マーカーで骨量減少が予測できるか? 3. 健常日本人女性における骨代謝マーカーによる骨密度変化の予測—JPOS Cohort Study—. 日本骨粗鬆症学会, 2001.
- 新田孝作, 秋葉隆, 木全直樹, 内田啓子, 二瓶宏: 血液透析患者における大動脈石灰化におけるマクロファージの役割. 第99回日本内科学会総会, 2002年3月28-30日.
- 戸田房子, 木全直樹, 徳本直彦, 峰島三千男, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: クリットラインによる DFPP 施行中の循環血液量連続測定の意味. 第90回日本泌尿器科学会総会, 2002年4月17-20日.
- 鈴木聡, 三浦俊二, 宮尾眞輝, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 臨床工学における IE 技術導入の試み. 日本臨床工学技士会平成14年第12回通常総会・学術大会, 2002年5月11-12日.
- 横手卓也, 三浦俊二, 江口圭, 金子岩和, 春口洋昭, 峰島三千男, 秋葉隆: 3種類のシャント流量測定法の比較～熱希釈法・BUN濃度3点法・ヘマトクリット希釈法～. 日本臨床工学技士会平成14年第12回通常総会・学術大会, 2002年5月11-12日.
- 宮尾眞輝, 鈴木聡, 三浦俊二, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 特性要因分析によるミス低減の試み. 日本臨床工学技士会平成14年第12回通常総会・学術大会, 2002年5月11-12日.
- 平山千佳, 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤克己: 乳児一症例に対する血液浄化法の経験. 日本臨床工学技士会平成14年第12回通常総会・学術大会, 2002年5月11-12日.
- 森山能仁, 本田一穂, 渡辺喜彦, 板橋美津世, 塚田三佐緒, 小池美葉子, 大貫隆子, 内田啓子, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 腎機能低下を伴う IgA 腎症に対するステロイド治療の有効性の検討. 第45回日本腎臓学会学術総会, 2002年5月23-25日, 口演.
- 内藤順代, 二瓶宏, 川嶋朗, 秋葉隆, 高梨美乃子, 十字猛夫: 血液透析患者 burst-forming unit-erythroid (BFU-E) への ACE 阻害薬及び A II 受容体拮抗薬添加の影響. 第45回日本腎臓学会学術総会, 2002年5月23-25日, 口演.
- 大坪茂, 新田孝作, 堀田茂, 本田一穂, 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 半月体形成糸球体腎炎における尿細管質病変と肥満細胞の関連性. 第45回日本腎臓学会学術総会, 2002年5月23-25日, 口演.
- 相馬泉, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 近本裕子, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: ワークショップ 当センターにおける小児アフェレシス治療と臨床工学技士の関わり. 第22回日本アフェレシス学会学術大会, 2002年6月14-16日.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: アフェレシスにおける循環血液量の監視に基づいた安全な治療

の実現のための対策. 第22回日本アフェレシス学会学術大会, 2002年6月14-16日.

- 相馬泉, 清水幹夫, 平山千佳, 小澤和由, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 近本裕子, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: 血漿膠質浸透圧を利用した小児難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法置換液濃度設定法の考案. 第22回日本アフェレシス学会学術大会, 2002年6月14-16日.
- 川嶋朗, 江口圭, 金野好恵, 天野雄介, 横井良, 木全直樹, 西田英一, 金子岩和, 秋葉隆: 加温式リサーキュレーション法 (DF サーモモード) を用いた LDL アフェレシスは血清コレステロール値 (T. Chol) 正常の閉塞性動脈硬化症 (ASO) にも有効か?. 第22回日本アフェレシス学会学術大会, 2002年6月14-16日.
- 鈴木一恵, 内田啓子, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 腎静脈血栓症を合併し腎生検上動脈硬化と巣状分節性糸球体硬化病変を伴った膜性腎症に LDL 吸着療法を施行した一症例. 第22回日本アフェレシス学会学術大会, 2002年6月14-16日.
- 中井滋, 新里高弘, 秋葉隆: シンポジウム 透析患者の心血管系死亡の疫学的検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 秋葉隆, 齋藤まどか, 土谷健: CC01-4 鉄剤投与方法について. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 秋葉隆, 峰島三千男, 金子岩和: CC-02-5 じょうずに付き合えるコンピュータシステムとは一近未来のおよび夢を交えて一. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 中井滋, 新里高弘, 秋葉隆: シンポジウム 透析患者の心血管系死亡の疫学的検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日.
- 石森勇, 峰島三千男, 佐藤雄一, 金子岩和, 秋葉隆, 二瓶宏: 中空糸有効長の異なるダイアライザの溶質除去特性に及ぼす内部濾過量の影響—超音波ドップラー法を用いた検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 佐藤雄一, 峰島三千男, 石森勇, 金子岩和, 秋葉隆, 寺岡慧: 直列ダイアライザシステムにおける内部濾過流量定量法の比較. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 芝田正道, 天野雄介, 坂上貴光, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: Na プロファイルを用いた除水コントロール機能が相対血液量に与える影響. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 坂上貴光, 芝田正道, 天野雄介, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: Fresenius 社製4008S を用いた下肢筋痙攣に対する透析方法の検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 三和奈穂子, 秋葉隆, 木全直樹, 菊池太陽, 新田孝作, 石井幾久子, 渡辺喜彦, 土谷健, 川嶋朗, 二瓶宏: 維持透析患者における1-84PTH (whole-PTH) の有用性. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 高橋真生, 北野優里, 田村仁信, 須田昭夫, 木全直樹, 秋葉隆, 二瓶宏: 慢性透析患者における whole PTH の検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 菊池太陽, 秋葉隆, 木全直樹, 樋口理万子, 三和奈穂子, 川嶋朗, 荒井純子, 山下賀正, 二瓶宏: PEIT 症例による7-84 PTH fragment の変化. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 中村道郎, 瀧之上昌平, 林哲朗, 工藤真司, 甲斐耕太郎, 吉村直子, 北島久視子, 春口洋昭, 君川正昭, 唐仁原全, 中島一郎, 秋葉隆, 寺岡慧: 腎性上皮小体機能亢進症に対する経皮的注入療法の効果. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 田中好子, 岩田晶子, 網代晶子, 佐藤朱美, 島本由紀子, 大坪由里子, 秋葉隆, 二瓶宏, 船渡川伊久子, 大橋靖雄: Maxacalcitol (OCT) 反応性予測による投与量決定の試み. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 齋藤まどか, 土谷健, 杉山裕子, 小川哲也, 安藤稔, 荒井純子, 秋葉隆, 二瓶宏: 保存期腎不全患者の Chr と rHuEPO 投与時におけるその変動. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 新田孝作, 秋葉隆, 内田啓子, 木全直樹, 三和奈穂子, 関根淑江, 板橋美津代, 岡野一祥, 本田一穂, 川嶋朗, 湯村和子, 二瓶宏: 血液透析患者のエリスロポエチン (EPO) 抵抗性と慢性炎症. 第47回日本透析医学会学術集会・

- 総会, 2002年7月19-21日, 口演.
- 本田一穂, 塚田三佐緒, 板橋美津代, 西田英一, 堀田茂, 新田孝作, 湯村和子, 春口洋昭, 寺岡慧, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏, 小田秀明, 西平順: 被嚢性腹膜硬化症 (Encapsulating Peritoneal Sclerosis) における腹膜線維芽細胞の活性化. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 和田有子, 代田さつき, 大石哲也, 橋口亜由子, 西田英一, 小川哲也, 木全直樹, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析患者に生じた再発性壊死性筋膜炎の症例. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 横手卓也, 芝田正道, 三浦俊二, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 限外濾過を利用した再循環率の測定〜ヘマトクリット濃縮法〜. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 安藤哲郎, 春口洋昭, 君川正昭, 唐仁原全, 中島一郎, 秋葉隆, 寺岡慧: Atrium 人工血管の臨床的検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 渋谷理恵, 後藤しずか, 長谷川美恵子, 西田英一, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 当院における CAPD 患者の短期入院の試み. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 横井良, 鈴木聡, 石和希伊子, 三上朗子, 金子岩和, 秋葉隆, 二瓶宏, 木村健一郎: 透析室排液配管内の異物除去に関する検討. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 天野雄介, 芝田正道, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用透析装置4008S 内蔵 Na プロファイル使用時における溶質除去特性. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 板橋美津世, 内田啓子, 西田英一, 塚田三佐緒, 新田孝作, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 培養ラット腹膜中皮細胞における糖条件下の Smad7 の動態. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 川嶋朗, 高橋聡, 沖本錦吾, 新田孝作, 赤松眞, 川越宏文, 湯村和子, 蒲谷堯, 阿岸鉄三, 二瓶宏, 秋葉隆: 長期透析患者の四肢疼痛に対する鍼治療の効果. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 末永多恵子, 小川哲也, 西田英一, 平林あゆみ, 杉浦秀和, 西條見佳子, 大前清嗣, 坂上貴光, 峰松佑輔, 石田和寛, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析治療に伴う脈波伝播速度 (PWV) と自律神経機能. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 安藤亮一, 山下裕美, 土肥まゆみ, 千田佳子, 井田隆, 石田雄二, 秋葉隆: 透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対するマキサカルシトール, カルシトリオール静注の骨代謝マーカーへの効果. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 川合由恵, 木全直樹, 三和奈穂子, 三船尚子, 小林里美, 水嶋淳一, 川島眞, 川嶋明, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液浄化療法が奏効した類天疱瘡の1例. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 斎藤明, 浅野泰, 秋澤忠男, 秋葉隆, 福原俊一, 丸茂文昭, 黒川清, Held Philip: Dialysis Outcome Practice Pattern Study (DOPPS) の新しい展開. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 菅沼信也, 湯村和子, 内田啓子, 川嶋朗, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: SLE 患者の血液透析導入時の評価とその対応. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 西田英一, 中元秀友, 鈴木洋通, 川本篤史, 八田正人, 秋葉隆, 二瓶宏: ASP を用いた CAPD 患者管理システムの構築. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 鈴木聡, 峰島三千男, 石森勇, 金子岩和, 佐藤雄一, 秋葉隆, 二瓶宏, 小林進, 服部博行: Bi-directional Peritoneal Dialysis 専用装置の開発. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 西田英一, 塚田三佐緒, 板橋美津代, 内藤順代, 内田啓子, 新田孝作, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 培養ラット腹膜中皮細胞の増殖に対する glucose, TGF- $\beta$ , HGF の関係. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 三浦俊二, 鈴木聡, 宮尾眞輝, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置の操作性に対する定量評価の試み. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 新田孝作, 秋葉隆, 内田啓子, 木全直樹, 渡邊喜彦, 鈴木浩一, 武井卓, 小川哲也, 川嶋朗, 湯村和子, 蒲谷堯, 二瓶宏: 血液透析患者における macrophage-colony stimulating factor (MCSF) と大動脈石灰化の関連性. 第47回日本透析医学会学術集会・総会, 2002年7月19-21日, 口演.
  - 岩田晶子, 網代晶子, 大坪由里子, 田中好子, 秋葉隆, 二瓶宏: HCV 抗体陽性透析患者における鉄剤投与の影響.

- 第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
- 寺田典生，桑原道雄，秋葉隆，佐々木成：薬剤による発現調節可能な Epo 遺伝子の in vivo エレクトロポレーションによる遺伝子治療の試み。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
  - 塚田三佐緒，本田一穂，西田英一，板橋美津世，内田啓子，新田孝作，川嶋朗，湯村和子，西平順，秋葉隆，二瓶宏：腹膜における Macrophage migration inhibitory factor (MIF) の産生と役割。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
  - 桑原道雄，太田朋子，田村博之，寺田典生，秋葉隆，佐々木成，丸茂文昭：腹膜組織に発現した水チャネル aquaporin-1の浸透圧による調節。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
  - 石田和寛，坂上貴光，峰松佑輔，金子岩和，木全直樹，峰島三千男，秋葉隆，二瓶宏：血液透析における循環動態モニタリング機能 (HASTE) の評価。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
  - 佐藤朱美，田中好子，浅野美和子，秋葉隆，二瓶宏：軟部組織の巨大な異所性石灰化がエチドロン酸ニナトリウム (EHDP) にて改善した2症例。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，口演。
  - 西田英一，大橋禎子，鈴木一恵，春口洋昭，中島一朗，本田一穂，湯村和子，秋葉隆，二瓶宏：腹腔鏡にて難治性腹膜炎と鑑別しえた被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の前段階の一例。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 大坪由里子，田中好子，網代晶子，岩田晶子，内田啓子，加藤義治，秋葉隆，二瓶宏：頸髄膜硬膜外アミロイド腫瘍により左肩～上肢痛，痺れを呈した血液透析患者の一例。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 木全直樹，徳本直彦，山下優子，望月剛，戸田房子，廣谷紗千子，佐藤雄一，春口洋昭，秋葉隆，東間紘，二瓶宏：皮下動静脈瘻診断における3次元エコー画像の有用性。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 戸田房子，徳本直彦，木全直樹，山下優子，望月剛，川嶋朗，田邊一成，秋葉隆，東間紘：ブラッドアクセスの管理と評価—上腕動脈穿刺によるシャント造影と超音波高速3次元表示画像。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 森川志保，徳本直彦，木全直樹，戸田房子，田邊一成，秋葉隆，東間紘：ボリュームレンダリング法を用いた3Dエコーが有用であった1例。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 徳本直彦，木全直樹，戸田房子，田邊一成，秋葉隆，二瓶宏，東間紘：血液透析患者における3Dエコーによるブラッドアクセスの評価と有用性について。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 坂東美和，木全直樹，新田孝作，小池美菜子，安田雅子，大坪茂，川嶋朗，秋葉隆，二瓶宏：血液透析患者に合併した Tumoral Calcinosis 様の異所性石灰沈着症。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 大坪由里子，安田雅子，内田啓子，田中好子，寺岡慧，秋葉隆，二瓶宏：Seroconversion を契機に胸水が消失した血液透析患者の一例。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 土谷健，杉山裕子，秋葉隆，二瓶宏，小池洋明，渡辺茂巳，瀬戸口晴美，榎本伸一，川村京子，門馬一成，渡邊由香，永野正史：透析患者における鉄代謝関連遺伝子の発現検討。第47回日本透析医学会学術集会・総会，2002年7月19-21日，示説。
  - 佐藤朱美，田中好子，浅野美和子，秋葉隆，二瓶宏：軟部組織の巨大な異所性石灰化がエチドロン酸ニナトリウム (EHDP) にて改善した2症例。第4回ビスフォスフォネートフォーラム，2002年8月31日。
  - 相馬泉，清水幹夫，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆，近本裕子，服部元史，白髪宏司，伊藤克己：持続緩徐式血液浄化装置 ACH-07用小児回路の開発と臨床使用について。第24回日本小児腎不全学会，2002年9月12-13日。
  - 清水幹夫，相馬泉，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆，二瓶宏，近本裕子，永淵弘之，服部元史，白髪宏司，伊藤克己：血液透析を利用した交換輸血。第24回日本小児腎不全学会，2002年9月12-13日。
  - 西田英一，秋葉隆：ワークショップ SMAP の適応。第8回日本腹膜透析研究会，2002年9月21-22日。
  - 渋谷理恵，後藤しずか，長谷川美恵子，西田英一，秋葉隆，二瓶宏：PD の段階的導入法 (SMAP) におけるインターネットの活用。第8回日本腹膜透析研究会，2002年9月21-22日，口演。
  - 中元秀友，森脇健史，鈴木洋通，川本篤史，八田正人，秋葉隆，二瓶宏：携帯電話を用いた CAPD 患者管理システ

- ムの確立. 第8回日本腹膜透析研究会, 2002年9月21-22日, 口演.
- 西田英一, 中元秀友, 鈴木洋通, 川本篤史, 八田正人, 秋葉隆, 二瓶宏: 携帯電話を用いた CAPD 患者管理システムの構築. 第8回日本腹膜透析研究会, 2002年9月21-22日, 口演.
- 齋藤明, 秋葉隆: 特別企画パネル 皆で考えよう: よい透析液, 悪い透析液. 第8回日本 HDF 研究会, 2002年10月.
- 末永多恵子, 小川哲也, 西田英一, 杉浦秀和, 平林あゆみ, 大前清嗣, 秋葉隆, 二瓶宏: 非糖尿病性腎症の維持血液透析患者に対する体液量変化に伴う脈波伝搬速度 (PWV) と心拍変動解析. 第25回日本高血圧学会, 2002年10月11-13日, 示説.
- 徳本直彦, 田邊一成, 石田英樹, 木全直樹, 戸田房子, 川嶋朗, 秋葉隆, 東間紘: 慢性腎不全における医療費の実際について. 第38回日本移植学会総会, 2002年10月17-19日.
- 徳本直彦, 田邊一成, 石田英樹, 木全直樹, 戸田房子, 新村浩明, 川嶋朗, 秋葉隆, 東間紘: 腎移植患者におけるフルバスタチンの有用性について. 第38回日本移植学会総会, 2002年10月17-19日.
- 潮平俊治, 内藤順代, 坂東美和, 渡邊喜彦, 大前清嗣, 齋藤まどか, 武岡幸代, 木全直樹, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 過粘稠症候群に伴う糖尿病性腎症に対して DFPP 及びステロイド療法が著効した一症例. 第32回日本腎臓学会東部学術大会, 2002年10月18-19日, 示説.
- 杉浦秀和, 小川哲也, 平林あゆみ, 末永多恵子, 大前清嗣, 西田英一, 荒井純子, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 慢性腎不全の Abdominal anigina に対するプロスタグランジンの有効性. 第32回日本腎臓学会東部学術大会, 2002年10月18-19日, 示説.
- 川瀬友則, 唐仁原全, 君川正昭, 中島一郎, 淵之上昌平, 寺岡慧, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 糖尿病性腎症によるネフローゼ症候群での胃癌患者に対する手術体験. 第32回日本腎臓学会東部学術大会, 2002年10月18-19日, 示説.
- 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析における循環動態モニタリング機能 (HASTE) の評価および有用性. 第39回日本臨床生理学会総会, 2002年11月28-29日, 示説.
- 徳本直彦, 田邊一成, 石田英樹, 石川暢夫, 佐藤純彦, 唐仁原全, 八木澤隆, 中島一郎, 合谷信行, 中澤速和, 淵之上昌平, 秋葉隆, 伊藤克己, 寺岡慧, 二瓶宏, 東間紘: 2002年度における東京女子医科大学腎センターにおける腎移植の臨床統計. 第36回日本臨床腎移植学会, 2003年1月30日.
- 徳本直彦, 木全直樹, 田邊一成, 戸田房子, 山下優子, 望月剛, 秋葉隆, 石田英樹, 東間紘: 血液透析患者における3次元エコー画像によるブラッドアクセスの評価と有用性. 第91回日本泌尿器科学会総会, 2003年4月2-5日.
- 金野好恵, 江口圭, 川嶋朗, 天野雄介, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 加温式リサキュレーション法 (DF サーモ) の予後追跡調査. 日本アフレスス学会第12回関東甲信越地方会, 2003年4月26日.
- 江口圭, 峰松佑輔, 坂上貴光, 海老沢秀夫, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: アフレシス関連モジュールにおける牛血系性能評価法の可能性 (技術シンポジウム). 日本アフレスス学会第12回関東甲信越地方会, 2003年4月26日.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 芝田正道, 金子岩和, 中倉兵庫, 近本裕子, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法 (PE) 施行時における CRIT-LINE モニタの使用経験. 日本アフレスス学会第12回関東甲信越地方会, 2003年4月26日.
- 天野雄介, 芝田正道, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 除水速度自動制御と Na プロファイル機能併用時における血漿再循環速度の推移. 日本医工学治療学会第19回学術大会, 2003年5月16-18日.
- 石和希伊子, 三上朗子, 芝田正道, 村上淳, 金子岩和, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆: 直接血液灌流型 LDL 吸着器 (DALI システム) の臨床的検討. 日本医工学治療学会第19回学術大会, 2003年5月16-18日.
- 芝田正道, 天野雄介, 坂上貴光, 峰松佑輔, 石田和寛, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: Fresenius 社製個人用透析装置4008S の BVM を併用した除水コントロールの有用性と問題点. 日本医工学治療学会第19回学術大会, 2003年5月16-18日.
- 中元秀友, 西田英一, 秋葉隆, 川本篤司, 八田正人, 鈴木洋通: 携帯電話による Telemedicine を用いた腎障害患者管理システムの構築. 第46回日本腎臓学会学術総会, 2003年5月22-24日, 示説.
- 末永多恵子, 小川哲也, 長井一高, 菅沼信也, 大前清嗣, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 維持血液透析患者

- における起立負荷時 (Schellong 試験) の心拍変動解析. 第46回日本腎臓学会学術総会, 2003年5月22-24日, 口演.
- 西田英一, 中本雅彦, 中元秀友, 秋葉隆: ワークショップ Web 型患者管理システムの構築と HeMX との連携. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 竜崎崇和, 中元秀友, 鈴木洋通, 西田英一, 秋葉隆: ワークショップ Telemedicine system を用いた透析病院間の病・診連携 system の確立. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 芝本隆, 上野信一, 井村卓, 川村正喜, 秋葉隆: ワークショップ 血液透析装置通信プロトコルのバージョンアップについて. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 本田一穂, 小田秀明, 二瓶宏, 秋葉隆: コンセンサスカンファレンス EPS 腹膜の病理. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 春口洋昭, 秋葉隆, 測之上昌平, 寺岡慧: コンセンサスカンファレンス インターベンションによる部位別対応—グラフト-静脈吻合部への対応—. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 西慎一, 椿原美治, 平方秀樹, 秋葉隆: トワイライト・セッション わが国の腎性貧血治療のガイドライン作成 (5) 鉄剤投与方法について. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 土谷健, 齋藤まどか, 安藤稔, 澁谷あすか, 杉山裕子, 秋葉隆, 二瓶宏: 保存期腎不全時の CHr と rHuEPO 投与による影響. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 村上淳, 石和希伊子, 三上朗子, 芝田正道, 川嶋朗, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: DHP 型 LDL 吸着器 (DALI システム) と血漿吸着 (LA-15) の多角的比較検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年月6日20-22, 口演.
- 相馬泉, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 服部元史, 中倉兵庫, 近本裕子, 秋葉隆, 伊藤克己: 当院小児科領域におけるブラッドアクセス用カテーテルの現況と議題. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 長井一高, 木全直樹, 徳本直彦, 春口洋昭, 戸田房子, 佐藤雄一, 廣谷紗千子, 三和奈穂子, 川嶋朗, 代田さつき, 西村佐代子, 芳田工, 寺岡慧, 秋葉隆, 東間紘, 二瓶宏: 3D echo による動静脈瘻に用いる皮静脈の術前後評価. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 末永多恵子, 小川哲也, 杉浦秀和, 平林あゆみ, 大前清嗣, 西村佐代子, 芳田工, 西田英一, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 当院維持透析患者の動脈硬化 (PWV) と死亡例の検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 宮尾眞輝, 鈴木聡, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: インシデント・アクシデント報告書からみた透析装置設定の一考察. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 斎藤明, 角田隆俊, 大平整爾, 伊丹儀友, 鈴木正司, 秋葉隆, 川嶋朗, 木全直樹, 篠田俊雄, 出浦照國, 小岩文彦, 衣笠えり子, 川口良人, 小坂直之, 東海林隆男, 小川洋史, 武本佳昭, 内藤秀宗, 藤森明, 佐藤正彦: 連日血液透析システム (AEK-10) の臨床評価 (1). 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 秋澤忠男, 打田和宏, 大平整爾, 伊丹儀友, 鈴木正司, 秋葉隆, 川嶋朗, 木全直樹, 篠田俊雄, 出浦照國, 小岩文彦, 衣笠えり子, 斎藤明, 角田隆俊, 川口良人, 小坂直之, 東海林隆男, 小川洋史, 武本佳昭, 内藤秀宗: 連日血液透析システム (AEK-10) の臨床評価 (2). 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 徳本直彦, 田邊一成, 木全直樹, 石田英樹, 戸田房子, 新村浩明, 川嶋朗, 合谷信行, 八木沢隆, 秋葉隆, 東間紘: HCV-RNA 陽性透析患者に対する IFN- $\alpha$  の治療成績について. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 中村道郎, 測之上昌平, 唐仁原全, 中島一郎, 林哲郎, 秋葉隆, 寺岡慧: 2次性副甲状腺機能亢進症に対する経皮的局注療法の工夫. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 新田孝作, 秋葉隆, 川嶋朗, 内田啓子, 木全直樹, 三和奈穂子, 湯村和子, 蒲谷堯, 二瓶宏: 血液透析患者における血管石灰化の進行と血清オステオプロテゲリン (OPG) 濃度. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 中村道郎, 測之上昌平, 唐仁原全, 中島一郎, 林哲郎, 秋葉隆, 寺岡慧: 血液透析液の清浄化は慢性炎症反応を改善する. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.

- 中村道郎, 瀧之上昌平, 唐仁原全, 中島一朗, 林哲郎, 秋葉隆, 寺岡慧: 腎移植後 VUR に対し僧帽弁逆流血液透析液の清浄化は慢性炎症反応を改善する. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 川合由恵, 田邊一成, 石田英樹, 徳本直彦, 近本裕子, 服部元史, 三和奈穂子, 木全直樹, 二瓶宏, 伊藤克己, 秋葉隆, 東間紘: 原疾患が FGS の腎移植後の再発例に対する血液交換療法の意義. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 鈴木聡, 峰島三千男, 金子岩和, 秋葉隆, 二瓶宏, 小林進, 増田利明: アルブミンの浸透圧を利用した Bi-directional Peritoneal Dialysis における臨床的検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 安藤亮一, 吉川桃乃, 土肥まゆみ, 千田佳子, 井田隆, 石田雄二, 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するマキサカルシトールとカルシトリオールのクロスオーバー比較試験. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 齋藤まどか, 網代晶子, 岩田晶子, 田中好子, 秋葉隆, 二瓶宏: C型肝炎合併透析患者における鉄剤投与とその HCV-RNA 量. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 矢嶋淳, 唐仁原全, 川瀬友則, 佐藤純彦, 中村道郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 腎不全患者の消化器系緊急手術に対する Endotoxin 吸着療法の成績. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 川嶋朗, 新井友子, 高橋聡, 村上桂子, 三室知子, 成澤公恵, 蒲谷堯, 二瓶宏, 秋葉隆: 透析患者の皮膚そう痒症に対する鍼治療の効果. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 木全直樹, 石田和寛, 成田堯, 二渡妙子, 坂上貴光, 峰松佑輔, 新田孝作, 三和奈穂子, 川嶋朗, 金子岩和, 峰島三千男, 須田昭夫, 秋葉隆, 二瓶宏: 透析中糖尿病患者における循環動態指標の検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 横手卓也, 江口圭, 天野雄介, 三上朗子, 芝田正道, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しいシャント流量測定法 (CRIT-LINE TQA の使用経験). 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 坂上貴光, 芝田正道, 天野雄介, 峰松佑輔, 石田和寛, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 各種循環動態モニタリング機能を用いた安全な透析の試み. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 口演.
- 塚田三紗緒, 板橋美津世, 新田孝作, 川嶋朗, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 当院における被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 宮本直志, 田邊一成, 徳本直彦, 石田英樹, 松田香, 東間紘, 秋葉隆: 生体腎移植後2ヶ月に腹壁癒痕ヘルニアによりイレウスをきたした1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 大橋禎子, 大前清嗣, 関根淑江, 小川哲也, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 難治性下痢症に三環系抗鬱薬が著効を認めた維持血液透析患者の1症例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 佐竹晃, 川嶋朗, 後藤淳, 安野崇, 川辺真佐子, 萩原和子, 宮島さや子, 小林敏, 前川清, 二瓶宏, 秋葉隆, 蒲谷堯: 透析患者の口渴に対する特殊飲料 (ウェットケア) の効果 (preliminary report). 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 矢吹恭子, 西村佐代子, 春口洋昭, 木全直樹, 三和奈穂子, 川嶋朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 人工血移植後に発生した正中神経選択的虚血性神経麻痺の1症例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 徳本直彦, 田邊一成, 石田英樹, 木全直樹, 戸田房子, 新村浩明, 川嶋朗, 八木沢隆, 秋葉隆, 東間紘: 腎移植患者におけるフルバスタチンの有用性. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 戸田房子, 徳本直彦, 山元啓史, 新村浩明, 木全直樹, 石田英樹, 川嶋朗, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: IADSA にて動脈の高度狭窄が判明し, PTA が有効であった血液透析患者の2例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 小川哲也, 石田秀岐, 筒井貴朗, 秋葉隆, 二瓶宏: 長期糖尿病透析患者における大動脈弓石灰化指数年次変化, 脈波速度 (PWV) および血圧に関する研究. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 松田香, 徳本直彦, 塩見興, 白川浩希, 山本啓文, 石田秀樹, 宮本直志, 田邊一成, 秋葉隆, 東間紘: HCV 抗体陽性 HCV-RNA 陰性ドナーからの腎移植の1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.

- 江口圭, 横井良, 金野好恵, 天野雄介, 金子岩和, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 加温式リサキュレーション法 (DF サーモ法) の有効性について. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 内藤順代, 土谷健, 森山能仁, 田中裕子, 二瓶宏, 秋葉隆, 鮫島勇一, 溝口秀明, 石井策史: Coombs 試験陰性自己免疫性溶血性貧血を合併した透析患者の1症例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 武井卓, 小池美菜子, 潮平俊治, 渡邊喜彦, 小川哲也, 秋葉隆, 二瓶宏: 臓器浸潤を伴う好酸球増多症候群にステロイド療法が著効した1症例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 塩見興, 徳本直彦, 金光泉, 川合由恵, 日野安見子, 山本啓文, 戸田房子, 石田秀樹, 秋葉隆, 東間紘: 長期透析患者に発症し, 精巣腫瘍が疑われた精巣内アミロイド沈着の1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 菅沼信也, 大前清嗣, 関根淑江, 小川哲也, 内田啓子, 荒井純子, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 長期維持透析患者に発症した成人 Still 病の1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 中倉兵庫, 服部元史, 相馬泉, 近本裕子, 澤井俊宏, 大森多恵, 荻野大助, 清水幹夫, 芝田正道, 宮川三平, 甲能深雪, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: CLIT-LINE モニターを用いた小児難知性ネフローゼ症候群に対する血漿交換治療施行時の体液管理. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 渡邊喜彦, 新田孝作, 鈴木浩一, 木全直樹, 秋葉隆, 市原智文, 芳賀正浩, 渡部良一郎, 青木孝直: 二次性副甲状腺機能亢進症患者におけるマキサカルシトールの骨密度に対する長期投与効果. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 田中好子, 安田雅子, 横山正義, 網代晶子, 石井幾久子, 齋藤まどか, 秋葉隆: ペースメーカー電池交換に際し, その周囲に異所性石灰化を認めた透析患者の1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 石田秀岐, 小川哲也, 町田政久, 筒井貴朗, 高木智恵子, 伊藤恭子, 松尾英徳, 関口博行, 二瓶宏, 秋葉隆, 野島美久, 安藤義孝: 血液透析患者における大動脈弓石灰化の検討 (第7報) —石灰化と生命予後について6年間の観察—. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 春口洋昭, 廣谷紗千子, 佐藤雄一, 佐藤純彦, 川瀬友則, 中島一朗, 測之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: 人工血管静脈側吻合部の血管内調音波 (IVUS) 所見. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 森山能仁, 菅沼信也, 関根淑江, 板橋三津世, 三戸部倫大, 大前清嗣, 小川哲也, 秋葉隆, 二瓶宏: ヒックマンカテーテルによる右房内巨大血栓を認めた1例. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 澁谷あすか, 安藤稔, 安田雅子, 東尚子, 小池美菜子, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 透析患者における単球細胞内サイトカイン産生能の解析. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日, 示説.
- 村上淳, 石和希伊子, 三上朗子, 芝田正道, 川嶋朗, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: DHP 型 LDL 吸着器 (DALI システム) 血漿吸着 (LA-15) の多角的比較検討. 第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003年6月20-22日.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 中倉兵庫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 近本裕子, 秋葉隆, 伊藤克己: 難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法 (PE) 施行時の置換液濃度設定に関する検討. 第38回日本小児腎臓病学会学術大会, 2003年7月3-5日.
- 中倉兵庫, 服部元史, 相馬泉, 近本裕子, 沢井俊宏, 大森多恵, 荻野大助, 清水幹夫, 芝田正道, 宮川三平, 甲能深雪, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児の体外循環血液浄化療法の実施時における CLIT-LINE モニターの有用性. 第38回日本小児腎臓病学会学術大会, 2003年7月3-5日.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 金子岩和, 峰島三千男, 中倉兵庫, 近本裕子, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児における急性血液浄化療法の適応と技術的限界. 第14回日本急性血液浄化学会学術集会, 2003年9月11-12日.
- 川合由恵, 内藤順代, 大坪茂, 平林あゆみ, 小川哲也, 西村佐代子, 木全直樹, 三和奈穂子, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: 長期透析のアミロイドーシスによる関節炎に対し, 少量ステロイド投与が有効であった一例. 第33回日本腎臓学会東部学術大会, 2003年9月25-26日, 示説.
- 高橋正毅, 森山能仁, 加藤曜子, 内藤順代, 小川哲也, 内田啓子, 本田一穂, 新田孝作, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 心臓カテーテル検査後にコレステロール結晶塞栓にて慢性腎不全を呈した1例. 第33回日本腎臓学会東部学術



- 大会, 2003年9月25-26日, 示説.
- 栗淳一, 板橋美津世, 森山能仁, 菅沼信也, 小池美菜子, 長井一高, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: ヘパリン起因性血小板減少症により回路内凝固を来たした血液透析導入例. 第33回日本腎臓学会東部学術大会, 2003年9月25-26日, 示説.
  - 江口圭, 峰松佑輔, 坂上貴光, 海老沢秀夫, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 膜型アフエレシス機器の牛血系性能評価法の問題点 (アフエレシス機器: 性能評価法の諸問題). 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 江口圭, 金野好恵, 天野雄介, 横井良, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: リスクマネージメントに配慮した新アフエレシス専用装置 (KPS-8800ce) の安全機構と問題点 (各種アフエレシス療法と専用装置の安全性). 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 江口圭, 金野好恵, 天野雄介, 横井良, 金子岩和, 川嶋朗, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: 加温式リサキュレーション法 (DF サーモ) の短期的効果と予後追跡調査 (アフエレシス療法は高脂血症を伴わない ASO 症例にも有効か?). 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 相馬泉, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 服部元史, 中倉兵庫, 近本裕子, 秋葉隆, 伊藤克己: ミニシンポジウム 小児に対する適正なアフエレシスの実施方法を考える 当施設における小児アフエレシス療法の実施と至摘操作法の考案. 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 中道晃子, 村上淳, 石和希伊子, 今野好恵, 平山千佳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: MA-01から MA-03へ, 安全性, 操作性はどれだけ向上したのか? (鐘淵化学工業社製 LDL 吸着専用装置の世代間比較). 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 平山千佳, 清水幹夫, 相馬泉, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児 ABO 血液型不適合腎移植における抗体除去法の検討. 第23回日本アフエレシス学会学術大会, 2003年10月3-4日.
  - 伊木雅之, 守田明美, 池田行宏, 由良晶子, 秋葉隆, 鏡森定信, 香川芳子, 米島秀夫: 日本人女性の無作為抽出標本における骨密度の6年間の追跡— JPOS Cohort Study —. 第5回日本骨粗鬆症学会, 2003年10月8-11日.
  - 中元秀友, 西田英一, 竜崎崇和, 曾根正好, 秋葉隆, 鈴木洋通: New Telemedicine System を用いた高血圧患者の管理システムの確立. 第26回日本高血圧学会総会, 2003年10月30-11月1日, 口演.
  - 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液排液中溶質濃度連続センサーを用いたナビゲーション透析. 第41回日本人工臓器学会大会, 2003年10月30日-11月1日.
  - 鈴木聡, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 臨床工学技士による IE (Industrial Engineering) 技術を導入した安全確保の提案. 第41回日本人工臓器学会大会, 2003年10月30日-11月1日.
  - 佐藤裕一, 峰島三千男, 石森勇, 小澤和由, 横手卓也, 木全直樹, 金子岩和, 秋葉隆, 寺岡慧: 高透水性ダイアライザにおける内部濾過流量の経時的変化. 第41回日本人工臓器学会大会, 2003年10月30日-11月1日.
  - 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液廃液中溶質濃度連続センサーを用いたナビゲーション透析. シンポジウム 代謝系人工臓器・人工酸素運搬体のニューテクノロジー. 第41回日本人工臓器学会大会, 2003年10月30日-11月1日.
  - 鈴木大輔, 小池美菜子, 森山能仁, 小川哲也, 二瓶宏, 秋葉隆: 不明熱と関節痛を主訴とし診断に苦慮した長期透析の1症例. 第4回東京女子医科大学骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会, 2003年12月13日.
  - 田中好子, 安藤雅子, 齋藤まどか, 島本由紀子, 秋葉隆: 当クリニックにおける P Ca intact PTH 値の実際. 第15回腎とビタミン D 研究会, 2004年2月28日.
  - 新田孝作, 秋葉隆, 内田啓子, 川嶋朗, 湯村和子, 二瓶宏: 血液透析患者における血管石灰化と血清オステオプロテジェリン (OPG) 濃度の関係. 第101回日本内科学会講演会, 2004年4月10日.
  - 菊地勘, 筒井貴朗, 芳田工, 木全直樹, 田中好子, 望月隆弘, 鈴木利昭, 須田昭夫, 秋葉隆: 血液透析患者における C 型肝炎ウイルス (HCV) 感染のサーベイランス. 第101回日本内科学会講演会, 2004年4月10日.
  - 佐藤雄一, 峰島三千男, 石森勇, 金子岩和, 秋葉隆, 寺岡慧, 春原隆司, 増田利明: シンポジウム 新たに発見された内部濾過促進型ダイアライザの性能評価. 日本医工学治療学会第20回学術大会, 2004年4月21-23日.
  - 清水幹夫, 芝田正道, 相馬泉, 金子岩和, 中倉兵庫, 服部元史, 峰島三千男, 二瓶宏, 伊藤克己, 秋葉隆: ワーク

シヨップ 小児血液浄化療法における操作条件の設定法—間歇治療の側面から—。日本医工学治療学会第20回学術大会，2004年4月21-23日。

- 坂上貴光，芝田正道，天野雄介，宮尾眞輝，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：Fresenius 社製4008S において除水コントロール施行時における各種パラメータ設定法について。日本医工学治療学会第20回学術大会，2004年4月21-23日。
- 相馬泉，服部元史，清水幹夫，平山千佳，中倉兵庫，金子岩和，峰島三千男，近本裕子，秋葉隆，伊藤克己：小児難治性ネフローゼ症候群に対するエバキュアー EC-4A を用いた単純血漿交換療法（PE）の経験。日本医工学治療学会第20回学術大会，2004年4月21-23日。
- 海老沢秀夫，村上淳，石和希伊子，佐々木ふみ，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：分光光度計を用いた透析液廃液中溶質濃度モニタリングシステムの可能性。日本医工学治療学会第20回学術大会，2004年4月21-23日。
- 江口圭，峰松佑輔，金子岩和，川嶋朗，峰島三千男，秋葉隆：LDT アフェレシスにおけるフィブリノーゲン除去に関する基礎的研究（その1）。第13回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会，2004年4月24日。
- 峰松佑輔，江口圭，金子岩和，川嶋朗，峰島三千男，秋葉隆：LDT アフェレシスにおけるフィブリノーゲン除去に関する基礎的研究（その2）。第13回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会，2004年4月24日。
- 宮尾眞輝，江口圭，坂上貴光，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：新しいクリットライン血液チャンバ（エクステンションチューブ型）の使用経験。第14回日本臨床工学会，2004年5月23日。
- 加藤紀子，横手卓也，坂上貴光，中道晃子，天野雄介，江口圭，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：新しいシャント流量測定法（CRIT-LINE・TQA）。第14回日本臨床工学会，2004年5月23日。
- 坂上貴光，横手卓也，天野雄介，加藤紀子，中道晃子，江口圭，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：新しいブラッドアクセス血流量測定装置における測定値の精度に関する検討。第79回日本医科器械学会大会，2004年5月26-28日。
- 新田孝作，秋葉隆，内田啓子，大坪茂，小川哲也，武井卓，川嶋朗，湯村和子，二瓶宏：血液透析患者における脈波伝播速度と血管石灰化は左室肥大に關与するか？。第47回日本腎臓学会学術総会，2004年5月27-29日，口演。
- 菊地勘，小島智亜里，芳田工，秋葉隆，二瓶宏：慢性血液透析患者における E 型肝炎ウイルス（HEV）感染。第47回日本腎臓学会学術総会，2004年5月27-29日，口演。
- 板橋美津世，新田孝作，塚田三佐緒，内田啓子，湯村和子，本田一穂，秋葉隆，二瓶宏：ラット腹膜中皮細胞における高糖条件化での MAP kinase の動態。第47回日本腎臓学会学術総会，2004年5月27-29日，示説。
- 芳田工，杉浦秀和，三戸部倫大，西村佐代子，代田さつき，大石哲也，土谷健，二瓶宏，秋葉隆：アデノウイルスを用いた ATF3 遺伝子発現によるラット腎虚血再灌流の予防とそのメカニズム。第47回日本腎臓学会学術総会，2004年5月27-29日，示説。
- 岩藤和広，春口洋昭，廣谷紗千子，佐藤雄一，甲斐耕太郎，津田信次，秋葉隆，二瓶宏，瀧之上昌平，寺岡慧：当施設におけるプライマリーブラッドアクセスの現状。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。
- 春口洋昭，佐藤雄一，廣谷紗千子，唐仁原全，佐藤純彦，川瀬友則，中島一朗，瀧之上昌平，秋葉隆，寺岡慧：E-PTEE グラフトの成績と管理。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。
- 横手卓也，加藤紀子，坂上貴光，中道晃子，天野雄介，江口圭，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：CRIT-LINETQA の使用経験1～in vitro 実験～。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。
- 加藤紀子，横手卓也，坂上貴光，中道晃子，天野雄介，江口圭，芝田正道，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：CRIT-LINETQA の使用経験2～臨床～。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。
- 斎藤明，秋葉隆，横野博史，岸本武利，藤見惺，浅野泰，Young EW：血液透析患者での複合ビタミン剤（MV）使用は死亡率低下と關連する～DOPPS 調査より。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。
- 秋澤忠男，秋葉隆，大平整爾，岸本武利，関野宏，丸茂文昭，Young EW：透析患者へのヘモグロビン濃度（Hb）に影響する患者関連因子について～DOPPS 調査より。第49回日本透析医学会学術集会・総会，2004年6月18-20日，口演。

- 秋澤忠男, 秋葉隆, 山崎親雄, 大平整爾, 横野博史, 黒川清, Port FK: エリスロポエチン治療と治療に影響する患者関連因子について～DOPPS 調査より, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 斎藤明, 秋葉隆, 関野宏, 山崎親雄, 大平整爾, 丸茂文昭, Port FK: 高い除水率 (UFR) は透析患者の予後低下に關与する～DOPPS 調査より, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 塚田三佐緒, 関根淑江, 大石哲也, 森山能仁, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: 腹膜透析患者の早期導入と残腎機能の検討, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 中倉兵庫, 平山千佳, 金子岩和, 近本裕子, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法施行時のエバキューア EC-4A の使用経験～第1報～, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 中倉兵庫, 服部元史, 相馬泉, 近本裕子, 古江建樹, 元吉八重子, 平山千佳, 清水幹夫, 芝田正道, 宮川三平, 甲能深雪, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法施行時のエバキューア EC-4A の使用経験～第2報～, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 清水幹夫, 元吉八重子, 服部元史, 芝田正道, 相馬泉, 金子岩和, 中倉兵庫, 峰島三千男, 伊藤克己, 秋葉隆: 幼児 Oxalosis に対する血液浄化, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 宮尾眞輝, 鈴木聡, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 臨床家からみた装置の操作における設計思想に関する検討, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 平山千佳, 相馬泉, 清水幹夫, 中倉兵庫, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 服部元史, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児血漿交換法におけるアルブミン置換液が血漿内因子に及ぼす影響, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 佐野淑江, 小池美菜子, 森山能仁, 荒井純子, 秋葉隆, 二瓶宏: グラフト感染を契機に重症肺炎を発症し死亡した長期血液透析患者の一部検例, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 川合由恵, 芳田工, 代田さつき, 西村佐代子, 土谷健, 安田和基, 二瓶宏, 秋葉隆: 慢性腎不全患者における末梢血 T 細胞の遺伝子発現プロファイル, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 三和奈穂子, 秋葉隆, 木全直樹, 新田孝作, 芳田工, 内湯安子, 櫻井繁, 山本靖彦, 米倉秀人, 山本博, 岩本安彦, 二瓶宏: 非糖尿病患者の receptor for advanced glycation end products (RAGE), 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 菊地勘, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: H. pylori 陽性血液透析 (HD) 患者の除菌療法と鉄欠乏性貧血 (IDA), 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 土谷健, 芳田工, 杉浦秀和, 代田さつき, 西村佐代子, 大石哲也, 澁谷あすか, 秋葉隆, 二瓶宏: 老化関連遺伝子 Klotho の発現におよぼすエリスロポエチンの効果, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 江口圭, 峰松佑輔, 金子岩和, 森山能仁, 峰島三千男, 秋葉隆: LDA アフェレシスにおけるフィブリノーゲン (Fib) 除去に関する基礎的研究, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 村上淳, 海老沢秀夫, 石和希伊子, 佐々木ふみ, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 分光光度計を用いた透析液排液中溶質濃度モニタリングシステム開発, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 新田孝作, 秋葉隆, 渡部良一郎, 間島一浩, 青木孝直, 鈴木浩一, 内田啓子, 湯村和子, 二瓶宏: エチドロネートは透析患者の血管石灰化を抑制する, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 口演.
- 鈴木聡, 峰島三千男, 峰松佑輔, 秋葉隆: ワークショップ 膜蒸留技術を利用した人工腎システム開発の基礎検討, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.
- 佐藤雄一, 峰島三千男, 秋葉隆, 寺岡慧: コンセンサスカンファレンス 膜型血液浄化器内で生じる内部濾過量の推定, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.
- 中井滋, 秋葉隆: シンポジウム 日本透析医学会統計調査の方法とその限界, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.
- 渡邊有三, 秋葉隆: シンポジウム 現状分析と次世代統計調査への提言, 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日.

- 齋藤まどか, 網代晶子, 朝長修, 田中好子, 秋葉隆, 二瓶宏: 乳酸アシドーシスを繰り返すミトコンドリア遺伝子異常を呈する透析患者の一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 田中好子, 安田雅子, 内田啓子, 秋葉隆, 小松水樹, 樋口千恵子, 佐中孜: エポエチン $\alpha$ により増悪した好酸球増多症の血液透析患者例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 小川哲也, 石田秀岐, 筒井貴朗, 伊藤恭子, 安藤義孝, 秋葉隆, 二瓶宏: 血圧良好な長期非糖尿病透析患者におけるアンジオテンシンII阻害薬の大動脈弓石灰化指数年次変化, 脈波速度 (PWV) への効果. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 小島智亜里, 大石哲也, 望月隆弘, 秋葉隆, 二瓶宏: PD患者におけるける血中 Adiponectin (ADPN) 濃度と動脈硬化因子との関連性. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 安田雅子, 田中好子, 内田啓子, 二瓶宏, 秋葉隆: 胸骨結核腫を発症した血液透析患者の一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 内藤順代, 土谷健, 森山能仁, 小川哲也, 二瓶宏, 秋葉隆, 田中裕子, 石井策史: Danazol の投与が有効であった Coombs 試験陰性自己免疫性溶血性貧血を合併した透析患者の一症例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 小池美菜子, 森山能仁, 武井卓, 小川哲也, 秋葉隆, 二瓶宏: 不明熱と関節痛を主訴とし診断に苦慮した長期透析の一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 井野純, 代田さつき, 平林あゆみ, 小川哲也, 秋葉隆, 二瓶宏: 内シャント再建術後に創部感染より髄膜炎, 硬膜外膿瘍を来たした一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 鈴木啓子, 小林英雄, 大橋禎子, 秋葉隆, 二瓶宏: 乳房外パジャット病により急性腎不全を来たした一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 菅沼信也, 内藤順代, 小池美菜子, 大前清嗣, 土谷晃靖, 秋葉隆, 二瓶宏: 両下腿に著明な異所性石灰化を認めた維持血液透析患者の一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 板橋美津代, 大貫隆子, 田中好子, 秋葉隆, 二瓶宏: 不明熱で発症し Crohn 病が疑われた維持透析患者の一例. 第49回日本透析医学会学術集会・総会, 2004年6月18-20日, 示説.
- 相馬泉, 服部元史, 近本裕子, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 中倉兵庫, 芳田工, 秋葉隆, 伊藤克己: 小児血液浄化療法におけるブラッドアクセスカテーテルの現況と課題. 第15回日本急性血液浄化学会学術集会, 2004年9月17-18日, 口演.
- 芝田正道, 清水幹夫, 相馬泉, 峰松佑輔, 坂上貴光, 小沢和由, 金子岩和, 菊地勘, 芳田工, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏, 寺岡慧: 新しい除水システム ADP-01の使用経験. 第15回日本急性血液浄化学会学術集会, 2004年9月17-18日, 口演.
- 坂上貴光, 峰松佑輔, 清水幹夫, 芝田正道, 金子岩和, 芝田工, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏: コーリン社製 moneoBP-88Si の使用経験. 第15回日本急性血液浄化学会学術集会, 2004年9月17-18日, 口演.
- 清水幹夫, 元吉八重子, 服部元史, 芝田正道, 相馬泉, 金子岩和, 中倉兵庫, 中島一期, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 小川由英, 峰島三千男, 秋葉隆, 二瓶宏, 伊藤克己: 乳児型原発性高シユウ酸尿症 (PH1) の1例に対する血液浄化. 第15回日本急性血液浄化学会学術集会, 2004年9月17-18日, 口演.
- 大石哲也, 菊地勘, 芳田工, 中村綾子, 八木理充, 角田裕子, 多賀谷悦子, 秋葉隆, 二瓶宏: 乏尿を目安に PMMA-HDF を導入し, 改善の得られた敗血症の一例. 第15回日本急性血液浄化学会学術集会, 2004年9月17-18日, 口演.
- 塚田三佐緒, 芳田工, 大石哲也, 渋谷理恵, 秋葉隆: 腹膜透析患者の残骨機能の検討. 第10回日本腹膜透析研究会, 2004年9月18-19日, 口演.
- 春口洋昭, 塚田三佐緒, 瀧之上昌平, 中島一期, 秋葉隆, 寺岡慧: パネルディスカッション 人工臓器と感染 CAPD に関連する腹膜炎の現状と治療法の検討. 第42回日本人工臓器学会, 2004年10月5-7日.
- 木村文子, 西井則子, 山本真人, 竹内靖夫, 秋葉隆, 上野恵子: パネルディスカッション 慢性透析症例の冠疾患治療研究について 放射線科医からみた慢性透析症例の石灰化の画像診断. 第42回日本人工臓器学会, 2004年10月5-7日.

- 鈴木聡, 峰島三千男, 峰松佑輔, 秋葉隆: 膜蒸留技術による新しい人工腎システム開発の基礎的検討. 第42回日本人工臓器学会, 2004年10月5-7日, 口演.
- 石森勇, 佐藤雄一, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザにおける内部濾過の圧力の測定による推定法. 第42回日本人工臓器学会, 2004年10月5-7日.
- 田端秀日朗, 鈴木啓子, 小島史子, 小島智亜里, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: 急激な腎機能悪化を認め腎生検が診断の契機となったサルコイドーシスの一例. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 柴田藍, 森山能仁, 新田孝作, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏: 自己免疫性腎炎に合併した間質性腎炎の一例. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 岩崎富人, 武井卓, 小川哲也, 石原美和, 塚田三佐緒, 荒井純子, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: 劇症型 A 群溶連菌感染症を契機に DIC を合併し MOF を呈するも, 患肢切断と HDF により救命しえた 1 例. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 浅宮有香理, 大石哲也, 内藤順代, 芳田工, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 塩酸バラシクロピル (バルトレックス) により急性腎不全を来たした2例. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 池辺宗三人, 菊地勘, 土谷健, 湯村和子, 寺岡慧, 秋葉隆, 二瓶宏: 交差性融合腎に発生した腎細胞癌の一例. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 元吉八重子, 服部元史, 近本裕子, 中倉兵庫, 古江建樹, 宮川三平, 甲能深雪, 甲斐耕太郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 清水幹夫, 相馬泉, 金子岩和, 秋葉隆, 北山浩嗣, 和田尚弘, 小川由英, 伊藤克己: 原発性過蓆酸尿症1型の1歳男児例における生体肝腎移植の経過. 第34回日本腎臓学会東部学術大会, 2004年11月5-6日, 口演.
- 中倉兵庫, 服部元史, 相馬泉, 金子岩和, 秋葉隆, 伊藤克己: シンポジウム 腎疾患・膠原病に対する新しいアフエレス技術の応用 小児原発性 FSGS に対するエバキュアー EC-4A を用いた血漿交換法. 第24回日本アフエレス学会学術大会, 2004年11月19-20日.
- 江口圭, 峰松佑輔, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: LDL アフエレスにおけるフィブリノーゲン除去に関する基礎的研究 (その1) ~ DF サーモ法と吸着法の比較~. 第24回日本アフエレス学会学術大会, 2004年11月19-20日, 口演.
- 峰松佑輔, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: LDL アフエレスにおけるフィブリノーゲン除去に関する基礎的研究 (その2) ~ DS 吸着法の二次調査~. 第24回日本アフエレス学会学術大会, 2004年11月19-20日, 口演.
- 平山千佳, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 二重膜濾過血漿交換療法が血液凝固因子に及ぼす影響. 第24回日本アフエレス学会学術大会, 2004年11月19-20日, 口演.
- 鈴木啓子, 新田孝作, 内田啓子, 秋葉隆, 二瓶宏: 糖尿病を合併した血液透析患者における血清 Osteoprotegerin 濃度と骨密度の関連性. 第5回東京女子医科大学骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会, 2004年12月11日.
- 甲斐耕太郎, 小山一郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 二瓶宏, 秋葉隆, 寺岡慧: 透析患者におけるブラッドアクセス手術とその成績. 東京女子医科大学学会第331回例会, 2005年2月26日.
- 今野好恵, 江口圭, 峰松祐輔, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 血漿成分分画器 (Evaflux 5A) の濾過特性に及ぼす温度の影響. 第14回日本アフエレス学会関東甲信越地方会, 2005年4月16日.
- 平山千佳, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 二重膜濾過血漿交換法における凝固系トラブルと凝固薬の検討. 第14回日本アフエレス学会関東甲信越地方会, 2005年4月16日.
- 古江建樹, 三浦健一郎, 久野正貴, 中倉兵庫, 宮村正和, 近本裕子, 秋岡裕子, 武藤順子, 大澤真木子, 服部元史: ガンマグロブリン不応型川崎病に対する血漿交換法の経験. 第14回日本アフエレス学会関東甲信越地方会, 2005年4月16日.
- 春口洋昭, 林哲朗, 甲斐耕太郎, 廣谷紗千子, 中島一朗, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: シンポジウム 超音波診断機を用いた新しい評価方法 Vascular Access トラブルに対する超音波診断の有用性と限界. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 鈴木聡, 宮尾眞輝, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 他業種の安全技術を利用した血液浄化マシン インターフェースデザインの理想 ユーザーからみた透析装置に求められるデザイン. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.

- 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 血液浄化装置の適正な保守管理および修理業務のあり方 血液浄化機器の予防的な保守点検・管理業務. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 春口洋昭, 廣谷紗千子, 小山一郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 三宮彰仁, 中島一朗, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧: ワークショップ バスキュラーアクセス・メンテナンス バスキュラーアクセス・トラブルに対する外科治療. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 中井滋, 秋葉隆: ワークショップ 溶質除去面からみた適正透析 透析時間の現況と生命予後に及ぼす影響. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 村上淳, 海老沢秀夫, 石和希伊子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 溶質除去面からみた適正透析 透析液排液モニタリングの可能性. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 潮平俊治, 菊地勘, 岩本正恵, 矢吹恭子, 小島智亜里, 池辺宗三人, 代田さつき, 塚田三佐緒, 内藤順代, 芳田工, 秋葉隆: HD または HDF 中に血圧不安定な患者が, Acetate-free biofiltration (AFB) への変更で, 従来の治療と比較し血圧が安定するか?. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 石森勇, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析における脱血状態の回路内圧の変動量を用いたモニタリング. 日本医工学治療学会第21回学術大会, 2005年5月13-15日.
- 宮尾眞輝, 鈴木聡, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 日機装社製透析用監視装置 DCS-27の安全性の検討~エラー発生面から~. 第15回日本臨床工学会, 2005年5月21-22日.
- 坂上貴光, 小田順一, 伊部紀子, 山田祐史, 石森勇, 芝田正道, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 脱血圧を指標とした各種留置針における臨床評価と実流量の検討. 第15回日本臨床工学会, 2005年5月21-22日.
- 相馬泉, 清水幹夫, 服部元史, 平山千佳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 小児難治性ネフローゼ症候群に対する血漿交換療法の技術的検討. 第15回日本臨床工学会, 2005年5月21-22日.
- 馬場國哲也, 井上愛子, 田中伸枝, 石井晶子, 岩本安彦, 秋葉隆, 田邊一成, 東間紘, 中島一郎, 瀧之上昌平, 寺岡慧: 合同シンポジウム 糖尿病性腎症の腎移植一適応・現況・展望. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日.
- 荒井純子, 市村史郎, 長田卓也, 勝村俊仁, 宮川三平, 塚田三佐緒, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: 慢性維持透析患者における透析前後の骨格筋酸素消費量について. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 春口洋昭, 岩藤和弘, 廣谷紗千子, 甲斐耕太郎, 小山一郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 秋葉隆, 二瓶宏, 寺岡慧: 自己血管内シャントの成績に関する因子の解析. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 塚田三佐緒, 新田孝作, 芳田工, 西井規子, 木村文子, 三橋紀夫, 秋葉隆, 二瓶宏: MDCT と MRA による透析患者の冠動脈病変の評価. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 菊地勘, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: 血液透析患者の C 型慢性肝炎に対する Peginterferon Alfa-2a (PEG-IFN) 治療の有効性 第1報 PEG-IFN の薬物動態. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 鈴木啓子, 新田孝作, 内田啓子, 秋葉隆, 二瓶宏: 糖尿病を合併した血液透析患者における血清 osteoprotegerin 濃度と骨密度の関連性. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 芳田工, 杉浦秀和, 代田さつき, 土谷健, 大石哲也, 竹宮孝子, 山形要人, 二瓶宏, 秋葉隆: COX-2ノックアウトマウスを用いた腎虚血再灌流の機能解析. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 代田さつき, 芳田工, 杉浦秀和, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: siRNA 発現プラスミドを用いた左右決定遺伝子 *inv* の持続的抑制による機能解析. 第48回日本腎臓学会学術総会, 2005年6月23-25日, 示説.
- 菊地勘, 秋葉隆: D- ワークショップ ウイルス肝炎感染対策. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日.
- 田端秀日朗, 武井卓, 小島智亜里, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: 塩酸ジフェンヒドラミン内服により不随意運動と急性膵炎を引き起こした透析患者の一例. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
- 小川哲也, 石田秀岐, 筒井貴朗, 伊藤恭子, 安藤義孝, 秋葉隆, 二瓶宏: 維持透析患者における心臓弁石灰化と心機能に関する検討. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
- 海老沢秀夫, 村上淳, 石和希伊子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液排液中溶質濃度モニタリングシステム

- の開発. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
- 柴田藍, 鈴木啓子, 小池美菜子, 荒井純子, 湯村和子, 二瓶宏, 秋葉隆, 柴田亮行, 小林楨: 腸腰筋腫瘍, 椎体・椎間板炎および膿胸から敗血症性ショックにより死亡に至った血液透析患者の1剖検例. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - DOPPS 研究会 木全直樹, 秋葉隆, 秋澤忠男, 斎藤明, 福原俊一, 黒川清: カルシウム (Ca), リン (P) コントロールに関する因子～DOPPS 研究より～. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 木全直樹, 秋葉隆, 秋澤忠男, 関野宏, 岸本武利, 藤見惺, Port FK: 透析患者における血清カルシウム (Ca), リン (P) と冠動脈疾患死亡率との関連について～DOPPS 研究より～. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - DOPPS 研究会 秋澤忠男, 秋葉隆, 山崎親雄, 大平整爾, 楨野博史, 丸茂文昭, Pisoni RL: 透析患者における骨折の疫学について～DOPPS 調査より～. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 潮平俊治, 菊地勘, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 代田さつき, 芳田工, 秋葉隆, 二瓶宏: HD または HDF 中に血圧不安定な患者が, Acetate-free biofiltration (AFB) への変更で, 従来の治療と比較し血圧が安定するか?. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 福山敬子, 飯沢まさみ, 小原晶子, 鳥海奈穂美, 中山貴美子, 鈴木厚子, 小島智亜里, 菊地勘, 芳田工, 秋葉隆: 透析患者の抑うつ状態はブリーフ・セラピーで改善するか?. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 土谷健, 藤生亜由子, 芳田工, 代田さつき, 杉浦秀和, 小島智亜里, 大石哲也, 菊地勘, 秋葉隆, 二瓶宏: 鉄代謝関連蛋白 hepcidin 発現に影響をおよぼす因子の検討. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 池辺宗三人, 菊地勘, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 芳田工, 土谷健, 荒井純子, 秋葉隆, 二瓶宏: H. pylori (HP) 除菌により鉄欠乏性貧血 (IDA) が改善した一例. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 鈴木聡, 山中昭広, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置の操作性に対する定量評価の試み (第2報). 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 山中昭広, 鈴木聡, 宮尾眞輝, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液回路組み立てにおけるサーブリック分析の試み. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 塚田三佐緒, 芳田工, 小島智亜里, 新田孝作, 秋葉隆, 二瓶宏: 腹膜透析患者における CRP 値の変化の検討. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 川嶋朗, 新井友子, 三室知子, 村上桂子, 江藤洋子, 新田孝作, 蒲谷堯, 二瓶宏, 秋葉隆: 維持透析患者の皮膚掻痒症に対する東洋医学的アプローチと鍼治療の効果. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 中倉兵庫, 三浦健一郎, 久野正貴, 宮村正和, 古江健樹, 近本裕子, 宮川三平, 甲能深雪, 秋葉隆, 服部元史: 小児腹膜透析患者における微量元素の測定. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 口演.
  - 日本透析医学会統計調査委員会 井関邦敏, 中井滋, 新里高弘, 篠田俊雄, 若井建志, 菊池健次郎, 和田篤志, 奈倉勇爾, 秋葉隆: わが国の慢性透析患者における高血圧の頻度およびその関連因子 (JSDT2000). 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 示説.
  - 齋藤まどか, 田中好子, 安田雅子, 島本由紀子, 藤生亜由子, 朝長修, 秋葉隆, 二瓶宏: HbA1c 正常値でグリコヘモグロビン高値の透析患者に対し75gOGTT を施行した12例. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 示説.
  - 小島智亜里, 安藤稔, 望月隆弘, 秋葉隆, 二瓶宏: HD 患者における血小板マイクロパーティクルの検討. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 示説.
  - 岩本正恵, 塚田三佐緒, 芳田工, 新田孝作, 湯村和子, 秋葉隆, 二瓶宏, 小山邦広, 大貫恭正: 透析患者に合併し病理組織にて確定診断し得た子宮内膜症性気胸の1例. 第50回日本透析医学会学術集会・総会, 2005年6月24-26日, 示説.
  - 代田さつき, 板橋道朗, 亀岡信悟, 芳田工, 土谷健, 秋葉隆, 二瓶宏: 潰瘍性大腸炎に合併した関節炎に対し白血

- 球除去療法（LCAP）が奏効した大腸全摘後の一例。第50回日本透析医学会学術集会・総会，2005年6月24-26日，示説。
- 矢吹恭子，菊地勘，内藤順代，芳田工，秋葉隆，二瓶宏，石田雅美，赤坂怜，川嶋眞：DFPP が奏効した尋常性天疱瘡（PV）の2症例。第50回日本透析医学会学術集会・総会，2005年6月24-26日，示説。
- 日本透析医学会統計調査委員会・小委員会 政金生人，中井滋，秋葉隆：透析治療の地域差に関する検討（第1報）。第50回日本透析医学会学術集会・総会，2005年6月24-26日，示説。
- 岩藤和広，唐仁原全，加藤容次郎，甲斐耕太郎，南木浩二，三宮彰仁，小山一郎，佐藤純彦，中島一朗，瀧之上昌平，秋葉隆，寺岡慧：敗血症に陥った CRF 患者の緊急手術における PMX の使用経験。第16回日本急性血液浄化学会学術集会，2005年9月16-17日。
- 清水幹夫，相馬泉，平山千佳，金子岩和，峰島三千男，古江健樹，服部元史，大澤真木子，秋葉隆：乳児に対する血漿交換療法。第16回日本急性血液浄化学会学術集会，2005年9月16-17日，口演。
- 峰松佑輔，清水幹夫，相馬泉，坂上貴光，小田順一，金子岩和，古江健樹，服部元史，峰島三千男，秋葉隆：新しい除水システム ADP-01D（旭 MED 社製）の使用経験。第27回日本小児腎不全学会，2005年9月29-30日。
- 柳澤暁子，三浦健一郎，古江健樹，金井孝裕，久野正貴，宮村正和，秋岡祐子，森善樹，平山千佳，相馬泉，清水幹夫，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆，大澤真木子，服部元史：急性左心不全を呈した慢性腎不全患児の一例。第27回日本小児腎不全学会，2005年9月29-30日。
- 西井規子，塚田三佐緒，桑鶴良平，秋葉隆，三橋紀夫：血管石灰化病変は腎疾患患者における臨床的予後因子となりうるか？。第35回日本腎臓学会東部学術大会，2005年10月7-8日。
- 溜井紀子，岩本正恵，大橋禎子，芳田工，荒井純子，秋葉隆，三宮彰仁，唐仁原全，寺岡慧，新田孝作：Wegener 肉芽腫症（WG）に大腸憩室穿孔を繰り返し合併した1例。第35回日本腎臓学会東部学術大会，2005年10月7-8日，示説。
- 片岡浩史，鈴木浩一，大橋禎子，内田啓子，湯村和子，秋葉隆，新田孝作：deposition disease 様の腎変を呈し，3年の経過で糸球体 IgM 沈着が進行したネフローゼ症候群の一例。第35回日本腎臓学会東部学術大会，2005年10月7-8日，示説。
- 発田陽子，菊地勘，大石哲也，代田さつき，塚田三佐緒，芳田工，秋葉隆，新田孝作：特発性門脈圧亢進症による高アンモニア血症を呈した長期透析患者の1例。第35回日本腎臓学会東部学術大会，2005年10月7-8日，示説。
- 横手卓也，加藤紀子，江口圭，金子岩和，春口洋昭，峰島三千男，秋葉隆：ブラッドアクセス管理を目的としたブラッドアクセス流量測定の意義とその実際。第9回アクセス研究会，2005年10月9日。
- 塚田三佐緒，芳田工，菊地勘，春口洋昭，渋谷理恵，新田孝作，秋葉隆：スペシャルセッション SMAP は残腎機能保持に有用か—将来法との比較—。第11回日本腹膜透析研究会，2005年10月29-30日。
- 渋谷理恵，高橋佳世子，深沢恵，阪本倫美，塚田三佐緒，中倉兵庫，服部元史，秋葉隆：当院における腹膜透析患者の在宅への援助。第11回日本腹膜透析研究会，2005年10月29-30日，示説。
- 服部元史，古江健樹，近本裕子，中島一朗，瀧之上昌平，寺岡慧，相馬泉，清水幹夫，金子岩和，秋葉隆：低体重児肝移植例におけるアフェレシス治療の実際と注意点。第25回日本アフェレシス学会学術大会，2005年11月18-19日。
- 大橋禎子，内田啓子，秋葉隆，新田孝作：教育講演 急速進行性腎炎におけるアフェレシス治療の選択—施行例 vs 未施行例の比較検討から—。第25回日本アフェレシス学会学術大会，2005年11月18-19日。
- 鈴木聡，宮尾眞輝，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：インシデント報告から見た人工腎インターフェースと臨床的使い良さの関係。第43回日本人工臓器学会，2005年11月30日-12月2日。
- 江口圭，池辺宗三人，峰松佑輔，金野好恵，金子岩和，鈴木浩一，峰島三千男，秋葉隆：新しい HDF 療法（Pulse-HDF）構築の可能性を探る。第43回日本人工臓器学会，2005年11月30日-12月2日。
- 坂上貴光，小田順一，峰松佑輔，清水幹夫，金子岩和，菊地勘，峰島三千男，秋葉隆：旭化成メディカル社製 ADP-01の血液成分の違いによる濾過特性（in vitro 実験による検討）。第43回日本人工臓器学会，2005年11月30日-12月2日，示説。
- 村瀬泰子，横手卓也，石森勇，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：透析液浄化への取り組み（MIZ252C-H の使用経験）。第11回日本 HDF 研究会，2005年12月2-3日。



- 石森勇, 山田祐史, 金子岩和, 秋葉隆: APS-15S とそのハウジング形状, 中空糸形状を変更した APS-15SA の水系性能比較. 第11回日本 HDF 研究会, 2005年12月2-3日.
- 塚田三佐緒, 芳田工, 菊地勘, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 春口洋昭, 渋谷理恵, 新田孝作, 秋葉隆: 在宅医療である CAPD の当院での現況と課題について. 第27回東京女子医科大学在宅医療研究会, 2006年1月14日.
- 伊木雅之, 森田明美, 池田行宏, 秋葉隆, 西野治身, 松本俊夫, 鏡森定信, 香川芳子, 米島秀夫: 骨代謝マーカーは閉経後ではなく, 閉経前から閉経期の骨量減少の予測要因になる. 第16回日本疫学会学術総会, 2006年1月23-24日.
- 小田順一, 坂上貴光, 峰松佑輔, 清水幹夫, 金子岩和, 菊地勘, 峰島三千男, 秋葉隆: 旭化成メディカル社製 ADP-01 の濾過特性の検討. 第34回東京透析懇談会, 2006年2月26日.
- 茂木佳奈, 石森勇, 鈴木聡, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定. 第34回東京透析懇談会, 2006年2月26日.
- 角田飛鳥, 海老沢秀夫, 江口圭, 金野好恵, 加藤紀子, 鈴木雄太, 小田祐美, 金子岩和, 峰島三千男, 三和奈穂子, 秋葉隆: 当院の透析患者における閉塞性動脈硬化症 (ASO) の合併率とその対応. 第34回東京透析懇談会, 2006年2月26日.
- 石川亜矢子, 清水幹夫, 相馬泉, 村上淳, 金子岩和, 古江健樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 藤井寿一, 服部元史: 自己回収血を血液回路充填に用いた小児血液浄化の一例. 第15回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会, 2006年4月15日.
- 山田祐史, 江口圭, 角田飛鳥, 鈴木雄太, 村瀬泰子, 山中昭広, 小田順一, 石川亜矢子, 金子岩和, 池辺宗三人, 秋葉隆, 峰島三千男: アフェレシス療法におけるレーザ血流計の有用性についての検討. 第15回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会, 2006年4月15日.
- 横手卓也, 小田順一, 宮尾眞輝, 峰松佑輔, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析モニター HD02 の使用経験. 日本医工学治療学会第22回学術大会, 2006年4月21-23日.
- 海老沢秀夫, 村上淳, 村瀬泰子, 角田飛鳥, 石和希伊子, 峰島三千男, 秋葉隆: 分光光度計を用いた透析液廃液中溶質濃度モニタリングシステムの開発. 日本医工学治療学会第22回学術大会, 2006年4月21-23日.
- 村上淳, 海老沢秀夫, 村瀬泰子, 角田飛鳥, 石和希伊子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液廃液中溶質濃度モニタリングシステムの安全監視装置としての有用性の検討. 日本医工学治療学会第22回学術大会, 2006年4月21-23日.
- 江口圭, 池辺宗三人, 金野好恵, 峰松佑輔, 金子岩和, 鈴木浩一, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しい HDF 療法 (間歇的補液 HDF: intermittent infusion HDF) 構築の可能性を探る. 日本医工学治療学会第22回学術大会, 2006年4月21-23日.
- 山田祐史, 江口圭, 鈴木雄太, 石川亜矢子, 角田飛鳥, 村瀬泰子, 山中昭広, 小田順一, 金子岩和, 池辺宗三人, 秋葉隆, 峰島三千男: 透析回路内の実血流量測定を目的としたレーザ血流計の応用. 日本医工学治療学会第22回学術大会, 2006年4月21-23日.
- 菊地勘, 青木明日香, 鈴木浩一, 塚田三佐緒, 芳田工, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者における高分子量アディポネクチンの存在割合の検討. 第49回日本腎臓学会学術総会, 2006年5月14-16日, 口演.
- 潮平俊治, 芳田工, 杉浦秀和, 代田さつき, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: Protective effect of carbon monoxide donor compounds in endotoxin-induced acute renal failure. 第49回日本腎臓学会学術総会, 2006年5月14-16日, 口演.
- 岩本正恵, 内田啓子, 鈴木啓子, 板橋美津世, 大橋禎子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) におけるアフェレシスの適応と有用性に関する検討. 第49回日本腎臓学会学術総会, 2006年5月14-16日, 示説.
- 川嶋朗, 三室知子, 松上桂子, 新田孝作, 秋葉隆: 維持透析患者に対するプロバイオティックスの血中インドトキシル硫酸に及ぼす影響. 第49回日本腎臓学会学術総会, 2006年5月14-16日, 示説.
- 塚田三佐緒, 芳田工, 西井規子, 三橋紀夫, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者における腹部大動脈石灰化の検討. 第49回日本腎臓学会学術総会, 2006年5月14-16日, 示説.

- 林野泰明, 福原俊一, 秋葉隆, 秋澤忠男, 浅野泰, 斎藤明, 黒川清: 血液透析患者において糖尿病及び血糖コントロールが死亡リスクに与える影響. 第49回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006年5月25-27日, 口演.
- 江口圭, 池辺宗三人, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 新しいHDF療法(間歇的補液HDF: intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日.
- DOPPS研究会 木全直樹, Justin A, 山崎新, 川口武彦, 福原俊一, 秋葉隆, 秋澤忠男, 斎藤明, 浅野泰, 黒川清: 日本の血液透析患者におけるカルシウム(Ca)・リン(P)代謝と生命予後~JDOPPS研究より. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 古江建樹, 三浦健一郎, 久野正貴, 金井孝裕, 宮村正和, 秋岡祐子, 宮川三平, 甲能深雪, 服部元史, 相馬泉, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆:  $\gamma$ グロブリン不能型川崎病に対する血漿交換療法の経験. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 大坪茂, 植田修逸, 大坪由里子, 大坪公子, 大坪修, 矢島愛治, 八木繁, 片岡浩史, 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 透析歴30年以上の長期透析患者の検討. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 菊地勘, 池辺宗三人, 塚田三佐緒, 芳田工, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者のC型慢性肝炎に対するPeginterferon Alfa-2a (PEG-IFN)の薬物動態と効果. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 石森勇, 坂上貴光, 鈴木雄太, 小田祐美, 茂木佳奈, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正巳: ダイアライズ入口圧の振幅を用いた脱血圧, 血液ポンプ吐出量のモニタリング法の機械モデルによる検討. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- DOPPS研究会 木全直樹, 秋葉隆, 藤見惺, 横野博史, 関野宏, Young EW, 黒川清: ビタミンD治療と生命予後~DOPPS調査研究より. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 鈴木聡, 茂木佳奈, 峰松佑輔, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 蒸気透過膜における水移動量に及ぼすガス流量の影響. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 口演.
- 金井明子, 塚田三佐緒, 若林奈津子, 川島眞, 三和奈穂子, 芳田工, 秋葉隆, 新田孝作: 抗結核治療により改善した腹膜透析患者の頻回再発性下腿結節性血管炎の一例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 安田雅子, 田中好子, 小島史子, 横溝美緒, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における骨折の特徴. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 田中好子, 安田雅子, 齋藤まどか, 小島史子, 横溝美緒, 藤生亜由子, 島本由紀子, 新田孝作, 秋葉隆: P-0205 副甲状腺機能亢進症(2°-HPT)のOCT静注治療~Scantibodies Whole-PTH(w-PTH)による投与量調節. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 小田順一, 横手卓也, 宮尾眞輝, 峰松佑輔, 村上順, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析モニタHD02の使用経験. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 池辺宗三人, 菊地勘, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 石塚尚子, 梶本克也, 秋葉隆: C型慢性肝炎に合併した閉塞性肥大型心筋症に対しPeginterferon- $\alpha$ -2aが奏効した透析例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 山崎麻由子, 菊地勘, 三和奈穂子, 芳田工, 塚田三佐緒, 鈴木浩一, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における血液透析患者でのFabry病のスクリーニング. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 高橋正毅, 大橋禎子, 潮平俊治, 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 頻回再発型ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に血漿交換(PE)が著効した1例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 相馬泉, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 服部元史, 秋葉隆: 長期型バスキュラーカテーテル使用上の問題点. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 川嶋朗, 新井友子, 三室知子, 松上桂子, 蒲谷堯, 新田孝作, 秋葉隆: 維持透析患者の除水率に対する東洋医学的アプローチと鍼治療の効果. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 溜井紀子, 塚田三佐緒, 小池美菜子, 島本周二, 加藤義治, 秋葉隆, 新田孝作: 巨大多発性異所性石灰化を来した

- 透析患者の一例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
- 永井佳子, 菊地勘, 塚田三佐緒, 芳田工, 三和奈穂子, 秋葉隆, 児玉美帆, 唐木克二, 立川恵美子, 大澤真木子, 新田孝作: 成人発症2型シトルリン血症による高アンモニア血症に対し血液透析濾過が有効であった1例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 横溝美緒, 田中好子, 藤生亜由子, 小島智亜里, 杉浦秀和, 大貫隆子, 鈴木基文, 新田孝作, 秋葉隆, 三宮彰人: Chronic portal-systemic shunt encephalopathy (CPSE) による高アンモニア血症のために意識障害を反復した透析患者の1例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 武井卓, 荒井純子, 鈴木啓子, 矢吹恭子, 小池美菜子, 秋葉隆, 新田孝作: シヤント作成により多発性嚢胞腎の動脈管開存症合併が顕在化した一例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 青木明日香, 菊地勘, 塚田三佐緒, 芳田工, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 慢性血液透析患者におけるアディポネクチン (ADPN) 濃度の検討. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 片岡浩史, 鈴木啓子, 武井卓, 小池美菜子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 巣状糸球体硬化症 (FSGS) を合併したメタボリックシンドロームに, 食事療法と免疫抑制剤, LDL 吸着を併用した一例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 小島史子, 齋藤まどか, 恩田裕史, 池田圭子, 朝長修, 田中好子, 秋葉隆, 新田孝作: 乳酸アシドーシスを繰り返すミトコンドリア遺伝子異常 (MELAS) 透析患者にアセテートフリーバイオフィルトレーション (AFB) を施行した一例. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 塚田三佐緒, 小川哲也, 芳田工, 菊地勘, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者におけるミカルデイスの薬物体内動態の検討. 第51回日本透析医学会学術集会・総会, 2006年6月23-25日, 示説.
  - 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: SLE (ループス腎炎) に対するアフエレスिस. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日.
  - 高橋和浩, 秋岡祐子, 近本裕子, 峰島三千男, 秋葉隆, 田邊一成, 洲之上昌平, 寺岡慧, 服部元史: 小児腎移植とアフエレスिस. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日.
  - 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 小児領域におけるアフエレスिसの技術的進歩. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日.
  - 金野好恵, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 血漿成分分画器 (Evaflux-5A) の分画分離特性に関する温度の影響と膜間圧力差モニタリングの重要性. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日.
  - 山田祐史, 江口圭, 角田飛鳥, 鈴木雄太, 村瀬泰子, 山中昭広, 小田順一, 石川亜矢子, 金子岩和, 峰島三千男, 池辺宗三人, 秋葉隆: アフエレスिस療法におけるレーザ血流計の有用性. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日.
  - 角田飛鳥, 江口圭, 金野好恵, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: フォルム ABI を用いたスクリーニング検査実施による当センター透析患者の閉塞性動脈硬化症 (ASO) 合併率とその対応. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日, 示説.
  - 久野正貴, 三浦健一郎, 金井孝裕, 古江健樹, 宮村正和, 秋岡祐子, 宮川三平, 甲能深雪, 服部元史, 相馬泉, 清水幹夫, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 大澤真木子: ガンマグロブリン不応型川崎病に対する血漿交換療法の経験. 第26回日本アフエレスिस学会学術大会, 2006年7月28-29日, 示説.
  - 相馬泉, 小澤和由, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 小児領域での急性血液浄化法におけるリスキマネジメントについて～臨床工学技士の立場から～. 第17回日本急性血液浄化学会学術集会, 2006年10月6-7日.
  - 宮尾眞輝, 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 持続緩徐式血液浄化装置の除水精度の検討. 第17回日本急性血液浄化学会学術集会, 2006年10月6-7日, 口演.
  - 青木明日香, 菊地勘, 永井佳子, 岩崎富人, 塚田三佐緒, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 尿素サイクル異常症による高アンモニア血症に対し急性血液浄化が有効であった2症例. 第17回日本急性血液浄化学会学術集会, 2006年10月6-7日, 口演.
  - 塚田三佐緒, 菊地勘, 三和奈穂子, 池辺宗三人, 石川亜矢子, 山田祐史, 江口圭, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉

- 隆：新しい腹膜機能の評価法（PD 排液濃縮法）—その2；臨床的側面から—。第12回日本腹膜透析研究会／国際腹膜透析シンポジウム，2006年10月13-15日，口演。
- 石川亜矢子，山田祐史，江口圭，村上淳，金子岩和，塚田三佐緒，峰島三千男，秋葉隆：新しい腹膜機能の評価法（PD 排液濃縮法）—その1；技術的側面から—。第12回日本腹膜透析研究会／国際腹膜透析シンポジウム，2006年10月13-15日，口演。
- 鈴木聡，茂木佳奈，崎山亮一，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：シンポジウム サーモパーパーレーションによる血液水分回収の可能性。第44回日本人工臓器学会大会，2006年10月31日-11月2日。
- 菊地勘，石森勇，青木明日香，潮平俊治，塚田三佐緒，池辺宗三人，芳田工，三和奈穂子，木全直樹，新田孝作，秋葉隆：ワークショップ Acetate free biofiltration の血圧に対する影響と中分子物質除去能の評価。第44回日本人工臓器学会大会，2006年10月31日-11月2日。
- 石森勇，村上淳，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：内部濾過流量の経時変化：圧力連続モニタリングによる臨床評価。第12回日本 HDF 研究会，2006年10月28-29日。
- 江口圭，金野好恵，山田祐史，金子岩和，池辺宗三人，峰島三千男，秋葉隆：新しい HDF 療法（間歇的補液 HDF：intermittent infusion HDF）構築の可能性を探る。第12回日本 HDF 研究会，2006年10月28-29日。
- 越智文美，青木明日香，鈴木啓子，板橋美津代，秋葉隆，新田孝作：急速進行性の経過をたどった半月体形成性 IgA 腎症の一例。第36回日本腎臓学会東部学術大会，2006年11月3-4日，口演。
- 溜井紀子，杉浦秀和，武井卓，小池美菜子，小川哲也，湯村和子，秋葉隆，新田孝作：顕微鏡的多発血管炎と結節性多発動脈炎を合併し左腎被膜下出血を来した1例。第36回日本腎臓学会東部学術大会，2006年11月3-4日，口演。
- 塚田三佐緒，西井規子，桑鶴良平，三橋紀夫，秋葉隆，新田孝作：MDCT MRA による透析患者の冠動脈病変の評価。第7回東京骨・カルシウムホルモン代謝研究会，2006年12月9日。
- 赤松真悠子，湯村和子，板橋美津世，内田啓子，新田孝作，秋葉隆，山崎健二，山下賀正：透析導入後10年目に冠動脈バイパス・大動脈弁置換術を施行した SLE 患者の1例。第10回河田町腎疾患セミナー，2007年1月11日。
- 伊藤憲，宮尾眞輝，鈴木聡，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：治療中に発生する警報への対処から見た透析装置操作性の評価。第35回東京透析懇談会，2007年2月11日。
- 濱田万恭子，坂上貴光，横手卓也，村上淳，金子岩和，池辺宗三人，峰島三千男，秋葉隆：バスキュラーアクセス管理におけるハンディーエコー ilook 25 の有用性。第35回東京透析懇談会，2007年2月11日。
- 塚本真司，石森勇，崎山亮一，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：High flux dialyzer APS-15E における内部濾過流量の経時変化。日本医工学治療学会第23回学術大会，2007年2月9-11日，口演。
- 茂木佳奈，石森勇，鈴木聡，村上淳，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定。日本医工学治療学会第23回学術大会，2007年2月9-11日，口演。
- 石森勇，茂木佳奈，金子岩和，村上淳，峰島三千男，秋葉隆：透析液平均滞留時間測定による内部濾過流量推定の試み。日本医工学治療学会第23回学術大会，2007年2月9-11日，口演。
- 山田祐史，江口圭，塚本真司，金子岩和，峰島三千男，池辺宗三人，秋葉隆：免疫吸着療法中におけるブラジキン産生についての検討。日本医工学治療学会第23回学術大会，2007年2月9-11日，口演。
- 岩崎富人，菊地勘，鈴木明日香，潮平俊治，石森勇，塚田三佐緒，池辺宗三人，芳田工，三和奈穂子，木全直樹，秋葉隆，新田孝作：Acetate Free Biofiltration (AFB) で心室性不整脈の改善が得られた1症例。日本医工学治療学会第23回学術大会，2007年2月9-11日，口演。
- 田中元子，山崎新，林野泰明，福原俊一，秋葉隆，斎藤明，秋澤忠男，浅野泰，黒川清：高 Ca 血症は血液透析患者における Mental Health を低下させる—J-DOPPS 研究より。第18回日本腎性骨症研究会，2007年2月24日。
- 木全直樹，三和奈穂子，大坪茂，岩崎富人，池辺宗三人，菊地勘，峰島三千男，秋葉隆：ワークショップ「二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドラインの考え方と実際」二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドラインと治療の実際—大学施設の立場から—。第18回日本腎性骨症研究会，2007年2月24日。
- 宮尾眞輝，江口圭，金子岩和，峰島三千男，秋葉隆：ワークショップ アフェレシスのヒヤリ・ハット アフェレシス治療の自動化による功罪。第27回日本アフェレシス学会学術大会，2007年3月2-3日。
- 山田祐史，江口圭，塚本真司，金子岩和，峰島三千男，池辺宗三人，秋葉隆：免疫吸着療法（イムソーバ TR-350）

- における抗凝固薬の別とブラジキニン産生についての検討. 第27回日本アフェレシス学会学術大会, 2007年3月2-3日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 小形典之, 矢吹恭子, 菊地勘, 大坪茂, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 当院における重症血液浄化療法の現況. 第104回日本内科学会講演会, 2007年4月3-5日.
- 芳田工, 代田さつき, 三戸部倫大, 杉浦秀和, 潮平俊治, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: ALK5阻害剤はTGF  $\beta$ による尿細管のEpithelial-to-Mesenchymal Transitionを抑制する. 第50回日本腎臓学会学術総会, 2007年5月25-27日, 口演.
- 菊地勘, 岩崎富人, 青木明日香, 大坪茂, 塚田三佐緒, 伊藤恭子, 池辺宗三人, 芳田工, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性血液透析中のH. pylori陽性患者における除菌療法と鉄欠乏性貧血(IDA)の改善効果. 第50回日本腎臓学会学術総会, 2007年5月25-27日, 口演.
- 浅宮有香理, 荒井純子, 塚田三佐緒, 大坪茂, 新田孝作, 安達拓, 北目茂, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: Bioelectrical impedance法による慢性腎不全患者の体成分組成. New Horizon for Nephrology 第11回講演会, 2007年5月29日.
- 菊地勘, 新田孝作, 秋葉隆: ワークショップ 血液透析中のC型慢性肝炎患者に対するインターフェロン(IFN)治療. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- Kimata N, Akiba T: 国際シンポジウム Effect of hight efficient dialysis view form international studies. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日.
- 青木明日香, 菊地勘, 角田飛鳥, 岩崎富人, 大坪茂, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 芳田工, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者におけるアディポネクチン(ADPN)と動脈硬化の進行. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 岩崎富人, 菊地勘, 青木明日香, 大坪茂, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者におけるPentaxin 3(PTX3)と動脈硬化. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 木全直樹, 三和奈穂子, 大坪茂, 岩崎富人, 矢吹恭子, 小形典之, 宮部公美, 池辺宗三人, 菊地勘, 峰島三千男, 秋葉隆: 二次性副甲状腺亢進症治療ガイドライン(GL)と当院の現況. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 田中元子, 山崎新, 林野泰明, 福原俊一, 秋葉隆, 斎藤明, 秋澤忠男, 浅野泰, 黒川清: 高Ca血症は血液透析患者におけるMental Healthを低下させる-J-DOPPS研究より. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 大坪茂, 岩崎富人, 菊地勘, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 木全直樹, 小形典之, 矢吹恭子, 内田啓子, 湯村和子, 新田孝作, 秋葉隆: 透析導入時におけるC型肝炎ウイルス感染率. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 星野哲史, 石森勇, 村上淳, 尾原英利, 大木美帆, 伊藤憲, 入江健一, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: PES-S  $\alpha$ とAPS-Eのクロスオーバーによる臨床評価. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 相馬泉, 木全直樹, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 長期型バスキュラーカテーテルにおける再循環率測定の有用性. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 糖尿病(DM)と非糖尿病(NDM)のHD患者の貧血に違いがあるか? 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 三和奈穂子, 土谷健, 木全直樹, 大坪茂, 池辺宗三人, 菊地勘, 岩崎富人, 矢吹恭子, 新田孝作, 秋葉隆: 鉄欠乏を有する透析患者におけるReticulocyte Hemoglobin equivalent (RET-He)測定の有用性. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 坂上貴光, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 安全機構を備えた新型透析用留置針の開発及び評価. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 福原俊一, 秋葉隆, 山崎親雄, 大平整爾, 岸本武利, Wolfe RA: 「Practice-Related Risk Score (PRS)」は施設単位の死亡率に関連する~ DOPPSより. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.

- 秋澤忠男, Pisoni RL, 福原俊一, 秋葉隆, 斎藤明, Port FK, 黒川清: rHuEPO 包括化前後の腎性貧血管理の変化～J-DOPPS より. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 金野好恵, 崎山亮一, 角田飛鳥, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院における細菌数測定取り組み. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 金子岩和, 秋葉隆, 原茂子, 石森勇, 村上淳, 峰島三千男, 木全直樹: 停電事故に関する実態調査報告—東京都区部におけるアンケート調査. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 口演.
- 市川明子, 安田雅子, 田中純子, 田中好子, 新田孝作, 秋葉隆: 軟部組織巨大異所性石灰化に対しエチドロネート (EHDP) の高用量投与が奏功するも, 易骨折性をきたした二透析例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 小形典之, 菊地勘, 岩崎富人, 矢吹恭子, 大坪茂, 池辺宗三人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析中のC型慢性肝炎患者にペグインターフェロン $\alpha$ -2a (PEG-IFN) で sustained virological response (SVR) が得られた1症例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 田中純子, 市川明子, 内田啓子, 寺岡慧, 奥田博明, 田中好子, 秋葉隆: B型肝硬変を呈する長期血液透析患者にラミブジンが奏功した一例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 田中好子, 上田美緒, 小島史子, 市川明子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 糖尿病透析患者の血糖管理目標～心血管イベントからの考察. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 井野純, 武井卓, 板橋美津世, 塚田三佐緒, 芳田工, 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 当施設におけるSLEに対する免疫吸着療法の検討. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 越智文美, 鈴木啓子, 鈴木浩一, 本田一穂, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 抗基底膜抗体型急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) の一剖検例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 上田美緒, 田中純子, 小島史子, 岩倉谷子, 市川明子, 田中好子, 市田久恵, 朝長修, 新田孝作, 秋葉隆: 関節リウマチ (RA) と診断されていたが, リウマチ性多発筋痛症 (PMR) であった糖尿病透析患者の1例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 石川亜矢子, 山田祐史, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 塚田三佐緒, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しい膜機能の評価方法 (PD 排液濃縮法) (その1: 技術的側面から). 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 塚田三佐緒, 菊地勘, 三和奈穂子, 池辺宗三人, 石川亜矢子, 江口圭, 峰島三千男, 秋葉隆, 新田孝作: 新しい腹膜機能評価方法 (PD 排液濃縮法) その2: 臨床的側面から. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 宮部公美, 井野純, 杉浦秀和, 武井卓, 秋葉隆, 新田孝作: 急速に進行した高度大動脈弁狭窄のため突然死に至った血液透析患者の一例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 武井卓, 芳田工, 代田さつき, 塚田三佐緒, 板橋美津世, 杉浦秀和, 鈴木啓子, 内田啓子, 湯村和子, 秋葉隆, 新田孝作: 成人発症紫斑病性腎炎に対する血漿交換療法施行例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 大坪茂, 池辺宗三人, 菊地勘, 岩崎富人, 高市憲明, 秋葉隆: わが国の慢性透析患者での高カリウム血症による死亡. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 塚田三佐緒, 崎山亮一, 本田一穂, 峰島三千男, 秋葉隆, 新田孝作: スードマウスにおける腹膜線維化モデルの作成, 腹膜組織変化の検討. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 赤松真悠子, 湯村和子, 板橋美津世, 内田啓子, 新田孝作, 秋葉隆: 透析導入後10年目に冠動脈バイパスと動脈弁置換術を施行したSLE患者の一例. 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 2007年6月15-17日, 示説.
- 村上淳, 石森勇, 尾原英利, 星野哲史, 伊藤憲, 入江健一, 大木美帆, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 治療中の末梢循環の変化が透析効率に及ぼす影響の検討. 第13回日本 HDF 研究会, 2007年9月8-9日.
- 吉田智史, 石森勇, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: PES-150 $\alpha$  における内部濾過流量の経時変化. 第13回日本 HDF 研究会, 2007年9月8-9日.
- 尾原英利, 坂上貴光, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: モジュール性能評価時の影響因子と問題点. 第13回日本 HDF 研究会, 2007年9月8-9日.

- 浅宮有香里, 菊地勘, 三谷穰, 牧野康男, 松田義雄, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者の妊娠・分娩の一例. 第37回日本腎臓学会東部学術大会, 2007年9月5-6日, 示説.
- 杉織江, 浅宮有香理, 大坪茂, 杉浦秀和, 武井卓, 芳田工, 湯村和子, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 肉芽腫瘍性病変を伴った抗糸球体基底膜抗体腎炎の一例. 第37回日本腎臓学会東部学術大会, 2007年9月5-6日, 示説.
- 相馬泉, 小澤和由, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 小児急性血液浄化療法における安全性の確保. 第18回日本急性血液浄化学会学術集会, 2007年10月5-6日.
- 宮尾眞輝, 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 持続緩徐式血液浄化装置の除水精度の検討~第2報~. 第18回日本急性血液浄化学会学術集会, 2007年10月5-6日, 口演.
- 入江健一, 相馬泉, 尾原英利, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: バスキュラーアクセスカテーテル使用時における静脈用カテーテルアダプター BDQ サイト™ の有用性の検討. 第18回日本急性血液浄化学会学術集会, 2007年10月5-6日, 口演.
- 佐藤啓太郎, 木全直樹, 三和奈穂子, 大坪茂, 菊地勘, 浅宮有香理, 岩崎富人, 杉織江, 川島眞, 秋葉隆: 循環動態安定を考慮した二重膜濾過血漿交換の当院における工夫~天疱瘡に対する安全性の検証~. New Horizon for Nephrology 第12回講演会, 2007年10月16日.
- 石森勇, 崎山亮一, 峰島三千男, 増田利明, 秋葉隆: Japanese Symposium 高性能ダイアライザ内部濾過流量の圧力測定にもとづく臨床評価. 第45回日本人工臓器学会大会・第2回国際人工臓器学術大会, 2007年10月28-31日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: Japanese Symposium 血液透析施行中の末梢循環の変化が透析効率に及ぼす影響. 第45回日本人工臓器学会大会・第2回国際人工臓器学術大会, 2007年10月28-31日.
- 鈴木聡, 石森勇, 峰島三千男, 秋葉隆, 桑名克之, 神谷勝弘: Japanese General Session 疎水性多孔質膜を介した温度差によるイヌ血液からの水分除去. 第45回日本人工臓器学会大会・第2回国際人工臓器学術大会, 2007年10月28-31日.
- 青木明日香, 菊地勘, 江口亜弥, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者におけるアディポネクチン (ADPN) と内臓脂肪量および動脈硬化の検討. 第13回日本腹膜透析研究会大会, 2007年11月24-25日, 口演.
- 塚田三佐緒, 本田一穂, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 種田積子, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 被嚢性腹膜硬化症患者におけるリンパ管新生について. 第13回日本腹膜透析研究会大会, 2007年11月24-25日, 示説.
- 江口亜弥, 塚田三佐緒, 本田一穂, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 種田積子, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 被嚢性腹膜硬化症に対するステロイド治療の効果. 第13回日本腹膜透析研究会大会, 2007年11月24-25日.
- 松田奈美, 小川哲也, 藤生亜由子, 大前清嗣, 石田秀岐, 安藤義孝, 秋葉隆, 新田孝作: 維持透析患者の3DCTによる大動脈弓部石灰化部位評価と臨床的意義についての検討. 第8回東京骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会, 2007年12月8日.
- 田中好子, 市川明子, 小島史子, 上田美緒, 田中純子, 島本由紀子, 石井幾久子, 安田雅子, 藤生亜由子, 内田啓子, 新田孝作, 秋葉隆: 二次性副甲状腺機能亢進症インターベンション治療後の骨塩量 (DIP 法による) の経年変化に影響を及ぼす因子の検討. 第19回日本腎性骨症研究会, 2008年2月23日, 口演.
- 杉織江, 三和奈穂子, 木全直樹, 佐原由華子, 岩崎富人, 菊地勘, 岩佐悠子, 浅宮有香理, 大坪茂, 中川芳彦, 秋葉隆: Dissemination を伴った異所性副甲状腺機能亢進症に対し calcimatics が有効であった一症例. 第19回日本腎性骨症研究会, 2008年2月23日, 示説.
- 吉田智史, 石森勇, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: V型ダイアライザ PES-150S  $\alpha$  と APS-15E における溶質除去特性および内部濾過流量の経時変化. 第36回東京透析懇談会, 2008年2月24日.
- 大木美帆, 石森勇, 伊藤憲, 入江健一, 星野哲史, 尾原英利, 村上淳, 金子岩和, 春原隆, 増田利明, 峰島三千男, 秋葉隆: V型ダイアライザ APS-E シリーズと, PES-S  $\alpha$  シリーズとのクロスオーバーによる溶質除去特性の臨床評価. 第36回東京透析懇談会, 2008年2月24日.
- 古田達也, 坂上貴光, 渡部雄介, 伊部紀子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 三村甲子郎, 高田和明, 峰島三千男, 秋葉隆: 脱血圧と実血流量を指標とした透析用留置針の臨床評価. 第36回東京透析懇談会, 2008年2月24日.
- 尾原英利, 村上淳, 坂上貴光, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ性能評価時の影響因子と問題点. 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.

- 石森勇, 茂木佳奈, 吉田智史, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 高野快男: HDF フィルタ TDF-2.0の臨床および牛血漿系による溶質除去特性の評価. 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.
- 石森勇, 茂木佳奈, 吉田智史, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 春原隆, 増田利明: PES-150S  $\alpha$  と PES-15S  $\alpha$  の水系による溶質除去特性の評価. 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.
- 江口圭, 宮尾眞輝, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男, 田岡正宏, 西川裕美, 吉田琢己, 佐藤隆, 萩原雄一, 道脇宏行, 英理香, 細谷陽子, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 宮本照彦, 森石みさき, 川西秀樹: 清浄化透析液による間歇逆濾過補液 (intermittent back-filtration infusion) HD の臨床効果 (多施設共同研究). 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析施行中の末梢循環の変化が透析効率に及ぼす影響. 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 4時間透析におけるリン除去動態の検討. 第23回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2008年3月15-16日.
- 木全直樹, 浅宮有香理, 三和奈穂子, 菊地勘, 佐藤啓太郎, 秋葉隆: 研究報告 維持透析患者における w-PTH/i-PTH 比の検討. 第105回日本内科学会講演会, 2008年4月11-13日.
- 三和奈穂子, 菊地勘, 岩崎富人, 鶴田悠木, 岡野一祥, 佐原由華子, 杉織江, 木全直樹, 秋葉隆: 研究報告 維持透析患者における w-PTH/i-PTH 比の検討. 第5回東京 Whole PTH 講演会, 2008年4月12日.
- 江口圭, 金野好恵, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新規アフェレシス専用装置 (KM-9000) の安全機構について. 日本アフェレシス学会第17回関東甲信越地方会, 2008年4月12日.
- 角田飛鳥, 菊地勘, 濱田万恭子, 横手卓也, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析患者における Ankle Brachial Index (ABI) と死亡との関連. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 江口圭, 小田順一, 金野好恵, 山田祐史, 角田飛鳥, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: ダイアライザ前後の Hct 値を用いた実血流量測定法 (CRIT 2点法) の考案. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 山田祐史, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: イムソーバ TR における血漿処理量についての検討. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 坂上貴光, 渡部雄介, 古田達也, 伊部紀子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 三村甲子郎, 高田和明, 峰島三千男, 秋葉隆: 脱血圧及び実血流量を指標とした透析用留置針の性能評価. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 村上淳, 石森勇, 尾原英利, 坂上貴光, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザの性能評価ならびに治療効率評価の適正化に関する提言. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 江口圭, 宮尾眞輝, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男, 田岡正宏, 西川裕美, 吉田琢己, 佐藤隆, 萩原雄一, 道脇宏行, 英理香, 細谷陽子, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 谷口智彦, 宮本照彦, 森石みさき, 川西秀樹: 清浄化透析液を用いた間歇逆濾過補液 HD (intermittent back-filtration infusionHD) の臨床効果 (多施設共同研究報告). 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日, 口演.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析施行中の末梢循環の変化が治療効率に及ぼす影響. 日本医工学治療学会第24回学術大会, 2008年4月18-20日.
- 戸田房子, 伊藤文夫, 日野安見子, 飯田祥一, 三和奈穂子, 木全直樹, 合谷信行, 山根越夫, 秋葉隆, 田邊一成: 透析導入早期に高度血尿を呈した腎盂腫瘍の1例. 第96回日本泌尿器科学会総会, 2008年4月25-27日.
- 戸田房子, 山根越夫, 近内金吾, 山岸夕里子, 安藤真紀, 松下正利, 関口カツ子, 田邊一成, 秋葉隆: タルベポエチンアルファ (ネスプ) の当院における使用経験. 第96回日本泌尿器科学会総会, 2008年4月25-27日.
- 加藤紀子, 宮尾眞輝, 鈴木雄太, 横手卓也, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 秋葉隆: 透析装置の定期的な保守管理体制の整備とその有用性についての検討. 第18回日本臨床工学会, 2008年5月17-18日, 口演.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: リンの除去に関する適正な評価法の検討. 第18回日



本臨床工学会, 2008年5月17-18日, 口演.

- 石川亜矢子, 加藤紀子, 渡部雄介, 宮尾眞輝, 横手卓也, 石森勇, 鈴木聡, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用他用途透析装置 DBG-03の臨床使用経験. 第18回日本臨床工学会, 2008年5月17-18日, 口演.
- 金野好恵, 崎山亮一, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, : 当院における細菌数測定取り組み (再滅菌可能な濾過デバイスを用いた初期検討). 第13回『New Horizon for Nephrology』講演会, 2008年5月20日.
- 林野泰明, 福原俊一, 秋澤忠男, 秋葉隆, 浅野泰, 斎藤明, 黒川清: 糖尿病を有する血液透析患者におけるアスピリンの臨床的有用性: The dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). 第51回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008年5月22-24日.
- 芳田工, 杉浦秀和, 代田さつき, 三戸部倫大, 潮平俊治, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: ALK5阻害薬の腎間質線維化に対する効果. 第51回日本腎臓学会学術総会, 2008年5月30日-6月1日, 口演.
- 菊地勘, 青木明日香, 塚田三佐緒, 伊藤恭子, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 糖尿病患者における血液透析中の血圧低下と血中バソプレッシン濃度. 第51回日本腎臓学会学術総会, 2008年5月30日-6月1日, 口演.
- 長谷川毅, 福原俊一, 秋澤忠男, 秋葉隆, 斎藤明, Pisoni R: アスピリン使用と自家動静脈内シャント開存期間の関連についての検討—DOPPS からの報告—. 第51回日本腎臓学会学術総会, 2008年5月30日-6月1日, 口演.
- 尾原英利, 坂上貴光, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: ダイアライザ性能評価時の影響因子と問題点. 第35回日本血液浄化技術研究会学術大会・総会, 2008年5月31日-6月1日, 口演.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 無愁訴透析を目指して 無愁訴透析を支える最新のテクノロジー. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 渡部雄介, 鈴木聡, 加藤紀子, 石川亜矢子, 石森勇, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: DBG-03の臨床使用における操作性の検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 菊地勘, 角田飛鳥, 青木明日香, 三和奈穂子, 木全直樹, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: ナトリウム利尿ペプチド (ANP) 持続投与による末梢動脈疾患 (PAD) の改善効果. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 相馬泉, 小澤和由, 宮尾眞輝, 石川亜矢子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 小児用テシオカテーテルの使用経験. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 浅宮有香理, 菊地勘, 岩崎富人, 大坪茂, 岩佐悠子, 荒井純子, 新田孝作, 秋葉隆: 透析歴と栄養指標の関係. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 浅宮有香理, 木全直樹, 岩崎富人, 菊地勘, 大坪茂, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 内田啓子, 三谷穰, 太田博明, 松田義雄, 新田孝作, 秋葉隆: 妊娠22週以降に分娩した血液透析患者17例の検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 塚田三佐緒, 本田一穂, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 種田積子, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者におけるリンパ管新生についての臨床病理学的検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 田中純子, 小島史子, 小野昌美, 田中好子, 秋葉隆: マクロプロラクチン血症を疑った無症候性高プロラクチン血症を有する血液透析患者の一例. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 市川明子, 安田雅子, 田中好子, 新田孝作, 秋葉隆: 冠動脈バイパス術 (CABG), 僧帽弁置換術 (MVR) 後の低心機能透析患者に両室ペーシング機能付き植込み型除細動器 (CRT-D) を導入し良好な ADL を維持している一例. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 徳本直彦, 飯塚淳平, 鈴木裕子, 吉田一彦, 川島洋一郎, 秋葉隆, 田邊一成: 腎性骨症を有するレシピエントの腎移植後の病理学的骨病変の変化. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 石森勇, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 血液浄化治療のモニタリング技術 圧連続モニタリングにより推定したダイアライザ性能の経時変化. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日.
- 藤田照美, 菊地勘, 武井卓, 三和奈穂子, 木全直樹, 中山喜美子: 入院血液透析導入パスの有効性. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 小川真里子, 佐原由華子, 浅宮有香理, 岩佐悠子, 大坪茂, 新田孝作, 菊地勘, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直

- 樹, 秋葉隆: 透析患者における Peripheral arterial disease (PAD) と死亡との関連. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 小川真里子, 佐原由華子, 浅宮有香理, 岩佐悠子, 菊地勘, 大坪茂, 進藤廣成, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: ダルベポエチン $\alpha$  (DPO) とエポチン $\beta$  (EPO) のヘモグロビンサイクリング (HbCyc) に与える影響についての比較. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 鈴木聡, 伊東直史, 伊藤憲, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤謙治: 患者満足度からみた血液透析における穿刺技術の評価. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 江口圭, 小田順一, 金野好恵, 山田祐史, 角田飛鳥, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ前後の Hct 値を用いた実血流量測定法 (CRIT 2 点法) の考案. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 佐原由華子, 木全直樹, 三和奈穂子, 大坪茂, 小川真里子, 菊地勘, 浅宮有香理, 岩崎富人, 岩佐悠子, 白鳥敬子, 秋葉隆, 新田孝作: 高脂血症が原因と考えられた重症急性膵炎に対する血漿交換療法 (PEx). 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 押川和典, 大坪茂, 杉本久之, 植田修逸, 大坪由里子, 大坪公子, 大坪修, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 透析歴30年以上の患者の透析アミロイド合併症について. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 菊地勘, 浅宮有香理, 岩崎富人, 大坪茂, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析中の C 型慢性肝炎患者に対するペグインターフェロン (PEG-IFN) 療法. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 安藤亮一, 秋葉隆: 血液透析施設における C 型肝炎院内感染防止対策の現況～2000年との比較～. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 上田美緒, 春口洋昭, 田中好子, 鈴木基文, 新田孝作, 秋葉隆: 人工血管移植術後に溶血性貧血をきたした透析患者の 1 例. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 戸田房子, 大石里美, 松下正利, 関口カツ子, 山根越夫, 秋葉隆: 維持透析患者への摂食嚥下ケアの取り組み. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 杉織江, 板橋美津代, 青木明日香, 松田奈美, 清水阿里, 武井卓, 芳田工, 秋葉隆, 新田孝作: 粟粒結核の治療中に PZA による肺不全を来した透析患者の一例. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 戸田房子, 山根越夫, 近内金吾, 安藤真紀, 松下正利, 関口カツ子: 当院におけるネスプ TM の使用経験. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: リンの除去動態に関する検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 江口圭, 宮尾眞輝, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 田岡正宏, 西川裕美, 吉田琢己, 佐藤隆, 萩原雄一, 道脇宏行, 英理香, 細谷陽子, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 谷川智彦, 宮本照彦, 森石みさき, 川西秀樹: 間歇逆濾過補液 HD の臨床効果～多施設共同研究～. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 秋澤忠男, 秋葉隆, 山崎親雄, 岸本武利, 浅野泰, Port Friedrich: 長い透析時間 (TT) は良好なリン (P) 管理と高い QOL に関連する～DOPPS 調査より～. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 横手卓也, 木全直樹, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析モニター HD02 を利用したカテーター評価の検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 青木明日香, 菊地勘, 江口重弥, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 非糖尿病の腹膜透析患者における血糖と動脈硬化の関係. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 佐藤啓太郎, 大坪茂, 杉織江, 岩佐悠子, 浅宮有香理, 岩崎富人, 菊地勘, 武井卓, 小川哲也, 三和奈穂子, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 当科における原因不明の発熱で入院した血液透析患者の特徴. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 木全直樹, 三和奈穂子, 横手卓也, 坂上貴光, 大坪茂, 菊地勘, 岩崎富人, 浅宮有香理, 小川真里子, 佐原由華子, 金子岩和, 進藤廣成, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: 透析回路内血栓の肉眼的・電子顕微鏡的検討. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 口演.
- 江口重弥, 塚田三佐緒, 浜口行雄, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者における Reticulocyte Hemoglobin

- equivalent (RET-He) 測定の臨床的有用性. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
- 小島史子, 田中純子, 田中好子, 秋葉隆, 新田孝作: 長期にわたる血糖コントロール不良にも関わらず血管石灰化軽微なミトコンドリア遺伝子異常 (A3243G 点変異) 透析患者の一例. 第53回日本透析医学会学術集会・総会, 2008年6月20-22日, 示説.
  - 江口亜弥, 菊地勘, 青木明日香, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者におけるエポエチンベータ (エポジン) とダルベポエチンアルファ (ネスプ) の貧血改善効果. 第14回日本腹膜透析研究会, 2008年9月13-14日, 口演.
  - 青木明日香, 菊地勘, 江口亜弥, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 非糖尿病の腹膜透析患者における血糖と動脈硬化との関連. 第14回日本腹膜透析研究会, 2008年9月13-14日, 口演.
  - 塚田三佐緒, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における PD 関連腹膜炎の現況. 第14回日本腹膜透析研究会, 2008年9月13-14日, 示説.
  - 相馬泉, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: ワークショップ 小児領域における急性血液浄化機器の標準化に向けて. 第19回日本急性血液浄化学会学術集会, 2008年9月19-20日.
  - 藤井寛, 秋岡祐子, 梶保祐子, 倉山亮太, 藤木拓磨, 松村英樹, 近本裕子, 秋葉隆, 峰島三千男, 服部元史: 尿路感染症を契機とした敗血症性ショックに対してエンドトキシン吸着療法が奏功した腎移植後14歳女児例. 第19回日本急性血液浄化学会学術集会, 2008年9月19-20日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 石森勇, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 持続的血液浄化装置の定期メンテナンスの試み. 第19回日本急性血液浄化学会学術集会, 2008年9月19-20日, 口演.
  - 戸田房子, 石田英樹, 白川浩希, 清水朋一, 尾本和也, 木全直樹, 徳本直彦, 秋葉隆, 田邊一成: 腎移植後腎性貧血の検討—エリスロポエチン製剤の効果について. 第44回日本移植学会総会, 2008年9月19-21日, 口演.
  - 鈴木誉子, 江口亜弥, 板橋美津世, 高橋正毅, 大橋禎子, 武井卓, 小川哲也, 窪田研二, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 難治性ネフローゼ症候群に対しミコフェノール酸モフェチル (MMF) が有効であった2症例. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日, 口演.
  - 森戸卓, 塚田三佐緒, 松田奈美, 土谷健, 荒井純子, 種田積子, 秋葉隆, 新田孝作: ムコール症と間質性肺炎を合併した透析患者の剖検例. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日, 口演.
  - 中山佳優, 杉浦秀和, 青木明日香, 大坪茂, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 長期間の血液浄化療法中に $\beta$ 2ミクログロブリン沈着を伴う広範囲壊死性腸炎を発症した一例. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日, 口演.
  - 陣内彦博, 岩崎富人, 杉織江, 佐原由華子, 鶴田悠木, 菊地勘, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 治療に難渋し, cinacalcet が有効であった異所性副甲状腺機能亢進症の一例. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日, 口演.
  - 佐藤尚代, 清水阿里, 森山能仁, 板橋美津世, 大坪茂, 武井卓, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析導入となった成人フォロー四徴症の1例. 第38回日本腎臓学会東部学術大会, 2008年10月11-12日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 横手卓也, 加藤紀子, 山田祐史, 鈴木雄太, 石川亜矢子, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用多用途透析装置 DBG-03 に搭載されたバスキュラーアクセス再循環率測定機能の臨床評価. 第12回アクセス研究会, 2008年10月25-26日, 口演.
  - 鈴木雄太, 横手卓也, 宮尾眞輝, 加藤紀子, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用多用途透析装置 DBG-03 の再循環率測定精度の検討. 第12回アクセス研究会, 2008年10月25-26日, 口演.
  - 横手卓也, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 坂上貴光, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 実血液ポンプ流量測定の意義. 第12回アクセス研究会, 2008年10月25-26日, 口演.
  - 三宮章仁, 頓所展, 小山一郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 秋葉隆: シンポジウム 高尿酸血症に対する肝腎複合移植における血液浄化法. 第29回日本アフレスシス学会学術大会, 2008年11月21-23日.
  - 木全直樹, 秋葉隆: ワークショップ カテーテルの功罪と改良への提言. 第29回日本アフレスシス学会学術大会, 2008年11月21-23日.
  - 村上淳, 江口圭, 金野好恵, 山田祐史, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 血漿浄化療法を安全か

- つ、効率よく実施するための工夫. 第29回日本アフェレシス学会学術大会, 2008年11月21-23日.
- 江口圭, 金野好恵, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: 新規アフェレシス専用装置 (KM-9000) の安全機構について. 第29回日本アフェレシス学会学術大会, 2008年11月21-23日, 示説.
  - 陣内彦博, 菊地勘, 鶴田悠木, 田端日出朗, 三和奈穂子, 木全直樹, 山門佑有, 吉原愛, 高野加寿恵, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: 血漿交換療法 (PE) が奏功した甲状腺クリーゼの一例. 第29回日本アフェレシス学会学術大会, 2008年11月21-23日, 示説.
  - 菊地勘, 角田飛鳥, 青木明日香, 陣内彦博, 鶴田悠木, 田端秀日朗, 岡野一祥, 金子岩和, 三和奈穂子, 木全直樹, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: ナトリウム利尿ペプチド持続投与による末梢動脈疾患の改善効果. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 尾原英利, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザの性能評価の適正化に関する提言. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析におけるリンの除去に関する適正な評価法の検討. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 木全直樹, 三和奈穂子, 大坪茂, 堀田茂, 岩崎富人, 陣内彦博, 菊地勘, 岡野一祥, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液浄化療法にみられる透析回路凝固の臨床的成因と血栓の病理学的検討. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 鈴木聡, 古田達也, 青木洋貴, 峰島三千男, 秋葉隆, 伊藤謙治: 眼球運動と動作解析に基づく透析回路セッティングに対する習熟過程の分析. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 伊藤憲, 鈴木聡, 伊東直史, 伊藤謙治, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析の穿刺における患者満足度の評価指標. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 春原隆, 増田利明: 高性能ダイアライザ性能評価における内部濾過流量の測定. 第46回日本人工臓器学会大会, 2008年11月27-29日, 口演.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: リンの除去動態と適正な評価法に関する検討. 第14回日本 HDF 研究会, 2009年2月14-15日, 口演.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液の変更によるリン除去動態の変化. 第14回日本 HDF 研究会, 2009年2月14-15日, 口演.
  - 安部貴之, 宮尾眞輝, 伊部紀子, 坂上貴光, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: クラレメディカル社製血液浄化用装置 KM-9000による重量バランス制御に関する検討. 第37回東京透析懇談会, 2009年2月22日, 口演.
  - 古田達也, 横手卓也, 宮尾眞輝, 加藤紀子, 山田祐史, 鈴木雄太, 石川亜矢子, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男: 個人用多用途透析装置 DBG-03によるバスキュラアクセス再循環率測定機能の検討. 第37回東京透析懇談会, 2009年2月22日, 口演.
  - 小田順一, 酒井基広, 菊地勘, 池上志穂子, 村上淳, 金子岩和, 田邊仁志, 小谷透, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院中央 ICU での急性血液浄化療法の実情. 第36回日本集中治療医学会学術集会, 2009年2月26-28日.
  - 田中好子, 上田美緒, 鈴木啓子, 田中純子, 小島史子, 芳田さつき, 秋葉隆: ビタミンD静注のみと cinacalcet 投与による II-HPT の治療効果に骨マーカーの差はあるか. 第20回日本腎性骨症研究会, 2009年2月28日, 口演.
  - 木全直樹, Pisoni LR, 岩崎富人, Port KF, 秋葉隆: ワークショップ DOPPS III から見た骨代謝マーカーの変貌とシナカルセト治療の実態. 第20回日本腎性骨症研究会, 2009年2月28日.
  - 小林朋子, 岩藤和広, 小山一郎, 中島一朗, 淵之上昌平, 唐仁原全, 秋葉隆, 寺岡慧: 透析患者の消化管穿孔例に対する PMX の効果. 第45回日本腹部救急医学会総会, 2009年3月12-13日, 示説.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 分光光度計を用いた透析液廃液中の溶質濃度連続モニタリングシステムによる新たな透析効率を示す指標の提案. 第24回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2009年3月14-15日.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液の変更がリンの除去動態に与える影響の検討. 第24回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2009年3月14-15日.

- 木全直樹, 三和奈穂子, 大坪茂, 杉織江, 岡野一祥, 岩崎富人, 菊地勘, 新田孝作, 中川芳彦, 秋葉隆: 肺内多発副甲状腺腫に対し, シナカルセトが有効であった一症例. 第106回日本内科学会総会, 2009年4月10-12日.
- 坂上貴光, 渡部雄介, 木全直樹, 村上淳, 三村甲子郎, 高田和明, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 漏血汚染事故防止に考慮した新型逆止弁付き透析用安全留置針の評価. 日本医工学治療第25回学術大会, 2009年4月10-12日, 示説.
- 石川亜矢子, 横手卓也, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用多用途透析装置 DBG-03の再循環測定機能の評価. 日本医工学治療第25回学術大会, 2009年4月10-12日, 示説.
- 小田祐美, 横手卓也, 加藤紀子, 鈴木雄太, 宮尾眞輝, 坂上貴光, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 実血液ポンプ流量測定の意義. 日本医工学治療第25回学術大会, 2009年4月10-12日, 示説.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 分光光度計を用いた透析液廃液中の溶質濃度連続モニタリングシステムによって算出が可能となる新たな透析効率を示す指標の提案. 日本医工学治療第25回学術大会, 2009年4月10-12日, 示説.
- 加藤紀子, 横手卓也, 鈴木雄太, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: メーカーの違いによるメンテナンス性の比較. 日本医工学治療第25回学術大会, 2009年4月10-12日, 示説.
- 伊部紀子, 安部貴之, 宮尾眞輝, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新アフェレシス専用装置 KM9000の使用経験. 第18回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会, 2009年4月18日.
- 金野好恵, 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 安全なアフェレシス療法の実現を目的としたモニタリング技術の動向. 第18回日本アフェレシス学会関東甲信越地方会, 2009年4月18日.
- 横手卓也, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当センターにおける再循環率及びバスキュラーアクセス流量測定の評価と管理. 第36回日本血液浄化技術学会, 2009年4月18-19日.
- 伊藤憲, 横手卓也, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置の保守点検時におけるメンテナンス性の比較. 第36回日本血液浄化技術学会, 2009年4月18-19日, 口演.
- 吉田智史, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: APS-15SA を用いた血液透析施行中のさまざまなTMP 算出法の比較・検討. 第36回日本血液浄化技術学会, 2009年4月18-19日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 石森勇, 鈴木聡, 村上淳, 陣内彦博, 菊地勘, 三和奈穂子, 松井貴広, 成田暁, 田村仁信, 小林英雄, 高橋真生, 須田昭夫, 峰島三千男, 秋葉隆: Cinacalcet 登場に伴うCKD-MBD 診療の変貌. 第15回 New, Horizon for Nephrology 講演会, 2009年5月19日.
- 林野泰明, 福原俊一, 秋澤忠男, 秋葉隆, 浅野泰, 斎藤明, 黒川清: 糖尿病を有する血液透析患者におけるQOLと総死亡との関連: The Japan dialysis outcomes and practice patterns study (J-DOPPS). 第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 2009年5月21-24日, 口演.
- 持田亜彩子, 石塚尚子, 谷本京美, 古堅あずさ, 郡司一恵, 高木厚, 萩原誠久, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 慢性維持透析における組織ドプラ法を用いた心機能評価. 日本超音波医学会第82回学術集会, 2009年5月22-24日.
- 芳田工, 潮平俊治, 杉浦秀和, 芳田さつき, 三戸部倫大, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: UUO マウスにおける sphingosine kinase 阻害の尿細管間質障害モデルにおける効果の検討. 第52回日本腎臓学会学術集会, 2009年6月3-5日, 口演.
- 菊地勘, 新田孝作, 秋葉隆: シンポジウム 透析導入ガイドライン. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 木全直樹, 秋葉隆: シンポジウム 患者背景因子～DOPPSが日本の透析にもたらしたもの～. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ NICOMM レーザー血流計 (CDF-2000) を用いた血液透析中の末梢循環動態と溶質除去効果の検討. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ オンライン透析液廃液溶質濃度モニタリングシステムを利用した新たな透析指標の可能性. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.

- 菊地勘, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: ワークショップ 当院での AKI に対する急性血液浄化療法の選択. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日.
- 菊地勘, 高橋一貴, 林秀輝, 松島香織, 麓真一, 関口博行, 伊藤恭子, 濱田あすか, 池辺宗三人, 湯浅健司, 秋葉隆: 無酢酸透析の血圧に対する効果. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 石川博子, 宮川八平, 秋葉隆, 佐々木成, 佐藤千史: 維持透析患者の長期予後についての前向きコホート研究. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 大坪茂, 石原美和, 杉本久之, 植田修逸, 大坪由里子, 大坪公子, 大坪修, 内田啓子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 二次性副甲状腺機能亢進症に対するシナカルセットの貧血の改善効果. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 三和奈穂子, 菊地勘, 陣内彦博, 岩崎富人, 岡野一祥, 木全直樹, 秋葉隆: whole PTH/intact PTH 比に影響を及ぼす因子. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 鈴木聡, 安部貴之, 伊藤謙治, 峰島三千男, 秋葉隆: 眼球運動解析を利用した血液浄化装置の操作性評価に対する可能性. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 秋澤忠男, 秋葉隆, 藤見惺, 槇野博史, 黒川清, Pisoni, Ronald: 目標ヘモグロビン (Hb) レベルを達成・維持する貧血管理の手法の検討~ DOPPS より~. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 倉山亮太, 藤井寛, 近本裕子, 秋岡祐子, 中島一郎, 瀧之上昌平, 寺岡慧, 秋葉隆, 服部元史: 血漿交換療法を繰り返すことで移植腎機能廃絶が回避できた生体腎移植後劇症型 FSGS 再発の1例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 中山佳優, 杉浦秀和, 青木明子, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 荒井純子, 秋葉隆, 新田孝作: 肺に透析アミロイドーシスを呈した一剖検例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 坂上貴光, 渡部雄介, 木全直樹, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 漏血汚染事故防止に考慮した新型逆止弁付き透析用安全留置針の評価. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 木全直樹, 横手卓也, 宮尾眞輝, 渡部雄介, 濱田万恭子, 石森勇, 三和奈穂子, 村上淳, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: 適切な血液流量を得るための適正な穿刺針ゲージ選択の重要性. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 横手卓也, 木全直樹, 濱田万恭子, 渡部雄介, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: 臨床における穿刺針選択の重要性. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 鶴田悠木, 青木明日香, 石田和寛, 八巻学, 佐藤啓太郎, 菊地勘, 内藤隆, 安藤明利, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における SPP: skin perfusion pressure と虚血性心疾患のリスク. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 沼田真奈美, 藤田照美, 中山喜美子, 秋葉隆: 38年目を迎える長期透析患者とその家族に対する看護師が果たす役割. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 福原俊一, 秋葉隆, 岸本武利, 山崎親雄, 黒川清, Robinson, BM: 透析導入患者における就業と失業の予測因子~ DOPPS より~. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 菊地勘, 陣内彦博, 鶴田悠木, 江口亜弥, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析中の C型慢性肝炎患者に対するペグインターフェロン (PEG-IFN) 療法. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 口演.
- 押川和典, 石原美和, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作, 大坪茂: 透析歴32年の超長期透析患者に対し前脛骨動脈一足背動脈バイパス術と LDL 吸着療法を施行した一例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
- 安部貴之, 鈴木聡, 伊藤謙治, 峰島三千男, 秋葉隆: EMR 解析に基づく血漿浄化装置のアフォーダンス性に対する評価. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
- 江口亜弥, 塚田三佐緒, 森戸卓, 本田一穂, 入澤千晴, 秋葉隆, 新田孝作: 硬化性被嚢性腹膜炎 (EPS) に対してステロイド治療を行った一例の病理学的検討. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
- 塚田三佐緒, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における腹膜透析離脱患者の検

- 討. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
- 上田美緒, 田中好子, 小島史子, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者の Hb 変動の検討. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 山下哲理, 菊地勘, 陣内彦博, 鶴田悠木, 三和奈穂子, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 急性肝不全を合併した甲状腺クリーゼに血漿交換 (PE) が奏功した一症例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 小田順一, 菊地勘, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 小谷透, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院 ICU での急性血液浄化療法. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 佐藤尚代, 岩佐悠子, 武井卓, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者に合併した腸腰筋膿瘍の数症例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 陣内彦博, 木全直樹, 鈴木誉子, 山下哲理, 高野真理, 岩佐悠子, 白井亮介, 岩崎富人, 菊地勘, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 第2頸椎椎弓骨折が1年3ヶ月の保存的療法にて骨癒合を認めた長期透析患者の一例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 岩崎千尋, 青木明子, 清水阿里, 塚田三佐緒, 荒井純子, 木全直樹, 長沼美代子, 石森勇, 村上淳, 川合明彦, 秋葉隆, 新田孝作: 心臓移植17年後に透析導入となった1症例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 岩崎千尋, 青木明子, 清水阿里, 塚田三佐緒, 荒井純子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 心移植後透析導入となった1症例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 黒須紀友, 小島智亜里, 青木明子, 杉浦秀和, 秋葉隆, 新田孝作: 診断に苦慮した結核性リンパ節炎の症例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 亀井大悟, 江口亜弥, 田端秀日朗, 佐藤啓太郎, 杉織江, 板橋美津世, 芳田工, 荒井純子, 内田啓子, 土谷健, 柴田亮行, 澤田達男, 秋葉隆, 新田孝作: 敗血症で死亡し病理解剖を行った37年11ヶ月の長期透析患者の一例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 青木明日香, 菊地勘, 鶴田悠木, 塚田三佐緒, 内藤隆, 三和奈穂子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者における Ankle Brachial Index (ABI) と死亡との関連. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 大坪茂, 木全直樹, 岩崎富人, 石原美和, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 内田啓子, 新田孝作, 秋葉隆: Epoetin Beta と Darbepoetin Alfa のヘモグロビン変動に及ぼす影響の比較. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 鈴木啓子, 田中好子, 田中純子, 内田啓子, 新田孝作, 秋葉隆: Cinacalcet により心不全が惹起されたと疑われた維持透析患者の一例. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 鈴木誉子, 持田亜彩子, 木全直樹, 岡野一祥, 三和奈穂子, 萩原誠久, 新田孝作, 秋葉隆: 長期透析者における組織ドプラ法を用いた透析前後の急性変化の影響と心機能評価. 第54回日本透析医学会学術集会・総会, 2009年6月5-7日, 示説.
  - 塚田三佐緒, 小林未央子, 高野真理, 鶴田悠木, 小島智亜里, 秋葉隆, 新田孝作: 在宅介護によって退院可能となった高齢独居の腹膜透析導入例. 第34回東京女子医科大学在宅医療研究会, 2009年7月4日.
  - 小松原紀子, 宮尾眞輝, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 新しい血液浄化用装置 KM9000の当院における使用経験. 第30回日本アフェレシス学会学術大会, 2009年9月11-12日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院における DFPP 施行時における抗凝固薬の使用状況. 第30回日本アフェレシス学会学術大会, 2009年9月11-12日, 口演.
  - 金野好恵, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 安全なアフェレシス療法の実現を目的としたモニタリング技術の動向. 第30回日本アフェレシス学会学術大会, 2009年9月11-12日.
  - 横手卓也, 木全直樹, 濱田万恭子, 小田祐美, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: 臨床における穿刺針選択の重要性. 第13回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2009年9月26日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: メディキット社製新型透析用留置針ハッピーキャ

- スV (ZIS) の臨床評価. 第13回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2009年9月26日, 口演.
- 木全直樹, 横手卓也, 宮尾眞輝, 濱田万恭子, 石森勇, 三和奈穂子, 村上淳, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: 透析装置表示流量と実血液流量の解離 (適正な穿刺針ゲージ選択の重要性). 第13回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2009年9月26日, 口演.
- 濱田万恭子, 横手卓也, 小田祐美, 鈴木雄太, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 定期的実血液ポンプ流量測定の有用性. 第13回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2009年9月26日, 示説.
- 木村和生, 高野真理, 浅宮有香理, 森山能仁, 板橋美津世, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 血栓性血小板減少性紫斑病を合併した ANCA 関連血管炎の一例. 第39回日本腎臓学会東部学術大会, 2009年10月2-3日, 示説.
- 小林園実, 雨宮伸幸, 鈴木誉子, 江口亜矢, 青木明日香, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 内田啓子, 宇都健太, 本田一穂, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析 (CAPD) 中止後に被嚢胞性腹膜硬化症 (EPS) を発症し, 小腸穿孔, 小腸出血を来した剖検例. 第39回日本腎臓学会東部学術大会, 2009年10月2-3日, 示説.
- 海上耕平, 越田善久, 塚田三佐緒, 中山佳優, 清水阿里, 岡野一祥, 土谷健, 本田一穂, 小田秀明, 秋葉隆, 新田孝作: 肺乳頭状腺癌の早期診断に苦慮した長期透析患者の一例. 第39回日本腎臓学会東部学術大会, 2009年10月2-3日, 示説.
- 古山政幸, 相馬泉, 水谷誠, 谷口貴実子, 上田博章, 石塚喜世伸, 梶保祐子, 藤井寛, 近本裕子, 秋岡祐子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 単一施設における小児急性血液浄化療法の治療経験. 第20回日本急性血液浄化学会学術集会, 2009年10月9-10日, 口演.
- 石森勇, 吉田智史, 小田純一, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 陣内彦博, 菊地勘, 峰島三千男, 秋葉隆: 持続的血液透析濾過における操作条件が, 低分子量蛋白の溶質除去特性に及ぼす影響に関する実験的検討. 第47回日本人工臓器学会大会, 2009年11月12-14日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液廃液の吸光度連続測定による新しい透析指標の提案. 第47回日本人工臓器学会大会, 2009年11月12-14日.
- 吉田智史, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: PES-210S<sub>a</sub> および PES-21S<sub>a</sub> の内部濾過流量ならびに溶質除去性能の比較. 第15回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2009年11月21-22日, 口演.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 中川章郎, 小畑日出登, 松嶋哲哉, 田岡正宏, 佐藤隆, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 谷川智彦, 森石みさき, 川西秀樹: 間歇補液血液透析の臨床効果に及ぼす補液条件の影響. 第15回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2009年11月21-22日, 口演.
- 濱田万恭子, 石森勇, 横手卓也, 金野好恵, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当施設の透析液清浄化への取り組み. 第15回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2009年11月21-22日, 口演.
- 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: ダイアライザの透水性測定における血液側圧力変化に関するキサントガム水溶液を用いた検討. 第15回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2009年11月21-22日, 口演.
- 本田一穂, 塚田三佐緒, 江口亜弥, 石塚喜世伸, 種田積子, 小田秀明, 服部元史, 秋葉隆, 新田孝作: 最近の離脱時腹膜生検で観察される腹膜組織変化の動向と問題点. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 口演.
- 江口亜弥, 塚田三佐緒, 高野真理, 鶴田悠木, 菊地勘, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における被嚢性腹膜硬化症の治療と予後についての検討. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 口演.
- 塚田三佐緒, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における腹膜透析離脱患者の検討. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 口演.
- 高野真理, 塚田三佐緒, 秋山健一, 鶴田悠木, 江口亜弥, 青木明子, 杉浦秀和, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 高度な動脈石灰化・慢性閉塞性動脈硬化症 (ASO) により両下肢と陰茎の広範な壊死を認めた長期腹膜透析患者の剖検例. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 示説.
- 星井英里, 広川牧子, 藤田照美, 沼田真奈美, 内田美子, 中山喜美子, 塚田三佐緒, 秋葉隆: 高齢者患者の CAPD 導入指導. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 示説.
- 藤田照美, 広川牧子, 沼田真奈美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 菊地勘, 塚田三佐緒, 秋葉隆: PD 導入と



- なった左義手患者への関わり. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 示説.
- 沼田真奈美, 広川牧子, 藤田照美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 塚田三佐緒, 秋葉隆: 精神発達遅滞患者が腹膜炎を通院しながら治療した事例～事例を通して出た今後の課題～. 第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会, 2009年11月28-29日, 示説.
  - 徳本直彦, 野崎大司, 戸田直裕, 力石浩介, 松田明子, 川島洋一郎, 尾本和也, 秋葉隆, 田邊一成, 東間紘: 腎移植後のリン利尿ホルモンの推移について. 第43回日本臨床腎移植学会, 2010年1月28-30日.
  - 内田浩文, 伊藤憲, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 水野努, 秋葉隆: 短時間頻回低透析液流量透析の尿素除去特性から見た臨床評価. 第38回東京透析懇談会, 2010年2月21日.
  - 若山功治, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: クリアランスギャップを用いたアクセス管理への取り組み. 第38回東京透析懇談会, 2010年2月21日.
  - 中谷直史, 金野好恵, 横手卓也, 安部貴之, 濱田万恭子, 石川亜矢子, 星野哲史, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 2種類の過酢酸系除去洗浄剤の比較検討. 第38回東京透析懇談会, 2010年2月21日.
  - 岡島友樹, 鈴木雄太, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用透析装置における原液集中配管および原液タンクへ接続するための工夫. 第38回東京透析懇談会, 2010年2月21日.
  - 平河晋也, 鈴木聡, 安部貴之, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 装置操作におけるアイトラッキングデータ処理の簡素化に対する検討. 第38回東京透析懇談会, 2010年2月21日.
  - 大坪茂, 矢島愛治, 木全直樹, 石原美和, 内藤順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 秋葉隆, 新田孝作: シナカルセトの貧血改善効果. 第21回日本腎性骨症研究会, 2010年2月27日.
  - 小田順一, 石森勇, 崎山亮一, 菊地勘, 村上淳, 酒井基広, 金子岩和, 小谷透, 峰島三千男, 秋葉隆: 各種浄化器と操作条件の違いによる持続緩徐式血液透析濾過での溶質除去特性の比較検討. 第37回日本集中治療医学会, 2010年3月4-6日.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 各種低分子量蛋白における除去率の意味と適正な除去率算出式の提案. 第25回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2010年3月13-14日.
  - 江口圭, 石森勇, 金子岩和, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆, 小畑日出登, 松嶋哲哉, 田岡正宏, 佐藤隆, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 谷川智彦, 森石みさき, 川西秀樹, 井福武志, 東治道, 長尾尋智, 高田幹彦: 慢性透析療法における新しい治療形態を模索する新たな濾過型人工腎システムの展開 HD モードで HDF に近い治療効果を狙った治療. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日.
  - 鈴木聡, 安部貴之, 秋葉隆, 峰島三千男, 伊藤謙治: 注目される ME 技術の臨床応用アイトラッキングを利用した透析装置の使いやすさに対する評価. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日.
  - 亀井大悟, 木全直樹, 石森勇, 村上淳, 新田孝作, 秋葉隆, 峰島三千男: 安定維持透析患者における実測値 TACBUN と推算値 TACBUN の相関性の検討. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 低分子量蛋白における血中濃度変化の意味と適正な除去率算出式の検討. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 中川章郎, 岩隈加奈子, 緒方奈美子, 大江孝弘, 速水陽子, 小畑日出登, 松嶋哲哉: ダイアライザ前後の Hct 値を用いた実血流量測定法 (CRIT 2 点法) の臨床応用. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 宮尾眞輝, 木全直樹, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: メディキット社製新型透析用留置針ハッピーキャス V (Z1S) の臨床経験. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 鈴木雄太, 横手卓也, 濱田万恭子, 小田祐美, 石川亜矢子, 加藤紀子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 臨床における透析用留置針の脱血時流量特性. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 横手卓也, 木全直樹, 濱田万恭子, 小田祐美, 石川亜矢子, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析用留置針側孔の有無が脱血状態に及ぼす影響. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
  - 小林未央子, 木全直樹, 浅宮有香理, 佐々木裕子, 鈴木美貴, 岩淵裕子, 三和奈穂子, 大坪茂, 新田孝作, 秋葉

- 隆：ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) により体重管理を行った出産成功血液透析4症例の経験. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
- 海上耕平, 唐澤一徳, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 当院における慢性維持透析患者における消化管穿孔. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
- 金野好恵, 濱田万恭子, 横手卓也, 金子岩和, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: 細菌数測定 (膜濾過法) に及ぼす膜材質の影響. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 中川章郎, 小畑日出登, 松嶋哲哉, 田岡正宏, 佐藤隆, 田尾知浩, 土田健司, 水口潤, 谷川智彦, 森石みさき, 川西秀樹, 佐藤茂, 井福武志, 東治道, 長尾尋智, 高田幹彦: 間歇補液血液透析の臨床効果に及ぼす補液条件の影響. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
- 伊藤憲, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 水野努, 秋葉隆: 短時間頻回低透析液流量透析の尿素除去特性から見た臨床評価. 日本医工学治療学会第26回学術大会, 2010年4月2-4日, 口演.
- 大坪茂, 木全直樹, 石原美和, 内藤順代, 内田啓子, 大坪公子, 秋葉隆, 新田孝作: シナカルセトの貧血改善効果. 第107回日本内科学会総会・講演会, 2010年4月9-11日.
- 木全直樹, 小林未央子, 浅宮有香理, 佐々木裕子, 鈴木美貴, 岩淵裕子, 三和奈穂子, 大坪茂, 新田孝作, 秋葉隆: ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) により体重管理を行った出産成功血液透析4症例の経験. 第107回日本内科学会総会・講演会, 2010年4月9-11日.
- 石川亜矢子, 横手卓也, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院におけるボタンホール穿刺への取り組み. 第37回日本血液浄化技術学会学術大会・総会, 2010年4月17-18日, 口演.
- 加藤紀子, 横手卓也, 小田祐美, 鈴木雄太, 石川亜矢子, 山田祐史, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: アクセスカテーテル作成への取り組み. 第37回日本血液浄化技術学会学術大会・総会, 2010年4月17-18日, 口演.
- 小田祐美, 横手卓也, 江口圭, 濱田万恭子, 小松原紀子, 村上淳, 金子岩和, 陣内彦博, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析患者における末梢動脈疾患の定期的スクリーニング検査実施の取り組み. 第37回日本血液浄化技術学会学術大会・総会, 2010年4月17-18日, 口演.
- 原田孝司, 佐藤千史, 秋葉隆: コンセンサスカンファレンス C型肝炎ガイドライン 透析患者におけるC型肝炎患者のスクリーニング. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日.
- 木全直樹, 村上淳, 秋葉隆, 峰島三千男: 透析時間・スケジュールを再考する 短時間頻回低透析液透析の有用性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日.
- 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液浄化器性能評価法の再検討 クリアランス評価時の諸問題. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日.
- 福原俊一, 秋葉隆, 岸本武利, 山崎親雄, 黒川清, Saran R: 透析時間と患者アウトカムとの関連性 DOPPSより. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 金野好恵, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 短時間頻回低透析液量透析における週間溶質除去量からみた検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 山下哲理, 鶴田悠木, 岡野一祥, 高野真理, 越田義久, 陣内彦博, 岩崎富人, 三和菜穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: Intact PTH のガイドライン基準値で2群に分けた骨代謝マーカーの分布. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 小川晋平, 中西栄, 池辺宗三人, 大田和道, 湯浅健司, 鈴木聡, 木全直樹, 秋葉隆: PRR を利用したDW評価の可能性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 小松原紀子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析条件変更が下肢潰瘍改善の一助となった透析患者の一例. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 金子岩和, 村上淳, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 透析装置およびヒューマンエラーにより発生したインシデント事例の潜在要因分析と問題点の検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 陣内彦博, 高野真理, 岡野一祥, 三和菜穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者の腎性貧血治療におけるHb variabilityの検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.

- 岩崎富人, 秋澤忠男, 秋葉隆, 藤見惺, 大平整爾, 黒川清, Port FK: 透析患者のヘモグロビン変動に影響を与える因子に関する検討 DOPPS より. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 唐澤一徳, 木全直樹, 越田善久, 三和奈穂子, 弓野大, 萩原誠久, 新田孝作, 秋葉隆: 保存期腎不全を伴う非代償性両心不全に対する限界濾過治療の腎保護的観点での有用性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 安藤稔, 柳澤如樹, 味澤篤, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: 日本人 HIV 患者における慢性腎臓病の有病率. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 海上耕平, 唐澤一徳, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性維持透析患者における消化管穿孔症例の検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 友雅司, 秋葉隆, 横野博史, 藤見惺, 黒川清, Robinson BM: 血液透析患者の突然死に関連する改善可能な治療方法 DOPPS より. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 小林未央子, 木全直樹, 浅宮有香理, 佐々木裕子, 鈴木美貴, 岩渕裕子, 大島康子, 小林園実, 三和奈穂子, 大坪茂, 松上桂子, 新田孝作, 秋葉隆: 透析妊娠患者における hANP による体重管理. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 沼田真奈美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 菊地勘, 木全直樹, 秋葉隆: 透析患者の妊娠. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 古山政幸, 相馬泉, 藤井寛, 近本裕子, 秋岡祐子, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 服部元史: 当院における小児体外循環血液浄化療法施行例のまとめ. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 長谷川毅, 福原俊一, 秋葉隆, 斎藤明, 秋澤忠男, Pisoni RL: 血液透析患者の腎性貧血管理に ESA 包括化が及ぼした影響 J-DOPPS より. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 金野好恵, 崎山亮一, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 細菌数測定(膜濾過法)に及ぼす膜材質の影響. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 豊永純平, 中西栄, 池辺宗三人, 湯浅健司, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 秋葉隆: On-line HDF における  $\beta$ 2-MG とインターフェロン療法の関係. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 江口圭, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 中川章郎, 岩隈加奈子, 小畑日出登, 松嶋哲哉: ダイアライザ前後の Hct 値を用いた実血流量測定法 (CRIT 2 点法) の臨床応用. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 岩佐悠子, 大坪茂, 浅宮有香理, 矢島愛治, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者の頭蓋内動脈石灰化. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 星井英里, 沼田真奈美, 内田美子, 中山喜美子, 岩崎富人, 秋葉隆: 通常透析と連日短時間透析の QOL 比較. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 石原美和, 大坪茂, 浅宮有香理, 木全直樹, 内藤順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 秋葉隆, 新田孝作: 超長期透析患者における body mass index と上腕筋面積について. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 大坪茂, 矢島愛治, 石原美和, 内藤順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: シナカルセトの骨密度に与える影響. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 深川雅史, 秋葉隆, 福原俊一, 関野宏, 山崎親雄, 黒川清, Robinson BM: 血液透析患者に対するシナカルセト使用とミネラル代謝の関連性 DOPPS より. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 鶴田悠木, 鶴田幸男, 前橋靖彦, 山下哲理, 菊地勘, 岡野一祥, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 骨代謝マーカー (ALP) と骨塩定量の相関. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 高野真理, 鶴田悠木, 岡野一祥, 山下哲理, 越田義久, 陣内彦博, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者での Ca, P, PTH と骨代謝マーカーの相関性の検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.
- 大坪茂, 木全直樹, 矢島愛治, 石原美和, 内藤順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 秋葉隆, 新田孝作: シナカルセトの貧血改善効果. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 口演.

- 田端秀日朗, 菊地勘, 秋葉隆, 白川浩希, 清水朋一, 尾本和也, 石田英樹, 田邊一成, 新田孝作: HCV 抗体陽性レシピエントの腎生着率および生存率の検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 清水阿里, 武井卓, 板橋美津世, 秋葉隆, 新田孝作: ANCA 関連性血管炎と抗 GBM 抗体関連腎炎合併に血漿交換を施行した5症例. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 岩崎富人, 陣内彦博, 木村和生, 小林未央子, 越田善久, 高野真理, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 秋葉隆: シナカルセット服用時間と治療評価. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 青木明日香, 菊地勘, 佐藤啓太郎, 内藤隆, 安藤明利, 秋葉隆, 新田孝作: 透析導入時の HCV 陽性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 塚田三佐緒, 川西邦夫, 高野真理, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 本田一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における腹膜透析離脱に関する検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 田中純子, 上田美緒, 田中好子, 秋葉隆: 当院でのエリスロポエチンの投与量と発癌についての検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 青木明日香, 菊地勘, 佐藤啓太郎, 内藤隆, 安藤明利, 秋葉隆, 新田孝作: 透析導入時の HCV 陽性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 陣内彦博, 菊地勘, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 当院透析室における HCV 抗体陽転化患者発症時のシーケンスシング. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 鈴木啓子, 近藤恒徳, 田中好子, 田中純子, 秋葉隆, 新田孝作, 田邊一成: 腎盂癌術後リンパ節転移再発・肺転移に対し Gemcitabine 投与が奏効している透析患者の一例. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 亀井大悟, 木全直樹, 村上淳, 石森勇, 新田孝作, 秋葉隆, 峰島三千男: 安定維持透析患者における実測値 TACBUN と推算値 TACBUN の相関性の検討. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 小野寺孝明, 石原美和, 内藤順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作, 大坪茂: 当院における入院透析患者の特徴. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 木全直樹, 秋葉隆, 秋澤忠男, 斎藤明, 福原俊一, 黒川清, Port FK: 高透析量 (Kt/V) が生命予後にもたらす効果は性別によって異なる J-DOPPS 研究. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 木全直樹, 宮尾眞輝, 横手卓也, 三和奈穂子, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 松上桂子, 村上淳, 峰島三千男, 新田孝作, 秋葉隆: 穿刺針選択ゲージの地域性. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 戸田房子, 山根越夫, 安藤真紀, 松下正利, 関口かづ子, 田邊一成, 秋葉隆: 経口そう痒症改善剤レミッチ (ナルフラフィン塩酸塩製剤) の使用経験. 第55回日本透析医学会学術集会・総会, 2010年6月18-20日, 示説.
- 齋藤誉子, 三和奈穂子, 高野真理, 陣内彦博, 岩崎富人, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 巨大な腎被膜下血腫を呈した透析患者の一例. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年8月.
- 杉本比美子, 高野真理, 木全直樹, 陣内彦博, 岩崎富人, 岡野一祥, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 1年以上の保存的療法にて骨癒合を認めた第2頸椎椎弓骨折の長期透析例. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年8月.
- 戸田房子, 山根越夫, 安藤真紀, 松下正, 関口カヅ子, 秋葉隆, 田邊一成: 当院における経口そう痒症改善剤レミッチ (ナルフラフィン塩酸塩製剤) の使用経験. 日本泌尿器科学会, 2010年9月15-17日.
- 江口圭, 山本健一郎, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: ミニワークショップ 希釈効果や pH 変化を利用した蛋白結合性尿毒素の除去. 第19回日本次世代人工腎臓研究会, 2010年9月18日.
- 齋藤誉子, 三和奈穂子, 高野真理, 陣内彦博, 岩崎富人, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 巨大な腎被膜下血腫を呈した透析患者の一例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会, 2010年9月24-25日, 口演.
- 杉本比美子, 高野真理, 木全直樹, 陣内彦博, 岩崎富人, 岡野一祥, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 1年以上の保存的療法にて骨癒合を認めた第2頸椎椎弓骨折の長期透析例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会, 2010年9月24-25日, 口演.
- 菊地勘, 秋葉隆: シンポジウム HCV 感染 HD 患者での VRAD 併用療法への期待. 第31回日本アフェレシス学会学術大会, 2010年11月4-6日.
- 眞部俊, 岡野一祥, 井上朋子, 陣内彦博, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉隆: 高トリグリセリド (TG) 血症による重症

- 急性肺炎 (SAP) に対する発症早期の血漿交換法 (PE) の有効性. 第31回日本アフェレシス学会学術大会, 2010年11月4-6日, 口演.
- 山本健太郎, 江口圭, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千夫: 希釈効果と pH 変化による蛋白結合毒素除去の基礎的検討. 第31回日本アフェレシス学会学術大会, 2010年11月4-6日, 口演.
- 富澤康子, 酒井基広, 石森勇, 南茂, 崎山亮一, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 人工臓器開発に向けた医工学教育 人工臓器に若いときからふれる機会を作ろう 高校生のための人工臓器教育セミナー. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 山本健一郎, 江口圭, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: ワークショップ 人工臓器と血液透析 希釈効果や pH 変化を用いた蛋白結合尿毒素の除去に関する基礎的検討. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 鈴木聡, 安部貴之, 峰島三千男, 秋葉隆: 眼球運動解析を用いた血液透析の開始作業におけるリスク評価. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 低分子量蛋白クリアランス評価の問題点と適正評価法の検討. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 小分子物質クリアランス評価の問題点と適正評価法の検討. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 石森勇, 伊藤憲, 金野好恵, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: コンパートメントモデルを用いた通常透析と短時間頻回低透析液流量透析における溶質除去特性の比較検討. 第48回日本人工臓器学会大会, 2010年11月18-20日.
- 横手卓也, 瀧澤亜由美, 若山功治, 鈴木万恭子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析室移転に伴う透析液清浄化体制の構築～第一報～. 第16回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2010年11月20日, 口演.
- 瀧澤亜由美, 横手卓也, 若山功治, 鈴木万恭子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析室移転に伴う透析液清浄化体制の構築～第二報～. 第16回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2010年11月20日, 口演.
- 石森勇, 吉田智, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 透析装置の圧モニタリング機能を用いた後希釈 HDF における透水性の経時的評価. 第16回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2010年11月21日, 口演.
- 江口圭, 山本健太郎, 金子岩和, 馬場園哲也, 秋葉隆, 岩本安彦, 峰島三千男: 希釈効果や pH 変化を利用した蛋白結合性尿毒素除去に関する基礎的検討. 第16回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2010年11月21日, 口演.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 短時間頻回低透析液流量透析 (Short-daily low dialysate flow hemodialysis SLDLHD) における溶質除去特性の検討. 第16回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2010年11月21日, 口演.
- 陣内彦博, 木全直樹, 神山理明, 野老山武士, 三和奈穂子, 岡野一祥, 弓野大, 志賀剛, 新田孝作, 秋葉隆, 萩原誠久: 当院循環器外来における保存期腎不全患者の腎性貧血サーベランス. 第19回腎とエリスロポエチン研究会, 2010年11月27日.
- 杉浦秀和, 芳田工, 公平順子, 潮平俊治, 三戸部倫大, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: Klotho と腎線維化との関係. 東京女子医科大学総合研究所紀要30.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 低分子量蛋白クリアランス評価時の影響因子と適正評価法の検討. 日本医工学治療学会, 2011年4月.
- 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 小分子物質のクリアランス評価時の影響因子と適正評価法の検討. 日本工学治療学会, 2011年4月.
- 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: On-line HDF 再興の時代 On-line HDF に用いるための血液透析濾過器の選択. 日本医工学治療学会, 2011年4月.
- 吉田直史, 馬場園哲也, 麦島通乃, 入村泉, 東谷紀和子, 坊内良太郎, 花井豪, 田中伸枝, 石井晶子, 秋葉隆, 岩本安彦: 2型糖尿病透析患者におけるビルダグリプチンの有効性と安全性. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会, 2011年4月.

- 大坪茂, 石原美和, 高崎順代, 大坪公子, 大坪修, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 維持血液透析患者における Peripheral arterial disease (PAD) と長期生命予後の関連. 日本腎臓学会, 2011年5月.
- 高元俊彦, 西尾康英, 秋葉隆: 腎予後・生命予後から考える保存期腎性貧血の治療, 慢性腎臓病 (CKD) の貧血, 心不全管理とエリスロポエチンの役割. 日本腎臓学会, 2011年5月.
- 中井滋, 山縣邦弘, 秋葉隆, 椿原美治: 日本透析医学会との連携 J-RBR/J-KDR への提言. 日本腎臓学会, 2011年5月.
- 大坪茂, 石原美和, 高崎順代, 大坪公子, 大坪修, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 維持血液透析患者における Peripheral arterial disease (PAD) と長期生命予後の関連. 第54回日本腎臓学会学術総会, 2011年6月15日, 口演.
- 田中順子, 鈴木啓子, 森山能仁, 新田孝作, 鈴木美紀, 田中好子, 秋葉隆: 下肢筋痛を契機に筋サルコイドーシスと診断された血液透析患者. 第54回日本腎臓学会学術総会, 2011年6月15日, 示説.
- 浅宮有香理, 秋葉隆, 松田義雄, 新田孝作: シンポジウム 妊娠と出産: 透析療法と腎移植後の比較. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 鶴田悠木, 新田孝作, 秋葉隆: シンポジウム 透析患者におけるアロプリノールと生命予後. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日.
- 陣内彦博, 木全直樹, 高野真理, 岩崎富人, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 弓野大, 志賀剛, 新田孝作, 秋葉隆, 萩原誠久: 当院循環器外来における保存期腎不全患者の腎性貧血. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 大坪茂, 石原美和, 高崎順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 従来の遺伝子組み換えヒトエリスロポエチン製剤からエポエチンカップパへの切り替えの検討. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 杉本比美子, 岡野一祥, 高野真理, 陣内彦博, 岩崎富人, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 田邊一成, 秋葉隆, 新田孝作: 移植腎に再発した FSGS に施行した LCAP での白血球の動態. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 北村麻理子, 若梅貴子, 石原美和, 高崎順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 大坪茂, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: Ankle-brachial index (ABI) と長期生命予後の関連. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 秋葉隆, 峰島三千男: 水系実験における透析液駆動方法の違いが CL 値へ及ぼす影響の検討. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 鈴木雄太, 横手卓也, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆, 廣谷紗千子: BV 計を使用した再循環率測定の新検討. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 宮尾眞輝, 伊藤憲, 鈴木万恭子, 平川晋也, 友方一人, 石井貴文, 若山功治, 鈴木雄太, 宮尾亜矢子, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 止血弁付き安全針メディカットセーフティカニューラの臨床評価. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 山下哲理, 鶴田悠木, 岡野一祥, 高野真理, 越田善久, 新田孝作, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 血液透析患者におけるオステオカルシン/骨型アルカリホスファターゼ比と死亡. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 大坪茂, 石原美和, 高崎順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 大坪修, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析歴30年以上の超長期透析患者における骨密度. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 井上朋子, 岡野一祥, 高野真理, 塚田三佐緒, 新田孝作, 陣内彦博, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: イコサペント酸エチル (EPA) は透析患者において酸化ストレス抑制効果を認める. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 桃木久美子, 岡野一祥, 高野真理, 塚田三佐緒, 荒井純子, 新田孝作, 陣内彦博, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 早期の血漿交換による高トリグリセライド血症改善は急性膵炎治療に有効である. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 菊地勘, 秋葉隆, 新田孝作, 政金生人, 安藤亮一, 山崎親雄, 富永芳博, 洞和彦, 長沢正樹, 池辺宗三人, 川西秀

- 樹, 重本憲一郎, 原田孝司, 平方秀樹, 野崎剛, 秋澤忠男: HCV 感染透析患者に対する PEG-IFN  $\alpha$ -2a の有効性の検討: 多施設共同研究 REACH study. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 秋葉隆, 峰島三千男: 当院における血液浄化関連業務専門教育と組織力強化の取り組み. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 石井貴史, 鈴木聡, 秋葉隆: ベッド柵警報装置の開発とその効果. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 鈴木聡, 長谷川大輔, 伊藤謙治, 秋葉隆: タスクの難易度から見た透析技能への評価に対する認識. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 星野慈恵, 木全直樹, 高野真理, 三和奈穂子, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 陣内彦博, 新田孝作, 秋葉隆, 坂井瑠実: 透析妊婦における塩酸リトドリンの透析性. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 木全直樹, 秋葉隆, Pisoni Ronald, 秋澤忠男, 浅野泰, Port Friedrich: 血液透析患者における皮膚瘙癢症~ Japan Dialysis Outcomes Patterns Study (J-DOPPS) 研究~. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 野老山武士, 木全直樹, 陣内彦博, 齋藤誉子, 三和奈穂子, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 秋葉隆, 新田孝作, 内山由美子, 内山真一郎: Restless Legs Syndrome の頻度. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 平川晋也, 宮尾真輝, 伊藤憲, 鈴木万恭子, 友方一人, 石井貴文, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 止血弁付き安全針メディカットセーフティカニューラのアンケートによる臨床評価. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 口演.
- 林秀輝, 高橋美歩, 斎藤たか子, 石田秀岐, 関口博行, 伊藤恭子, 菊地勤, 秋葉隆: genotype 1b, 高ウイルス量の C 型慢性肝炎の 1 症例に対する DFPP 単独でのウイルス学的効果の検討. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 上田博章, 近本裕子, 石塚喜世伸, 谷口貴実子, 菅原典子, 藤井寛, 久野正貴, 秋岡祐子, 秋葉隆, 服部元史: 腎移植後受診を怠り緊急血液透析再導入となったノンアドヒアランスの 1 例. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 中山喜美子, 秋葉隆: 透析前訪問の取り組み報告~病室透析から透析室来室になる患者を対象に~. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 沼田真奈美, 星井英里, 内田美子, 中山喜美子, 秋葉隆: 透析室の拡大移転にあたり~外来, 入院, 隔離とエリア別配置を実施してみた~. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 塚田三佐緒, 高野真理, 川西邦夫, 江口亜弥, 新田孝作, 菊地勤, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 本多一穂: 腹膜透析患者における NaCl 排泄量の影響. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 高野真理, 塚田三佐緒, 川西邦夫, 江口亜弥, 新田孝作, 菊地勤, 三和奈穂子, 秋葉隆, 本多一穂: 腹膜透析患者に Incremental PD を行う際の透析解析ソフトによるシミュレーションの有用性. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 大坪茂, 石原美和, 高崎順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪公子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者における小腸出血. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 石原美和, 大坪茂, 高崎順代, 大坪公子, 秋葉隆, 新田孝作, 河田孝彦, 平野正憲: 1群高ウイルス量の C 型慢性肝炎合併の超長期透析患者に対しインターフェロン  $\beta$  (INF  $\beta$ ) による加療で rapid virological response (RVR) を得た 1 例. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 小島史子, 上田美緒, 田中好子, 唐鎌優子, 輿石剛, 新田孝作, 秋葉隆: Chronic portal-systemic shunt encephalopathy (CPSE) による高アンモニア血症のために認知症様症状をきたした症例. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 鈴木万恭子, 横手卓也, 木全直樹, 瀧澤亜由美, 加藤紀子, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 生菌数測定への取り組み~ Microbiology Workshop を受講して~. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.

- 岩佐悠子, 大坪茂, 矢島愛治, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析患者における血清 FGF-23値と頭蓋内動脈石灰化. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 齋藤誉子, 木全直樹, 陣内彦博, 高野真理, 岩崎富人, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 非外傷性腎被膜下血腫を呈した透析患者の一例. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 岩崎富人, 木全直樹, 陣内彦博, 高野真理, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆: 透析患者における Hb variability と予後の検討. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 加藤紀子, 横手卓也, 平川晋也, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 安全点検システム MARIS を使用した透析関連機器管理の試み. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 清水幹夫, 平川晋也, 石森勇, 村上淳, 畔越篤, 河原林理, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液透析施行中に報知されない血液回路内気泡の測定. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 前田佳孝, 鈴木聡, 小松原明哲, 秋葉隆: 透析安全のための透析支援システムの効果的な利用方法について. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 若山功治, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 廣谷紗千子, 峰島三千男, 秋葉隆: CL-Gap と実血液流量の関係. 第56回日本透析医学会学術集会・総会, 2011年6月17-19日, 示説.
- 岡島友樹, 石森勇, 吉田智史, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 後希釈 HDF 療法における血液側入口圧モニタリングの有用性. 第17回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2011年9月4日, 口演.
- 鈴木万恭子, 横手卓也, 鈴木幹夫, 瀧澤亜由美, 若山功治, 村上淳, 金子岩和, 吉田周理, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 3種類の生菌数検出法の比較. 第17回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2011年9月4日, 口演.
- 若山功治, 石井貴文, 菅原智子, 岡島友樹, 小田祐美, 宮尾眞輝, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 日機装社製オンライン対応個人用多用途透析装置 DBG-03における Hybrid, D-FAS の使用経験. 第17回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2011年9月4日, 口演.
- 瀧澤亜由美, 清水幹夫, 石森勇, 鈴木万恭子, 若山功治, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当施設における ETRF 故障の時間的特性についての検討. 第17回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 2011年9月4日, 口演.
- 木全直樹, 村上淳, 峰島三千男, 秋葉隆: パネルディスカッション 短時間頻回透析の有用性と問題点. 第20回日本次世代人工腎臓研究会, 2011年9月17日.
- 星井英里, 土屋祥子, 塩之入聖子, 岡本明子, 沼田真奈美, 岡部祥, 中山喜美子, 塚田三佐緒, 秋葉隆, 新田孝作: 透析導入患者への調査結果をふまえて. 第17回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2011年9月24日.
- 廣川牧子, 沼田真奈美, 星野英里, 中山喜美子, 内田美子, 塚田三佐緒, 秋葉隆: 腹膜炎感染症予防への取り組み. 第17回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2011年9月24日, 示説.
- 沼田真奈美, 廣川牧子, 星野英里, 内田美子, 中山喜美子, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析併用療法での透析間の体重コントロールについての指導の在り方について. 第17回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2011年9月24日, 示説.
- 高野真理, 塚田三佐緒, 川西邦夫, 江口亜弥, 菊地勘, 三和奈穂子, 本多一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 当院における腹膜透析+血液透析併用療法の現況. 第17回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2011年9月24日, 示説.
- 新田孝作, 塚田三佐緒, 高野真理, 小川哲也, 木全直樹, 秋葉隆: シンポジウム 血管石灰化の基礎と臨床 腹膜透析患者における大動脈弓石灰化. 第17回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2011年9月25日.
- 内田恵子, 板橋美津世, 秋葉隆, 新田孝作: シンポジウム 血管炎に合併する肺胞出血に対するアフエレスス. 第32回アフエレスス学会学術大会, 2011年10月1日.
- 星井英里, 沼田真奈美, 中山喜美子, 村上淳, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: ワークショップ 腎移植前後の血漿交換治療患者に対する精神的援助. 第32回アフエレスス学会学術大会, 2011年10月1日.
- 入江健一, 金野好恵, 鈴木万恭子, 村上淳, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: 当院でのアフエレスス治療における臨床工学技士の教育. 第32回アフエレスス学会学術大会, 2011年10月1日, 口演.
- 金野好恵, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: シンポジウム アフエレススにおける分離技術の基礎と臨床 加温式リサキュレーション法 (DF サーモ). 第32回アフエレスス学会学術大会, 2011年10月2日.



- 江口圭, 山本健太郎, 金子岩和, 馬場園哲也, 秋葉隆, 峰島三千男: ワークショップ 希釈効果や pH 変化を利用した蛋白結合型病因物質の効果的な除去 (基礎検討から). 第32回アフレスシス学会学術大会, 2011年10月2日.
- 清水幹夫, 村上淳, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 透析困難症例に対する短時間頻回透析の有効性. 第38回日本血液浄化技術学会学術大会, 2011年10月16日.
- 葛原信三, 雨宮伸幸, 高野真理, 陣内彦博, 岡野一祥, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析中に原因不明の発熱をきたし肝膿瘍と診断された1例. 第41回日本腎臓学会東部学術大会, 2011年10月15日, 示説.
- 伴野麻悠子, 亀井大悟, 潮平俊治, 吉永健太郎, 木全直樹, 内田啓子, 秋葉隆, 田邊一成, 泉二登志子, 新田孝作: 透析再導入に伴い免疫抑制剤を中止し, 軽快を認めた献腎移植後の Primary Effusion Lymphoma の1例. 第41回日本腎臓学会東部学術大会, 2011年10月15日, 示説.
- 鈴木雄太, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 様々な装置を利用したバスキュラーアクセスモニタリング. 第38回日本血液浄化技術学会学術大会, 2011年10月16日.
- 平川晋也, 石森勇, 加藤紀子, 吉田智史, 入江健一, 安部貴之, 阿部千尋, 岩崎富人, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 下肢圧迫併用透析が透析効率に及ぼす影響の検討. 第49回日本人工臓器学会大会, 2011年11月26日, 口演.
- 吉田智史, 石森勇, 岡島友樹, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 個々の患者への適切な圧力警報設定の試み. 第49回日本人工臓器学会大会, 2011年11月26日, 口演.
- 鈴木聡, 安部貴之, 秋葉隆: 注視データを利用した血漿交換装置のアフォーダンス評価. 第49回日本人工臓器学会大会, 2011年11月26日, 口演.
- 山本健一郎, 崎山亮一, 琴谷淳, 酒井清孝, 木全直樹, 秋葉隆, 峰島三千男: シンポジウム ダイアライザ性能の経時変化: その定量的評価法の最前線. 第49回日本人工臓器学会大会, 2011年11月27日.
- 石森イサム, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 維持透析患者への対応と遠隔地への移送—東日本大震災における透析患者大量搬送を経験して—. 第49回日本人工臓器学会大会, 2011年11月27日.
- 大坪茂, 矢吹恭子, 石原美和, 高崎順代, 植田修逸, 杉本久之, 大坪由里子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 透析歴30年以上の血液透析患者における骨密度. 第23回日本腎性骨症研究会, 2012年2月25日, 示説.
- 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 各種ダイアライザにおける充填液, 洗浄液中の溶出物の基礎的検討. 第27回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2012年3月11日.
- 井上朋子, 岡野一祥, 鶴田悠木, 新田孝作, 秋葉隆, 鶴田幸男: 血液透析 (HD) 患者におけるイコサペント酸エチル (EPA) の生命予後への影響. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 肥田実里, 中山佳優, 清水阿里, 森山能仁, 板橋美津世, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: MPO-ANCA 関連血管炎 (MPA) に血漿交換療法 (PE) を併用した2症例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 鶴田悠木, 鶴田幸男, 菊地勘, 岡野一祥, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における Febuxostat の血管内皮機能に対する効果. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 高野真理, 大坪茂, 木全直樹, 小田祐美, 安部貴之, 岡島友樹, 三和奈穂子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における Peripheral artery disease (PAD) が死因に与える影響. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 菊地勘, 秋葉隆, 秋澤忠男: HCV 感染透析患者に対する PEG-IFN  $\alpha$ -2a の有効性の検討~多施設共同研究, REACH study ~. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 菊地勘, 田中好子, 新田孝作, 秋葉隆: HCV 感染透析患者に対する PEG-IFN  $\alpha$ -2a (PEG-IFN) 単独療法および Ribavirin (RBV) 併用療法の効果. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 曾我明日華, 岩崎千尋, 亀井大悟, 潮平俊治, 武井卓, 内田啓子, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者に合併した EBV 髄膜炎の1例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 伴野麻悠子, 越智文美, 鶴田悠木, 潮平俊治, 川西邦夫, 望月俊雄, 荒井純子, 秋葉隆, 新田孝作: 維持透析中の高カルシウム血症を呈し, 剖検で肺重複癌と診断した一例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 阿部千尋, 平川晋也, 安部貴之, 入江健一, 吉田智史, 加藤紀子, 石森勇, 村上淳, 三和奈

- 穂子, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析患者における間歇的下肢圧迫装置 (SCD Express) の臨床評価. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 横山啓太郎, 秋葉隆, 平方秀樹: 慢性血液透析 (HD) 患者の高リン血症に対する新規リン吸着薬 JTT751 (クエン酸第二鉄水和物) の有効性および安全性の検討～第Ⅱ相用量反応性試験～. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 田部井薫, 秋葉隆: 学会委員会企画 適正体液管理. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日.
- 木全直樹, Ronald Pisoni, Brian Bieber, 斎藤明, 秋澤忠男, Friedrich Port, 秋葉隆: 透析量低値 (Kt/V <1.2) の原因ならびに施設内比率と生命予後～JDOPPS 研究～. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 宮尾眞輝, 村上淳, 清水幹夫, 加藤紀子, 鈴木雄太, 鈴木万恭子, 安部貴之, 瀧澤亜由美, 若山功治, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析通信システムによるアクセス管理. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 亀井大悟, 久野勉, 佐藤純彦, 新田孝作, 秋葉隆: 透析医療における福島原発事故の影響～透析液の放射性物質汚染の評価～. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 生方政光, 陣内彦博, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血漿交換が奏功した劇症型抗リン脂質抗体症候群の1例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 塚田三佐緒, 高野真理, 川西邦夫, 江口亜弥, 三和奈穂子, 本多一穂, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者における血管石灰化の検討. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 岩崎富人, 木全直樹, 陣内彦博, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 川嶋朗, 土谷健, 秋葉隆: 血液透析患者におけるヘモグロビン変動と予後. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 口演.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 宮岡統紀子, 日比朝子, 陣内彦博, 岩崎富人, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 川嶋朗, 小山年勇, 児玉泰輝, 秋葉隆: チリパラチドを使用した透析患者の一例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 徳本直彦, 秋葉隆, 瀬戸口誠, 佐藤泰之, 溝口翔悟, 早川希, 松田明子, 東間紘, 田邊一成: 生体腎移植時の骨生検にて無形成骨症と診断した症例の臨床経過. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 小島智亜里, 曾我明日華, 雨宮伸幸, 鶴田悠木, 板橋美津世, 秋葉隆, 新田孝作: TTP 治療中にノカルジア脳膿瘍・肺炎を発症し, 抗菌薬治療が奏功した SLE 透析患者の一例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 宮岡統紀子, 亀井大悟, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作, 菅野仁, 武市智志, 山本雅一: ビタミンC大量投与により急性溶血発作と AKI を発症したグルコース-6-リン酸脱水素酵素 (G6PD) 異常症患者に対し HDF を施行し透析離脱した一例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 日比朝子, 浅宮有香理, 三和奈穂子, 木全直樹, 高木敏男, 森本聡, 市原淳弘, 田邊一成, 秋葉隆: 維持透析患者に併発した副腎外性褐色細胞腫 (傍神経腫) の1例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 葛原信三, 岡野一祥, 岩崎富人, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作, 富松宏文, 中西敏男: 心奇形のためのドライウエイトの設定に難渋した1例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 田中好子, 島本由紀子, 上田美緒, 足立山夫, 若井幸子, 新田孝作, 秋葉隆: 骨髓生検で不応性貧血と診断されたが3カ月で自然に回復した慢性透析患者の一症例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 2012年6月22-24日, 示説.
- 日比朝子, 木全直樹, 岩崎富人, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 秋葉隆: 透析患者におけるペラミピルの至適投与についての検討. 第42回日本腎臓学会東部学術大会, 2012年10月13日, 口演.
- 田中好子, 上田美緒, 菊地勘, 秋葉隆: C型肝炎治療のための pegylated interferon- $\alpha$ -2a 投与により皮膚, 脾臓サルコイドーシスを発症した透析患者症例. 第42回日本腎臓学会東部学術大会, 2012年10月13日, 示説.
- 金野好恵, 清水幹夫, 村上淳, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院における血液透析併用血漿交換療法の施行方法. 第33回日本アフレスシス学会学術大会, 2012年11月9日, 口演.
- 瀧澤亜由美, 清水幹夫, 石森勇, 安部貴之, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析通信システ

- ムを活用した個人用透析装置での GCAP の施行. 第33回日本アフェレシス学会学術大会, 2012年11月9日, 口演.
- 安部貴之, 生方政光, 清水幹夫, 瀧澤亜由美, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 陣内彦博, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: 血漿交換療法が著効した劇症型抗リン脂質抗体症候群の1例. 第33回日本アフェレシス学会学術大会, 2012年11月10日, 口演.
  - 金野好恵, 小田順一, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院透析室における感染対策の取り組み～感染対策 POP 運用の検討～. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月27日, 口演.
  - 菅原智子, 鈴木雄太, 若山功治, 阿部千尋, 宮尾眞輝, 日吉麻由美, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析用留置針の臨床と実験系における脱血性能の比較. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月27日, 口演.
  - 平川晋也, 石森勇, 加藤紀子, 伊藤憲, 安部貴之, 内田浩文, 田中成子, 日吉麻由美, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: APS-25EA と PES-25S $\alpha$  の高流量条件における溶質除去性能の比較. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月27日, 口演.
  - 岡島友樹, 鈴木雄太, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 個人用透析装置原液接続ポートを原液集中配管および原液タンクへ接続するための工夫. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月27日, 口演.
  - 若山功治, 横手卓也, 小野淳一, 仙頭正人, 宮本照彦, 加藤真也, 田中昭彦, 木村亜希子, 佐々木裕介, 湯浅健司, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム クリアランスギャップ (CL-Gap) による VA 管理. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月28日.
  - 鈴木雄太, 若山功治, 小田順一, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: シンポジウム 再循環率測定による Vascular Access 管理. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月28日.
  - 山田祐史, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 透析支援システムにおける外部出力機能の利用. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月28日, 口演.
  - 鈴木万恭子, 石森勇, 鈴木幹夫, 瀧澤亜由美, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 37mmQM における原液中の生菌数検出感度を向上させるための考案. 第40回日本血液浄化技術学会学術大会, 2013年4月28日, 口演.
  - 鈴木雄太, 若山功治, 小田順一, 宮尾眞輝, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 再循環率測定による Vascular Access 管理. 臨床工学技士によるバスキュラーアクセス管理, 2013年4月.
  - 若山功治, 横手卓也, 小野淳一, 仙頭正人, 宮本照彦, 加藤真也, 田中昭彦, 木村亜希子, 佐々木裕介, 湯浅健司, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: クリアランスギャップ (CL-Gap) による VA 管理. 臨床工学技士によるバスキュラーアクセス管理, 2013年4月.
  - 入江健一, 大谷祐美, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院透析室における臨床工学技士の新入教育の現状. 2013年4月.
  - 阿部千尋, 菅原智子, 日吉麻由美, 相馬泉, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 当院の臨床工学部における部門間業務連携の現状. 2013年4月.
  - 安部貴之, 金野好恵, 坂本健太郎, 瀧澤亜由美, 岡澤圭祐, 鈴木聡, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆, 宮本晃: 眼球運動解析によるマニュアル作成方法の提案. 2013年4月.
  - 岡島友樹, 石森勇, 吉田智史, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 後希釈 HDF における血液側入口圧の治療中監視項目としての必要性の検討. 2013年4月.
  - 鈴木雄太, 加藤紀子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置定期交換部品以外の箇所からの液漏れ. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
  - 星野慈恵, 長谷川純平, 井上宙哉, 亀井唯子, 中山一誠, 山田慶, 加賀俊江, 阿部恭知, 遠藤真理子, 岩井幸子, 木全直樹, 秋葉隆: 急性血液浄化法を適応とした急性心不全 (AKI) 症例の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
  - 片岡浩史, 森山能仁, 板橋美津世, 武井卓, 内田啓子, 望月俊雄, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腎性検後8年の経過中に透析導入となった IgA 腎症患者の特徴について. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.

- 藤井照大, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 透析低血圧の診断における2次元心エコー図の有用性. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 鈴木太, 高木厚, 小鹿亜彩子, 植松庄子, 星敬美, 新井光太郎, 芦原京美, 萩原誠久, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆, 鈴木敦, 鈴木利昭: 透析低血圧の診断における2次元心エコー図の有用性. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 佐々木裕子, 鶴田悠木, 岡野一祥, 濱野慶朋, 鶴田幸雄, 秋葉隆, 新田孝作: 維持透析症例30例でのBMIと死亡率の相関に関する検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 山谷琴子, 岡野一祥, 井上朋子, 片岡浩史, 朝宮有香理, 森山能仁, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: ブラッドアクセスの違いによる心拍出量への影響を心拍出量モニターを使用し検討した. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 澤田杏理, 亀井大悟, 内田啓子, 土谷健, 新田孝作, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 難治性の皮膚そう痒症に対してナルフラフィン塩酸塩が効果を示した透析患者の1例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 公文佐江子, 井上朋子, 岡野一祥, 日比朝子, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 武井卓, 星野岳郎, 加藤秀高, 水野聡子, 内山真一郎, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 免疫吸着療法が有効であったステロイド治療抵抗性視神経髄膜炎の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 瀧澤亜由美, 石森勇, 清水幹夫, 鈴木万恭子, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 熱水クエン酸消毒施行中に発生した排液配管内の付着物によるトラブルとその対応についての報告. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 鈴木万恭子, 石森勇, 清水幹夫, 瀧澤亜由美, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液清浄化管理において最適な生菌数培養日数の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 大谷祐美, 大坪茂, 木全直樹, 高野真理, 村上淳, 三和奈穂子, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者の生命予後を予見するankle-brachial blood index (ABI), 及びSkin perfusion pressure (SPP), のカットオフ値の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 岡野一祥, 日比朝子, 亀井大悟, 井上朋子, 浅宮有香里, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 透析患者における白血球および血清酸化ストレスマーカーの相関性. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 鶴田悠木, 市川明子, 林俊秀, 越田善久, 大貫隆子, 濱野慶朋, 菊地勘, 岡野一祥, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者におけるHbA1c, GAと血糖の相関. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 田島蓉子, 浅宮有香里, 菊地勘, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 荒井純子, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 1b高ウイルス量のC型肝炎透析患者に対して3種類のIFNを使用しSVRが得られた一症例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 菊地勘, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性透析患者におけるHBVサーベイランス. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 菊地勘, 秋葉隆, 秋澤忠男 REACH study group: HCV感染透析患者に対するPEG-IFN $\alpha$ -2aの有効性の検討 多施設共同研究 REACH study. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 菊地勘, 林秀輝, 伊藤恭子, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性透析患者におけるHIV感染と生命予後. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 塚田三佐緒, 高野真理, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者の残腎機能の有無・血液透析併用における透析量 栄養状態の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 井上朋子, 日比朝子, 浅宮有香里, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 当院における二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療とw-PHT値の変化. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日.
- 真壁志帆, 岡野一祥, 越智文美, 望月俊雄, 土谷健, 岩本祐介, 出雲真由, 齋藤卓, 秋葉隆, 新田孝作: 炭酸ランタンの腸管内遺残から腸管穿孔を来したと考えられる透析患者の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会,

2013年6月20-23日.

- 木全直樹, 若山功治, 廣谷紗千子, 鈴木雄太, 崎山亮一, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 土谷健, 秋葉隆: 血液流量變更に伴う上腕血流量の変化. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 亀井大悟, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 安定維持 HD 患者における透析前後の各種カルニチン濃度と心機能の関連性の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 木全直樹, 村上淳, 石森勇, 海老沢秀夫, 鈴木雄太, 加藤紀子, 石和希伊子, 小池美菜子, 畔越篤, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 土谷健, 秋葉隆: クエン酸熱水消毒対応の日機装社製個人用多用途透析装置 (DBG-03) で複式ポンプ部品劣化について. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 田中陽一郎, 岡野一祥, 日比朝子, 井上朋子, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 鈴木阿里, 板橋美津世, 川嶋朗, 土谷健, 秋葉隆, 山本雅一, 新田孝作: 敗血症に対するエンドトキシン吸着療法の治療効果. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 中野寿洋, 岡野一祥, 日比朝子, 井上朋子, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 心拍出量モニターを用いて測定した心拍出量と除水量・血圧の関係. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 児玉美緒, 岡野一祥, 土谷健, 秋葉隆, 秋元典子, 新田孝作: 転移性腎細胞癌に対するソラフェニブ内服後に iPTH 上昇を示した透析患者の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 澤田杏理, 亀井大悟, 内田啓子, 土谷健, 新田孝作, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 難治性の皮膚そう痒症に対してナルフラフィン塩酸塩が効果を示した透析患者の1例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 山谷琴子, 岡野一祥, 井上朋子, 片岡浩史, 浅宮有香理, 森山能仁, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: ブラッドアクセスの違いによる心拍出量への影響を心拍出量モニターを使用し検討した. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 佐々木裕子, 新田孝作, 鶴田悠木, 濱野慶朋, 岡野一祥, 秋葉隆, 鶴田幸男: 維持透析症例30例での BMI と死亡率の相関に対する検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 鈴木太, 高木厚, 小鹿亜彩子, 植松庄子, 星敬美, 新井光太郎, 芦原京美, 萩原誠久, 三和奈穂子, 新田孝作, 秋葉隆, 鈴木敦, 鈴木利昭: 透析低血圧の診断における2次元心エコー図の有用性. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 山本健一郎, 崎山亮一, 秋葉隆, 峰島三千男: ワークショップ ナビゲーション透析システムの開発. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 真壁志帆, 岡野一祥, 越智文美, 望月俊雄, 土谷健, 岩本祐介, 出雲真由, 齋藤卓, 秋葉隆, 新田孝作: 炭酸ランタンの腸管内遺残から腸管穿孔を来したと考えられる透析患者の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 三和奈穂子, 木全直樹, 井上朋子, 日比朝子, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 当院における二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療と w-PTH 値の変化. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 中野麻里絵, 亀井大悟, 日比朝子, 潮平俊治, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆, 長谷川大輔, 石郷岡純: 急性リチウム中毒に対し HD, on line HDF にて加療を行った一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 塚田三佐緒, 高野真理, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者の残腎機能の有無・血液透析併用における透析量, 栄養状態の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 菊地勘, 林秀輝, 伊藤恭子, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性透析患者における HCV 感染と生命予後. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 菊地勘, 秋葉隆, 秋澤忠雄: HCV 感染透析患者に対する PEG-IFN  $\alpha$ -2a の有効性の検討~多施設共同研究,

- REACH study ～. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 菊地勘, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性透析患者における HBV サーベイランス. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 田島蓉子, 浅宮有香理, 菊地勘, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 荒井純子, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: Genotype 1b 高ウイルス量の C 型肝炎透析患者に対して3種類の IFN を使用し SVR が得られた一症例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 鶴田悠木, 市川明子, 林俊秀, 越田善久, 大貫隆子, 濱野慶朋, 菊地勘, 岡野一祥, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者における HbA1c, GA と血糖の相関. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 岡野一祥, 日比朝子, 亀井大悟, 井上朋子, 浅宮有香理, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作: 透析患者における白血球および血清酸化ストレスマーカーの相関性. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 藤井照大, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析患者におけるカルニチン欠乏についての検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 大谷祐美, 大坪茂, 木全直樹, 高野真理, 村上淳, 金子岩和, 三和奈穂子, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者の生命予後を予見する ankle-brachial blood pressure index (ABI) 及び Skin perfusion pressure (SPP) のカットオフ値の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 鈴木万恭子, 石森勇, 清水幹夫, 瀧澤亜由美, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析液清浄化管理において最適な生菌数培養日数の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 瀧澤亜由美, 石森勇, 清水幹夫, 鈴木万恭子, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 熱水クエン酸消毒施行中に発生した排液配管内の付着物によるトラブルとその対応についての報告. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 公文佐江子, 井上朋子, 岡野一祥, 日比朝子, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 武井卓, 星野岳郎, 加藤秀高, 水野聡子, 内山真一郎, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 免疫吸着療法が有効であったステロイド治療抵抗性視神経脊髄炎の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 口演.
- 片岡浩史, 森山能仁, 板橋美津世, 武井卓, 内田啓子, 望月俊雄, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腎生検後8年の経過中に透析導入となった IgA 腎症患者の特徴について. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 星野慈恵, 長谷川純平, 井上宙哉, 亀井唯子, 中山一誠, 山田慶, 加賀俊江, 阿部恭知, 遠藤真理子, 若井幸子, 木全直樹, 秋葉隆: 急性血液浄化療法を適応とした急性腎不全 (AKI) 症例の検討. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 鈴木雄太, 加藤紀子, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 透析装置定期交換部品以外の箇所からの液漏れ. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 2013年6月20-23日, 示説.
- 大谷祐美, 大坪茂, 木全直樹, 石森勇, 高野真理, 安部貴之, 岡島友樹, 村上淳, 金子岩一, 峰島三千男, 三和奈穂子, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 血液透析患者における ABI 及び SPP による生命予後評価. 第8回クリアランスギャップ研究会学術集会, 2013年8月24日, 口演.
- 岡島友樹, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 血液側入口圧モニタリングの有用性. 第8回クリアランスギャップ研究会学術集会, 2013年8月24日, 口演.
- 岡澤圭祐, 若山功治, 石井貴文, 安部貴之, 阿部千尋, 嶋口理愛, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 荒川純子, 峰島三千男, 秋葉隆: 健常人を対象とした InBody s10 (BIA 法) による体水分量測定の基礎的研究. 第8回クリアランスギャップ研究会学術集会, 2013年8月24日, 口演.
- 崎山亮一, 山本健一郎, 石森勇, 秋葉隆, 峰島三千男: ワークショップ 前希釈 HDF と希釈後 HDF における流量条件によるヘモダイアフィルタの溶質除去特性. 第51回日本人工臓器学会大会, 2013年9月27日.
- 三井理華, 木村和生, 望月敏雄, 土谷健, 新田孝作, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 木全直樹, 秋葉隆: 多発嚢胞感染および胆道感染に対して内視鏡的加療が奏功した一例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 2013年10月4日, 示説.

- 内田啓子, 新田孝作, 徳井良恵, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ ループス腎炎に対するアフェレシス療法. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 2013年11月1日.
- 山本健一郎, 江口圭, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: シンポジウム 選択的血漿分離器エバキュア4Aを用いた新しい血漿交換法の基礎的分離特性. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 2013年11月2日.
- 江口圭, 峰松祐輔, 山本健一郎, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: シンポジウム 技術的革新を目指した基礎的検討 新しいCART (Washed-CART) の考案. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 2013年11月2日.
- 若山功治, 鈴木雄太, 阿部千尋, 菅原智子, 石井貴文, 平川晋也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 革新を アフェレシス治療におけるVA再循環率測定の有用性. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 2013年11月2日, 口演.
- 内田啓子, 新田孝作, 徳井好恵, 峰島三千男, 秋葉隆: マニュアルレクチャー 全身エリテマトーデスに対するアフェレシス. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 2013年11月2日.
- 平川晋也, 山本健一郎, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 紫外光を利用した透析液排液モニタリングに及ぼすアルブミン漏出の影響. 第29回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2014年3月8日, 口演.
- 山本健一郎, 江口圭, 平川晋也, 村上淳, 秋葉隆, 峰島三千男: 透析液排液モニタリングによる漏出アルブミン定量化に関する基礎検討. 第29回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2014年3月8日, 口演.
- 安部貴之, 山本健一郎, 岡友友樹, 阿部千尋, 石森勇, 江口圭, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 廃棄ヒト血漿を用いた逆濾過時のクリアランス評価. 第29回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 2014年3月8日, 口演.
- 日ノ下文彦, 勝木俊, 今井理恵, 勝馬愛, 柴田真希, 多田真奈美, 秋葉隆, 戸村成男: 高齢/障害透析患者の透析実態に関する研究. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 鶴田悠木, 鶴田幸男, 佐野真帆, 菊地勘, 濱野慶朋, 秋葉隆, 新田孝作: 血液透析患者に対するフェブキソスタットの血液内皮機能への効果. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 安部貴之, 木全直樹, 阿部千尋, 木村翼, 清水幹夫, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 秋葉隆: 抗凝固薬としてメシル酸ナファモスタット (NM) 適正使用に向けた基礎検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 村上淳, 若山功治, 鈴木雄太, 清水幹夫, 石森勇, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: スクリーニング目的でバスキュラーアクセス再循環を測定する事の有用性. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 三上勇人, 塚田三佐緒, 三和奈穂子, 木全直樹, 新井純子, 土谷健, 秋葉隆, 新田孝作: 腹膜透析 (PD) における導入時Kt/Vと残腎機能についての検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 斎藤彩香, 亀井大悟, 三井理華, 土谷健, 新田孝作, 木全直樹, 秋葉隆: 安定維持透析患者におけるイオン化Ca値と補正Ca値の関連性とCKD-MBDガイドラインについて. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 菊地勘, 林秀輝, 下田富美子, 伊藤恭子, 安藤義孝, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 慢性透析患者におけるHBVサーベイランス. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 菊地勘, 田中好子, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: HCV感染透析患者に対するPEG-INF $\alpha$ -2a単独療法およびRibavirin併用療法. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 若山功治, 木全直樹, 鈴木雄太, 村上淳, 金子岩和, 廣谷紗千子, 峰島三千男: 血流量 (QB) 変更に伴う心負荷への影響の検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 上田政美, 木全直樹, 兼村俊範, 日比朝子, 塚田三佐緒, 岡野一祥, 三和奈穂子, 荒井淳子, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: 肺癌透析患者に対する高用量カルボプラチン投与後同日透析の有効性. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.
- 平川晋也, 石森勇, 安部貴之, 若山功治, 菅原智子, 岡澤圭祐, 村上淳, 金子岩和, 三和奈穂子, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: 日機装社製透析液廃液モニタにおけるKt/V値の検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 口演.

- 木全直樹, 鈴木雄太, 菅原智子, 村上淳, 三和奈穂子, 金子岩和, 進藤廣成, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 反復接続可能な多数回止血弁式透析用留置針ハッピーキャス Z1RP (Z1RP) の臨床評価. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 阿部千尋, 若山功治, 鈴木雄太, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 秋葉隆: HD02の校正の必要性. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 亀井大悟, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 安定維持患者における透析前後のカルニチンプロファイルと ESA 抵抗性の関連性の検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 亀井大悟, 土谷健, 新田孝作, 木全直樹, 秋葉隆, 峰島三千男: 前希釈 on-line と内部濾過促進型 HD 使用後ダイアライザのタンパク質付着の違い. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 神山貴弘, 岡野一祥, 平川晋也, 内田啓子, 望月俊雄, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 峰島三千男, 秋葉隆, 新田孝作: 2種類の低アルブミン漏出性透析膜の比較検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 塚田三佐緒, 菊地勘, 三和奈穂子, 木全直樹, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 腹膜透析導入期の腎性貧血治療 ESA 製剤の違いによる比較検討. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 清水阿里, 越智文美, 板橋美津世, 秋葉隆, 新田孝作: 膜性腎症経過中, 抗基底膜抗体症候群を合併し, 血漿交換透析療法施行にて, ステロイドの早期減量および腎生存を得た一例. 第59回日本透析医学会学術集会・総会, 2014年6月12-15日, 示説.
- 山本健一郎, 江口圭, 金子岩和, 秋葉隆, 峰島三千男: シンポジウム 選択的血漿分離機を用いた血漿交換法の分離特性. 第35回日本アフェレシス学会学術大会, 2014年9月26-28日.
- 江口圭, 山本健一郎, 峰松佑輔, 金子岩和, 秋葉隆, 菅野仁, 峰島三千男: ワークショップ 新しい CART (Washed-CART) の臨床応用へ向けた取り組み. 第35回日本アフェレシス学会学術大会, 2014年9月26-28日.
- 徳井好恵, 村上淳, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆, 新田孝作: e-ラーニング形式の教育ツールをアフェレシス教育に用いることの有用性. 第35回日本アフェレシス学会学術大会, 2014年11月26-28日, 口演.
- 崎山亮一, 岡島友樹, 石森勇, 菊地勘, 秋葉隆, 峰島三千男: PMMA 膜血液浄化器の CHDF in viro 溶質除去特性. 第35回日本アフェレシス学会学術大会, 2014年11月26-28日, 口演.
- 塚田三佐緒, 秋葉隆, 土谷健, 新田孝作: ワークショップ 腹膜透析 (PD) 患者を中心とした病診連携～医師の立場から～. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 山本健一郎, 江口圭, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 透析液排液中溶質濃度モニタリング. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 塚田三佐緒, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: ワークショップ 腹膜透析 (PD) 患者を中心とした病診連携～医師の立場から～. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 山本健一郎, 江口圭, 峰島三千男, 秋葉隆: ワークショップ 透析液排液中溶質濃度モニタリング. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 村上淳, 峰島三千男, 秋葉隆, 細井信幸: 学会・委員会企画 透析膜からの PVP の溶出と生体適合性. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 長谷川純平, 若井幸子, Maria Larkina, Bruce M. Robinson, 秋葉隆: 企業共催シンポジウム 血液透析患者における心房細動は死亡リスクを増大させるが脳血管障害リスクは上昇しない: JDOPPS データを用いた解析. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 秋澤忠男, 福原俊一, 秋葉隆, 斎藤明: 企業共催シンポジウム DOPPS: 日本の透析医療への貢献と今後の期待. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.
- 清水幹夫, 鈴木万恭子, 瀧澤亜由美, 伊藤憲, 菅原智子, 嶋口理愛, 菅原千尋, 石森勇, 村上淳, 金子岩和, 峰島三千男, 木全直樹, 秋葉隆: 透析液作製環境の空気清浄度向上への検討. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日, 口演.
- 日吉麻由美, 鈴木万恭子, 徳井好恵, 入江健一, 村上淳, 金子岩和, 木全直樹, 峰島三千男, 土谷健, 新田孝作, 秋葉隆: 当院におけるローテータへのアフェレシス教育. 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 2015年6月26-28日.



日、口演。

- 安部貴之、瀧澤亜由美、木村絵美、阿部奈津美、小島萌、小林こず恵、植村友隆、小久保謙一、若井陽希、柴原伸久、兵藤透、川西秀樹、川村明夫、村上淳、金子岩和、峰島三千男、土谷健、新田孝作、秋葉隆：ベトナムにおける透析医療の現状と課題。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 安部貴之、大坪茂、木全直樹、大谷祐美、岡島友樹、石森勇、村上淳、金子岩和、峰島三千男、三和奈穂子、土谷健、新田孝作、秋葉隆：血液透析患者における ankle-brachial blood pressure index (ABI) 変化と生命予後の関連および ABI の変化を予見する因子。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 鶴田悠木、鶴田幸男、谷口淳、佐々木裕子、菊地勘、樋口輝美、濱野慶朋、秋葉隆、土谷健、新田孝作：フェブキソスタットは血液透析症例の血管内皮機能を改善する。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 川口慧子、岡野一祥、森山能仁、若山慈恵、曾我明日華、土谷健、秋葉隆、新田孝作：透析患者における栄養評価パラメータの比較検討。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 井上暖、木全直樹、清水幹夫、塚田三佐緒、小倉彰太、浅宮有香理、肥田実里、三和奈穂子、土谷健、秋葉隆、新田孝作：蛋白アルブミン乖離症例に対する二重膜濾過血漿交換法 (DFPP) 置換液の工夫。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 杉浦尚子、亀井大悟、宮岡統紀子、清水阿里、土谷健、新田孝作、秋葉隆：安定維持透析患者におけるイオン化 Ca と補正 Ca の関連性と CKD-MBD ガイドライン～投薬の差異の検討～。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 菊地勘、土谷健、新田孝作、秋葉隆：HCV 感染透析患者に対する Direct Acting Antivirals (DAAs) 療法の効果。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 小倉彰太、岡野一祥、塚田三佐緒、三和奈穂子、木全直樹、杉浦秀和、桃木久美子、土谷健、秋葉隆、新田孝作：出産後の血栓性微小血管障害症 (TMA) に単純血漿交換 (PE) が著効した一例。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，口演。
- 若山功治、廣川牧子、塚田三佐緒、村上淳、金子岩和、木全直樹、大橋信子、峰島三千男、土谷健、新田孝作、秋葉隆：腹膜透析業務への臨床工学技士の介入。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，示説。
- 塚田三佐緒、三和奈穂子、木全直樹、廣川牧子、若山功治、大橋信子、峰島三千男、土谷健、新田孝作、秋葉隆：腹膜透析外来における他業種連携。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，示説。
- 三和奈穂子、菊地勘、塚田三佐緒、岡野一祥、木全直樹、土谷健、新田孝作、秋葉隆：シメプレビル併用療法により SVR が得られた HCV 感染透析患者の 1 例。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，示説。
- 三浦朗子、肥田実里、西田美貴、佐藤尚代、土谷健、新田孝作、三和奈穂子、木全直樹、秋葉隆：原疾患不明で透析導入後、末梢神経障害出現にて POEMS 症候群の診断に至った一症例。第60回日本透析医学会学術集会・総会，2015年6月26-28日，示説。

## 講 演

- 特別講演「透析と院内感染」. 徳島透析療法研究会学術講演会, 共催: 徳島透析療法研究会/キリンビール/三共, 後援: 徳島県医師会, ホテルグランドパレス (徳島), 2001年2月3日.
- 特別講演「透析患者の感染症対策」. 第17回八事腎カンファレンス, 共催: 八事腎カンファレンス/バクスター/扶桑薬品/旭メディカル/中外製薬, 名古屋第二赤十字病院内桑山記念研修所, 2001年2月6日.
- 特別講演「C型肝炎, 院内感染の状況と対策」. 第4回県南血液浄化セミナー, 主催: 鳥居薬品, 筑波第一ホテル, 2001年2月15日.
- 「Erythropoetin 療法の10年間」. 社団法人日本透析医会研修セミナー“透析医療におけるCurrent Topics 2001”, 主催: 社団法人日本透析医会, 津田ホール (千駄ヶ谷), 2001年3月4日.
- 特別講演「透析医療と院内感染」. 第21回西播透析医会, 共催: 西播透析医会, 中外製薬, 姫路商工会議所, 2001年4月21日.
- 記念講演「21世紀腎不全治療の展望—合併症とその予防—」. 東腎協第29回総会, 主催: 東京都腎臓病患者連絡協議会, 総評会館 (お茶ノ水), 2001年4月22日.
- やさしい骨のはなし. 第2回血液浄化基礎セミナー, 2001年4月23日.
- 透析療法における感染防止と安全性. 主催: JMS, JMS東京本社, 2001年5月15日.
- 第6回学術集会「透析患者のウイルス感染症」. 血液浄化医療研究会, 主催: 血液浄化医療研究会, 共催: 鳥居薬品, 板橋中央総合病院, 2001年5月17日.
- 「慢性腎不全におけるカルシウム・リン代謝」. 平成13年度第二内科同窓会学術講演会, 主催: 東京医科歯科大学第二内科同窓会, 東京會館, 2001年5月26日.
- 特別講演「CAPDの基礎と臨床」. 第1回クリニカルカンファレンス, 東大病院, 東京大学腎臓内分内分泌内科, 2001年6月26日.
- 「腎性骨症 新しい展開」. ロカルトロール発売記念講演会, 主催: キリンビール, 仙台勝山館, 2001年7月7日.
- 「透析治療の明日 (あした)」. 学術講演会, 共催: 医療法人社団清湘会・清湘会腎友会, ティアラこうとう (江東区), 2001年8月26日.
- 記念講演「21世紀の血液浄化と臨床工学技士」. 埼玉県臨床工学技士会10周年記念講演会, 主催: 埼玉県臨床工学技士会, ラフレさいたま, 2001年9月16日.
- 特別講演「腎性骨症—最近の話題と治療の展開」. 第13回兵庫県透析合同研究会, 主催: 兵庫県透析研究会, 兵庫県透析従事者研究会, 神戸国際会議場, 2001年11月18日.
- 「腎性骨症—病態の理解と新しい治療戦略—」. 第14回長崎腎不全研究会, 主催: 長崎腎不全研究会, 中外製薬, 長崎プリンスホテル, 2001年11月20日.
- 教育講演「腎性骨症の最近の進歩」. 第23回善仁会研究報告会, 神奈川県総合医療会館, 2001年11月25日.
- 「新しい腎性骨症の治療は透析治療をどうかえるか?」. 旭メディカル講演会, 2002年1月10日.
- 特別講演「二次性副甲状腺機能亢進症—治療の展開—」. 第1回新潟腎不全と透析セミナー, 共催: キリンビール, 壬生記念館 (新潟), 2002年1月12日.
- 特別講演「透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症と最新の治療」. 透析骨症セミナー, 共催: 透析骨症セミナー, 中外製薬, ザ・リッツ・カールトン大阪, 2002年1月31日.
- 特別講演「望ましい血液浄化—国際比較研究の成果より—」. 第11回お茶の水透析療法懇話会, 共催: お茶の水透析懇話会事務局, テルモ, お茶の水スクエア, 2002年4月11日.
- 特別講演「本邦の透析医療の得失—どこを良くできるのか」. 第4回道北透析談話会, 共催: 道北透析談話会, 旭川医師会, 旭川医科大学医師会, 中外製薬, 旭川グランドホテル, 2002年7月28日.
- 講演「統計調査から見た望ましい透析治療」. 県南透析懇話会, 共催: 県南透析懇話会, 持田製薬, アクアディア川口, 2002年9月17日.
- 特別講演「二次性副甲状腺機能亢進症の病態から見た治療」. 第5回茨城県南透析研究会, 共催: 茨城県南透析研究

- 会, 中外製薬. ホテルマロウド筑波 (土浦市), 2002年9月24日.
- 特別講演「新しい時代の腎性骨症治療」. 第25回栃木県透析医学会, 後援: (財)栃木県臓器移植推進協会. 宇都宮市文化会館, 2002年9月28日.
  - SESSION II ダイバート+ディスカッション テーマ:「保存期腎不全にビタミンDを使用するか否か!」. 第5回保存期腎不全研究会, 共催: 保存期腎不全研究会, バイエル薬品, 京王プラザホテル, 2002年11月18日.
  - 特別講演「透析室の感染症対策」. 福岡県透析医会学術講演会, 共催: 福岡透析医会, 中外製薬, ホテル日航福岡, 2002年12月5日.
  - ロカルトロール注学術講演会, キリンビール, グランドパレス九段下, 2002年12月14日.
  - 「透析は動脈硬化を促進するか?」. 旭メディカル講演会, 2003年1月10日.
  - 講演「理想的な透析とは?—各国の大規模統計調査の結果から」. 第7回(平成14年度)神奈川県腎疾患総合医療センター・北里大学病院腎センター合同研究会, 北里大学, 2003年3月9日.
  - 特別講演「腎不全医療の現状と未来」. 第60回大阪透析研究会(第17回透析骨関節症研究会), 共催: (財)大阪腎臓バンク, 千里ライフサイエンスセンター(大阪), 2003年3月16日.
  - 「Importance of Management in PD」. 東京 Closed Session プログラム, バクスター(株), キャピトル東急ホテル, 2003年3月25日.
  - 特別講演「透析施設におけるリスクマネジメント」. 腎不全フォーラム2003, 主催: キリンビール, 三共, ホテル日航金沢, 2003年4月12日.
  - 講演「透析における医療事故・感染症対策」. (医)豊済会平成15年度第13回職員研修会, 主催: (医)豊済会, ホテルメトロポリタン, 2003年6月29日.
  - 特別講演「血液浄化療法の評価—観察研究と介入研究透析」. 第9回日本アフェレシス学会九州地方会, 主催: 熊本大学, 熊本地域医療センター, 2003年9月20日.
  - ランチョンセミナー「リンコントロールから期待されること」. 四国透析療法研究会, 主催: 四国透析療法研究会, 中外製薬, 徳島大学, 2003年9月28日.
  - 「高リン血症にならないために」. 第7回血液浄化基礎セミナー, 主催: 血液浄化基礎セミナー運営委員会, 東京医科歯科大学, 2003年10月1日.
  - イブニングフォーラム「統計調査の示す透析療法の現状と, 今後の発展の方向」. 第62回北海道透析療法学会, 共催: 北海道透析療法学会, 中外製薬, ロイトン札幌, 2003年10月18日.
  - 特別講演「腎性骨症最近の展開」. 中・四国透析研究懇話会, リーガロイヤルホテル広島, 2003年10月25日.
  - 「透析医療事故対策 リスクマネジメント」. 第32回埼玉透析医学会, 共催: 第32回埼玉透析医学会, キリンビール, 大宮ソニックシティ, 2003年11月2日.
  - 「糖尿病性腎症: 患者さんを腎不全にしないために」. 第10回武蔵野糖尿病研究会, 共催: 武蔵野糖尿病研究会, 大塚製薬, バイエル薬品, 武蔵野赤十字病院, 2003年11月29日.
  - 特別公演「KDOQIガイドラインは, どこまで本邦の透析患者に適応か?」. RODカンファレンス, 主催: キリンビール株式会社, ホテルメトロポリタン池袋, 2004年2月12日.
  - 透析患者の予後改善方策—カルシウム代謝との関連, 中外製薬株式会社, 2004年4月28日.
  - 「EBPG (European Best Practice Guidelines) 改定に至るエビデンスと未来」. 第7回高砂・加古川地区透析懇話会, 中外製薬株式会社, 姫路キャッスルホテル, 2004年7月17日.
  - 「透析患者の貧血管理: DOPPSから」. DOPPS学術講演会, キリンビール株式会社, ホテルグランヴィア岡山, 2004年7月24日.
  - 特別講演「血液浄化領域での感染対策」. 第20回徳島急性血液浄化研究会, 主催: 鳥居薬品株式会社, 後援: 徳島急性血液浄化研究会, 徳島県医師会, ホテルクレメント徳島, 2004年7月29日.
  - 特別講演「日本透析療法医学会腎性貧血ガイドライン2004の特徴と残された課題」. 第7回多摩腎不全フォーラム, 主催: 中外製薬株式会社, パレスホテル立川, 2004年9月18日.
  - 講演「透析と感染」. 第18回城東腎不全研究会, 主催: 城東腎不全研究会, 中外製薬株式会社, 山の上ホテル, 2004年10月14日.

- 講演「腎障害の発展をどう阻止するか」. 内科懇話会10月例会, 主催: 日本医事新報社. 日本医事新報社ビル, 2004年10月18日.
- 講義「ヒトはどうして内部環境の恒常性を保つのか—腎臓の構造と機能」. 早稲田大学医学入門講義, 早稲田大学, 2004年10月23日.
- 特別講演「透析患者を長生きさせるために ~統計調査からみた将来の透析医療~. 大分人工透析研究会特別講演会 (日本医師会生涯教育適合集会), 主催: 大分人工透析研究会, キリンビール株式会社, 大分東洋ホテル, 2004年11月6日.
- 特別講演「透析医療と院内感染予防」. 第37回九州人工透析研究会総会, ワールドコンベンションセンターサミット (宮崎市), 2004年11月28日.
- 特別講演「慢性維持透析患者における腎性貧血治療のガイドライン」. 第10回備後透析懇話会, 共催: 備後透析懇話会, 中外製薬株式会社, 扶桑薬品工業株式会社, 味の素ファルマ株式会社, テルモ株式会社, 後援: 福山市医師会, 福山ニューキャッスルホテル, 2004年12月12日.
- 特別講演「透析医療と院内感染対策」. 日両医学会, 2004年12月19日.
- 透析の質と量の決定因子と予後とその関連. 社団法人日本透析医会研修セミナー 透析医療における Current Topics 2005, コクヨホール, 2005年3月6日.
- 特別講演Ⅱ なぜ Ca×Pは下げなければならないのか. 第7回湘南地区血液浄化勉強会, 主催: 中外製薬株式会社, 2005年3月27日.
- 7. 医療費と社会資源の活用. 第一回CAPDセミナー「PDファーストを実践するために」, 主催: 日本腹膜透析研究会仙台, 2005年5月29日.
- 「長生きしよう, 正しい透析で」~透析生活をより楽しく, より長くすごしていくために~. 代々木山下医院平成17年合同勉強会, 東京, 2005年5月29日.
- 特別講演「腎性貧血治療は透析医療をどう変えたか?」. 第5回富山県透析合併症研究会, 共催: 富山県透析合併症研究会, 中外製薬株式会社, 富山, 2005年7月7日.
- 特別講演1「わが国の透析患者に対する腎性貧血治療戦略」. 国際腎性貧血セミナー エスポー注射液15周年 エスポー皮下用10周年記念講演会, キリンビール株式会社, パレスホテル, 東京, 2005年7月12日.
- 特別講演「貧血と硬質代謝は相互に関連して透析患者予後に影響する」. DOPPS 学術講演会, キリンビール株式会社, マーキュリーホテル, 群馬, 2005年7月16日.
- 「DOPPSデータからみた透析室のウイルス感染予防」. DOPPS 学術講演会, キリンビール株式会社, ホテル日航福岡, 2005年7月28日.
- 「血液透析の治療方法と患者の予後についての調査」 「DOPPS からみた透析処方と患者予後」. DOPPS学術講演会 ~ Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study ~, キリンビール株式会社, 名古屋マリオットアソシアホテル, 2005年8月6日.
- 記念講演 「腎性貧血治療は透析医療をどう変えたか?」. エボジン15周年記念講演会, 中外製薬株式会社, 江陽グランドホテル (仙台), 2005年8月20日.
- 特別講演「腎性貧血治療は透析医療をどう変えたか?」. 学術講演会, 共催: 熊本エリスロポエチン研究会, 熊本人工透析研究会, 中外製薬株式会社, 後援: 熊本県透析施設協議会, ホテルニューオータニ熊本 (熊本), 2005年9月8日.
- 特別講演1 腎性骨症の治療とそのアウトカム. 第6回新潟透析合併症研究会学術講演会のご案内 (エボジン注発売15周年記念講演会), 共催: 新潟透析合併症研究会, 中外製薬株式会社, ホテル新潟, 2005年10月15日.
- 特別講演 腎性貧血治療—ガイドラインの今後. 第7回藤沢腎・高血圧研究会, 共催: 藤沢腎高血圧研究会, ノバルティスファーマ, 湘南, 2005年11月3日.
- 透析の質と量の決定因子と予後との関係. 日透析医会誌 20(3): 411-416, 2005.
- 腹膜透析のシンポジウムコデキストリン. Prof. Raymond Vanholderを囲んでの懇親会, フレゼニウス メディカル ケア ジャパン, 日本都市センター会館, 2005年12月3日.
- 講演1 わが国の腎性貧血管理の現状について. 国際腎性貧血セミナー, 主催: キリンビール株式会社, 東京, 2006

年1月22日.

- 報告1「東京都の透析施設における災害への取り組み」東京都23区における取り組み, 日本財団助成事業 災害時医療支援船構想報告講演会 First Announce 首都直下型地震と医療, 主催: 日本透析医会, 共催: 日本透析医学会, 神戸大学海事科学部, 災害医療連絡協議会, 協力: 中外製薬株式会社, 他. お台場, 2006年2月12日.
- 「透析医療における院内感染—特にウイルス肝炎について」, 第4回岐阜透析医療研究会, 岐阜市, 2006年2月23日.
- 東京都区部災害時透析医療ネットワーク, 第34回東京透析懇談会, 東京, 2006年2月26日.
- 災害時における透析医療活動について～「災害時における透析医療活動マニュアル」～, 2. 日本透析医会医療ネットワーク, 平成18年度難病セミナー, 都庁, 2006年7月20日.
- Original Session「二次性副甲状腺機能亢進症治療のガイドラインを考える」, Interactive TV Forum 新宿サイト, 主催: 中外製薬株式会社, 2006年12月1日.
- 特別講演Ⅱ CKD-MBD(慢性腎臓病に伴うミネラル骨代謝異常)の概念と変遷, 第10回多摩骨代謝研究会, 主催: 多摩骨代謝研究会, 旭化成株式会社, エーザイ株式会社, 大日本住友製薬株式会社, 2007年1月13日.
- 特別講演 腎性貧血最近の進歩, 第24回 明石・西神戸透析懇話会, 共催: 明石・西神戸透析懇話会, 中外製薬株式会社, 2007年1月27日.
- 特別講演2 二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドラインを巡って, 第5回お茶の水腎不全談話会, 共催: お茶の水腎不全談話会, 旭化成メディカル株式会社, 中外製薬株式会社, ノバルティスファーマ株式会社, バクスター株式会社, 2007年4月19日.
- 特別講演 透析患者さんのQOLと貧血治療～DOPPS研究から～, DOPPS Special lecture in Nagoya, 主催: キリンビール株式会社, 2007年4月21日.
- 特別講演 貧血管理の今後の展望, ネスプ®静注用 学術講演会, 主催: キリンファーマ株式会社, 広島全日空ホテル, 2007年8月23日.
- 特別講演「透析施設における感染症対策～C型肝炎を中心に」, 第1回慢性腎疾患治療セミナー, 主催: キリンファーマ株式会社, 金沢エクセルホテル東急, 2007年9月25日.
- 基調講演 これでもいいのか透析医療 老人至適透析と高効率透析, 大江戸とうせき勉強会—透析医療に忍び寄る高齢化問題へ真っ向から立ち向かうには—, 共催: 大江戸とうせき勉強会, キリンファーマ株式会社, 東京ガーデンパレス, 2007年10月19日.
- 特別講演 透析患者の腎性貧血ガイドラインを再考する, Kidney Forum In 金沢 2007, 主催: 中外製薬株式会社, 金沢ニューグランドホテル, 2007年12月13日.
- 透析医療の現状と今後の課題, 東レ社内講演会, 東レ本社, 東京, 2007年12月18日.
- 特別講演 透析患者のC型肝炎は撲滅できるのか, 第9回宮城肝・腎研究会, 共催: 宮城肝・腎研究会, 大日本住友製薬(株), 宮城, 2008年2月12日.
- 特別講演「二次性副甲状腺機能亢進症治療におけるカルシウム受容体作動薬の役割」, 県西透析合併症対策講演会～レグパラ® 新発売・ネスプ®発売1周年記念～, 主催: キリンファーマ株式会社, 古河, 2008年5月8日.
- CKD患者の血圧管理と予後の改善, 学術講演会～エルバタン発売記念～, 主催: 塩野義製薬, 秋田, 2008年6月4日.
- CKD対策と透析医—CKD対策により透析患者の病態はどう変わるか?—, 第5回横須賀腎臓病カンファレンス, 主催: ノバルティスファーマ(株), 横須賀, 2008年7月17日.
- 透析療法の今後の展開と合併症の克服, 2008年度福島県腎協学習講演会, 主催: 福島県腎臓病患者連絡協議会, 郡山, 2008年8月3日.
- 透析患者における院内感染予防～C型肝炎を中心に～, 透析患者と感染症に関するセミナー, 主催: 万有製薬(株), 犀北館ホテル(長野), 2008年10月18日.
- 透析医療における院内感染マニュアル(三訂版)—透析技士にとって何が変わったのか, 何が変わらないのか?, 第17回血液浄化基礎セミナー, 東京医科歯科大学五号館講堂, 2008年11月18日.
- 特別講演 血液浄化における感染対策, 第17回長崎急性血液浄化研究会, 共催: 鳥居薬品株式会社, 長崎, 2009年1月22日.
- 透析療法の今昔, 旭化成クラレメディカル教育講演, 主催: 旭化成クラレメディカル株式会社, 東京, 2009年1月23

日.

- 透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドラインに関して. 第3回沖縄県透析医会学術講演会, 共催: 中外製薬株式会社. 沖縄, 2009年1月24日.
- 透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドライン. 福岡県透析医会第7回感染症対策学術講演会, 共催: 福岡県透析医会, 中外製薬株式会社, 2009年4月9日.
- 透析患者のウイルス肝炎. 鹿児島県透析医会学術講演会, 共催: 鹿児島県透析医会, 協和発酵キリン株式会社. 鹿児島市, 2009年5月16日.
- 心血管系合併症評価と治療ガイドラインに望まれるもの. 第7回CKD合併症研究会, 共催: CKD合併症研究会, 協和発酵キリン株式会社. 大阪, 2009年6月30日.
- KDIGOガイドラインにみる最新のCKD-MBD治療. 釧根地区透析合併症対策講演会, 主催: 協和発酵キリン株式会社. 釧路, 2009年8月22日.
- 新型インフルエンザ～第二波に備えて～. 第35回長崎県北腎懇話会, 主催: 中外製薬株式会社, 後援: 佐世保市医師会. 佐世保, 2009年9月3日.
- 特別講演 安全な透析, 透析室の感染対策. 第73回大阪透析研究会, 共催: (財)大阪腎臓バンク. 大阪, 2009年9月13日.
- 特別講演 透析患者とC型肝炎～その予防と治療～. 福島学術講演会 (透析患者とC型肝炎), 共催: 中外製薬株式会社. 福島, 2009年9月24日.
- 特別講演 (透析患者の感染症に関して). 第17回山梨血液浄化看護勉強会, 共催: 中外製薬株式会社. 甲府, 2009年9月27日.
- 特別講演 透析患者のC型肝炎—その意義と予防と治療—. 第16回西東京御茶ノ水腎談話会, 共催: 西東京御茶ノ水腎談話会, 興和創薬株式会社. 吉祥寺, 2009年10月22日.
- 特別講演Ⅱ 新型インフルエンザ—どうのりきるか—. 富山県透析リスクマネジメントフォーラム, 共催: 富山県透析医会, 協和発酵キリン株式会社. 富山, 2009年11月5日.
- 慢性腎臓病 (CKD) の治療の重要性とその推進. 東京都医療講演会, 主催: 東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課. 都庁都議会議事堂, 2009年11月17日.
- 特別講演 透析医療と新型インフルエンザ. 第28回新宿副都心透析医会総会, 共催: 新宿副都心透析医会, 中外製薬株式会社. 新宿, 2009年11月26日.
- 特別講演 新型インフルエンザと透析医療. 第9回病診透析セミナー, 主催: 協和発酵キリン株式会社. 京都, 2009年11月29日.
- C型肝炎治療の進歩. 社団法人 日本透析医会研修セミナー 透析医療におけるCurrent Topics 2010, コクヨホール, 2010年3月7日.
- 特別講演 新型インフルエンザ対策～我々はH1N1新型インフルエンザ・パンデミックから何を学んだか～. 第四回J-SHIP講演会, ロイヤルパークホテル, 2010年3月11日.
- 特別講演 透析患者と感染対策. 第38回西播透析医会, 姫路, 2010年3月13日.
- 特別講演 KDIGO CKD-MBDガイドラインの全容とその日本における適用. 第10回東京腎不全骨代謝研究会, 東京, 2010年7月10日.
- 特別講演 透析医療における感染症予防と最新の透析療法. 第5回沖縄県ICNネットワーク勉強会セミナー ゆとりある感染防止対策をめざす沖縄県ICNネットワーク5周年記念大会, 主催: 沖縄県ICNネットワーク勉強会, 琉球大学医学部付属病院感染対策室, 2010年10月16日.
- 特別講演2 透析患者の感染症対策—インフルエンザを中心に—. 第4回日本腎と薬剤研究会学術大会, 横浜, 2010年10月31日.
- 特別講演2 透析患者のC型肝炎の予防対策, 治療について. 第14回県南血液浄化セミナー, 共催: 県南血液浄化セミナー, 茨城県病院薬剤師会, 鳥居薬品株式会社. つくば, 2011年2月17日.
- ウイルス性肝炎の話題 (GL, 診断・治療, 肝臓). 社団法人日本透析医会研修セミナー, 東京, 2011年3月6日.
- JKW2011緊急企画 東日本大震災と透析医療: 支援地からの報告. 第54回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2011年6

月19日.

- 特別講演 PEG 化 EPOへの期待. ミルセラ注発売講演会, 主催: 中外製薬株式会社. 広島, 2011年9月1日.
- リクセル発売15th記念講演会, 品川, 2011年9月24日.
- 特別講演 慢性腎臓病と感染~透析患者の院内感染に注目して. 第59回長野県透析研究会, 長野, 2011年10月23日.
- 特別講演 CKD 診療と貧血~ミルセラへの期待~. 第3回西胆振透析療法学術講演会. 主催: 中外製薬株式会社. 室蘭, 2011年12月8日.
- 教育講演 慢性腎臓病と無形性骨の診断. 第12回東京骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会, 共催: 帝人ファーマ株式会社, 武田薬品工業株式会社. 東京, 2011年12月10日.
- 特別講演 透析療法について. 第35回群馬県透析懇話会, 医療法人社団三思会東邦病院. 前橋, 2012年2月26日.
- 教育講演 コ・メディカルに必要な感染予防の知識. 日本医工学治療学会第28回学術大会, 札幌, 2012年3月24日.
- Session 2 東京都区部直下型地震の想定の変更と災害時透析医療. 学術講演会~災害時における透析医療活動マニュアル改訂を受けて~, 主催: 大塚製薬. 東京, 2012年9月20日.
- 特別講演 リン代謝からみた透析医療の明日. キックリン新発売記念講演会, 共催: アステラス製薬株式会社, 三和化学株式会社, 愛知県透析医会. 名古屋, 2012年9月29日.
- 透析液の変遷と透析液清浄化. 第22回医療法人社団豊済会 職員研修会, 池袋, 2012年9月30日.
- 特別講演 血液透析患者における感染症の予防・治療. 透析医療における感染対策セミナー, 共催: 湘南鎌倉総合病院, バイエル薬品株式会社. 鎌倉, 2012年10月1日.
- 教育講演18 透析療法の現況. 第110回日本内科学会講演会, 2013年2月20日.
- 医療安全と透析患者C型肝炎ガイドライン. 日本透析医会北海道支部学術講演会, 札幌, 2013年6月29日.
- 東京都における大規模災害対策の現状について. 埼玉県東部地区透析医療災害対策講演会, 主催: 協和発酵キリン, 2013年7月6日.
- 特別講演 透析患者のC型肝炎ウイルス肝炎治療をめぐる一ガイドラインと最近のトピックス. 第20回宮城肝腎研究会, 共催: 宮城肝腎研究会, 大日本住友製薬(株). 2013年9月10日.
- HIV感染症と透析医療~ HIV陽性者の透析医療について考える~. 平成25年医療従事者向け講習会, 公益財団法人東京都結核予防会, 2013年10月17日.
- HIV感染症と透析療法. 第2回透析医療セミナー「感染症」, 共催: 鳥居薬品株式会社. 立川, 2014年1月23日.
- 特別講演 透析医療に関連した感染症と院内感染防止策. 福井学術講演会, 共催: 福井県透析施設ネットワーク, 中外製薬. 福井, 2014年6月21日.
- 特別講演 透析患者におけるC型肝炎対策. 透析患者のC型肝炎治療を考える, 共催: 第一三共(株), 東レ(株), 東レメディカル(株), 2014年9月3日.
- 透析医療に関連した感染症と院内感染防止策. (社)神奈川県臨床工学技士会小勉強会, 共催: (社)神奈川県臨床工学技士会, 中外製薬. 平塚, 2014年10月7日.
- いわき市の透析患者集団避難に学ぶ. 区西部透析医療・防災連携の会, 主催: 日本バーリンガーインゲルハイム(株), 日本イーライリリー(株). 新宿, 2014年11月4日.
- 鉄代謝からみたりオナの上手な使い方. 北部福岡りオナ錠発売記念講演会, 共催: 鳥居薬品株式会社. 福岡, 2014年11月18日.
- リン吸着薬の新たな可能性. 道北りオナ錠発売記念講演会, 共催: 鳥居薬品株式会社. 旭川, 2014年11月18日.
- 高リン血症における今後の展望. 第42回千葉透析研究会, 共催: 鳥居薬品株式会社. 木更津, 2014年12月14日.
- リン吸着薬の新たな可能性. CKD-MBDセミナー, 共催: 鳥居薬品株式会社. 三浦半島, 2015年2月12日.
- 鉄代謝からみたりオナの上手な使い方. 腎不全とリンの講演会, 主催: 鳥居薬品株式会社. 福岡, 2015年2月28日.
- 高リン血症の病態と治療up-to-date. キッセイ薬品工業社内講演会, 主催: キッセイ薬品工業株式会社, 2015年3月4日.

## その他

### 【欧文】

- Akiba T : Editorial Board Member. Clin Nephrol, May 2. 2002.
- Akiba T : Guest editorial Observation survey and invasive trial of chronic dialysis patients. Ther Apher Dial 8(1): 1-2, 2004.
- Letter to the editor Iwasa Y, Otsubo S, Yajima A, Kimata N, Akiba T, Nitta K: Intracranial artery calcification in hemodialysis patients. Int Urol Nephrol 2009.
- Letter to the editor Sato M, Iwasa Y, Otsubo S, Kimata N, Takei T, Miwa N, Akiba T, Nitta K: Psoas abscess in hemodialysis patients. Int Urol Nephrol 2009.
- Akiba T : Preface Therapeutic Apheresis and Dialysis 18 (Suppl 2): June 2014.

### 【和文】

- 秋葉隆：書評 血液浄化療法辞典（飯田喜俊，二瓶宏，秋澤忠男 編集），腎と透析 10月号，p. 493, 1999.
- 秋葉隆：エッセイ：思い出の看護婦さん，チーム医療，透析ケア6(4) メディカ出版，2000.
- 座談会（司会：秋葉隆）椿原美治，佐中孜，福原俊一：EPOとQOL，透析療法ネクスト別冊，2001.
- 秋葉隆：Dialysis Report（東京女子医科大学腎臓病総合医療センター），Dialysis Insight 1: 4-5, ビスコム，2001.
- 秋葉隆：ホスピタルレポート（東京女子医科大学病院），VIVID 9月号: 7-8, JMS, 2001.
- 秋葉隆：第19回国際血液浄化学会（東京開催），B. P. up-to-date（血液浄化に関する最新情報誌）6, 2001.
- 座談会（司会：秋澤忠男）秋葉隆，鈴木正司，衣笠えり子：「腎性骨異常栄養症」，THE BONE 16(1): 69-82, 2002.
- 秋葉隆：News Topics 第23回善仁会研究報告会，ふれあい，132, 2002.
- 座談会（司会：秋葉隆）鈴木洋通，佐中孜，前田益孝：保存期腎不全の治療，Nephrology Frontier 1(4): 12-23, 2002.
- 座談会（司会：北岡建樹）中尾俊之，秋葉隆：透析患者管理のコツー合併症を中心に一，今月の治療 11(3): 3-19, 2003.
- 座談会（司会：秋澤忠男）秋葉隆，栗原玲，衣笠えり子，重松隆：塩酸セベラマーで二次性副甲状腺機能亢進症の治療はどう変わるか？ 医薬ジャーナル 39(5): 150-158, 2003.
- 第48回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー 22(座長：秋葉隆) 岩井武尚，千葉栄一：ASO患者の救肢への取り組み一透析患者のQOL向上のために一，講演記録，2003.
- SRL資料 秋葉隆 透析にもHCV検診フローが示される，2003.
- 座談会（司会：秋葉隆）武本佳昭，川西秀樹，渡邊有三，井関邦敏：透析療法一血液透析の効率化，Nephrology Frontier 2(4): 278-290, 2003.
- 座長：秋葉隆，演者：Raymond Kredit . Importance of Management in PD 東京closed session, プログラム，キャピトル東急ホテル，2003.
- 翻訳 秋葉隆：アセチルシステインは待機的な冠動脈造影およびインターベンション後の腎機能憎悪を予防する，JAMA（日本語版）2: 90-95, 2004.
- 翻訳 秋葉隆：造影剤腎症の予防，JAMA（日本語版）2: 96-98, 2004.
- 監修 秋葉隆：透析 Strategy 8 EPO不応透析患者の病態，2004.
- 研修講師 秋葉隆：透析合併症（Ⅲ）感染症（ウイルス肝炎を含む）・悪性腫瘍，平成16年度透析療法従事職員研修，pp. 69-76, 2004.
- パンフレット 秋葉隆：糖尿病透析患者さんへのアプローチ 予後改善とQOL向上の観点から，キッセイ薬品工業株式会社，2004.



- 座談会 (司会：秋葉隆) 今田聰雄, 斎藤明, 竹澤真吾：在宅血液透析の未来と施設透析装置への技術応用. 透析療法ネクストⅢ, pp.1-15, 医学図書出版, 2004.
- 秋葉隆：パネルディスカッション 透析施設はリスクをどこまでマネージできるのか. 第32回埼玉透析医学会発表記録集, pp.7-14, 2004.
- パンフレット DIGEST 秋葉隆：他領域からのメッセージ 血液透析患者の胃粘膜病変と薬物治療の注意点. 制作：(株)協和企画, 提供：大鵬薬品工業(株), 2004.
- ビデオ 透析医療従事者向けビデオ ハードルをより高く!! 感染経路を断つ!! 推薦：(社)日本透析医会, 監修：秋葉隆, 制作指導：安藤亮一 (武蔵野赤十字病院), キリンビール株式会社医薬カンパニー, 2004.
- ビデオ 透析医療従事者向けビデオ 透析施設の院内感染予防のすすめ. 監修：秋葉隆, 協力：東京医療生活協同組合, 中野クリニック, 武蔵野赤十字病院, キリンビール株式会社医薬カンパニー, 2004.
- 学会リポート：ASN2004 米国腎臓学会ハイライトニュース掲載—DOPPS のセッションに寄せて—. 2004.
- Book Review 富野康日己, 秋葉隆編集：EBM腎臓病の治療 2003-2004. 紹介者：浅野泰.
- 特集にあたって 秋葉隆：特集 世界的統計調査DOPPSから見た我が国の腎不全医療. Nephrology Frontier 3(4)：9, 2004.
- Round Table Discussion 司会：秋葉隆, 出席者：浅野泰, 斎藤明, 山崎親雄：我が国の腎不全医療をさらによくするには—世界的統計調査が物語る, 我が国の利点・欠点—. Nephrology Frontier 3(4)：10-21, 2004.
- 木全直樹, 秋葉隆：世界的統計調査DOPPSから見た我が国の腎性骨症治療. Nephrology Frontier 3(4)：27-30, 2004.
- 徳本忠彦, 清水朋一, 福田敬, 大橋靖雄, 秋葉隆, 田邊一成, 東間紘：末期腎不全医療の費用と患者予後. 透析療法ネクストⅣ, pp.128-139, 2005.
- 大坪茂, 秋葉隆：難治性浮腫疾患の治療法. 日本臨牀 63(1)：140-143, 2005.
- 田中好子, 齋藤まどか, 安田雅子, 朝長修, 木全直樹, 秋葉隆：血糖管理の指標—HbA<sub>1c</sub>, グリコアルブミンのターゲットは?—. 臨牀透析 21(1)：13-18, 2005.
- 研修講師 秋葉隆：透析合併症(Ⅲ)感染症(ウイルス肝炎を含む)・悪性腫瘍. 平成17年度透析療法従事職員研修, pp.71-79, 2005.
- 解説 秋葉隆：結論は小児の場合で一般への適応は診断できず. MMJ August (1)：433, 2005.
- 講義 秋葉隆：診療ガイドライン作成における患者データベースの活用—DOPPSとJSDT. 第2回日本透析アウトカム研究会 臨床デザイン塾, ホテルメゾン軽井沢.
- 座談会 司会：秋葉隆, 出席者：中村藤夫, 佐藤久光, 大石義英. 危機管理と安全対策(感染・天災・医療事故も含めて). 透析VOICE 2号：2-7, 2005. 10.
- トピックス『JAPAN KIDNEY WEEK 2005』から. 秋葉隆 透析VOICE 2号：14-15, 2005. 10.
- パンフレット 秋葉隆 IS-SY-3-6 DOPPSから見た日本の特徴と透析患者の心血管系リスク. JAPAN KIDNEY WEEK 2005 CONGRESS REPORT, 中外製薬株式会社.
- 座談会 秋澤忠男(司会), 秋葉隆, 稲葉雅章, 重松隆, Martin KJ：慢性腎不全管理と腎性骨症治療の現状と将来におけるPTH (1-84)アッセイの意義. CLINICAL CALCIUM 15(11)：136-159, 2005.
- 座談会 秋葉隆(司会), 笠井健司, 濱田千江子, 平松信：腹膜透析の末期腎不全治療における役割. Nephrology Frontier 4(4)：12-19, 2005.
- 座談会 秋葉隆(司会), 榎野博史, 佐中孜, 斎藤明：透析合併症の発症・進行を抑制する透析医療を目指す 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC 38 腎4 透析合併症, 最新医学社, pp.276-282, 2006.
- トピックス『米国腎臓学会(ASN)から』 秋葉隆 透析VOICE 4号：16-17, 2006. 6.
- 紹介 秋葉隆：日本アフレスス学会認定技士 認定制度の紹介. Clinical Engineering 17(7)：699-701, 2006.
- 研修講師 秋葉隆：透析合併症(Ⅲ)感染症(ウイルス肝炎を含む)・悪性腫瘍. 平成18年度透析療法従事職員研修, pp.73-81, 2006.
- REPORT 第49回日本腎臓学会学術総会／第51回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー 腎臓疾患とファブリー病. Therapeutic Research 27(9)：1635-1640, 2006.

- Medical Tribune Topics News Report 第49回日本腎臓学会学術総会ランチョンセミナーより 腎機能障害患者における上部消化管病変とその対策, 座長: 秋葉隆, 演者: 黒澤進, 大平整爾 冊子.
- 51st JSDT CONGRESS REPORT 2006 コンセンサスカンファレンス1 二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン. 秋葉隆 (統計調査), 中外製薬冊子: 2, 2006.
- 51st JSDT CONGRESS REPORT 2006 スペシャルセッション2 腎性貧血治療ガイドライン作成を巡って. 秋葉隆 (2004年度版ガイドラインの影響), 中外製薬冊子: 5, 2006.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 討論者: 森泰清, 平野宏, 岡田洋一. 透析患者と運動療法, 透析療法ネクストV, 医学図書出版, pp. 1-10, 2006.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 塚本雄介, 今井圓裕, 秋澤忠男. 慢性腎臓病—その疾患概念の共有と発展阻止への道程, Nephrology Frontier 5(4): 12-19, 2006.
- 座談会 司会: 秋葉隆, コメンテーター: 横野博史, 坂本長逸. 日本人の腎臓を考えるPart 2 日本における慢性腎臓病のリスク因子と消化器疾患—NSAIDsによる腎障害と上部消化管障害について—, Medical Tribune, p.50-51, 2007年3月22日.
- 取材 —治療最前線— 厚労省 初の週1回製剤・キリン「ネスプ」了承. THE DOCTOR: 14面, 2007.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 中井滋, 秋澤忠男, 川西秀樹. 適正透析を実施するうえでの評価項目. 透析VOICE 7号: 4-9, 2007. 6.
- 要約 評論 秋葉隆: 血液透析患者における瘙痒症—DOPPSから得られた結果—. DOPPS Clinical Evidence 7: 2-8, 2007.
- 翻訳 川口良人, 大平整爾, 加藤明彦, 原田孝司, 山中恵輔, 中山昌明, 秋葉隆, 鈴木正司, 伊丹儀友, 星井桜子 訳: 腎不全時の薬物使用. 臨牀透析特別増刊号 23(14), 2007.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 小松康宏, 片山浩, 今泉均, 今井圓裕: 急性腎不全の治療. Nephrology Frontier 6(4): 12-20, 2007.
- 冊子監修 秋葉隆: 毎日いきいき透析楽習帖⑨. 検査値や目標値が大切なワケ, 企画: キリンファーマ株式会社.
- 報告・講演会 災害時医療支援船事業報告・講演会. 首都圏プロジェクトのまとめ (医療側より). 演者: 秋葉隆, 日透析医学会誌 23(2) 別冊: 161-164.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 討論者: 椿原美治, 塚本雄介, 栗山哲. 腎性貧血を再考する. 透析療法ネクストⅦ, 医学図書出版, pp. 1-16, 2008.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 和田隆志, 安田隆, 河野孝史, 重松隆, 横尾隆, ミニ発表会と座談会の夕べ CHUGAI'S OFF TIME 95: 8-10, 2008.
- 特集にあたって 秋葉隆: 特集 シナカルセト塩酸塩は二次性副甲状腺機能亢進症治療をどう変えたか. Nephrology Frontier 7(3): 11, 2008.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 永野伸郎, 深川雅史, 窪田実, シナカルセト塩酸塩の基礎と臨床応用. Nephrology Frontier 7(3): 12-21, 2008.
- レター回答・訂正 本誌 41(3): 159-167, 2008『透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008』(秋葉隆, 他) について. 発信: 酒井良忠, 回答: 秋葉隆, 川西秀樹, 日透析医学会誌 41(7): 457-459, 2008.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 斎藤明, 久野勉, 江口圭. アセテートフリー透析液と無症候治療実現. 透析VOICE 11号: 2-9, 2008.
- パンフレット 監修: 秋葉隆, 日本における血液透析患者のミネラル管理 (J-DOPPSデータより). キリンファーマ株式会社.
- 研修講師 秋葉隆: 透析療法を受ける患者の看護. 平成20年度成人看護老年看護講義 (社)日本看護協会神戸研修センター, 2009年2月13日.
- トピックス 「第41回米国腎臓学会から—2008年11月4～9日開催」 秋葉隆, 透析VOICE 12号: 10-11, 2009. 3.
- 座談会 (司会: 秋澤忠男) 秋葉隆, 平方秀樹, 椿原美治, 「透析患者予後向上への方策」. Medico 40(4): 26-39, 2009.
- オブザーバー 秋葉隆, 平方秀樹: 2009年版 日本透析医学会「腹膜透析ガイドライン」. 日本透析医学会・腹膜透

- 析療法ガイドライン作成ワーキンググループ (中山昌明, 川西秀樹, 友雅司, 伊丹儀友, 笠井健司, 金澤良枝, 中元秀友, 平松信, 政金生人, 山下明泰, 和田尚弘), 日透析医学会誌 42(4): 285-315, 2009.
- 座談会 司会: 秋葉隆, 出席者: 渡邊有三, 安藤亮一, 平田純生, シナカルセトをより有効に使用するために, 透析療法ネクスト IX: 1-8, 2009.
- 試験問題解説 秋葉隆, 松井則明: 問題Ⅷ: 抗凝固薬 血液透析に使用する抗凝固薬の種類とそれらの適応する病態, 投与方法について. (社)日本透析医学会 専門医試験問題解説集 (改訂第6版): 61-66, 2009.
- 講演記録 秋葉隆: 透析療法の今後の展開と合併症の克服, 2008年度福島県協学習講演会講演記録, 福島県腎臓病協議会.
- 取材 秋葉隆: 緊急レポート-透析施設における新型インフルエンザ対策, B. P. up-to-date 9(5): 1-2, 2009, 扶桑薬品工業.
- 緊急のお知らせ 秋葉隆: インフルエンザ治療薬の透析患者への投与についての注意点, 臨牀透析 25(11): 1, 2009.
- 臨牀透析創刊25年記念連載 秋葉隆: 透析医療のブレイクスルーを探る 10. 腎性貧血対策の変遷と将来, 臨牀透析 25(11): 83-90, 2009.
- Round Table Discussion 司会: 秋葉隆, 出席者: 鈴木正司, 平方秀樹, 渡部俊博, 炭酸ランタンへの期待, Nephrology Frontier 8(4): 11-19, 2009.
- DVD監修 秋葉隆: 透析と新型インフルエンザ, 企画: 中外製薬, 製作: 桜映画社, 2009. 12.
- 企画にあたって 秋葉隆: 特集 CKD-MBDの概念を透析診療にどう取り入れるか? 臨牀透析 26(1): 7-8, 2010.
- 編集 秋葉隆: 血液透析効率の評価法について再考する, 臨牀透析 The Japanese Journal of Clinical Dialysis 2010 Vol. 26 No. 4.
- 特別顧問 秋葉隆: 〈変貌する透析技術〉ダイアライザーの性能評価法を再考する, NEO VOICE 6(4), 2010, メディカルレビュー社.
- TOPICS 秋葉隆: 慢性腎臓病患者の腎性貧血治療における新たな選択肢~エリスロポエチン製剤のバイオシミラー エポエチンアルファ BS注「JCR」~, KISSEI KUR 3(2), 2010.
- 閉会の挨拶 秋葉隆: 第4回慢性腎臓病 (CKD) 病態研究会, 共催: (財)日本腎臓財団, 中外製薬株式会社, 2011. 7.
- 秋葉隆: 保存期慢性肝臓病患者, 腹膜透析患者に大きな恩恵, ミクス 39(9): 38-39, 2011. 8.
- 代表世話人挨拶 秋葉隆: New Horizon for Nephrology, 第20回記念講演会, 共催: 大日本住友製薬株式会社, 2011. 10.
- 審査委員長: 秋葉隆: 第48回日本人工臓器学会大会, 臨床研究大賞候補, 仙台.
- 秋葉隆, 楠田聡, 土田健司, 北島博之: 新生児と透析患者の低リン血症, Nephrology Frontier 10(4)別冊: 312-318, 2011. 12.
- 秋葉隆: 第49回日本人工臓器学会 心移植待機患者のVAD在宅管理がスタート, Medical Tribune 2012年3月22日号: 34-35, 2012.
- 特集=腎性貧血治療の現在と未来 秋葉隆: 腎性貧血のガイドライン, MEDICAMENT NEWS 第2081号 2012年3月15日号: 3-5, 2012.
- 秋葉隆, 安藤亮一, 小林光機, 佐藤千史, 藤岡知昭, 森兼啓太, 杉崎弘章, 秋澤忠男, 久野勉, 萩原千鶴子, 佐藤久光, 金子岩和, 大浜和也, 大藪英一, 松本哲哉, 水附裕子, 川崎忠行, 大石義英, 篠田俊雄, 土田健司: Letter to Editor 「『透析医療における標準的な透析操作と院内感染に関するマニュアル (三訂版)』第1章をICD (インフュージョンコントロールドクター) の視点から考察する (透析会誌 44(11): 1113 ~ 1116, 2011)」に答えて, 日透析医学会誌 45(3): 281-282, 2012.
- 秋葉隆: 第49回日本人工臓器学会大会を主催して, 人工臓器 41(1): 5-6, 2012.
- 今井圓裕, 井関邦敏, 秋葉隆 (司会): 座談会 透析合併症 改訂第2版 座談会 透析合併症の発症・進行を抑制する透析医療を目指す, 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC 38: 267-275, 2012.
- 秋葉隆: 第57回日本透析医学会学術集会・総会 共催セミナー2 HIV感染患者の透析医療をはじめのために, まとめ 医薬の門 52(5): 10, 2012.

- 秋葉隆, 秋澤忠男, 稲葉雅章: 高リン血症治療薬の新たな選択肢—ビキサロマーへの期待. Medical Tribune 特別企画, 提供: アステラス製薬株式会社, 2012年7月19日.
- 秋澤忠男, 秋葉隆, 川西秀樹, 栗原玲, 平方秀樹, 深川雅史, 横山啓太郎: 第2回新規高リン血症治療薬に関するアドバイザリーボード. 株式会社協和企画, 2012年10月5日, 東京.
- 秋葉隆: 第22回医療法人社団豊済会職員研修会, 透析液の変遷と透析液清浄化. 2012年9月30日, 池袋.
- 2012年10月27日 第23回日本急性血液浄化学会, 一般演題 安全管理, 座長: 金子芳一, 演者: 江村宗郎, コメンテーター: 秋葉隆, 日急性血浄化学会誌 3(Suppl): 28, 2012, 大宮.
- 2012年11月 日本の透析医療の現状と課題 グローバルスタンダードとの比較も含めて. 総監修: 秋葉隆, Vol. 1 透析処方 No. 3 透析量, 監修: 友雅司, 協和発酵キリン株式会社.
- 司会: 秋葉隆, 阿部貴弥, 片山浩, 池田寿昭, AKIへの治療介入 (座談会). Nephrology Frontier別冊 11(4): 320-327, 2012. 12.
- 2013年2月10日 Medical View Point 巻頭言: 秋葉隆, わが国の透析療法の現状. 医事出版社.
- 2013年2月24日 Health Today 家庭の非常食 病気別備えのポイント. 血液透析を受けている人は… 321号: 16, 2013. 3.
- 2013年3月26日 災害時透析医療講演会. 大規模災害に備え, 透析医療を確保するために. 講師: 秋葉隆, 災害時における透析医療のあり方について 1 平常時からの準備と災害発生時の対応 2 透析医療機関とネットワークの活動, 東京都.
- 特別対談 災害時の腎疾患医療における「行政としての対応」(2012年10月19日東京都庁), 話し手: 東京都副知事 (現都知事) 猪瀬直樹, 聞き手: 秋葉隆, 腎臓 35(3): 211-216, 2013.
- 解説 秋葉隆: 今さら聞けない透析患者さんのカラダのこと⑦ 活性型ビタミンD ってなに? ビタミンDと腎臓の関係. 透析Navi 7: 7, 2013.
- 秋葉隆 専門家に聞く! 病気別の備えのポイント 血液透析を受けている人は… Health Today 3月号 16, 2013.
- 座談会 (司会: 秋葉隆) 出席者: 鶴田良成, 濱田千枝子, 横山啓太郎, 「動脈硬化促進因子としてのリン」. Nephrology Frontier12(4), 2013. 12.
- 秋葉隆: 透析診療における標準化と個別化. 臨牀透析 30(1), 2014.
- 秋葉隆: 透析の変容と継続性. 臨牀透析 30(1), 2014.
- 座談会 (司会: 秋葉隆) 櫻林耐, 伊丹儀友, 佐中孜, 透析患者におけるカルニチン投与の意義. 透析療法ネクスト XVII, 2014.
- 秋葉隆: “透析看護認定看護師”の資格設立, 教育課程開講の目的・経緯などについて. 臨牀透析 30(6), 2014.
- 座談会 (司会: 秋葉隆) 濱田千江子, 大藪栄一, 春口洋昭, 透析患者に対する感染症対策. Nephrology Frontier 13(4), 2014. 12.
- 座談会 (司会: 秋葉隆) 金森弘志, 木下千春, 戸田晋, 透析医療における高リン血症治療の新戦略. 腎と透析 78(2), 2015. 2.
- 座談会 (司会: 秋葉隆) 栗山廉二郎, 安藤亮一, 白阪琢磨, 今村顕史, 透析医療とHIV感染症との関わり～現状と将来展望について～. 透析療法ネクスト XIX: 1-8, 2015.
- 平成27年6月28日 第60回日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム 11 「透析医療における標準的操作と感染予防に関するガイドライン」作成の経緯・目的. 秋葉隆, ねふろん Vol. 56: 2015. 9.
- 2015年6月27日 第60回日本透析医学会学術集会・総会 モーニングセミナー1 母乳の不思議 何故, 母乳栄養児に貧血が少ないのか. 司会: 秋葉隆, 演者: 川上浩, SEMINAR REPORT Vol. 2.
- 2015年6月27日 (土) 第60回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー19 高リン血症治療最前線～リン管理の発展が拓く未来～ 講演2 透析患者をクエン酸第二鉄で治療する～処方のポイントと治療戦略～. 演者: 秋葉隆, SEMINAR REPORT Vol. 3.
- 2015年11月フェイス・スリー 秋葉隆: 【専門家の視点】療養病床での透析患者受け入れの対策が必要. p. 75.
- 秋葉隆: 透析中の日常生活. ドクターサロン 60(3): 179-182, 2016.

## ガイドライン

- 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（協力 日本透析医会・日本透析医学会）平成12年2月発行，厚生省厚生科学研究事業 透析医療における感染症の実態把握と予防対策に関する研究班，主任研究者：秋葉隆
- 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（改訂版）（協力 日本透析医会・日本透析医学会・日本臨床工学技士会・日本腎不全看護学会）平成16年3月発行，厚生省厚生科学研究費補助金医薬安全研究事業分担研究 透析に関する院内感染対策，分担研究者：秋葉隆
- 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（改訂版第二刷）（協力 日本透析医会・日本透析医学会・日本臨床工学技士会・日本腎不全看護学会）平成16年9月発行，厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業分担研究 透析に関する院内感染対策，分担研究者：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 2004年版 慢性血液透析患者における腎性貧血治療のガイドライン，日透析医学会誌 37(9)：1737-1763，2004. ワーキンググループ委員：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン，日透析医学会誌 39(10)：1435-1455，2006. 作成ワーキンググループ委員：秋葉隆
- 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（三訂版）（協力 日本透析医会・日本透析医学会・日本臨床工学技士会・日本腎不全看護学会）平成20年3月発行，厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服緊急研究事業 透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況予後予防に関する研究（H18-肝炎-一般-002）分担研究 透析に関する院内感染対策，分担研究者：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準2008. 日透析医学会誌 41(3)：159-167，2008. 日本透析医学会学術委員会委員長：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 2008年版 慢性腎臓病患者における腎性貧血治療のガイドライン，日透析医学会誌 41(10)：661-716，2008. 作成ワーキンググループ委員・学術委員会委員長：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 2009年版腹膜透析ガイドライン，日透析医学会誌 42(4)：285-315，2009. オブザーバー 秋葉隆（前学術委員会委員長）
- 一般社団法人日本腎臓学会 エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2009. エビデンスに基づくCKD 診療ガイドライン2009 作成委員会 学術委員：秋葉隆
- 日本透析医会・日本透析医学会 HIV感染患者透析医療ガイドライン，2010年11月1日発行，HIV 感染患者透析医療ガイドライン策定グループ委員長：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン，日透析医学会誌 44(5)：337-425，2011. 作成ワーキンググループ委員：秋葉隆
- 社団法人日本透析医学会 透析患者のC型肝炎治療ガイドライン，日透析医学会誌 44(6)：481-531，2011. 作成ワーキンググループ委員長：秋葉隆
- 一般社団法人日本腎臓学会 CKD診療ガイド2012. CKD 診療ガイド2012改訂委員会委員 学術委員会：秋葉隆
- 一般社団法人日本透析医学会 維持血液透析ガイドライン：血液透析処方，日透析医学会誌 46(7)：587-632，2013. ワーキンググループ委員：秋葉隆
- 一般社団法人日本透析医学会 維持血液透析ガイドライン，日透析医学会誌 46(12)：1107-1155，2013. 血液透析導入ガイドライン査読委員：秋葉隆
- 一般社団法人日本透析医学会 慢性透析患者の食事療法基準，日透析医学会誌 47(5)：287-291，2014. 日本透析医学会学術委員会ガイドライン作成小委員会栄養問題検討ワーキンググループ：秋葉隆
- 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）（協力：日本透析医会，日本透析医学会，日本臨床工学技士会，日本腎不全看護学会）2015年3月31日発行，厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業，HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究（H24-エイズ-指定-002），HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究，分担研究者：秋葉隆

**秋葉 隆教授 退任記念集**

---

発行日 2016年3月12日

編集・発行 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター  
血液浄化療法科

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

Tel: 03-3353-8111

Fax: 03-5269-7368

---